

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

国立民族学博物館蔵 篠田 統 資料目録 I

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2010-02-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石毛, 直道 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/3475

8号

国立民族学博物館 研究報告別冊

国立民族学博物館蔵
篠田 統 資料目録 I

石毛直道 編



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告別冊 8号

国立民族学博物館蔵
篠田 統 資料目録 I

石 毛 直 道 編

目 次

序	iii
目 次	vii
篠田統先生略歴	ix
著 作 目 録	1
フィールド・ノート	29
読 書 ノ ー ト	173
アンケートとレポート	191
原 稿	269
スクラップ・ブック	277
写 真 類	301
文 献 カ ー ド	349
植 物 標 本	367

Contents

Preface	iii
Table of Contents.....	vii
A Personal History of Dr. O. Sinoda	ix
A Personal Bibliography	1
Field Notes	29
Bibliographical Research Notes.....	173
Questionnaires on <i>Sushi</i> , <i>Zōni</i> , <i>Nenchūgyōji</i> and others	191
Original Manuscripts	269
Scrapbooks	277
Photograph Collection	301
Bibliographic Index Cards	349
Herbarium Specimens	367

国立民族学博物館研究報告別冊 8号

〔監 修〕

梅 棹 忠 夫

〔審査委員〕

友 枝 啓 泰

佐々木 高 明

杉 本 尚 次

竹 村 卓 二

藤 井 知 昭

平成元年 3 月 29 日 発行 非売品

国立民族学博物館研究報告別冊 8号

発 行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園10-1
☎ 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
☎ 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
Special Issue **no.8**

Catalog of The Sinoda Document Collections
at The National Museum of Ethnology I

edited by
Naomichi ISHIGE

ISSN 0288-190X



**National Museum
of Ethnology**

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

序

故篠田統博士（1899—1978年）は東アジアの食物史の開拓者として知られているが、先生の学問にたいする関心は幅広く、生化学、動・植物学、衛生昆虫学、調理化学、家政学、科学史、民俗学の諸分野でも第一級の業績を残した碩学である。この先生の旧蔵書約7500冊が国立民族学博物館の図書室に「篠田統文庫」として所蔵されている。それらの図書を整理して、『国立民族学博物館蔵 篠田統文庫図書目録』（『国立民族学博物館研究報告別冊』2号所収 1986年）が刊行され、この文庫の利用者の便に供されている。本書はこの図書目録と姉妹編をなすものである。

先生の没後、すべての蔵書を国立民族学博物館が購入することとなった。そのさい、ご遺族のご厚意で、図書以外のほとんどすべての先生の研究資料が博物館に寄贈された。それらの資料は博物館内にある生活科学実験室で保管し、整理事業がおこなわれてきた。

これらの資料とは、先生の書斎とそれにつながる書庫にあった図書以外のいっさいのものである。ぼうだいな量のフィールド・ノートやアンケート類、約3万枚の文献抜き書きカード、文献を複写して製本したもの、古文書や和本の類、先生自身の著作や知己から送られた別刷類、写真アルバム、スクラップ・ブック、整理されずに切り抜いたまま保管されていたスクラップ類、絵葉書、リーフレット類、個人的なメモを記した手帳や日記、個人的な契約に関する証書類、小学校時代の習字や宿題を保存したもの、植物標本、中国時代に叙勲された勲章の実物など、先生の研究資料ばかりではなく個人的な記録をふくめた多岐にわたる資料である。

このうち、スクラップ・ブックに貼りつけてない未整理の切り抜きや、マッチのレッテル、絵葉書、リーフレット（観光案内、博物館、美術館の案内などの類がおおい）は、京都のシンクタンクである株式会社CDIが保管することとなった。それ以外のすべての資料が国立民族学博物館のものとなり、とりあえず生活科学実験室で管理をしている。

先生の個人にかかわる記録類はプライバシーにかかわる事柄でもあり、今回の資料整理の対象から除外してある。将来、先生の伝記作者があらわれたときに活用されるべき資料である。

この個人的記録以外のいっさいの資料を整理し、研究者による篠田資料利用のための手引きとして編集したのが本書である。そのなかには生活科学実験室ではなく、図

書館の管轄にある先生の旧蔵書で、未整理のために、『篠田統文庫図書目録』に収録しなかった、先生の収集した雑誌目録もふくまれている。他に冊数がある程度そろっている雑誌は、図書で整理されているので、ここにはあげていない。

将来、篠田資料を利用して研究をおこなう人びとは、この目録で見当をつけて、それから実物にあたることが望まれる。ぼうだいな量にのぼる資料類なので、このような目録なしでは活用することが困難であることも、われわれが本書を作成することを決意した理由のひとつである。

本書には先生が残された資料類を整理して作成した目録類のほかに、先生の年譜、著作目録を収録して、学問の巨人であった先生の研究活動のあらましがわかるようにしてある。それぞれの目録や解題には[解説]を付して、その内容や、資料整理の方針などについてのべているので、個々の資料目録がどのような性質のものであるかについてはそれを参照されたい。

『篠田統文庫図書目録』の序に記したように、また本書収録の年譜や著作目録からもうかがえるように、敗戦によって中国から引きあげるまでは、先生はおもに自然科学者としての研究に従事されていた。戦傷の後遺症で実験に従事することが困難になったので、人文科学の分野に転じられたとうかがっている。中国時代に北京におおくの書籍、資料を置かれていたものが行方不明になったという。そこで、篠田文庫の図書のはほとんどは食物史を中核とする人文科学の研究者としての先生の後半の人生に収集されたものであり、本書に収録した資料類も戦後の記録が主である。

これらの資料の整理は昭和55年から開始されたが、いちおう完了するまでに8年間の歳月を必要とした。その間に何度も海外調査に出かけたりした編者の個人的事情もさることながら、作業に時間がかかる性格の資料でもあった。たとえば、ワラ半紙を二つ折りにしたものに、おおくの場合エンピツでなぐり書きにしたものを合本したものがおいフィールド・ノートを対象として、それを読みとって解題をするためには、ときには古文書の解読にも似た作業を要求される。一冊の内容を解題するのに、一日かかることもめずらしくない。

このような労のおおい作業を編者の片腕となって助けてくれたのが、先生の晩年に知遇をうけた大阪薫英女子短期大学講師の植田啓司氏である。植田氏には整理から編集、刊行にいたるまでのすべての作業を手伝っていただいた。編集作業には上出みちるさんと山本由佳さんの協力を得た。古文書類の整理などについては、大島新一氏が全面的にあたってくれたし、編集作業にも労力をさいていただいた。ワープロで原稿を整理する作業を担当していただいたのは近藤一美、亀田洋子、別所洋子、柴田芳枝、

篠田統資料目録 I

橋治美，豊田厚子のみなさんである。これらの作業をすすめるに必要な経費の一部は M C C 食品会社会長の水垣宏三郎氏のご援助によってまかなわれている。これらの方がたにここからお礼申しあげるしだいである。

さきに刊行した『篠田統文庫図書目録』とおなじく，本書は昭和55—59年度のあいだ，編者を研究代表者としておこなわれた国立民族学博物館の共同研究である「東アジアの食事文化の比較研究」班の事業の一環として作成された。班員諸氏のご協力にたいしても謝意を表するものである。

1988年9月

石毛直道

[追記]

当初はすべての資料目録を1冊にまとめて出版する予定であった。原稿の量がぼうだいなものに達したことなど，さまざまな理由により，急遽2分冊にわけて出版せざるをえなくなった。本書のタイトルを『国立民族学博物館蔵 篠田統資料目録 I』としたゆえんである。IIは1989年に出版されるみこみである。2冊に分割するにあたって，Iには篠田先生ご自身の作成による資料類を収録し，IIには先生の収集した資料類をのせることにした。すなわち，IIには先生の集められた古文書，和本，雑誌の目録，研究資料用に複写された文献の目録，先生に送られてきた抜刷の目録が収録される予定である。

篠田 統 先生 略 歴

[解説]

先生の大阪学芸大学定年退官を記念して、『篠田統先生退官記念論文集』（『生活文化研究』第13冊 篠田統先生退官記念論文集刊行委員会・生活文化同好会、編集・発行 1965年）が出版された。この本の冒頭に先生自身のつくられた略歴が掲載されている。それを原文のまま転載したのがこの年譜の前半である。1965年以後の後半部分は編者の作成したものである。中国時代に何回か叙勲されているが、著書の『風俗古今東西』のなかで、勲章をありがたがる人間をやゆした文章を書かれているのでこの略歴には記さない。

1899(明32)・9月21日 大阪に生。父親勤め人にて、爾来転宅十数回、小学校も3回目の錦林校5年生、明治43年から京都に定着、それからは任地へは両親のみが巡行、こちらは北白川の梁山泊主におさまる。

1917・3月 京都府立一中卒。

1920・3月 三高(二部乙類)卒。

1923・3月 京大理学部化学科卒(指導教官 小松茂教授),すぐ動物学科大学院へ入学(指導教官 川村多実二教授)。

1926・8月 Rockefeller 財団国際研究員,並に文部省在外研究員として,大学院在学のまま,オランダ Utrecht 大学動物学教室,ドイツ München 大学化学教室,及びイタリヤ Napoli 水族館へ留学,28年6月帰朝。

1928・4月 Utrecht 大学より Doctor in de Wisen Natuurkunde

1929・1月 京都大学より理学博士。4月より理学部講師(比較生理学・酵素学)として十年間の無給講師の第1歩をふみ出す。大学院は卒業だか退学だか,いまだに通知なく不明。或は在学中やも不知。4月より平安女学院講師(家事科学),7月より京都高等蚕糸学校講師(動物生理生態学)を兼ね。

1938・3月 陸軍技師。関東軍,40年より北支軍軍医部所属。昆虫防疫。

1945・8月 北京衛生試験所技師,12月内地引揚。

1946・4月 京大農学部応用植物学研究嘱託。敗残兵に学界復帰の途を開いて呉れた応植主任今村駿一郎教授の俠気に感激。

1947・5月 大阪二師教授,次年学大教授。現在にいたる。この間大阪府衛生部

(一年でにげ出す)・京都市衛生局(割合ユカイなりし)嘱託,滋賀県立女子短大(5年),島根県立女子短大(11年)講師なども兼任。現在は大阪外語大(自然科学史)と四條畷学園女子短大(栄養学)へ出向いている。来る四月以降は四條畷に予約済。なお,京大人文研科学史研究室の共同研究班には,農学部時代からずっとお邪魔させてもらっている。(シノダ)

[以下編者作成]

- 1965・1月 日本風俗史学会理事に就任,以来,生涯をつうじて理事にとどまる。
- 1966・3月 大阪学芸大学を定年退官。
- 1966・4月 四條畷学園女子短期大学教授。
- 1969・3月 四條畷学園女子短期大学教授を退職。
- 1973・5～6月 台湾で民俗調査をおこなう。
- 1975・10月 日本風俗史学会から『中国食物史』の業績にたいして,江馬賞をさずけられる。
- 1975・12月 カリフォルニア大学パークレー校で開かれた日米栄養学シンポジウムに出席,稲作の食事文化と栄養に関する研究発表をおこなう。
- 1976・5月 韓国で民俗調査をおこなう。
- 1977・1月 直腸癌の手術をうける。
- 1977・8月 日本風俗史学会のバリ島研修旅行に参加。
- 1978・8月10日 死亡。

著 作 目 録

[解説]

略歴の解説にあげた『篠田統先生退官記念論文集』に、先生みずからが作成された「篠田統作品目録」（この論文集の目次では「篠田統業績目録」となっている）に1964年までの先生の著作リストがあげられている。この「作品目録」には221篇の著作が分野別に分類して記載されている。「作品目録」はただ著作をならべたものではなく、先生の文章作成にあたっての姿勢とこのリストづくりの経緯について記した序文がつけられているし、また個々の著作の記載のあとにその作品に関するコメントを付したものもある。

この「著作目録」編集にあたっては、先生の人柄がしのばれる「作品目録」を原型に近いかたちで収録し、「作品目録」に記載されていない著作でわれわれが発見したものと、「作品目録」以後の著作を発表年代順に収録した。すべての著作を分野別の「作品目録」にならって配列することも検討したが、「作品目録」が著者自身でないと分類できないような個性的なカテゴリーわけになっているために、その試みは断念し、機械的な配列法でならべざるを得なかった。したがって、「作品目録」を再録した部分と、それ以降の著作を年代順に収録した「その後の著作目録」の部分の二部で、この「著作目録」は構成されている。

「作品目録」以後に先生がみずからの著作を整理した形跡はなく、著作カードの類も残されていない。そこで、博物館で購入した蔵書と寄贈された資料のなかにあった先生の著書、別刷のリストを作成し、それにわれわれが気づいた著作を補充することによって目録を作成している。寄稿した可能性のある雑誌類などは極力あたってみたが、百科事典などの検討にまでは作業がおよばず、遺漏もおおいと思われる。読者の指摘をまつしだいである。

[凡例]

この「著作目録」は「作品目録」と「その後の著作目録」の二部から構成されている。著作番号221までは「作品目録」を再録したものである。著作番号222以後の「その後の著作目録」は編者らが作成した部分である。

1) 著作番号221までのもので、原形とことなる点は、ナンバーを3桁とし、ゴシック体に変えたこと、邦文の誌名、書名を『 』でかこい、欧文の場合にはイタリック体

で表記したことである。また、原文にあった明らかな誤記・誤字・脱字・誤植なども訂正してのせてある。なお、適宜、. , 。の付け替え及び付け加えをおこなった。

2) 著作番号222以後は分野別の配列ではなく、発表年代順に配列してある。このさい、おなじ年に発表された著作については発行月日順に配列し、発行年しかわからないものは、その年の著作の末尾にタイトルのアイウエオ順に配列した。記載事項とその順序は「作品目録」を踏襲している。

また、いろいろと調べたが、結局わからなかった記載事項については、?印をつけてある。御存知の方があれば、御教示いただければ幸いである。

3) 著作番号のまえに付した*印は、その著作の現物が国立民族学博物館に所蔵されているものであることをしめす。

4) []のなかに記載されている事項は、原文にはないものと、編者らが補ったものである。

「作品目録」

わたくしは若いころに、白楽天が台所のバアヤの OK をとってから始めてその作品を公表したという伝説をきかされて、すっかりそれに共鳴し、素人にわからないような文章を書くのは本物ではないと考え、自分の書いたものはどんなものも必ず母親や女房、子供達のだれかの目を通してもらってから、始めて印刷に廻すことにしてきた。おかげ様で先日篠田の書くものは趣味的なテーマを趣味的な文体でつづるお遊びあつかいにされちゃったが、一人さまに判る文章を書くのがどこがいけないんだろう。でも、おかげで今度はひどい目に会った。編集子(姉かな?)が著書目録をつくってくれというのだが、自分ながらどこまでが原著でどれからが雑文やらわからない。仕方がないから書いた年代順に洗いざらい二百余り並べて見たらば、余り雑然としすぎて不得要領だから内容別に分類・整理して欲しいという。誠にごもつもの話ゆえ、下の通り数項目に分類してお目にかける。詩歌俳諧のたぐいは遠慮してあるが、仕事関係では三高時代の青い麦までもならべておいたのは、心の旅路がなつかしかったからの話。器用貧乏のなれの果て、あわれと人も御覧ぜられよかし。(シノダ)

A : 生化学・酵素学・蚕糸化学

- 001 On the Spontaneous Decomposition of Lecithin. *Mem. Coll. Sci., Kyoto Imp. Univ., A, [Memoirs of the College of Science Kyoto Imperial University Series A]* Vol. 7, 1923. 加藤七三共著, 京大理学部化学科卒業論文
- *002 On the Biochemistry of the Wild Silk-Moth., *Dictyoploca japonica*, Moore. [1. Chemical Development in the Growth of the Wild Silk-Moth.] *Mem. Coll. Sci., Kyoto Imp. Univ., A, [Memoirs of the College of Science Kyoto Imperial University Series A]* Vol. 9, 1925.
- *003 Über die Eiweisslösenden Enzyme im Magensaft von *Astacus*. *Zeits. f. vergl. Physiol.*, Bd. 7, 1928. オランダ Utrecht 大学学位論文, Jordan 教授指導
- 004 Vergleich der Enterokinase verschiedener Herkunft. *Zeits. f. physiol. Chem.*, Bd. 1928. E. Waldschmidt-Leitz 共著
- 005 On the Proteolytic Enzymes of the Silk-Worm, *Bombyx mori*. *Jour. Biochem.* Vol. 11, 1930.
- 006 A Comparison of the pH Optima of the Digestive Enzymes from Different Groups of Insects. *Anniversary Vol. dedicated to Prof. M. Chikashige,*

for His 60th Birthday. 1930.

- 007 Starch Digestion in the Silkworm, *Bombyx mori*, L. *Annot. Zool. Japan.*, 1931.
- 008 家蚕の營養化学と養蚕の實際問題 『京都化学学士会会報』21号 1931
- 009 再び家蚕の消化酵素について 『動物学雑誌』44巻 1932 講演抄録
- *010 研究室覚え書1 セルロイド玩具の貯蔵法 [[セルロイド玩具の標本保存]]・蛋白酵素簡易定量法 『家事と衛生』8巻[第7号] 1932
- *011 同上 [[研究室覚え書]]2 毛虫による刺傷・スンプについて 『同上』[[家事と衛生』第8巻第8号 1932]
- *012 同上 [[研究室覚え書]]3 含水量の測定 『同上』[[家事と衛生』第8巻第9号 1932]
- *013 同上 [[研究室覚え書]]4 同つづき [[含水量の測定]つづき]・乾燥温度と炭水化物の変化 『同上』[[家事と衛生』第8巻第10号 1932]
- *014 同上 [[研究室覚え書]]5 ゼリーの作り方・昆虫採集用毒瓶 『同上』[[家事と衛生』第8巻第11号 1932]
- 015 家蚕の金属代謝 『動物学雑誌』46巻 1934 講演抄録 細辻伊八郎共著
- 016 研究について 『京都化学学士会会報』25号 1934
- 017 研究について 『家事と衛生』10巻 1934 2回に分載されたが、書き下しだったか、016の転載だったか記憶しない。
- 018 家蚕の金属代謝Ⅱ 『動物学雑誌』47巻 1935 講演抄録 細辻伊八郎共著
- 019 貯蔵桑葉の栄養学的研究 郡是製絲会社への報告書 1935
- 020 殺蛹剤の研究Ⅰ 同上 [郡是製絲会社への報告書] 1935
- 021 同上 [殺蛹剤の研究]Ⅱ 同上 [郡是製絲会社への報告書] 1935
- 022 家蚕軟化病の生化学的早期診断 同上 [郡是製絲会社への報告書] 1935
- 郡是製絲会社から同社蚕事所鈴木純一氏の御高配により研究費が年々若干贈られたので、この時期——動物学教室十年間の無給講師時代——の研究は非常に助かった。その御厚意は忘れられない。昭和18年河南省清化付近で得た脊椎部戦傷の後遺症としてのひどい座骨神経痛になやみ、あらゆる実験操作が医師により禁止されたため、止むを得ず、戦後は自身で化学や顕微鏡実験にたずさわ

B : 料 理 化 学

023 料理の化学 『京都化学学会会報』20号 1930

この雑誌は京大理学部化学教室の同窓会報である。当時としては余り突びようしもない仕事をはじめたので、一応本誌にのせて、同窓生諸君の意見をきいたわけ。以下、このシリーズの仕事は京都市平安女学院専攻部で行なったもの。早川喜四郎院長の激励と郡是製絲会社の(かげ乍らの)経済的バックアップのおかげである。

*024 料理の化学——甘藷の煮え加減に就て 『京都化学学会会報』21号
1931 [小寺鈴共著]

025 料理の化学——再び芋の煮え加減 『同誌』[『京都化学学会会報』] 22号
1931

*026 The Chemistry of Cooking. I. [The Chemical Changes of Carbohydrates in the Sweet Potato According to Various Methods of Cooking.] *Biochem. J.* [Vol. XXV, No. 6] 1931. 小寺鈴・大家千代共著

京化学士会報で自信がついたので、本式の論文に書き、東京へ送ったところ、本誌は純粹の科学雑誌だから女学校でやった料理の研究なんか載せない、と突かえされた。腹が立ったので、即夜英訳し、学校がアメリカ・ミッション故いたくない腹を探られるのも豪腹だから、ロンドンの *Biochemical Journal* の編集者に送りつけたら、これは直ぐのせて呉れた。

027 料理の化学 I 『生理学研究』8巻[9巻]9号 1931 小寺鈴・大家千代共著
上記の日本版

*028 The Chemistry of Cooking. II. [On the Critical Temperature in Cooking the Sweet Potato.] *Biochem. J.* [Vol. XXVI, No. 3] 1932. 小寺鈴共著

第2報はのっけからロンドンに送った。すると、此年の秋の学会で東京のさるお豪方から、君は日本人で日本で仕事しながら何故他国で発表するのかと詰問されたのには驚き、かつ呆れた。事情を聞いて、それは済まなんだ、ドシドシ出すから送って呉れ、といわれたが、もう馬鹿馬鹿しく、それっきりその学会誌には原稿は送らない。いや日本という国は、誰にも判るテーマを誰にも判る言葉で発表することの、何と難しい国であることよ。

*029 料理の化学 第2報 『実験消化器病学』7巻 1932 小寺鈴共著

*030 料理の化学 第4回 『京都化学学会会報』23号 1932

- 031 料理の化学 第3報 調理による食物発熱量の変化 『家事と衛生』8巻
1932

これは確か小寺君単独発表だったやも不知。『家事と衛生』という雑誌は大阪市立衛試の藤原九十郎所長が道楽半分に(?)出してられた。その頃関西では唯一の家政学の発表機関であった。私どもいろいろ御世話になった。なつかしい雑誌だ。

- *032 料理の化学 特に圧力の影響について 『日本医事新報』第623号 1934[8月]
小寺鈴共著

これは非常に面白い成績が出たので、もう少し細かい所を仕上げた上でロンドンへ送るつもりだったが、間もなく私の陸軍入りの話がおこり、雑用に手をとられてそのままになっているのが心残りだ。但し、今日3回生の調理科学実験にはこの成績をどしどし使っている。農学部や試験場あたりでやる食品分析などとなり、料理過程の生化学的变化というホントウの家事化学にとっくんで漸く十年、これからという時に私は出征する。早川老院長も退院されると共に、学校内の早川体制もバラバラにされる。で、小寺君は神戸女学院を経て光華女大へ、大家君は結婚、福森君(後出)は京都工試から民医連へ、助手の伊藤君はキリンビール研究所へと、折角の研究体制も四散した。これが戦後、池田で、別の形で再開される訳である。

C : 植物学・動物学(生理・生態)

- *033 Contributions to the Knowledge of the Intestinal Secretion of Insects. I. Mid-Intestinal Secretion of Lepidoptera, with an Appendix: Behavior of Mitochondria in the Mid-Intestinal Epithelium of the Silk-worm, *Bombyx mori*, L. *Mem. Coll. Sci., Kyoto Imp. Univ. B*, [*Memoirs of the College of Science Kyoto Imperial University Series B*] Vol. 2, No. 2, 1926.
- *034 Einige Beobachtungen über die Ernährungsbiologie der wilden Seidenraupe, *Dictyoploca japonica*, Moore. *Mem. Coll. Sci., Kyoto Imp. Univ. B*, [*Memoirs of the College of Science Kyoto Imperial University Series B*] Vol. 2, No. 2, 1926.
- *035 Contributions to the Knowledge of Intestinal Secretion in Insects. II. A Comparative Histo-Cytology of the Mid-Intestine in Various Orders of Insects. *Zeits. f. Zellforsch. u. mikrosk. Anat.*, Bd. V. 1927.

京大学位論文。指導教官川村教授。この一連の仕事は菱内収博士に非常に世話になった。

- 036 昆虫の含水量について 『動物学雑誌』44巻 1932 講演抄録
- 037 Biochemical Study of Dermestid Beetles. *J. Biochem.* Vol. 16, 1932.
倉田正郎共著
- *038 昆虫雑話 天然の人為に及ばざる事・画家と家蠅の甲乙に就て・総ての人間は色盲だ・痘痕の笑靨に見えた話 『京都化学学士会会報』26号 1935
- *039 甘藷発芽の生化学的研究Ⅰ 発芽による甘藷炭水化物の変化 『植物及動物』4巻第1号 1936[1月] 小寺鈴共著
- *040 山城の甘藷 『京都化学学士会会報』29号 1937
- *041 続昆虫雑話 毛虫を食べましよう・夏空に毛も軽く・蚊は天翔る・蚊は藪がお好き・蜜を尋ねる・蛾の職工病 『京都化学学士会会報』29号 1937
- 042 ノモンハン地区植物誌 関東軍に提出した報告 1939
- *043 甘藷発芽の生化学的研究Ⅱ 発芽時のガス代謝 『植物及び動物』10巻[第7号] 1942[7月] 福森かずへ共著
- 044 山西省垣曲地区生物調査報告 北支軍へ提出 1944ころ
この一連の報告は沢山あるはずだが、手許に控えもなし、事実の記憶以外にも判らなくなった。
- 045 山東の寒天業 北支軍に提出した報告書 1944
- *046 閃緑岩と生物 『日本動物学会近畿支部会報』2号 1950[5月] 講演抄録
- *047 三草山の生態学的研究 『学術』1号 1953[3月]

D：衛生昆虫学・医動物学

- *048 蠅の日周期 『植物及動物』3巻第1号 1935[1月] 安藤多枝共著
私の医動物も案外古く、別に軍医部に放りこまれてから始まったのでも無さそうだ。
- 049 北満の蛇 関東軍への報告書 1939
- 050 長嶺ベスト地帯の鼠族の生態 同上[関東軍への報告書] 1940
- 051 北満衛生動物志 同上[関東軍への報告書] 1940
- 052 ハイラルにおける発疹チフス防疫実況 同上[関東軍への報告書] 1940
- *053 北支を中心とする医用昆虫学（初任軍医教育用テキスト）1942～1945年まで
4版

- 054 北支におけるマラリア流行の特異性 北支軍への報告書 1943
- *055 昆虫防疫綱要 同上 [北支軍への報告書] 1944
- *056 華北衛生動物雑記 『生理生態』1巻 1947
- *057 察哈爾の鼠族分布とその指標植物 『生物』2巻 1947
- *058 農村と蚊 『村』13号 1947
- *059 アムールの鼠 『学芸』31号 [『学海』第4巻第4号] 1947
- 060 虱と俳句その他 『学苑』1巻 1947
- *061 ネズミ三話 『村』15号 1948
- *062 ネズミと有害昆虫の話 京都市衛生局パンフレット 1949
- *063 昆虫防疫 同上 [京都市衛生局パンフレット] 1949
共に保健所係員教育のため。
- *064 夏と蠅 『京都市衛生月報』15号 1949[8月]
- *065 蚤の夏 同上 [『京都市衛生月報』] 16号 1949[11月]
- *066 On Japanese Species of *Phlebotomus*. *Trans. Kansai Ent. Soc.* [*The Transactions of Kansai Entomological Society*] Vol. 15, 1950.
- *067 京都産サンショウバエの生態 『日本動物学会近畿支部会報』3号 1950[11月] 講演抄録
- *068 京都市におけるサンショウバエの分布と生態 『防虫科学』16号 1951[9月]
- *069 満州長嶺ベスト地帯の生態学的観察 『衛生動物』4巻 (小林晴治郎博士記念号) 1954
- *070 白川の蚊と蠅 『愛郷』(北白川愛郷会機関誌)3号[5号] 1963
- 軍医部8年間は医動物学が専門だった。帰ってからも大阪府・京都府・京都市など、時々厚生省関係の仕事にも引出されたが、今村衛生局長時代の京都市をのぞき他は医者中心が露骨すぎて不愉快だったので、十年ほど前からこの方面とは一切縁を切ることにした。ただ、当時三共高嶺研の熊沢誠義氏の下にとってもらった北京時代の助手だった池田安之助君の仕事だけは後まで相談にのった。同君が京都府[立医]大の員外研究生となり、一昨年——旧制商業学校三年生中退の身で——長花教授の指導下に医学博士の学位を得た時は、何よりも嬉しかった。

E：家政学・家庭科教育（鮎・酒をのぞく）

- 071 京都市女学生嗜好食品調査 『家事と衛生』 9巻 1933 伊藤梅野・岡信子共著
これにつづいて盲学生の調査も行なったはずだが、何巻に出したか一寸わかりかねる。
- *072 家庭燃料の合理化 丸美屋主催講演会テキスト 1934ころ
- 073 家庭科では何を教えるか 『家事と衛生』 11巻 1935
- *074 被服害虫の防除 『同誌』『家事と衛生』 13巻 1937
- *075 家庭科教育の在り方 『豊中市教研〔教育研究所〕紀要』 3号 1951
- *076 家庭科教育における実技の問題 『生活文化研究』 第1冊 1952
- *077 彦根市松原町生活実態調査報告(第1報) 『滋賀県立短期大学雑誌B』 1巻 1952 馬場りら子等共著
- *078 明治維新の家族制度に及ぼせる影響 『大阪学芸大学紀要B』 1号 1953[3月]
- *079 農家の相続問題について 『村』 72号 1953
- *080 中国小菜ニツ三ツ 『食道楽』 7号 [1954]
- *081 欧州小菜ニツ三ツ 『同誌』『食道楽』 8号 [1954]
- *082 北京の秋は羊肉から 『同誌』『食道楽』 9号 [1954]
- *083 藩政末期におけるある山村の生活——河内国滝畑村の場合 I 日々の暮し 『大阪学芸大学紀要B』 第3号 1955
2～4報は上村・宮川・飯田三教官の執筆にかかる。
- *084 同上 [藩政末期におけるある山村の生活——河内国滝畑村の場合] V 村の出来ごと 『生活文化研究』 第4冊 1955
- *085 湯文字談議——家政科の在り方 『おおさか教育』 3号 1956
- *086 家庭科の基盤 『生活文化研究』 第5冊 1956
- *087 創刊のことば——寸言 『〔大阪学芸大学〕生活文化研究会同窓会報』 1号 [創刊号] 1956
- *088 大阪うまいもの談義 『日本料飲新聞』 1957[8月11日・21日・9月1日・11日] 座談会記事
- *089 士族屋敷 『生活文化研究』 第7冊 1958
- *090 家庭科における「歴史的」なるもの 『大阪学芸大学紀要C』 1号 1960
- *091 新おあむ物語 [——機無女聞書] 『生活文化研究』 第9冊 1960

- *092 ビールあれこれ 『うまいもの』51号 1960
- *093 オランダのおそうざい 『同誌』『うまいもの』60号 1961
- *094 家庭科における「社会的」なるもの 『大阪学芸大学紀要C』2号 1961
- 095 現代生活ときもの 『淡交』増刊6号 1961
- *096 家庭科における「技術的」なるもの 附家庭科と商品学 『大阪学芸大学紀要C』3号 1962[3月]
- *097 車窓から見た近ごろの衣生活 『本誌』『生活文化研究』第11冊] 1962
- 098 イタリヤの駅弁 『うまいもの』73号 1962
- *099 京都の料理と食物 『国文学 解釈と観賞』[第318号]臨時増刊号 [『京都のすべて』] 1962 のち単行書となる [『京都のすべて』至文堂 1962 刊行]
- *100 推理小説とアメリカン・ライフ 『本誌』『生活文化研究』]第12冊 1963
- 101 食事に関するシナの笑い話 『調理文化』63号 1964
- *102 多聞院英俊の性格と生活——夢を中心として—— 『本誌, 本冊』『生活文化研究』第13冊 (篠田統先生退官記念論文集)] 1964

F: 鮓

- *103 鮓考その1 中国における鮓の変遷 『本誌』『生活文化研究』]第1冊 1952
干景讓教授の翻訳『大陸雑誌』に。[『鮓考』『大陸雑誌』第15巻第2期 1957]
- *104 鮓考その2 近江の鮓 同上 [『生活文化研究』]第1冊 1952
- *105 鮓考その3 紀伊・南和の鮓——熊野灘魚系のすし 『本誌』『生活文化研究』]第2冊 1953
- *106 鮓考その4 北陸の鮓——富山湾魚系の鮓 同上 [『生活文化研究』]第2冊
1953 飯田喜代子共著
- *107 鮓考その5 大阪鮓——蛸竹阿部老人聞書 同上 [『生活文化研究』]第2冊
1953 飯田喜代子共著
- *108 鮓考その6 近畿・中国の鮓 『本誌』『生活文化研究』]第3冊 1954 飯田
喜代子共著
- *109 鮓考その7 東海・関東の鮓 同上 [『生活文化研究』]第3冊 1954
- *110 鮓考その8 四国の鮓 『本誌』『生活文化研究』]第4冊 1955 飯田喜代子
共著
- *111 おすしの由来 『鮓の話』(パンフレット) 1955
- *112 鮓と米——わが国における稲の導入経路に関する一考察 『大阪学芸大学紀要

篠田統資料目録 I (著作目録)

- B』 4号 1956 飯田喜代子共著
- *113 通地獄 『寿司の友』 1号 1957
 - *114 鮓と青葉 『同誌』 [『寿司の友』] 3号 1957
 - *115 おすしの変遷 『家庭科教育』 31号 1957
 - *116 鮓考9 鮓年表1——シナの部 『本誌』 [『生活文化研究』] 第6冊 1957
 - *117 釣瓶鮓縁起 『大阪学芸大学紀要B』 7号 1959
 - *118 鮓考10 鮓年表2——日本の部 『本誌』 [『生活文化研究』] 第10冊 1961
 - *119 スシ料理 『中国菜』 5号 1962

雲散霧消した平安女学院時代の料理化学研究室が池田で再建されたわけだが、設備や私自身の健康の関係などの点から、再発足はスシですることになった。実験面は専ら飯田助教授が担当し、私は食物史的立場をとって来た。スシについて酒、雑煮（餅）と畑はひろがっていく。

G：酒造及び酒造史

- *120 白乾酒、附高粱の伝来について 『学芸』 39号 1948 千景讓教授訳あり（『大陸雑誌』） [『大陸雑誌』 第14巻第1期 1957]
- *121 春宵・酒談議 『新大阪新聞』 1950 [3月4日]
- *122 手醸りから杜氏集団へ 『本誌』 [『生活文化研究』] 第4冊 1955
- *123 白酒——「食物史十二ヶ月」のうち 『集団給食ニュース』 222号 1955 [3月]
- *124 杜氏の由来 1～18回 『週刊醸造』 1956 [2月18日～9月1日]
- *125 西日本の酒造杜氏集団 『京都大学人文科学研究所研究調査報告』 第15号 1957
- *126 江州野洲郡北組酒造仲間の桶帳 『本誌』 [『生活文化研究』] 第6冊 1957
- *127 近世末期江州野洲郡における酒造業とその技術 『大阪学芸大学紀要B』 第5号 1957
- *128 酔談——酒造史ノートから 1～7回 『週刊醸造』 1957 [8月31日～10月12日]
- *129 南都多聞院の酒造 『本誌』 [『生活文化研究』] 第7冊 1958
- *130 近畿の斜陽杜氏集団 『本誌』 [『生活文化研究』] 第8冊 1959
- *131 奥能勢の酒造史資料 『大阪学芸大学紀要B』 8号 1960
- *132 池田酒造史 『池田市史』 第2冊「各説編」 1960
- *133 中世の酒 藪内清編『中国中世科学技術史の研究』 [角川書店刊行] 所収 1963

- *134 日本の古い酒造りをもとめて 『日本醸造協会雑誌』59巻2号 1964 座談会
記事
- *135 暖気樽小考 『大阪学芸大学紀要B』12号 1964
- *136 大阪府酒造史概説 『大阪の酒米』所収 1964
- *137 我国在来の酒造法について 『日本醸造協会雑誌』[59巻12号] 1964

H：科学史・食物史

- 138 馬と日本人の渡来時期について 『民族と歴史』1918ころ
三高生の折，編集者喜田貞吉博士への質問文。私の史癖も古い話さ。[該当記
事見当らず，雑誌名誤認と思われる]
- *139 小麦のシナへの伝来 『東光』9号 [1949 弘文堂出版刊行]
- *140 五穀の起源 『自然と文化』2冊 1951 一部干景讓教授の訳あり（『大陸雜
誌』）[『積穀』『大陸雜誌』第24巻第5期]
- *141 明代の食生活 藪内清編『天工開物の研究』[恒星社厚生閣刊行] 所収 1953
章熊等による中共訳（『天工開物研究論文集』1957）蘇等による台湾訳（『天工
開物之研究』1956）あり
- *142 小豆雑煮 [—志摩国海女民俗断片] 『大阪学芸大学紀要B』2号 1954
- *143 餅と雑煮（食物史十二ヶ月のうち）『集団給食ニュース』220号 1955 [1月]
- *144 豆腐と油揚（食物史十二ヶ月のうち）『同上』[『集団給食ニュース』] 221号
1955 [2月]
- *145 源氏物語とにんにく（食物史十二ヶ月のうち）『同上』[『集団給食ニュース』]
223号 1955 [4月]
- *146 ちまき（食物史十二ヶ月のうち）『同上』[『集団給食ニュース』] 224号 1955
[5月]
- *147 いねとこめ（食物史十二ヶ月のうち）『同上』[『集団給食ニュース』] 225号
1955 [6月]
- *148 瓜（食物史十二ヶ月のうち）『同上』[『集団給食ニュース』] 227号 1955 [8
月]
- *149 北京の麵類（食物史十二ヶ月のうち）『同上』[『集団給食ニュース』] 229号
1955 [10月]
- *150 ムギとパン（食物史十二ヶ月のうち）『同上』[『集団給食ニュース』] 231号
1955 [12月]

篠田統資料目録 I (著作目録)

- *151 菰と瞿麦と麻と——忘れられた穀物 『本誌』『生活文化研究』第5冊 1956
一部干訳あり
- *152 続小豆雑煮 [——裏日本と表日本との交流の経路について] 『大阪学芸大学紀要B』6号 1958
- *153 古代シナにおける割烹 『東方学報 [京都]』第30冊 1958[1959]
- *154 ぞうにとすしと酒 『新潟日報』1960[5月11日] 座談会記事
- *155 米・貧乏人・多産 『文芸春秋』6月号 [「巻頭随筆」] 1961
- 156 小豆 『中国菜』2号 1961
- 157 「茶経」輪講 『淡交2～3月号』座談会記事 1961<茶の源「茶経」輪講2,
茶のつくり方「茶経」輪講3>
- *158 唐代の茶 『本誌』『生活文化研究』第11冊 1962
- *159 茶筌談議 『淡交』正月号 1962
- 160 キウリの弁 『寿』5月号 1962
- *161 粉食の展開 『大阪学芸大学紀要B』11号 1963
- *162 粉食と粒食 『史泉』27/28号 1963
- *163 郭璞評伝 藪内清編『中国中世科学技術史の研究』所収 1963
- *164 食経考 同上 [『中国中世科学技術史の研究』所収] 1963
- *165 唐詩植物釈 同上 [『中国中世科学技術史の研究』所収] 1963 一部干訳あり
- *166 食経考追加その他 『本誌, 本冊』『生活文化研究』第13冊 (篠田統先生退官
記念論文集) 1964
- *167 幽風七月の舞台 『大阪学芸大学紀要B』13号 [1965]

I : 地 理・民 俗

- *168 北海道樺太の水産業 『京都化学学士会会報』22号 1931
- *169 大陸風土記 『学海』4号 [第4巻第3号] 1947
- *170 流氓の生態 『学芸』37号 1948
- *171 中国のうかひふね 『同誌』『学芸』38号 1948
- *172 楽書 『同誌』『学芸』38号 1948
- *173 潞安の尼 『同誌』『学芸』38[31]号 1948[1947]
- *174 道場の鮮魚市 『コスモス』2号 1948
- *175 近江カルスト台地の生活 『本誌』『生活文化研究』第2冊 1953 [飯田喜代
子・安孫子保子共著]

- *176 色盲の多い村の生態 『滋賀県立短期大学雑誌B』 3号 1954
- *177 村の作物と村人の健康 『同誌』[『滋賀県立短期大学雑誌』「中野特集号」
1954
- *178 山神と野神 『同誌』 同号 [『滋賀県立短期大学雑誌』「中野特集号」] 1954
- *179 播州宍粟郡繁盛村民俗志 『本誌』[『生活文化研究』] 第6冊 1957
- *180 丹波大山民俗断片 『民俗』 3巻 1959
- *181 大阪の生活 [—ドライな大阪人] 『毎日新聞』 1959[10月11日] 民族学会
講演要旨 [日本人類学会・民族学協会連合大会]
- *182 出世譚 『冊府』 13号 1960
- *183 「座送り証文」追加 『民俗』 5巻 1961
- *184 「山内者」の生活 『大阪学芸大学紀要B』 10号 1962

J : 旅 行 記

- 185 故都三題 『獄水会誌』 1919
朝鮮平壤（高句麗）・扶餘（百濟）・慶州（新羅）三故都の旅行記。何せ中学の
時にはり出された作文が叡山紀行で、旅も亦、子供のころからのホビーだった
らしい。
- 186 和蘭ユトレヒトより 1～2 『教会時報』 1927
- 187 ルーテルの町々 1～3 『同誌』[『教会時報』] 1928
- 188 伊勢の浜萩 『京都化学学会会報』 19号 1930 ヨーロッパ旅行記
- 189 南紀採集記 『同誌』[『京都化学学会会報』] 20号 1930
- 190 紙・寒天・竹細工 『同誌』[『京都化学学会会報』] 21号 1931
- *191 鯉の旅 『同誌』[『京都化学学会会報』] 22号 1931
- *192 往返東三省記（謝彬の紀行の翻訳） 『同誌』[『京都化学学会会報』] 23号
1932
- *193 牡蛎をダシにして歩いた話 『同誌』[『京都化学学会会報』] 23号 1932
- *194 当世異国商売往来（187を増補したもの） 1～8 『家事と衛生』 8～9巻
[8巻8～12号, 9巻2・4・7号] 1932/33
- *195 吉備談語 『京都化学学会会報』 24号 1933
- *196 新撰丹波風土記 『同誌』[『京都化学学会会報』] 24号 1933
- *197 北山時雨 『同誌』[『京都化学学会会報』] 25号 1934
- *198 浄瑠璃日記 『同誌』[『京都化学学会会報』] 25号 1934

篠田統資料目録Ⅰ（著作目録）

- *199 高見・大台 『同誌』[『京都化学学会会報』] 25号 1934
- *200 関三州 『同誌』[『京都化学学会会報』] 28号 1936
- *201 新撰山城風土記 『同誌』[『京都化学学会会報』] 28号 1937
- *202 土塩を見る 『学芸』31号 1947
- *203 佐曾利村 『村』26号 1949
- *204 美作国新庄村 『本誌』[『生活文化研究』] 第9冊 1960
- *205 伊奈の春 『本誌』[『生活文化研究』] 第12冊 1963

K：農業・その他

- *206 什錦炒飯 『京都化学学会会報』26号 1935 シナ関係雑話集なり
- *207 農村の機械化・農村の科学化 『村』3号 1946
- *208 植物栽培業 『村』16号 1948
- *209 皆さん、どう思いますか 『村』19号 1948
- *210 不怕 『暁星』1号 1949 不怕というシナ語の注釈
- *211 山羊と開拓団 『村』32号 1949
- *212 農民の無自覚 『村』42号 1950
- *213 農業教育の方向 『村』44号 1950
- *214 開拓のその後 『村』60号 1952
- *215 農村の栄養と山村の栄養 『村』61号 1952
- 216 麴塵——風俗史における漢字の問題 『風俗』1巻2号 1961
- *217 風俗史ニオケル漢字ノ問題 『カナノヒカリ』10号 1962 上記の要旨

L：単行書

- 218 『比較消化生理』『岩波講座「生物学」』所収 1931 再版あり
- *219 『米と日本人』 角川新書 1961
- 220 『すし』 下田吉人編『調理科学講座』所収 1962 飯田喜代子共著

追加

- 221 すしの話 『京都の化学工業』5号 1961（講演筆記）

歌や俳句（のようなもの）なんか省略したし、脱漏も多少はあるだろうが、これで一応は私という男の生き方が判っていただけれると思う。（シノダ）

「その後の著作目録」

1931年

222 樺太及び北海道見学旅行 『京都化学学士会会報』22号 11月

1932年

223 南唐李詞試訳 『京都化学学士会会報』23号

1934年

224 織物と昆虫 『染織談話会講演集』5月13日

*225 比叡の鳥 『ADONIS』私家版

1937年

226 カップシムシの生化学 掲載誌不明

1944年

*227 蚤の嗅覚 [北支軍への報告書] 5月25日

*228 青島及芝罘ノ生物 [北支軍への報告書] 10月

*229 北支の昆虫防疫 [北支軍への報告書] 12月

*230 河川中の虱 [北支軍への報告書]

*231 セスジャブカの分布 [北支軍への報告書]

1947年

*232 編集後記 『学海』二月号 第4巻第2号 2月 秋田屋

1949年

*233 夏と蠅 『京都市衛生月報』14号 8月

*234 恐怖の蚊 京で発見 『都新聞』9月25日

1950年

*235 水爆昆虫サンショウバエ 『国際新聞』3月14日

*236 おすしの由来 小冊子

1952年

*237 西能勢概況 その一 『生活文化研究』第1冊

1953年

*238 三ヶ牧村生活実態調査報告 『生活文化研究』別冊 6月

*239 個人の限界——天工開物訳後感 『[京都大学人文科学研究所] 所報』第37号
11月

*240 胃袋と健康 『村』第81号

篠田統資料目録 I (著作目録)

1954年

- *241 すしの權威にきく 『東京新聞』 2月
- *242 酒を造る人——杜氏について 『[京都大学人文科学研究所] 所報』 第39号
4月
- *243 志摩国片田村生活実態調査報告 『生活文化研究』 第3冊 7月
- *244 杜氏の動き [近畿における前近代産業の総合的調査] 『調査だより』

1955年

- *245 河内長野市滝畑生活実態調査報告 『生活文化研究』 第4冊 7月 (大阪学
芸大学家政科教室調査の代表として取りまとめ)

1957年

- *246 杜氏の生態について 『醸造タイムス』 7月 (第五回酒造講習会講演要旨)
- *247 杜氏の生態について 『醸造新報』 7月 (同上)
- *248 東亜の鮓・日本の鮓 『寿司の友』 創刊号

1958年

- *249 米食の科学 『読売新聞』 11月17日

1960年

- *250 大阪人の生活意識 『大阪倶楽部会報』 79号 [7月]
- *251 スシにも古典がある 『大阪新聞』 10月26日

1961年

- *252 座談会 食生活とマス・メディア 『淡交』 増刊第9号 (吉田光邦・加藤秀俊
と鼎談)
- *253 生活実態調査報告——大阪府三島郡三島町鳥飼地区 大阪学芸大学刊行

1962年

- *254 京の料理と食物 『京都のすべて』 8月 至文堂刊行 [「作品目録」の099の単
行本版]

1964年

- *255 古代の米と酒 『大阪新聞』 2月25日
- *256 スシいまむかし 『大阪新聞』 2月26日

1965年

- *257 作品目録 『生活文化研究』 別冊『篠田統先生退官記念論文集』 (『生活文化研
究』 第13冊) の別刷 1月
- *258 略歴 同上

- *259 お断り 同上
- *260 食経考追加その他 同上
- *261 名婦伝 『退官記念講演(要旨)』2月 退官記念講演会パンフレット
- *262 生活実態調査報告 『生活文化研究』第14冊 10月 大阪学芸大学家政科教室
調査の代表として取りまとめ

1966年

- *263 『すしの本』1月 柴田書店[初版]
- *264 すしの本補訂 油印私家版 2月 (上記の補訂表)
- *265 日本酒の源流 『風俗』6巻4号 3月
- *266 お米のはなし——すしと酒と巡って 『日観連旅館経営研究シリーズ』18 7
月
- *267 握り飯 『風俗』6巻1号 8月
- *268 産業界が女子教育に望むもの 『日々グラフ』11月1日号

1967年

- *269 すしの「馴れ」について 食品科学会パンフレット 2月
- *270 羊羔酒 『四条啜学園女子短期大学研究論集』1 3月
- *271 飲膳正要について 藪内清編『宋元時代の科学技術史』京都大学人文科学研究所
所刊行 3月 [341・466に所収]
- *272 宋元酒造史 藪内清編『宋元時代の科学技術史』京都大学人文科学研究所刊
行 3月 [341・466に所収]
- *273 河内風俗聞書1 『四条啜学園女子短期大学研究論集』1 3月
- *274 「種蒞譜」と朝鮮の甘藷 『朝鮮学報』第44輯 7月 (影印『種蒞譜』の解
説)
- *275 苗代川——薩摩焼の食器類について 『風俗』7巻1号 10月

1968年

- 276 暮しの中の中国 貝塚茂樹・桑原武夫編『日本と中国』講座「中国」第5巻
筑摩書房 1月
- *277 日本酒の源流 (金関丈夫博士古稀記念委員会編)『日本民族と南方文化』2月
平凡社 [304に所収]
- *278 On the Origin of Japanese Sake Brewery (金関丈夫博士古稀記念委員会
編)『日本民族と南方文化』英文パンフレット 2月
- *279 『家政学序説』京都 化学同人社 長崎多美子氏と共著

篠田統資料目録 I (著作目録)

- *280 短大二十年 『四条畷学園女子短期大学研究論集』第2号 3月
- *281 河内風俗聞書2 『四条畷学園女子短期大学研究論集』第2号 3月
- *282 中国の食べ物と飲み物(一) 『中国古典文学大系月報』7 4月 平凡社
- *283 中国の食べ物と飲み物(二) 『中国古典文学大系月報』8 5月 平凡社
- *284 食品の調理と料理—日本酒をふくむ— 日本風俗史学会編『近代日本風俗史』
第5巻 5月 雄山閣
- *285 お豆腐のはなし 『楽味』6月
- *286 中国の食べ物と飲み物(三) 『中国古典文学大系月報』9 6月 平凡社
- *287 お豆腐の歴史 食品科学会編パンフレット 8月
- *288 豆腐考『風俗』8巻1号 11月 (『大陸雑誌』第42巻第6期に干景讓の中国訳
あり)
- *289 鋤焼雑考 『風俗』8巻1号 11月

1969年

- 290 『天工開物』 東洋文庫130 平凡社 1月 (宋応星撰・藪内清他訳注)
- *291 「序文」『すし調理師への道』刊行者不明 4月
- *292 食品の調理と料理—日本酒をふくむ— 『食生活近代史』雄山閣 6月 [284
の外題換]
- *293 舌ざわり・後あじ——日本の味について 『Energy』23号 10月 [328に所
収]
- *294 大陸の蕎麦 植原路郎・薩摩卯一共編『そばの本』柴田書店刊行 7月
- *295 米・酒・すし——食生活 [中尾佐助上山春平との対談] 上山春平・梅原猛共編
『シンポジウム：日本と東洋文化』7月 新潮社刊行
- *296 洋食のことはじめ 『月刊健康』62号 6月号

1970年

- *297 燕窩 『日本歴史』1月号 通巻第260号 1月
- *298 『すしの本』 6月 柴田書店 [改版]
- *299 うしおとせんば——調理と食塩 『風俗』9巻2号
- *300 すしの進化(講演要旨) 『同志社家政』3号 3月
- *301 とんでもない「おせち代打説」『朝日新聞』12月26日
- *302 キヌガサタケの食べ方 『日本菌学会会報』11巻3号 12月
- *303 近世食経考 藪内清・吉田光邦共編『明清時代の科学技術史』京都大学人文科
学研究所刊行 [341・466に所収]

- *304 『米の文化史』 7月 社会思想社 [『米と日本人』の増補改訂版]
- *305 自著を語る——『米の文化誌』—— 農業共済新聞 11月
- *306 松茸中毒異聞 『日本菌学会会報』11巻3号 12月
- *307 寝屋川の舟運 『風俗』9巻1号 7月
- *308 大陸のすし 『楽味』9月
- *309 珍談松茸中毒 『楽味』10月号
- *310 竹蓐と虫草 『楽味』11月
- *311 冬虫夏草のたべかた 『日本菌学会会報』11巻3号 12月
- *312 老牛芹について—芝罘の思い出— 『衛生京都』251号 11月15日

1971年

- *313 民衆生活ノート(1) 『季刊人類学』2-1 [486に所収]
- *314 民衆生活ノート(2) 『季刊人類学』2-2 [同上]
- *315 民衆生活ノート(3) 『季刊人類学』2-3 [同上]
- *316 民衆生活ノート(4) 『季刊人類学』2-4 [同上]
- *317 お米のこわさ 『楽味』正月号
- *318 食物史のすすめ 『楽味』2月号
- *319 純粋食品 『楽味』3月号
- *320 草餅 『楽味』4月号
- *321 竹雑話 『楽味』5月号
- *322 蛙 『楽味』6月号
- *323 北京の夏 『楽味』7月号
- *324 うり物語 『楽味』8月号
- *325 寺納豆と糸曳納豆 『楽味』
- *326 あまづら——古代の甘味料—— 『楽味』
- *327 食物の季節感 『Energy』30号 7月
- *328 舌ざわり・後あじ——日本の味について—— 『Energy』特別号「論集＝日本文化」10月 [349に所収]
- *329 節分そのおい立ち 『朝日新聞』[家庭欄]
- *330 大学教授 『三高同窓会会報』39号 3月
- *331 メモ——すし——[談] 『サンケイ新聞』[「ホームニュース」] 4月8日
- *332 粽と柏餅 『古事類苑 [吉川弘文館版] 月報』49号 4月
- *333 鮎用植物志 『季刊 植物と文化』夏号 [創刊号]

篠田統資料目録 I (著作目録)

- *334 日新雑誌 『日本歴史』 8月号 通巻第279号
- *335 指標植物 『衛生京都』 261号 9月15日
- *336 豆腐考 [林海音他編] 『中国豆腐』 [台北] 純文學出版社 10月 [288の千景讓氏中国語訳]
- *337 主食と副食・食品・酒・茶と菓子 『日本を知る事典』 社会思想社 [分担執筆] 10月 [488で再刊]
- *338 すしの歴史 『月刊 専門料理』 6巻3号 3月
- *339 シナにおける菌の栽培史 『日本菌学会会報』 12巻
- *340 御膳所日記のキノコ 『日本菌学会会報』 12巻

1972年

- *341 『中国食経叢書』 上・下二冊 田中静一との共編著 書籍文物流通会刊行
上巻4月・下巻 9月
- *342 民衆生活ノート(5) 『季刊人類学』 3-1 [486に所収]
- *343 民衆生活ノート(6) 『季刊人類学』 3-2 [同上]
- *344 民衆生活ノート(7) 『季刊人類学』 3-3 [同上]
- *345 民衆生活ノート(8) 『季刊人類学』 3-4 [同上]
- *346 主食と文化形態——あるいは「主食亡国論」 『Energy』 Vol. 9 No. 1
「特集=食事文化」31号 1月[364に所収] [他に中国/北京/漢人, イタリア/ナポリ/イタリア人, オランダ/ユトレヒト/オランダ人のアンケートが掲載されている]
- *347 食べて来た台北 『楽味』 4月号
- *348 荆楚歳事記 『季刊 植物と文化』 3号 [冬号]
- 349 舌ざわり・後あじ——日本の味について—— 『日本文化と世界——論集・日本文化②——』 [講談社現代新書] 6月 講談社
- *350 新刊紹介 [古川瑞昌著] 『餅の博物誌』 『風俗』 11巻1号 11月20日
- *351 台北雑記 『風俗』 11巻1号 11月20日
- *352 地生毛 『日本菌学会会報』 13巻
- *353 テングノムギメシ3則 『日本菌学会会報』 13巻
- *354 「おかず」とは「食欲増進剤」? 『婦人画報』 2月号

1973年

- *355 民衆生活ノート(9) 『季刊人類学』 4-1 [486に所収]
- *356 民衆生活ノート(10) 『季刊人類学』 4-2 [同上]

- *357 民衆生活ノート(11) 『季刊人類学』 4-3 [同上]
 - *358 民衆生活ノート(12) 『季刊人類学』 4-4 [同上]
 - *359 お豆腐の歴史 『食物と健康』 春季号 3巻1号(通巻第9号) 3月
 - *360 お米の歴史(1) 『食物と健康』 秋季号 3巻3号(通巻第11号) 9月
 - *361 お米の歴史(2) 『食物と健康』 冬季号 3巻4号(通巻第12号) 12月
 - *362 甘藷の伝来 『季刊 植物と文化』 8号 春号
 - *363 漁村の食事 『Energy』 第10巻第1号 35号 1月
 - *364 主食と文化形態——あるいは「主食亡国論」 『世界の食事文化』 ドメス出版
9月
中国/北京/漢人 同上
イタリア/ナポリ/イタリア人 同上
オランダ/ユトレヒト/オランダ人 同上
 - *365 つや(人間を考える 23)(藤岡喜愛氏との対談) 『放送朝日』 11月号 12月
[383に所収]
 - *366 ウメの文化史 『いけばな芸術全集』 2「梅・おもと編」 11月
 - *367 食える野草・食はぬ野草 『風俗史学会会報』 161号 12月
 - *368 続せんば 『風俗』 11巻2号
 - *369 再びマツタケ中毒について 『日本菌学会会報』 14巻
 - *370 八丈島の菌 『日本菌学会会報』 14巻
- 1974年
- *371 『中国食物史』 柴田書店 6月
 - *372 民衆生活ノート(13) 『季刊人類学』 5-1 [486に所収]
 - *373 民衆生活ノート(14) 『季刊人類学』 5-2 5月 [同上]
 - *374 民衆生活ノート(15) 『季刊人類学』 5-3 [同上]
 - *375 民衆生活ノート(16) 『季刊人類学』 5-4 [同上]
 - *376 台湾山地民食生活警件 『季刊人類学』 5-2 5月 [尾崎千恵子と共同執筆]
 - *377 塩を嘗めない人々 『月刊健康』 2月号
 - *378 粽と柏餅 『月刊健康』 6月号
 - *379 すしの歴史① 『食物と健康』 夏季号 4巻2号(通巻第14号) 6月
 - *380 すしの歴史② 『食物と健康』 秋季号 4巻3号(通巻第15号) 9月
 - *381 新・食物史 [石毛直道・大塚滋と分担執筆] 『読売新聞』 「日曜版」 1月~11

月 [408に所収]

- *382 素人食物史学論 『風俗』12巻3号 5月
- *383 つや——藤岡喜愛氏との対談 藤岡喜愛編『対談：続・人間を考えるⅡ』 5月 社会思想社
- *384 塩のない食生活（台湾のタイヤル族） 食品科学会編 食品科学会6月例会テキスト 6月5日
- 385 雑茸を愛でる——味の文化史 『魚菜 '74』
- 386 塩味の分布——味の文化史 『魚菜』
- 387 箸二本史——味の文化史 『魚菜』

1975年

- *388 民衆生活ノート(17) 『季刊人類学』6-1 [486に所収]
- *389 民衆生活ノート(18) 『季刊人類学』6-2 [同上]
- *390 民衆生活ノート(19) 『季刊人類学』6-3 [同上]
- *391 民衆生活ノート(20) 『季刊人類学』6-4 [同上]
- *392 いもの歴史(1) 『食物と健康』春季号 5巻1号（通巻第17号） 3月
- *393 いもの歴史(2) 『食物と健康』夏季号 5巻2号（通巻第18号） 6月
- *394 小豆雑煮 『放送朝日』1月号 2月
- *395 油木菟薺と神石牛 『放送朝日』2月号 3月
- *396 たたら山 『放送朝日』3月号 4月
- *397 野鍛冶 『放送朝日』4月号 5月
- *398 野崎参り 『放送朝日』5月号 6月
- *399 粽と柏餅 『放送朝日』6月号 7月
- *400 川裾祭 『放送朝日』7月号 8月
- *401 寝屋川船頭ばなし 『放送朝日』8月号 9月
- *402 竹崎老人昔話 『放送朝日』9月号 10月
- *403 武家屋敷 『放送朝日』10月号 11月
- *404 地杜氏・地酒屋 『放送朝日』11月号 12月
- *405 台湾タイヤル族聞書 『放送朝日』12月号 1月[1976年]
- *406 琵琶湖の食べ物（連載 びわ湖考②） 『水と人間』2号 3月
- *407 若草ばなし 『月刊 健康』4月号
- *408 『食物史』中公新書403 中央公論社 7月（石毛直道・大塚滋との共著）
- *409 中国文化と日本の風俗——食生活に及ぼした中国文化の影響—— 『風俗』13

卷4号 9月

- *410 日本の鮓 『婦人画報』 4月号
- *411 文様と食用作物 [河原正彦他編] 『日本の文様』 <21> 「五穀・果実」 光琳社出版

1976年

- *412 『豆腐の話』 駸々堂ユニコンカラー双書020 [秋山十三子と共著] 駸々堂出版
- *413 『料理』 『別冊太陽14』 平凡社
- *414 民衆生活ノート(21) 『季刊人類学』 7-1 [486に所収]
- *415 民衆生活ノート(22) 『季刊人類学』 7-2 [同上]
- *416 民衆生活ノート(23) 『季刊人類学』 7-3 [同上]
- *417 民衆生活ノート(24) 『季刊人類学』 7-4 [同上]
- *418 料理秘伝記——天明ころの江戸鮓—— 『食物と健康』 春季号 6巻1号(通巻第21号) 3月
- *419 料理山海郷——異国料理の浸透 『食物と健康』 夏季号 6巻2号(通巻第22号) 6月
- *420 臨時客応接、『食物と健康』 秋季号 6巻3号(通巻第23号) 9月
- *421 虚南留別志 『食物と健康』 冬季号 6巻4号(通巻第24号) 12月
- *422 料理うらの裏 『月刊 健康』 141号 1月
- *423 きのこと雑記 『月刊 健康』 150号 10月
- *424 京の茸・江戸の茸 『知の考古学』 1・2月号(通巻第6号) 1月
- *425 お袋の味(随筆) 『婦人公論』 2月号 61巻2号
- *426 最後の晩餐のために——対談 開高健「わがフォークロア」 『旅』 4月号 [446に所収]
- *427 八宗兼学一条の道 座談会 加藤秀俊・小松左京との鼎談 「連載座談会 碩学に聞く」 『本』 第3号 6月 [479に所収]
- 428 解説 『江馬務著作集』 第5巻「食事と住居」
- *429 慶応三年鹿児島旅日記より 『西日本文化』 126号 11月
- *430 春の鮓(日本のたべもの再考1) 『栄養と料理』 4月号
- *431 粽(日本のたべもの再考2) 『栄養と料理』 5月号
- *432 梅干し(日本のたべもの再考3) 『栄養と料理』 6月号
- *433 鰻(日本のたべもの再考4) 『栄養と料理』 7月号
- *434 素麺(日本のたべもの再考5) 『栄養と料理』 8月号

篠田統資料目録Ⅰ（著作目録）

- *435 小豆（日本のたべもの再考6）『栄養と料理』9月号
- *436 豆腐（日本のたべもの再考7）『栄養と料理』10月号
- *437 芋（日本のたべもの再考8）『栄養と料理』11月号
- *438 さつまいも（日本のたべもの再考9）『栄養と料理』12月号

1977年

- 439 『増訂 米の文化史』10月 [298の改訂版] 社会思想社
- 440 『ごはんの話』 駈々堂ユニコンカラー双書044（後藤金吉と共著） 駈々堂出版
- *441 カワチシャとホザキノフサモ 『季刊 植物と文化』第20号
- *442 料理通 『食物と健康』春季号 7巻1号（通巻第25号） 3月
- *443 年中番菜録 『食物と健康』夏季号 7巻2号（通巻第26号） 6月
- *444 西洋料理通 『食物と健康』秋季号 7巻3号（通巻第27号） 9月
- *445 食道楽 『食物と健康』冬季号 7巻4号（通巻第28号） 12月
- 446 人を食った人たち——開高健と対談『悠々として急げ』（開高健対談集） 日本交通公社 3月
- *447 植物と多種多様の酒 『週刊朝日百科 世界の植物』83号 6月26日
- *448 素麺 『そうめん』第1集 三輪そうめん山本 7月
- *449 中国文人の酒と肴 『NHK「趣味の手帳」より 酒と私』 文化出版局 9月
- 450 序 中沢正著・篠田統監修『日本料理史考』11月 柴田書店
- *451 食べ物と行事 『風俗』16巻1号 12月
- *452 随筆と私 『日本随筆大成』第三期第17巻 付録 吉川弘文館 12月
- *453 稲米雑話 『食生活』71巻12号（通巻第810号） 12月
- *454 もち（日本のたべもの再考10）『栄養と料理』1月号
- *455 漬物（日本のたべもの再考11）『栄養と料理』2月号
- *456 白酒（日本のたべもの再考12）『栄養と料理』3月号
- *457 鶏（日本のたべもの再考13）『栄養と料理』4月号
- *458 筍と木の芽（日本のたべもの再考14）『栄養と料理』5月号
- *459 鱈（日本のたべもの再考15）『栄養と料理』6月号
- *460 土用（日本のたべもの再考16）『栄養と料理』7月号
- *461 盆（日本のたべもの再考17）『栄養と料理』8月号
- *462 彼岸のぼたもち（日本のたべもの再考18）『栄養と料理』9月号
- *463 山果（日本のたべもの再考19）『栄養と料理』10月号

- *464 お粥（日本のたべもの再考20）『栄養と料理』11月号
- *465 肉食（日本のたべもの再考21）『栄養と料理』12月号
- 1978年
- *466 『中国食物史の研究』9月 八坂書房
- *467 『暮らしの知恵——考える生活科学』玉川選書 玉川大学出版部 4月
- 468 『すしの話』 駸々堂ユニコンカラー双書060 駸々堂出版
- *469 『図説 江戸時代 食生活事典』日本風俗史学会編 雄山閣（川上行蔵と共に編集代表）
- *470 『料理文献解題』川上行蔵編著 柴田書店〔分担執筆〕
- *471 稲米雑話 『食生活』72巻1号（通巻第811号）1月
- *472 稲米雑話 『食生活』72巻2号（通巻第812号）2月
- *473 民衆生活ノート(25) 『季刊人類学』9-1 [486に所収]
- *474 料理食道記 『食物と健康』春季号 8巻1号（通巻第29号）3月
- *475 料理の歴史を見わたす——料理文献解題—— 『食物と健康』8巻2号（通巻第30号）6月
- 476 すしの種類と分布（大野晋・祖父江孝男編集）『日本人の原点2 文化社会・地域差』〔現代のエスプリ 臨時増刊号〕至文堂 3月
- *477 関西ずしの系譜 [荒木信次編]『すし技術教科書 関西ずし編』旭屋出版 5月
- *478 新おあむ物語——機無女聞書 [篠田有策著]『椰子の落葉』〔私家版〕8月（附録として所収）
- 479 篠田統八宗兼学一条の道——加藤秀俊・小松左京との鼎談（加藤秀俊・小松左京編著）『学問の世界 碩学に聞く⑤』〔講談社現代新書515〕講談社 8月
- 480 偏食のすすめ 『人生読本 食べもの』河出書房新社 10月
- *481 江戸と上方（日本のたべもの再考22）『栄養と料理』1月号
- *482 南の旅・北の旅（日本のたべもの再考23）『栄養と料理』2月号
- *483 家庭の帰化料理（日本のたべもの再考24）『栄養と料理』3月号
- *484 江戸期の人びとは意外に肉がお好き〔談〕? 〔特集=食いもの文化〕掲載誌不明
- *485 酒というもの——坂口謹一郎・田中静一・薄井恭一との座談会 『月刊食堂別冊 居酒屋』3号 2月

1979年

篠田統資料目録Ⅰ（著作目録）

- *486 『風俗古今東西』 1月 社会思想社
487 『日本風俗史事典』（日本風俗史学会編） 弘文堂 2月 [項目分担執筆]
488 主食と副食・食品・酒・茶と菓子 『日本を知る小事典』 3 現代教養文庫
1003 社会思想社 [分担執筆] (337の再刊)
- 1980年
489 「米・貧乏人・多産」 『巻頭随筆』（Ⅱ） 文芸春秋社 3月25日 [155の再録]
- 1982年
490 『すしの本』（日本料理技術選集） 柴田書店 2月 [再版]
491 『料理文献解題』（川上行蔵編著） [日本料理技術選集] 柴田書店 2月 [再版]
- 1985年
492 『米と日本人』『食の風俗民俗名著集成』 第2巻 [解説 平野雅章，あとがき
篠田熙] 東京書房社 [220の復刊]
- 追加
- 1952年
*493 生活改善と局地性 『村』62号 3月
- 1954年
*494 手織木綿によせて 『村』90号 9月
*495 近江の鮓 『あまカラ』30号 2月
*496 中国の鮓 『あまカラ』33号 5月
*497 お願い 『生活文化研究』第3冊 7月（「大阪府豊能郡西能勢村正月風俗」
末尾附載）
- 1968年
*498 お酒の神様 『甘辛春秋』冬の巻 11月
- 1974年
*499 すし博士随談（聞き手 吉野昇雄） 『近代食堂別冊 すしの雑誌』 1月
- 1978年
*500 日本人と米のめし 『日本の味——魚菜と郷土料理——』 朝日新聞社 10月

フィールド・ノート

〔解説〕

ここでフィールド・ノートと分類した資料のおもなものは、野外調査のさいに記した観察メモ、聞き書きの類である。調査地で古文書や戸籍などを手写した資料もこのなかにふくまれている。ただし、手写ではなく、写真複写した古文書はⅡの「古文書目録」の部類に収録されている。また、研究ノート、訳稿もこのフィールド・ノートの分類のなかにおさめられているが、その冊数はすくない。

フィールド・ノートの大部分はB5判の手製本の体裁のものである。すなわち、二つ折りにしたワラ半紙の本文に厚紙の表紙をつけて和綴じにし、表紙および背にうす茶色のハترون紙を貼りつけて製本してある。背表紙には『西のせ村 1 昭二四・二五』といったぐあいに調査地、一連のフィールド・ノートのあるときには通しナンバー、調査年などを、おおくの場合フェルトペンで書いて、タイトルとしている。本文ではひとまとまりの記載事項が変わるごとに、見出しのタイトルを記した中扉の頁を挿入し、中扉頁の天と束の部分に朱塗りにして、本文頁と区別して合本している。表紙のつぎに目次頁があり、そこには中扉に記入した見出しタイトルが順に記されている。これが標準的なフィールド・ノートの体裁であるが、すべてのノートがこの体裁を採用しているわけではない。

おそらく篠田先生は調査のさいには二つ折りにしたワラ半紙を持ちあるき、それに聞き書きなどをノートしたものと思われる。このようにして記録の書きこまれたワラ半紙を関連資料と共にテーマ別に大型の封筒にいれて保管しておき、そのテーマについての資料のまとまりがついた段階で、製本をしたものと思われる。そのさいサイズの小さな関連資料はワラ半紙に貼りつけて、パンフレット類はそのまま本文といっしょに綴じて製本している。そのうち製本するつもりで置いているうちに、病床についたために未製本のまま残されたものと考えられる、ワラ半紙のノートや資料類を封筒にいれたものも残されている。それらは先生が健在ならば当然合本されたはずのものであるので、この目録には「未製本」というただし書きを付して収録している。

先生が精力的に野外調査をおこなったのは、大阪学芸大学在職中の昭和20年代中頃から30年代後半にかけてであり、この時代のフィールド・ノートがおおい。それは高度成長経済の影響で日本人の生活様式がすっかり変貌する直前の時期にあたる。伝統的なくらしや民俗の最後の記録として、これらのノートは貴重な資料である。

先生はある地域についての調査をおこなうとき、その調査の目的とするテーマについて観察記録や聞き書きのノートをするばかりではなく、対象地域の全般的な情報を克明に記載することをこころがけていたようである。調査時点での人口や世帯数、集落の概観、寺社、農作物、産業、職業の種類、野生動植物、年中行事とその食物、講、婚姻の習俗や通婚圏、葬墓制、家屋形式、民謡、伝説、商店で売る品物の種類などが記されている。その地域の全体像の理解のうえにたつて、目的とする調査テーマをうかびあがらせようというアプローチである。それはまた、すべての物事におうせいな好奇心をもち、いくつもの研究分野の交差するところに独自の説を立てられた先生の学風をしめすものでもある。

そこで、これらのノートはおなじ地域を将来調査する者にとってはかけがえのない基礎資料として役だつはずである。いまでは消滅してしまい、そのことを知る老人もほとんどいなくなった、その地域に関する総合的な情報が記録されているのである。おなじ地域を調査したり、研究するさいには、まず先生のノートを読むことによって失われた村のありさまやくらしについて知ることができる。

メモ魔とでもいうべき先生のことである。調査記録ばかりではなく、その調査に関する先生の行動についての記録があわせて合本してあるノートもおおい。それには旅程の記録、汽車やバスの時刻表を写したり貼りつけたもの、旅費、宿泊費、旅先での買物などを記した会計録、「道中献立」と題する調査期間に食べた食事の献立を記録したものなどがある。これらは風俗史の資料として利用価値がたかい。

このようにきわめて資料価値のたかい記録であるが、それを読みとるのはかならずしも容易ではない。フィールドでのなぐり書きのものおおいので、判読に苦労することがあり、老化して変色したワラ半紙にエンピツで記されているものは現在でも読みづらく、将来の保存に関してはなんらかの処置をこうじなくてはならないと考えている。筆跡の読みづらさだけでなく、内容に関する解読のむずかしさがある。字名だけで記された記録などは、市町村合併や地名改正ののちの現在となつては、それがどこでの調査記録であるかをあきらかにするだけでもひと苦労であった。また、なかにはラテン語を使用した記述などもある。

内容が多岐にわたるこれらのノートの「解題」を、図書分類目録のような客観的な項目を設定して記述することはむずかしい。そこで、キーワード方式とでもいったやりかたで、それぞれのノートに記されている内容を抄録することにした。すなわち、「解題」の[内容]という項では、まずひとまとまりの記録の小見出しを付したあとで、その記録の内容をしめす語彙をならべて読者にその項に記されている内容を想像して

もらえるようにした。その具体例をあげてみよう。

向之倉——風俗聞き書き：畑作物，山仕事，寺，縁組，神社と神事，講，兎，祭りの食事（五目鮓），干物，火祭り，簡易水道，医者，衛生，菜種，猪よけ，風呂，暖房，間取り図。

これは『武奈カルスト台地——昭二六』と題したノートの[内容]の一部である。この部分には向之倉（地名）での調査が記されているということをお見出しにつけ——ダッシュのあとにキーワードをならべてある。キーワードとして採用したことはノートに書かれていることばをなるべくそのまま使用するようにつとめたが，もとのノートにはないことばをつくって記した場合もおおい。たとえばこの例では，もとのノートにはアワ，キビ，ソバ，ゴボウについて記されている部分を「畑作物」ということばを使って総括して表現している。

このような記述法ではノートを読みとった者の主観が反映されることになる。また複数の者が読みとり作業にしたがった場合の記載方式や重要と思われる項目の選びかたなどの不統一はまぬがれない。ノートの約半分は石毛が読んで解題作業にあたったが，一冊を処理するのにときとしては一日がかりとなることもある仕事なので，何人かの人がとに読解，記載を手伝ってもらっており，そのための記述の不統一が生じている。また，原本に記された先生自身の記述も表記の統一がとれていないものである。「鮓」と表現したり，「すし」と書いたりしてあるし，先生独自のことば使いもある。読者に了解可能なかぎり，原文のニュアンスをなるべく伝えることにしたので，さまざまな表記法がまざっている結果になった。そのような不備があることを承知のうえで，この「解題」を利用されたい。フィールド・ノートの原本にあたるための手がかりとしての役目をはたすことが，この「解題」の使命であり，それ以上のくわしい情報はフィールド・ノートそのものを読んでもらうことである。

「解題」の記載形式については，つぎの凡例を参照されたい。

[凡例]

フィールド・ノートの一冊ずつについて，整理番号，タイトル，判形，縦書き・横書きの別，頁数，概要，目次，内容について記載してある。

1) 整理番号と配列

整理のためにつけたもので，原本にはない。原則として，年代順に配列してある。原本に年代の記してないもので，記録作成時がおおよそ推定できるものは年代順の配列にいれておいた。

昭和30年から昭和39年までのあいだに記録された「車窓日記」はまとめて分類番号133～146までのあいだに収録してある。「車窓日記」というタイトルは付してはいるが、旅行のさいに車窓から観察して専用の記録用紙に書きこんだ資料もここにまとめておいた。「車窓日記」の調査結果の一部は『暮しの知恵—考える生活科学』（玉川出版部1978年 所収）にまとめられている。

記録時が不明のフィールド・ノートは以後にタイトルのアイウエオ順に配列してある。

2) タイトル

原本の背表紙に記されている題名をそのまま記している。未製本のものは封筒に記されていた題名をタイトルとして採用している。原本の題名に調査年月が記されているものがおおいが、その表記法は一定してはいるが、漢数字を使用したもの、アラビア数字を使用したものが混在する。ここでは統一をせずに原題どおりに記してある。なお、タイトル以外の部分では、フィールド・ノートのなかに書き写されている文献の題名に漢数字が使用されている場合などの例外をのぞき、アラビア数字で統一してある。

3) 判形

ほとんどがワラ半紙を二つ折りにして手製本したB5判のものである。製本されずに封筒にいれられたままのものは「未製本」と記しておいた。

4) 縦書き、横書きの別はそのノートの大部分が縦書きになっているか、横書きであるかをしめすものである。したがって、横書きと記されているノートでも一部が縦書きである場合がある。

5) 頁数

おもての表紙のあとで最初に文字の記されている頁からはじまり、うら表紙の直前の本文頁までをかぞえて記してある。その間に中扉などで文字の記されていない頁もかんじょうにいれてある。

6) 概要

そのノートに記録されている調査の場所、年代、それに関連する先生の論文名などと内容の概略を記載してある。

7) 目次

原本に目次頁があるときは、そこに書かれている目次をそのまま記載し、原本に目次頁はなくとも中扉頁に大見出しが記されているものについては、それを順に記載して目次として使用している。未製本のものなど原本に目次、見出しのないものについては、まとまった内容ごとに編者が目次を作成した。

8) 内容

目次の小見出し，あるいは原本を読む作業にあたった者の判断で，ひとまとまりの内容の記録についての小見出しをつけ，ダッシュのあとに内容をしめすキーワードを配列した。小見出しは頁順にそって配列されている。キーワードも原則として原本における記載順にならべてあるが，おなじキーワードで表現すべき事項が前後してでてくる場合には一方が省略されている。

9) []

編者が推定して記入した事項は [] にいれて表記した。また読みとれない文字は，□で表記した。

001 支那の生物と農業と

B 5 判（横帳） 縦書き 194頁

昭和14年から16年の間に出版された産研調査資料なる中国の産業・自然などについての報告書を適宜、抜書きしたものを合冊、内扉には「支那 Biota」とある。

[目次]

1. 昭和十四年度 四川省農産統計 2. 山西農業事情 3. 山東省特用林産物 4. 河北定県土壤調査 5. 新疆のビオータ

[内容]

昭和十四年度 四川省農産統計——内扉に「(昭和十四年の調査) 重慶 抗戦力 調査日記室鉄平 昭十八・五月 人文閣」とある。重慶を中心とする鉄道図、県ごとの農産物、物産のとれ高を記す。

山西農業事情——最初に「山西省農業事情報告書 長谷川信美 産研調査八 昭十四・九月」とある。位置、累年気温、降水量、土地ごとの気温・水量を記す。

山東省特用林産物——最初に「山東省の特用林産物 華北産研調査一六 昭十六・六月 阪本智」とある。桐、胡桃、栗、竹、木炭、香末と神香の六項目について学名、呼称、産具などを記す。

河北定県土壤調査——最初に「河北省定研土壤調査報告 管野一郎 産研調査一八 昭十六・十二月」とある。植物・気候を記す。

新疆のビオータ——内扉に「S. P ナザロフ 著 齊藤大助訳 新疆省から印度へ 昭十八・六月 大和書店」とある。文中に登場する動・植物と土地の形状等が抜書きされている。また、ヤルカンドからスリナガルまでの手書きの地図が収められている。

002 二瓶 松田 北支の農具調査 昭和17年

B 5 判（横帳） 横書き 88頁

内扉に「北支の農具に関する調査 二瓶貞一、松田良一 華北産研調査報告 No. 13 昭17・12月」とある。北支における農具の種類・用法・主要作物の収穫法・調整法などを記したものの写し。

[目次]

1. 綜説 2. 各論 3. 主要作物の収穫と調整

[内容]

綜説——農具を耕墾用、攪砕用、肥料用、播種用、鎮圧用、中耕除草移植用、灌水用、収穫用、脱穀脱桴用、選別用、穀物加工用、乾燥貯蔵用、特用作物加工用、養畜用、運搬用、其他に分類、末尾に註及び参考資料を付す。

各論——農具の解説・適宜図を入れる。名称にはそれぞれ中国語の読みを付す。全94種。

主要作物の収穫と調整——小麦，高粱，玉蜀黍，粟，豆，水稻の収穫法と調整法を記す。

003 脚気史

B 5 判 横書き 20頁

おそらく講義に使用するために作成したと思われる孔版印刷(ガリ版)の資料を製本したもの。おおくの表，グラフ，化学構造式をふくむ。昭和23年前後に作成したものと推定される。

[目次] なし

[内容]

脚気の症候 (Symptom), 脚気病因 (Etiology), 諸説, 高木兼寛の考へ方, 榊順次郎の考へ方, 今までの結果の要約, 不足栄養分の探究, 健康と Vitamin B₁, 食餌の種類と Vitamin B₁ 需要, 現在日本 (1947) に於ける摂取実情, Vitamin B₂ 所要量, Folic Acid, Cholin, Vitamin C, Vitamin A, Vitamin K, 酵素の構造, Hyper Vitaminosis, 三浦守治の考へ方。

004 西のせ村 1 昭二四・二五

B 5 判 横書き 116頁

先生は大阪府豊能郡西能勢村の調査をしばしばおこない、大阪学芸大学の研究室でもこの地方の総合調査を手がけていたようである。「能勢街道」、「天王大阪七曲り」、「土ヶ畑民俗」(『風俗古今東西』社会思想社 1979年 所収) に能勢調査の思い出が記されている。本巻は昭和24・25年の調査記録を製本したものである。

[目次]

1. 長谷にて (昭和24年5月) 2. 天王 (昭和25年) 3. 北摂・領主表 4. 宗門帳・戸籍婚姻圏 5. 農協統計 6. 水棲昆虫消長表 7. 西のせ大概・総合調査座談会 8. 総合調査各種集計

[内容]

長谷にて——長谷で数人の人々に集ってもらい西能勢の年中行事と食事や民俗について語ってもらった聞き書き: 年中行事と食事, 雨乞い習俗, 小字, 名月姫, 養子, 日常の食事, 祭りの食事, 学童の弁当, 味噌, サンショウ, 川魚, 野生動物, クリ, 水田, 祠, 棄老伝説, 結納, 多い姓, 寺, 各集落の概観, 伊勢音頭, 浄瑠璃音頭, 江

州音頭、浄瑠璃、スモウ、長谷の戸数・世帯数・農家数・平均耕地面積・山林面積、農家の間取り図1。「大阪府豊能郡西能勢郡西能勢村正月風俗」森本弑・中田一郎・田中好・多田加寿子共著『生活文化研究』別刷（1954年7月）全8頁と多田加寿子氏の篠田先生あての注釈が貼りつけてある。その巻尾に「お願い」というタイトルで年中行事の食事、妊娠中・出産後・授乳中の食風俗について読者から情報を寄せられるよう篠田統名でのコラムがのせられている。

天王——B5判の罫紙6頁に縦書きで天王の地誌概略が記されている。里程、戸数、職業、田畑面積、米の供出量、多い姓、寺、狩猟頭数、墓制、神社、年中行事、寺名。

北摂・領主表——能勢を含む北摂地域の領主別に各村の石高を記した表を作成したもの。

宗門帳・戸籍婚姻圏——山辺、神山、長谷、栗栖地区を対象に宗門帳および明治以後の戸籍から配偶者の出身地を記した表を作成して通婚圏を集計している。

農協統計——西能勢村農業協同組合の第2回通常総会提出議案（昭和25年4月30日）、第3回通常総会提出議案（昭和26年5月13日、8頁）をとじこんである。これに農協の会計関係のさまざまな数字が記されている。ほかに手写した数字で、一般配給農家と転落農家数、農家人口、食塩販売量、作物面積と生産量、作物・果樹の生産量と生産者価格などが記されている。

水棲昆虫消長表——横欄に地名、縦欄に29種の水棲昆虫が学名で記されており、時期をたがえて、これらの昆虫の有無を記したものと水質検査のためであろう、6ヶ所で採水したさいの天候、気温、水温、pHを記したもの。

西能勢大概・総合調査座談会——おそらく、共同調査をしたさいに資料整理のためまとめの座談会を開き、その発表をノートしたものと推定される。人口・戸数・耕地面積などの数字、職業別戸数、教育、道路、ウシの飼料、高野豆腐、学童の長欠、方言の特徴、頼母子、講、進学率、高等教育、浄瑠璃、旧家、各地区の祭りの習俗、猪の子餅、祇園はやしの文句、その他の唄の文句、社寺、日常の食事、非農家の職業別人口、酒屋、荷物運搬、炭の輸送、クリ、昔の商業圏、村々の関係、結婚習俗、株、神社と祠の祭り、田植の儀礼、山ノ神、雑煮、山菜、西郷村の歴史と民俗を郷土資料から写す、「多田家嫡流枝葉御家人旧略記」の写し。

総合調査各種集計——学童の尿検査表、職業別戸数、年令階層別人口表、夫婦年令差の表、女の初婚年令表、親族・姻族間婚の表、室数・畳数・一人あたり畳数の表、家の方角の表、年令別家族構成の表、世帯主と家族の職業、出世時の体重などを各地区で集計している。ほかに村全体の集計表にしたものに、土地利用区分、農家戸数と

人口、自作と小作、定住世帯員と労働耕地状態、家畜頭数、ニワトリ・タマゴ、雑穀、カキの集計、農村工業の経営規模、村の会計に関する表、起立性蛋白尿の地区別の表がある。

005 西のせ宗門帳 長谷

B5判 横書き 274頁

年代不明ではあるが、「004 西のせ村1」“宗門帳・戸籍婚姻圏”の集計に使用した宗門帳の写しの内容と同一地区であるので、この順番にいれてある。内扉には「天保8酉年」とあり、次の頁に「長谷宗門帳 大植佐治郎蔵」とある。摂州能勢郡長谷村の宗門帳の写しの合本である。

[目次]

長谷宗門帳 1.文化14年（断簡） 2.文政12年（断簡） 3.天保6年（断簡） 4.天保8年（断簡） 5.天保14年 6.弘化2年 7.嘉永2年 8.嘉永5年

[内容]

文化14年（断簡）——扉には「文化14年 宗門帳 残簡 長谷」とある、それぞれの家の宗派、年齢、氏名、家族人数を記す。

文政12年（断簡）——扉には「文政12年 宗門帳 残簡 長谷」とある。記載内容・形態は上に同じ。

天保6年（断簡）——扉には「天保6年 宗門帳 残欠 長谷」とある。記載内容・形態は上と同じ。

天保8年（断簡）——扉には「天保8年 宗門帳 残欠 長谷」とある。記載内容・形態は上に同じ。

天保14年（断簡）——扉には「天保14年 宗門帳」とあり、記載方法も上に同じ、ただし本文書は名前を列挙した最後に檀那寺院を記す。

弘化2年——扉には「弘化2年 宗門帳 長谷」とある。記載形態・内容は上と同じ。

嘉永2年——扉には「嘉永2年 宗門帳 長谷」とある。さらに次の頁にまた、「嘉永二酉年 能勢郡長谷村宗門改帳 法華・禅・浄土」とある。記載形式・内容は上と同じ。宗派、年齢、氏名、家族合計人数などの項目がその内容である。

嘉永5年——扉に「嘉永5年 宗門帳 長谷」とあり、次の頁に「嘉永5 子年三月廿七日 大うえ左次郎」と記されている。本文書も先の宗門帳と同じく、宗派、年齢、氏名、合計人数が家族ごとに記されている。

006 西のせ宗門帳 神山 山辺 栗栖

B 5判 横書き 186頁

「005 西のせ宗門帳 長谷」同様年代不明であるが、地域が重複するので同時期に作られたものと判断してこの順番に記載することにする。内扉には「西のせ 戸籍宗門帳 2～2 神山, 山辺, 栗栖, 古仲寅太郎蔵」と記されている。五人組帳, 戸籍, 宗門帳を写したものの合冊。

[目次]

1. 神山——慶応2年五人組帳, 明治2年宗門帳, 明治3年宗門帳, 明治4年宗門帳, 明治4年戸籍, 明治5年戸籍 2. 山辺——嘉永4年宗門帳, 明治4年戸籍 3. 栗栖——明治4年戸籍

[内容]

慶応2年五人組帳——内扉に「慶応二年寅三月五人組帳 能勢郡神山村」とある。

明治2年宗門帳——内扉に「明治2年5月宗門改帳 能勢郡神山村」とあり, 各家の石高, 家族構成, 年齢を記す。

明治3年宗門帳——内扉に「明治三年四月午御宗門御改帳 摂州能勢郡神山村」とある。各家とも檀那寺, 家族構成, 年齢, 石高を記す。

明治4年宗門帳——内扉に「明治四年辛未三月宗門改帳 神山村」とある。記載内容は明治3年のものと同じ。

明治4年戸籍——内扉に「額田県 明治4辛未 12月 戸籍 卷3神山 桜井谷支配所」とある。家族氏名, 年齢を記す。

明治5年戸籍——内扉に「明治5歳十一月改 摂津国能勢郡第壹区神山村戸籍 戸長大植佐治郎支配」とある。家族氏名, 年齢を記し, 最後に男女人数合計(年齢別人数), 職別人数を記す。

嘉永4年宗門帳——内扉に「嘉永四年寅三月 宗門改帳山辺村 古仲寅太郎蔵」とある。戸籍と同じ記載形態をとり, 最後にそれぞれの檀那寺を記す。

明治4年戸籍——扉に「額田県 明治4辛未年 戸籍 桜井谷支配所 卷2山辺」とある。各家族とも氏名, 年齢を記す。

明治4年戸籍——扉に「額田県 明4辛未 12月 桜井谷支配所 戸籍 第一栗栖」とある。各家とも氏名, 年齢を記す。

007 [西能勢村 家別石高・家族調査票]

B 5判変形 (153×252 mm) 2枚

年代不明(昭和24・25年ごろと思われる)。フィールド・ノートの「西のせ宗門帳

神山・山辺・栗栖」に写した「明治4辛未三月宗門改帳 神山村」の内容を整理するために作った孔版印刷の表。各家の持高（石斗升合）と明治2～4年の家族構成を関連させた表である。

008 病床探訪録 昭二五

A5判 横書き 249頁

病院で入院患者からの風俗の聞き書きを綴ったものと、昭和28年4月19日から5月8日までの患者食の献立がある。

[目次]

1. 近江・高月 2. 阿佐 3. 土佐・本山 4. 阿波・美馬 5. 丹後・網の 6. 山城・三山木 7. 遠州・浜松 8. 筑前・田川 9. 京・松原 10. 紀伊・阿田和 11. 丹波・三ノ宮 12. 越後・塩沢 13. 近江・大原市場 14. 丹波・保津 15. 伯耆・大山 16. 石州・波子 17. 加賀・金沢 18. 越前・敦賀 19. 近江・岡山 20. 加賀・江沼 21. 因幡・岩美 22. 安芸・広島 23. 紀州・高野山 24. 因州・鳥取 25. 越前・福井 26. 丹後・宮津 27. 石州・岡見 28. 患者食献立 目次をつくってあるが、後の小タイトルと必ずしも一致していない。

[内容]

伊香郡・高月——片桐弥重氏：青年団，正月の行事食・雑煮，年中行事，雨乞い等の聞き書き。

阿波——新名看護婦君：すしについての聞き書き。

丹後——田中広亮氏：すし，年中行事，講等についての聞き書き。

山城・三山木——木原夫人：年中行事と行事食，講等についての聞き書き。

遠州・浜松——野入看護婦君：すしについて。

福岡・田川郡（香原と飯塚のマンナカ）——野中看護婦君：すしについて。

京都・松原——伊佐早千代子氏：すしについて。

紀伊・阿田和——丹波三宮のオバサン：すし，年中行事について。

新潟県・塩沢——農家食について。

甲賀・大原市場——井用昇氏：行事食，講，雨乞い等についての聞き書き。

保津——大西辰夫氏：祭，講，行事等についての聞き書き。

西伯・大山村・赤松——伊沢快伸氏：年中行事について。

金沢——金田看護婦君：すし，行事食について。

岩見——田中さん：行事食について。

広島——西田操氏：行事食について。

石州・国美村——石本寛一氏：魚，行事，特産物等についての聞き書き。

患者食——昭和28年4月19日より5月8日までの献立。

009 近江

B5判 横書き 272頁

内扉に「近江路」と記されている。昭和25・27・31・38年に滋賀県でおこなった聞き取り調査および文書調査の記録。先生自身が目次を付けているが内容の小タイトルと必ずしも一致していない。

[目次]

1. 堅田 2. 草津 3. 大曲 4. 幸津川 5. 野洲 6. 老蘇 7. 甘呂 8. 松原 9. 息長
10. 岩脇 11. 名和田

[内容]

堅田——昭和27年9月 宮川氏より，とある。「於堅田大宮社 中年中諸役并下行儀式」(永禄5年の日付あり)抄録。年間の供物，下行物の内容を記す。

草津——北川藤九郎氏談：手織，藍染め，型置き職人，繊維製品の価格，馴れ鮓。湖南バス時刻表。北川夫妻談：染色，阿波の藍の前は地藍，年間の仕事，瓶。

五条・下笠——中年女性達の談：青花，野菜，仲買。

水口・干瓢(飯田喜代子・尾崎千恵子・小泉恭子同道)昭和38年8月19日——中山寺家の子供談：干瓢をむく道具(挿図)，干し方，用途(自家用・贈答用)。松田食物店での聞き書き：干瓢むきの道具，農協。徳野曠平氏談：干瓢作りの歴史，播種，草かき，収穫，採種，作付，出荷，干瓢むき，漂白，燻蒸，野洲との比較，用途(すし，大豆と煮るなど)。福田善造氏談：皮むき，干し場。伊勢亀山市役所の小使いさん談：亀山の概況。

近江・車中 紺喜(下田)昭和31年——開発，内田秀雄氏からの葉書を貼る。中村氏出書信の写し(水口の干瓢作りについて)をとじる。汽車の窓から見た女子労働服の統計(区間：犬上一神崎，蒲生一栗太，他)。紺喜(甲賀郡下田)での聞き書き(1956年2月)：瓶数，地藍，近在の紺屋。三雲一八幡間国鉄バスより見た景物。

大曲——山本氏談：神社の祭礼(百姓筋，武士筋，伊勢講，坂迎え，献立，神輿，式内社，手織，酒，兵主神社，新川神社，各地域の神社，八幡の左義長，日振八幡の祭礼)。

幸津川——村の概況，酒のみ祭り，宵宮，神輿渡し，すし，新川神社，隠居，神酒(以上話者の記載なし)。プリント(幸津川 新川神社例祭に舞われるかんこの舞の説明と歌詞，楽譜の2枚)をとじる。

篠田統資料目録 I (フィールド・ノート)

野洲(さらし)——鈴木喜太郎氏宅調査：蔵書の一部の目録を記す。遠藤家の「日並帳」(元治2年とあり)より献立の抜書き。「流水帳」。「県公報」。

野田 川口——川口林蔵氏談：修業(おそらく紺染めの)、自家藍、農家の副業、間取り図、藍染にかかる費用、藍栽培、竜骨車、水車、裏作、ヌカ。

老蘇——井上多喜二郎氏談：鎌若宮とその祭礼、山車、津島さん、マチャラコ(仁王会)、山の神、内野の山の神、天智離宮の伝承、駒野長者、石寺、近在の村落の概況、正月の食事、正月祭り、初詣、火伏、伊勢参り(坂迎え、神明講)、村の組、年中行事と行事食、鮓(早鮓、巻鮓、鯖鮓)、衣服、婚姻、二毛作、煙草、鮎鮓、山行のしたく、学校、百姓。

甘呂——昭和27年6月調査(タイトルページのみ)。

松原——昭和27年6月調査。75家族の戸主氏名、生年、家族(続柄、氏名、生年)、転入出のある場合は転入元、転出先、檀那寺などについての記載がある。

息長——昭和27年6月調査。末子相続、鮎すし、すし、寺社、おこない、青年団、縁組、旦那、年中行事と行事食、医者、学校。

岩脇——昭和27年6月調査。24家族の戸主氏名、生年、年齢、父の氏名と続柄、家族(続柄、氏名、生年月日)、転入出のある場合は転入元、転出先、檀那寺などについての記載がある。

多和田——昭和27年6月調査。16家族の戸主氏名、両親氏名と続柄、生年月日、家族(続柄、氏名、生年月日)、転入出、婚姻などについての記載がある。

近江・坂田(東黒田 志賀屋)昭和29年2月——東黒田 志賀屋での聞き書き：年中行事と行事食、いなりすし、のり巻、漬物、餅、縁組。

今西・尾上・山本——今西にて：農具(図あり)、おこない、白髭明神、生業、鮎、鮎鮓、馴れ鮓、漁、旧家、今西城址。尾上にて漁業組合での聞き書き(昭和28年4月)：漁業、獲れる魚の種類、小江神社、正月雑煮、おこない。山本にて魚吉こと松田吉男家での聞き書き(昭和28年4月1日)：鮎の種類、塩切り、鮎鮓、鮎以外の魚の鮓、魚の調理法。

雄琴 山下文書——筆者、年代不明の巻紙に書かれた文章の写し、神事に関する雄琴村官年寄と壬生官務配下大石郡司の間の往復書状4通(某年正月8日付2通、某年卯月3日付2通)の写し、祭礼奉仕に関する内容を持つ某年6月5日付の書状の写し、「頼母子講前書三則」「積立仕法帳」(万延2年)、「相続講仕方帳」(文久2年)、「口演・仕法書」(明治14年)の写し。

010 武奈カルスト台地 昭26

B 5判 横書き 254頁 B 4判アンケート用紙もあわせてとじる

内扉に「武奈 昭26調」と記されている。昭和26年8・10月に滋賀県彦根市の武奈をはじめ周辺地域でおこなわれた聞き取り調査の記録。戸籍の写しと思われる記載を含む。小・中学校でおこなわれたアンケート調査資料もある。

[目次]

1. 昭和26年8月19～22日——武奈，明幸，男鬼，樽ヶ畑・甲頭倉・屏風・後谷
2. 昭和26年10月16・17日——入江，鳥居本・小野，善谷，米原中・鳥居本小資料
3. 昭和26年10月18～20日——芹谷一般，桃原，向之倉，下村・安養寺，入谷・今畑，落合・武奈，芹谷中・後谷小・落合小資料

[内容]

武奈——8月19日武奈で木ノ本の28代の醤油屋岡平左エ門天津氏より聞き書き：漁村の床，上草野の板碑。澤増雄氏談：武奈・明幸・男鬼の戸数及び寺院数，畑の面積，畑作物，炭焼，桑，[炭焼釜]の見取図，郵便配達，セタ（背負子），ササミ（炭焼用），聞き取図，娯楽，武奈，敵因寺，明幸，明満寺。昆虫7種，鳥8種，植物10種の名称を列挙する，正月について，年中行事と行事食（彼岸，野休み，秋祭り，報恩講など），嫁とり（通婚圏），結納，仲人，結婚式，披露，里帰り，出産，病人，家族規模，青年団，読書会，作業着，畑作，葬式，雨乞，飲料水，相続，山林，栽培作物，火事，姓と戸数，魚，野味，豆腐，木の実，樹木，炭，穀類の調理。藤川氏談：村の由来，安政4年の村の概況 [文書からの写し]，[買物帳]の写し。「安政4年殿様御農廻り御小休諸事留記（庄屋勘左衛門の記）」，5月12～15日の旅程の写し，炭，菜種油，縁組，明治・大正・昭和人名書上げの転写，杉，暖房，イモ干し，梅干，弁当，山仕事，縁組。

明幸（めうこ）——谷口専一氏談：比婆神社，養蚕畑，谷口家聞き取り，学校，雪かき，神社（神明さん），縁組，古文書（法名2巻・売買文書の年代のみ記す）。

男鬼——村の概況，穀物，縁組，元禄12年の法名書上げあり，祭り，年中行事と行事食，大工，みそ・醤油，汁，油，桑，相続，親方，戦死，計18戸の世帯構成者の氏名・年齢を記す，炭焼，有用植物，屏風。阪本長人談：猿の害，薪炭，学校，鮎鮓，縁組，みそ・醤油，菜種油，寺。

樽ヶ畑・甲頭倉・屏風・後谷——樽ヶ畑での聞き書き：概況（戸数，寺，耕作面積，縁組，カンジキ）。甲頭倉での聞き書き：概況（戸数，寺，神社，炭焼，畑作物，耕作面積，長寿者，大工）。後谷での聞き書き：概況（寺，神社，セメント会社寮）。

入江——話者不明聞き書き：入江の開拓，ガス，畑作物，出荷，魚，入植者，牛，井

戸、入植者の出身地、耕作面積、漁業、各地区の戸数と概況、排水ポンプ。

鳥居本・小野——小野での聞き書き：講、八幡社、山羊・豚など家畜、祭りの食物、鮎鮓、縁組、養子、祭り、宮座、火送り、太鼓踊り、盆踊り、地藏盆、寺、報恩講、番方講、尼講。

善谷——風俗聞き書き：畑作物、茸、炭、麦、菜種油、天婦羅、戸数、寺、井水、婚姻、天津神社、山の神、花祭り、報恩講、尼講、氏神祭礼、地藏盆、子供のおやつ、祭りとその食物、結婚式、結納、風呂、間取り図。

鳥居本小・中学校資料——鳥居本小学校、米原中学校の生徒の氏名、居住地域とおそらく弁当のおかずと思われる品目のアンケート280件とその集計。

芹谷一般——昭和26年9月現在の14地区につき世帯数と人口と1世帯あたりの平均人数を記す。聞き書き：河内八幡、踊り、寺、神社、町村合併、ポンプ代、簡易水道、子供達のこと、学校教育、衛生、健康、葬式、墓地、食用油、野菜、蚕。

桃原——風俗聞き書き：戸数、人口、田・畑、畑作物、炭焼、割り木、浄光寺、永法寺、日吉社、祭礼と食事、魚、猪、猟師、山祭、講（報恩講、尼講、番方講）、縁組、親方、結納、みそ汁。

向之倉——風俗聞き書き：畑作物、山仕事、寺、縁組、神社と神事、講、兎、祭りの食事（五目鮓）、干物、火祭り、簡易水道、医者、衛生、菜種、猪よけ、風呂、暖房、間取り図。

下村・安養寺——下村にて：寺、鯖、地藍、行者講、おこない。安養寺での聞き書き：おこない、親方、隠居、結婚、開山忌、山神、亥の子、盆、畑、魚干物、油、だんご、虫、土葬（両墓制）、衛生、井水、野神、博奕、冬の仕事、相続、八幡社、大人衆。

入谷・今畑——尾田義雄氏談：村の概況（戸数、人口、寺）、衣服、蚕、油、猟、縁組、フゴ、タニ神社、祭礼と食物、おこない、報恩講、亥の子、飲料水、間取り図、年齢階梯制、披露宴、婚期、冬ごもり、博奕、了眼寺のおこない、講、火葬、菜の塩漬。昭和26年10月大字入谷人口構成。今畑での聞き書き：寺、おこない、報恩講、蚕、猿害、ゆるり、亥の子、祭と食物、神社、年齢階梯制、エゴマ、畑作物、猟師。

落合・武奈——風俗聞き書き：神社、寺、おこない、火事、成人式、親方、火葬、両墓制、亥の子、畑地面積、畑作物、猟師、冬の仕事、みの笠、くど、ゆるり、炭、落合神社、嫁取、婚期、山林、穀物、油、洋服、漬物、祭りの食物。武奈での聞き書き：もろと、隠居、宮の世話、宮若衆。

芹谷中、後谷小、落合小資料——芹谷中学校、後谷小学校、落合小学校の生徒の氏名とおそらく弁当のおかずと思われる品目のアンケート171件とその集計。

011 [武奈カルスト台地 家族調査 昭26]

B 7判 未製本

昭和26年12月に行なった滋賀県湖東地方における世帯別出生年調査。書類袋に、B 7判サイズの手製メモ用紙で1世帯1枚に家族全員の出生年、世帯主との続柄を調べたものを地域別にこよりでとじたものと、他にこれを表にしたものが入っている。

[内容]

山女原(河内)16世帯、下村(河内)12世帯、宮前(河内)13世帯、中村(河内)13世帯、今畑(霊仙)11世帯、落合14世帯、向之倉15世帯、入谷24世帯、上水谷20世帯、下水谷12世帯、屏風38世帯、甲頭倉21世帯、後谷20世帯。

012 [武奈カルスト台地 健康]

昭和19～26年の湖東地方、年度別死因・出生者一覧(手写し)、及びその資料を使用するにあたっての作業過程のメモが書類袋にまとめられたもの。

[内容]

年度別死因調査一覧 B 4判用紙 26枚

年度別出生者一覧 B 4判用紙 39枚

集計するために孔版印刷で作った地域・出生月・男・女別調査表 B 5判 42枚
作業上のメモ 13件

013 朽木, 芹谷

B 4判 横書き 92枚 B 5判 横書き 52枚

昭和19年～26年にわたる滋賀県朽木, 芹谷地方の出生死亡記録。手書きの表となっている。製作年代は不明であるが、調査地域が「武奈カルスト台地」と重複しているのでこの順番に並べた。

[内容]

朽木保健調査表, 朽木村概要(朽木・芹谷の封筒の中にさらに朽木の封筒あり)

鳥居本・多賀出生死亡記録——昭和26年の鳥居本, 多賀の出生死亡記録。町ごとに9×12.5 cmのメモとして綴ってある。それをまとめた表が付加されている。

昭和21年～25年にわたる鳥居本の死亡因集計票。

014 近江の鮎 昭二六, 二七

B 5判 横書き 220頁

滋賀県の各地での鮎の作り方を聞き書きしたもの。馴れ鮎の記事がおおい。鮎づくり

のほかの記事も混じっている。先生自身で目次をつけているが必ずしも後の小タイトルと一致していない。

〔目次〕

昭26——1.魚市・ヒコネ 2.中島・カタダ 3.進藤・木の浜 4.北村・大みぞ 5.森野・海津 6.竹中・ちくま 7.山本・大曲 昭27——1.長命寺 2.常楽寺 3.三津屋 4.柳川 5.長浜 6.南浜 7.塩津 8.今津 9.大津

〔内容〕

魚市（昭和26年12月4日）——彦根の「魚市」の69才の老主人：フナ，ハス，ワタカ，オイカワ，アユ，マス，モロコ，鯛，鯖，ウナギ，鯉，ボテジャコ，ウグイの鮓のつくりかたを聞く。

堅田（12月15日）——中島七郎兵衛氏談：間取り図，鮓鮓，モロコ，イサザ，ハス，鯖の鮓のつくりかたを聞く。堅田伊勢屋（12月15日）：鮓鮓，モロコ，ワタカ，ハス，イサザ鮓，鴨。

木之浜——木之浜の進藤新兵衛氏：フナ，ワタカ，ハス，モロコ，ハイ，ガンゾ，サバの鮓，早漬，祭りの鮓，正月，亥の子餅，農業，漁業。

大溝——大溝の北村氏から粕漬けの鮓，祭，正月の食物について聞く。

海津——海津の森の五一郎氏：粕漬けのフナ鮓，祭り正月の食物について聞く。

筑摩（昭和26年12月18日）——筑摩の竹中吉次氏：間取り図，フナ，オイカワ，ハス，ワタカ，イサザ，小鮓の鮓の作りかた，祭りのすし，フナの漁法と料理法，正月の食物，講，元服，葬式。

大曲（昭和26年12月15日）——大曲の山本庄作氏：大曲村の壇那寺と戸数，村の歴史と概況，作物，正月，年中行事と食物，鮓，カンゾの鮓，講，元服，神事，食習慣，住居，縁組，相続，隠居。

長命寺（昭和27年1月7日）——某氏母子より：フナ，ワタカ，モロコの鮓の作りかた。

安土常楽寺（昭和27年1月7日）——村野信三・妻君談（魚屋）：鮓鮓について。矢部義夫：鮓鮓，祭りの食べ物，今漁れる魚。下豊浦老婆：ボテのめずし，他のすし。能登川「米定」本店：鮓鮓と鮓について同店の「鮓鮓の由来」が貼りつけてある。

三津屋（昭和27年1月8日）——乙造さんより：魚屋，フナ，ハス，オイカワの鮓のつくりかた。

柳川（昭和27年1月8日）——仙波さんに聞いた（自転車屋さん）：魚屋，フナ，ハスの鮓のつくりかた。

長浜——田中屋（元彦根楽々の板場）：鮎鮓のつくりかた。米庄：鮎鮓のつくりかた。
南浜（昭和26年1月8日）——「魚政」主人中川氏：モロコ、フナ、マス、コアユ、ハス、ウグイ、ウナギ、ナマズの鮎つくりを聞く。また、南浜の歴史、本膳料理、講、社寺についての聞き書きもある。

塩津（昭和26年1月9日）——フナ鮎のつくりかた、湖魚の料理法、間取り図。

今津（昭和26年1月9日）——「魚友」にて：フナ鮎つくりの聞き書き。

大津——「阪本屋」内田太七氏：フナ鮎、甘露漬について聞く。

大溝町「喜多品」の鮎甘露漬のチラシ、堅田中島七郎兵衛氏の鮎鮓にたいする明治28、36年の勸業博覧会褒状のチラシが巻末に張りつけてある。

015 伊香郡

B 5判 横書き 364頁

昭和26～27年に滋賀県の伊香郡で調査したさいの聞き書きと戸籍関係文書の筆写が主である。内扉に「伊香野調 昭26—27」と書き込まれている。先生自身で目次をつけているが必ずしも後の小タイトルとは一致しない。

[目次]

1. 古橋 2. 宗門帳 3. 明治以後の戸籍 4. 戸籍 5. 死因表（高時） 6. 川合 7. 佐波加刀神社縁起 8. 大見 9. 丹生 10. 南富永 11. 塩津

[内容]

木之本——山路清平からの聞き書き：桑酒，酒，容器。

古橋——高橋竜治郎：間取り図，鮎，ばい・榧・柴栗等の利用，神社，祭礼，年中行事，葬式，初潮，行事献立，小鮎のヘシコ，馴れ鮎，マスのナマス，大鮎の焼き干し，オオサンショウウオ，食用獣，猟鳥，肉食別火，落花生，山菜料理，ごぼう，祠堂，山の神祭り，講，林業，縁組，寺院，方言，鯖鮎。

明3宗門帖——明治3年「切支丹宗門御制禁寺清帳近江国伊香郡古橋村」の筆写。

明治以後の戸籍——明治5年「古橋村戸籍」の抄録。

戸籍古橋——古橋村の戸籍の抄録，人名と続柄，出生，死亡年を筆写したもの。

死因高時——昭和15～26年のあいだの高時村における死亡者を男女別，生年，死因，大字，死亡月の項目を集計したもの。

川合——民俗聞き書き：年中行事と食物，頭屋制，出生，婚姻，医者，葬式，農地，鮎，野生動物，猟師，家畜，調味料，主食，職業，社寺，行政，祭，左義長，寺踊り，桜踊り，間取り図，田畑面積の変遷，くされ鮎，講，住居，集落図。

川合戸籍——川合における53戸について、明治時代から調査時点の戸籍を抄写した
もの。

川合——「佐波加刀神社御由緒」, 「村社佐波加刀神社略記」, 「佐波加刀神社(資料)」
(孔版印刷)を綴じこんである。

大見——民俗聞書き：間取り図，地域の概要，作物，野獣，林業，大見の生産物，
神社，学校，人口，田畑面積，年中行事と行事食，戸数，結婚，出生，葬式，食事慣
行，電灯，ラジオ・ミシン台数。

丹生——民俗聞書き：間取り図，五衛門風呂スケッチ，台所スケッチ，結核，雑煮，
アユ。

南富永——古文書写し1通，戸数，神社，宝永7年の戸数・人口など，祭り，相続，
隠居，年令集団（前髪，若い衆），通婚圏，慶応2年宗門帳の写し，明治2年の戸籍
の写し，明治2年の縁付送り手形の写し，昭和26年改正の神事規定の写し。

塩津——民俗聞書き：青年団，寺，講，縁組，雑煮，節句。

016 伊香 坂口村 田畑文書

B5判 縦書き 348頁

内扉に「伊香郡坂口村 東野重治郎文書」と記されている。伊香は，近江国伊香郡
である。この伊香郡坂口村の江戸後期の作高調書を写したものを合冊する。「015 伊
香郡」の調査地域と近いので製作年代不明であるがこの順番に並べた。

[目次]

1. 作高調書（天保6） 2. 一朱銀在高調書（天保13） 3. 作高調書（嘉永6） 4. 作
高調書（安政1） 5. 作高調書（安政2） 6. 作高調書（文久3）

[内容]

作高調書 天保6——内扉には、「作高 天保6 一朱銀在高 天保13」と記され
ている。これは目次の1と2にあたる。「天保六年御田畑作高 伊香郡坂田村」写し，
「天保十三年 一朱銀御停止ニ付御調帳 寅八月廿四日 坂口庄屋重右エ門」写し。

作高調書 嘉永6——内扉には「作高 嘉永6」とある。「伊香郡坂口村 田畑作
高調書(嘉永六年)」写し。

作高調書 安政1——内扉には「作高 安政1」とある。「伊香郡坂口村 田畑作
高取調書 嘉永七年寅四月十日（朱書で安政元年卯七月）」写し

作高調書 安政2——内扉には「作高 安政2」とある。「伊香郡坂口村 田畑作
高調書 安政二年卯五月日」写し

作高調書 文久3——内扉に「作高 文久3」とある。「伊香郡坂口村 田畑作高調書 文久3」写し。

017 西のせ村 2 昭二六・二七

B5判 横書き 194頁

昭和26・27年の調査での西能勢村各地での聞き書きと文書の写し、西能勢村関係のパンフレット各種を合本してある。

[目次]

1. 日野（昭和26年） 2. 田尻（昭和26年） 3. 宿野（昭和26年） 4. 千ヶ畑（昭和26年） 5. るり溪・天王（昭和26年） 6. 山辺（昭和27年3月12日） 7. 長谷（昭和27年4月7日） 8. 栗栖（昭和27年4月8日） 9. 山辺 10. 山辺（人別送り状） 11. 山辺（畑中文書） 12. 大黒（昭和27年4月11日） 13. 能勢一汎

[内容]

日野——東老人：集落の概観，正月行事，三人衆，祭礼と年中行事，若い衆，講，家柄，庄屋，猪の子，餅各種，山ノ神，五月の節句，栗節句，月見，すし，縁組。

田尻——民俗聞き書き：神社と祭り，山林，寒天，クリ，寺，田，縁組，米の供出量，菜種油，ムギ，寄生虫，医師，民家間取り図4。

宿野——ある農家の経営規模，養鶏。

千ヶ畑——山内三郎：ある農家の経営規模，縁組，墓，寺，バクチ，山ノ神，天道花，神社と神事，雨乞い，六人衆。

瑠璃溪・天王——戸数，出造り，『巨嶺山長杉寺略史』（東満三著 7頁 孔版印刷 昭和26年9月）と『天皇農事暦』第3号（天王中学編著 14頁 孔版印刷 昭和26年）をとじこむ。

山辺——寺と檀家数，寺関係文書名の写し，庄屋と初期の村長，年中行事と食事，講とその食事，村の株，正月初めの山仕事の行事，すし各種，虫送り。

長谷——向所 住宅の間取り図。

栗栖——栗栖の能勢弘氏の古書籍の蔵書目録を記す。

山辺——山辺の玉泉寺の『当院寺務古例記』（文化12年）から「当院寺務併田畑山林竹木茶藪寄付之事」を写す。文中に食物や献立の記事もある。

山辺の人別送り状——元禄8年から安政5年までの人別送り状の抄録。山辺の森口氏の古書籍の蔵書目録を記す。

山辺の畑中文書——嘉永4年から安政2年までの間の人別送り願い，変死者の報告

など代官所に届け出た戸籍関係の文書7通の写し。

大黒——多田夫人：年中行事と食事，初節句，嫁入り，村株，講とその食事，亥の子。

能勢一汎——『能勢の自然と文化—能勢郷土文化研究会会報』第4号（孔版印刷12頁 昭和26年6月）と書名不明の西能勢村の概況と西能勢中学校の概要を記したパンフレット（おそらく西能勢中学校刊のもの 孔版印刷 23頁）をとじこむ。

018 参河

B5判 横書き 162頁

昭和27年2月に愛知県北設楽郡下津具（現在の地名は津具村下津具）で花祭の調査をしたさいの記録が主である。このときの調査結果の一部は「山家に残る家父長権」（『暮らしの知恵—考える生活科学』玉川大学出版部 1978年 所収）にまとめられている。ほかに、昭和29年2月に愛知県でおこなった聞き取りが収録されているが、それは、おそらく上京のさいに途中下車をして得たものと推定される。内扉に「東海道中」と記されている。

[目次]

1. 昭27——下津具，花祭，漢医蔵書，死因表 2. 昭29——江戸，東海道線，三河支線，伊勢

[内容]

下津具（昭和27年2月）——年木，部落名，民家スケッチ，花祭。夏目氏聞き：宮人，通婚圏，交通，流入，木地師，淡水魚，花祭，五平餅，ハチの子とり，作物，土葬，花祭行事次第，弥生時代遺跡，門松，婚姻，隠居，行者，講，年中行事，出産，節句，行事食，昔の食生活，いも，イロリ，役畜，果物，野生堅果，山菜，ばくち，草刈り，医師。女中の話：行商人，五平餅，芝居，映画，嫁入りとその食事，年中行事とその食事，狩猟鳥獣とその料理，猿の子，田植の食事，里帰り，正月のまりつき歌，盆踊り，酒宴の歌，呪師，神社，いいつたえ，民間信仰とまじない，虫，学校。瀧沢義一校長の話：花祭，学校の規模，進学先，食生活，医療施設，疾病，青年活動。

花祭（昭和27年2月）——さまざまな舞の種類とそれぞれの服装をスケッチ，曲の調子をローマ文字で記したものを付して記述する。各地の花祭と神楽，婚礼，葬式，いろりの座，間取り図，田植，櫛のコモ，ひいなスケッチ。

漢医蔵書（昭和27年2月）——下津具の漢方医の蔵書をリストにしたものと思われる。322種の漢籍，和本，明治初期の教科書等の書名と冊数が記されている。そのうちの約三分の一が医書である。

下津具死因（昭和27年2月）——昭和21～27年のあいだに死亡した者185名を集落名、男女別、生年、死因別のリストにし、それを集計した表も作成している。

三河の祭——三河の各地の祭りの名と地名、祭りの日をリストにしたもの、三谷の祭の食事。

三河の支線（昭和29年2月）——西浦の祭りの食事。吉田の金物屋の話：雑煮、吉田の川祭、祭りの食事、正月の食事、亥の子、講、屋敷神、醸造、塩浜の神、鳥羽の火祭り、婚姻、女のよばい、秋葉信仰。舉母の祭りの食事。一色の漁業と祭りの食事、雑煮。

019 1952

8.6×14.3 cm 横書き 196頁

昭和27年4月4日から9月12日までの日記とメモ。

[目次] なし

[内容]

日記、揚州料理の作り方。バスの時刻表。書評。弓・弩・砲について等。

020 江州玉緒村 昭二七

B5判 横書き 136頁

玉緒村は現在滋賀県八日市市になっている。昭和27年9月に調査したものと思われる。この村の死亡届けから死亡原因を抜き書したものと、各集落における古文書を筆写したものが主である。

[目次]

1. 玉緒村全般 2. 土器・同文書 3. 瓜生津 4. 上大森 5. 下二俣 6. 紫原南 7. 芝原 8. 尻無

[内容]

玉緒村全般——人口、戸数、昭和23～27年までの死亡届けから、死因等を抜き書きしたもの。昭和23～27年の出産数。

土器・文書類——延宝7年検地帳からの人名の抜き書き、祭り、結婚、相続、講、年中行事、死因の表とグラフ。「天保4年天神講神主宿帳」、「嘉永2年人数覚」、「文久2年人数覚」、明治9年～昭和4年までの神主、講宿の人名、「明和3年天神講覚帳」、「明治41年改正供物其他諸事口帳」、「文久2年定書改」の筆写。

瓜生津——人別（幕末から明治はじめにかけての人別）、愛宕講、神明講、年中行事、元服、縁組。

上大森——文化・文政年間の人名，寺，神社，講。

尻無——寺，神社。

下三保——村田佐次郎氏からの聞き書き：年中行事，講，寺，神社。

紫原南——「文化13年氏神造榮ニ付諸造用留帳」，「三力村村方与貫物之覚」，柿渋関係文書12通，玉作慶榮よりの書状1通，法性寺領近江国蒲生郡玉緒郷御園保之内荘之事につき近江国庁宛奉書一通，「法性寺三綱衆訴状」と「同断訴状」各1通，「社再興之覚書」，「上大森社之記」，「正長3年棟下し」，「明応6年棟札」，「柴原郷大宮十禪師大明神再興棟札」，「柿運上下知状」，「蒲生豚弾守殿御許書」，「近淡海国蒲生上之郷玉緒御園保之内荘来由記」。

芝原——戸数・人口，宗門帳。

021 三島郡

B5判 横書き 302頁 書簡便箋2枚

昭和27，32年，大阪府下，旧三島郡各地域でおこなわれた聞き取り調査および文書調査の記録。文書については人別帳，宗門帳などの写しを載せる。

[目次]

1. 三ヶ牧／一般
2. 三ヶ牧／信楽寺・洞泉寺
3. 桂本／一般・文書控
4. 柱本／人別送り等
5. 郡家
6. 東天川
7. 郡家一覧
8. 東天川宗門帳
9. 見山村
10. 養畑
11. 安元／香奠帳

[内容]

三ヶ牧／一般——聞き書き：年中行事と行事食（正月の雑煮，七草，福わかし，小豆粥，節分，八日び，彼岸，さなぶり，盆，祭礼，亥の子，月見，大晦日），盆踊，縁組（通婚圏），結婚，仲人，人生儀礼（子供，若い衆入り），神社（宮人足），講（伊勢講，愛宕講，行者講），漁（漁夫，獲物，販売），燃料，川島鴨神社，狐の寒施行，田面積，還暦祝，寺，桂本他3地域の戸数と多い姓。篠田あて田阪正昇書信（3月6日付，家庭栄養調査についての相談）

三ヶ牧／信楽寺・洞泉寺——昭和27年7月調査信楽寺：十二日講，肝煎り，宗派別寺院数，小字別戸数，畑作物，里氏子，三島鴨社，神宮寺，野神さん，安政5年と明治7年の全戸数と女性戸主の戸数，西面概況。洞泉寺；概要，農業，手織り。聞き取り図。明治11年墓碑銘の写し。

柱本／一般・文書控——昭和27年3月調査聞き書き：茶船，屋号，三箇牧の由来。「嘉永7年書故田中平右衛門履歴」の抄出，「天保13年柱本村年寄平右衛門口上書」写し（部分），古文書目録 1. 村経済関係48点 2. 祝儀関係7点 3. 供養遠忌関係22点。

柱本／「惣百姓歴代控」，「人別送り控」——昭和27年7月調査惣百姓歴代控柱本村：名前，出自，配偶者及其の出自，子供の名及生年，異動他について記す。元禄3年から明和8年の御改に及ぶ。「安政六乙未年二月日 田中幾之助人別宗旨寺送り寺請・村送り村請控」田中氏蔵文書の写し。

郡家——昭和27年調査並川家：化政期の組頭・庄屋，幕末期の年寄と庄屋の名を記す。文書目録（「毛見帳」：天明8年から明治4年まで7点。「免割帳」：寛文8年から慶応4年まで30点。「年貢請取帳」など：安政9年から35点。訴訟記録・村方経済関係：貞享4年から）。下村家聞書き：地図，文書，相続講，逮夜講，垣内，葬式，村概念図，公文書，葬式後の宴，長州改，人別送り控（享和～慶応にかけて約70名分の地名・人名・年齢・異動年を記す）。

東天川——高槻市森本悦子氏から篠田あての葉書貼付（内容は花見の習慣についての返答）。住居間取り図2。文書目録（東天川森田氏蔵「宗門帳」，「人数増減帳」：元禄13年から明治4年まで41点。「宗旨請状」：弘化2年のもの2点，家方揚豚論先哲用，諸家膏劑）。聞書き：縁故，天川概況。宗旨証文控8点分，他82とあり。聞書き：寺檀家数，子守歌，春日明神，小烏の森・小烏大明神とその祭礼，禁忌，船，祭礼のダンジリ，行事食，鯖ずし，統計（元禄～寛政期数字が列記されるが不明）。住居間取り図1。

郡内旧家一覧——字ごとに旧家名を記すが，未記入部分多い。

「東天川宗門帳」——天保3～6年人数増減表（出生，婚姻，死亡等による異動74件につき戸主，続柄，本人の名，月，関係地を列挙）。「慶応三卯年五月十日東天川村宗旨御改帳控」（66世帯23名），「明治二巳年七月十日東天川村宗旨御改帳控」（53世帯），「明治三午年東天川村宗旨御改帳控」（51世帯），「明治四未年東天川村宗旨御改帳控」（53世帯），以上の文書からそれぞれ年齢・名前・世帯主との続柄を記す。

見山村——昭和32年夏調査 藤波氏からの聞書き（8月6日）：忍頂寺（貞観2年開創）の歴史「永禄12年信長寺領安堵状」，五輪塔，「寺役免許願書」，竜龍山龍王神社・宝池寺，藍村大門寺の高塚，木村常陸守墓，キリシタンとその関連遺跡，絶海國師，略地図。忍頂寺中学校古谷校長からの聞書き（6月28日）：車作の概況，水田開発，提灯測量，便所改良，衛生，畑作物，医師，切支丹遺跡。高雲寺梵妻からの聞書き（6月28日）：高雲寺，切支丹遺物は高雲寺の檀家のもの，下音羽の人情，愚痴，寺の切支丹遺物。

養畑——昭和32年8月6日調査 中西利作氏母からの聞書き：住居間取り図，年中行事と行事食（正月雑煮，ふくわかし，七日七草，小豆かゆ，餅，トンド，お頭祭り，初午，初節句，ツマキ，天道花，盆，松茸狩，善哉，鯖ずし，大晦日，年越し），

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

縁組，結納，親餅。元村長からの聞書き：村の概況，頭，出産，婚礼，浄瑠璃，若い衆，中老，大歳神社，八幡，火あげ，三日帰り，聳入り，伊勢講，坂迎え，妙見街道，手織，衣類，葬式，墓，同行焼，出産と宮まいり，箸はじめ，間食，猪の子，田植，サナブリ，鮓。

老婆からの聞書き——発火道具，使用人の寝所，野鍛冶，番太，髪結。

香奠帳 安元——「大正6年香料帳控」。

022 Science domestiques

B5判 縦書き 41頁

郡家，下村家の凶事，吉事を記した文書を写したもの。製作年代は不明であるが調査地が『三島郡』と重複するのでこの順番に並べた。

[内容]

「明治廿五年壬辰十一月十一日付，葬式一件簿」，「安政三丙辰年二月付 下村 弥太郎 出産配りもの并ニ祝受納録」，「安政六未年七月廿六日，下村頭十郎祝受納，髪置初餅配り宮参記帳」，「文久二戌年四月十日付，下村連祝受納，髪，初餅配り宮参記帳」他。

023 三箇牧 婚姻圈

B6判 横書き 128頁

昭和27年7月に行われた生活実態調査の時のノートらしい。大阪府三島郡三ヶ牧村での戸籍にもとづいて調査したと思われる婚姻圈に関する記録。嫁入り先，養子先，分家などの事例を，集落別に記してある。

024 三ヶ牧 田中 萩原文書 昭二七

B5判 縦書き 232頁

田中氏，萩原氏所蔵の婚姻，出産などの吉事にかかわる文書と病氣見舞，葬式などの凶事にかかわる文書の写しを合本したもの。

[目次]

1. 吉事
2. 病氣見舞
3. 凶事／幕末
4. 凶事／明治
5. 唐崎萩原氏／婚礼
6. 出産・初節句
7. 病氣見舞
8. 葬儀／法要

[内容]

吉時——内扉には「寛政七乙卯如月吉日 つ弥嫁入諸勘定帳入 田中氏」とある。「寛政七乙卯歳 つ弥嫁入諸色勘定併受納物帳 八月吉日 田中氏」（横帳），「天明七年 婚礼受納物覚 田中 未十一月朔日」，「文化2乙丑とし8月吉日 とみ嫁入請記

扣 田中氏,「文化13子年2月25日 亀治良縁口諸入用勘定帳」(横帳),「文政2卯年4月25日 木津村仁左ヱ門方へ幸治郎縁組諸入用勘定帳 田中氏」,「文久元年 婚礼諸色控 酉12月吉辰 ウラ田中弥太郎」,「田中平右ヱ門 役蒙昇進扣帳入 ふくろ」,「天保十三壬虎十二月廿二日 蒙庄屋役ヲ天保十四卯二月朔日祝茶乃替ハリとして品物口ス帳 田中平右ヱ門」,「弘化2巳年十二月26日之御沙汰同三年午三月二賦口を到ス 蒙 士之組頭喜之記と賦連名帳併到来物扣 田中平右ヱ門」,「嘉永6癸巳年 郷筒頭格被為仰付候祝儀覚帳 正月吉日 田中平右ヱ門」。

病氣見舞——「文化十式亥六月病氣諸造用帳」,「戌二月 仁三郎病中到来物帳」(欄外に文政9Ⅲの記入あり),「明治八歳未十月併二忌中見舞記 老母病中諸控」。

凶事／幕末——「明和八辛卯九月拾三廻取越 了種院妙立日円信女忌 八月十五日御経之節華翫童男 一周忌 八月十七日」,「天明六年午七月十九日死去 合掌院妙受信女」,「円月宗遠 御悔帳 天明六酉午年閏十月八日卯上刻臨終」,「天明七歳 円解院常精日進 未六月十五日」以上は献立・もらい物・布施・供物などの覚を記す。「天明七未年六月十五日 御悔帳 真如円解院常精日進居士」,「天明七年丁未六月十五日 円解院常精日進信士 諸記」,「文化十三年子二月十四日 円是院常頼日信士五十回忌 田中氏」献立,「文化十五年寅二月十四日 円解院常精・円月院宗遠 三十三回忌」献立・くばり物・買物覚など,「文政四巳年二月十九日取越 円了院常遠十三回忌」料理献立・到来物,「文政九戌二月十二日卯上刻落命 葬式諸入用帳葬式八ッ時 円寿院久顕信士俗名仁三郎式拾壱才」,「文政九戌二月十二日卯上刻落命 葬式八ッ時 円寿院久顕信士 到来物帳」,「文政九丙戌歳四月朔日 七々日忌志併筐分 円寿院久顕日相信士仁三郎事 田中氏」,「文政十三寅年 円信院妙園妙遠日了一周忌諸事控 七月十六日 田中氏」,「天保六乙未年四月十五日正当七月十六日 円信院妙遠日了 七回忌・円月院宗遠日観 正当十月八日五十回忌 田中平右ヱ門」献立・到来物・買物覚など,「天保七丙甲年 正当三月廿四日 覚応院一百遠忌 田中平右ヱ門優晴」献立,「天保拾二年四月十六日取越 父三拾三回・母拾三回 忌請色覚帳」志・献立・到来物など,「天保四巳年五月七日亥刻臨終 某林孩女葬式控 俗名さだ女 歳四才」袋入りであることが記されている。「天保四巳年五月七日亥刻臨終 俗名さだ女 葬式到来物控」,「天保四癸巳年 六月廿五日 某林孩女七七日忌志併筐分 俗名おさご事」献立,「天保四巳年 取越八月十九日 正当十二月二十日 円了院常遠日信廿五回忌諸事扣 田中氏」,「天保五午年二月十四日 円解院常精日進・合掌院妙受日精 五拾遠忌取越 揃勤候之扣並こん立 田中平右ヱ門」,「弘化式巳年三月十五日取越 円信院妙遠日了拾七回忌 孩女拾三回忌 田中平右ヱ門」献立,「嘉

永二年酉九月二日 善知妙愍日慈童女一周忌」献立，「嘉永三戌年九月二日 善知妙愍日慈三回忌 田中氏」献立，「嘉永三戌年二月十二日 了種院妙立信女百五拾回忌 円寿院久頭日相式拾五回忌 田中氏」，「嘉永六癸巳年三月十五日取越 円信院妙遠日了廿五回忌 田中平右ヱ門」，「安政四巳年四月十九日取越 正当巳十二月廿日 円了院常遠日信五拾回忌帳 妙靈 林白瀾童女廿五回忌 当五月七日」，「萬延二酉年 円信院様 三十三回忌入用控 二月十五日取越」以上は献立を記す。「文治元甲子八月六日 孝運院様 三回忌諸入用控帳 並善知妙愍日慈十七回忌 田中性」。

凶事／明治——「明治八亥年十月廿一日 孝林院妙運日唱信女俗名房 行年六十八才」到来物・布施覚・献立，「明治八亥年十月 老母 中諸控尾二忌中見舞記」，「明治第九年旧九月廿三日正当 孝林院妙運日唱信女第一周忌営」，「明治十八年三月十七日午后四時終命 孝生院宗善日生葬一件記 俗名二郎行年廿二才」，「明治廿五年四月十三日午前五時落命 真唱院観浄日得葬式一件帳 俗名菊次郎 行年五十七年」，「明治廿七年，八月七日祥当 孝運院宗栄日久居士第卅三回忌営記帳 同廿七年四月十三日祥当 真唱院観浄日得信士第三回忌 田中性」。

唐崎萩原氏／婚禮——扉の前に萩原氏の家族氏名と思われるものを記した紙をはさんである。「文化七年 お勢婚礼諸事覚 午四月八日」，「文化拾一年 利兵衛入家諸事覚 戌九月八日」，「文化拾二年 お寿婚禮諸事覚 亥四月十七日」，「天保六未年 籐四郎引取諸入用之控 四月十一日」，「弘化3年午6月 大歳善左門娘，お定引取諸事扣」，「明治三年 おみち引取諸事扣」，「未四月 萩原氏 婚禮買物扣ヱ並日備覚」。

出産／初節句——「寛政十二甲正月廿一日 お品産之節参物之覚」，「文化十二年乙亥歳 久吉出生諸事覚 霜月廿九日夕七つ時」，「文化十三丙子年五月 久吉節句初諸事 萩原氏」，「文政三庚辰2月5日朝六ッ時出生 田鶴出生諸事覚帳 萩原氏」，「天保十年 芳三郎出生諸事覚」，「お志か初節句諸事覚」，「弘化四未七月四日辰五刻出生 久代出生諸事覚」，「弘化五戌甲歳 くよ初節句覚帳」，「嘉永五年戊正月八日巳刻生 寅吉出生諸事覚」，「嘉永5年 長蔵出生大宝永 壬子閏二月九日巳刻生」，「癸嘉永六五月 長蔵初節句覚帳」，「明治廿七年午四月廿五日午前三時出産 春枝出生諸事控 平尾氏」，「明治廿七年 納屋普請ニ付 到来物扣ヱ」。

病氣／見舞——「文政十二年丑二月 田鶴ほうそう見舞到来覚 萩原氏」，「丙 天保七甲之月 見舞物覚長」，「天保十年亥十月 芳三郎ほうそう諸事覚」，「弘化三年 お鹿ほうそう帳」，「明治九子九月廿日 父利兵衛病氣ニ付 見舞到来扣」，「亨病氣ニ付到来物」，「千代病氣ニ付入費及到来扣」，「ミチ病氣ニ付手伝及ヒ到来扣ヱ」以

上三通は年月日不明。

葬儀・法要——「寛政七卯九月廿一日 葬礼帳 积貞保」,「寛政七卯九月廿一日 買物帳 貞保」,「文化二丑正月九日 积浄妙死去之覚」,「文化八年 未五月十六日 諸色到来物扣」,「文化八年未五月十六日 買物帳」,「文化十三丙子六月七日七ッ時往生 积浄智諸事覚 萩原氏」,「文化十年丁亥八月廿日取越 貞保 三十三回忌諸入用覚帳 萩原氏」,「天保四巳七月廿日 到来物覚帳 萩原」,「天保四巳七月廿一日 買物併諸入用控帳」,「天保七丙申年三月廿七日 积妙専到来物覚帳」,「天保七申年三月廿七日 积妙専 寺御布施諸入用」,「天保七丙申年三月廿七日 积妙専 買物帳」,「天保十亥年十月廿四日 到来物扣 积教親 俗名芳三郎」,「天保十四年 积妙誓葬式一件 卯八月二日」,「天保十四年卯八月二日 积妙誓葬式一件 未上刻往生」買物帳,「积妙誓 到来もの帳」,「弘化三丙子年 积妙信葬式一件 壬五月四日申下刻往生」,「嘉永元申年十一月六日辰上刻 积妙貞葬式一件 生歳二才 俗名久代」,「嘉永三戌年正月廿五日 积乘願葬式留」。

025 三島江 唐崎 柱本 宗門帳

B5判 横書き 276頁

内扉に「三箇牧戸籍」とある。内容から見ると、表題のような宗門帳ではなく、戸籍のようである。大阪府三島郡三ヶ牧村の大字三島江,唐崎,柱本の宗門帳。(一応、表題に従う)。製作年代は不明であるが、「023 三箇牧 婚姻圏」と同じ調査地域であるので、この順番に並べた。

[目次]

1. 三島江 2. 唐崎 3. 柱本

[内容]

三島江——当地の宗門帳。102戸,戸主,家族の氏名,生没年月日,続柄,婚姻関係を記す。

唐崎——当地の宗門帳。62戸,戸主,家族の氏名,生没年月日,続柄,婚姻関係を記す。

柱本——当地の宗門帳。6戸,戸主,家族の氏名,生没年月日,続柄,婚姻関係を記す。

026 西面 宗門帳

B5判 横書き 172頁 A5判 横書き 16頁

内扉に「西面」と記されている。大阪府三ヶ牧村大字西面のもの。表題に宗門帳と

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

記されるが、宗派は明記されていない。製作年代は不明であるが、調査地域が三ヶ牧であるのでこの順番に並べた。

[目次]

1～122のナンバーが氏名の前に青字で記されているのみ、特に目次はない。

[内容]

戸籍とほぼ同じ、住所、氏名、生没年月日、家族構成、続柄、嫁ぎ先、嫁出身地、婚姻、除籍等をそれぞれ記す。

027 北陸鮓日記 昭27

B 5判 横書き 238頁

昭和27年10月1日から同月8日に行なった美濃、飛驒地方、北陸地方、能登地方、すなわち岐阜、富山、新潟、石川の各県下における調査の記録。題名に見えるように鮓（蕪ずし、糍づけ、なれずし等）に関する聞き取りが豊富。年中行事とその食事、食生活についても記録されている。内扉に同題あり。

[目次]

1. 美濃町／郡上八幡 2. 平瀬 3. 高山 4. 下呂／萩原・古川 5. 高岡・八尾 6. 富山 7. 五百石／中加積・魚津 8. 泊／入膳 9. 新湊／出町・城端・氷見 10. 糸魚川 11. 羽咋／松百・石崎 12. 七尾／飯田・町野 13. 輪島／三井・穴水 14. 剣地／赤崎・富来 15. 金沢／小松

[内容]

美濃町／郡上八幡(10月1日)——美濃町における聞き取り：祭りとし、正月の雑煮、鮓すし、くされすし、寺、宗派。八幡(郡上八幡)における菓子屋からの聞き取り：鮓、祭、薄茶、菓子、郡上踊り、酒屋。うどん屋からの聞き取り：祭りとし、正月の雑煮、年越し、鮓、鰻、山ノ芋、わらび、火災、くり、魚屋の値段。

平瀬——郷土料理（保存食の作り方、高山、金沢、白川の場合）、鮓（鯉の糍づけ）、精進すし、鯉以外の魚、蕨すし、筍・うど等の山菜、栃、栗、イナゴ、魚の調理、漬けもの、主食、雑穀類、平瀬の産業別戸数、高山行バスの時刻表、野生動物、帰雲城跡、子供のおやつ、医者、近村の住民の健康状態、大家族制、蚕、硝石、麻、衣類の材料、包み、山神、祭り（新潟、高山の例、白川の場合、豆腐、納豆）、塩ぶり、冬のわら細工、各戸の略歴、鉾山。山田先生からの聞き取り：いろいろ、ドブ酒、家の手入れ、現在の家族、合掌造りの特徴。

高山——うどん屋での聞き取り：鮓。高山高校の小島先生からの聞き取り：鮓のつくり方、強めし、豆腐、魚料理、正月雑煮、精進料理、漬け物、朴葉みそ、しょうゆ、み

そ、野生動物、ワラビ粉。

下呂／萩原・古川——下呂における斐太高校生からの聞き書き：正月の鮓、雑煮、七草がゆ、祭礼、高山の高校、高山の中学・小学校、高校からの進路・就職状況。萩原における益田高校の田中先生からの聞き書き：ねずし。社会科の小原氏からの聞き書き：高山市役所の古文書、宿場、百姓の暮らし、大家族制、近世の高山、雑食。薬屋での聞き書き：すしの作り方。酒屋での聞き書き：すしの作り方。古川の八百屋での聞き書き：ねずし、保存食、正月雑煮、料理。

高岡／八尾——高岡で車中のオバハンからの聞き書き：ねずし、年越し、雑煮、七草、報恩講。八尾の宮田旅館女将からの聞き書き：鮓の作り方、雑煮、ふぶきすし、黒作り（イカ）、初午、七草、報恩講、婚姻、凶事、赤ん坊、祭りと会席料理、正月料理、報恩講の料理、法事の膳、茸、笹のいすし、ホーキの実、踊り。八尾の吉田氏からの聞き書き：製紙業（原料、製品、流通）、鮓（早鮓、鮎鮓、吹雪すし）、茸、酒、みそ、山菜、ぶり、蛸いか、鰯、鯖、野生動物、豆腐、馴れ鮓、講の料理、祭りのすし、燕づけ、山菜、川筋、鮎なれすし。

富山——車中のオッサンからの聞き書き：鯖すし、鮎すし、吹雪すし、黒づくり、防風林、果物、正月雑煮、酒。前川商店での聞き書き：鮓の作り方（鮎、鱒、鮭）、馴れ鮓、燕すし、吹雪すし、黒作り、アラムキ、粕づけ、糍づけ、北海道のすし、鮎すし、鱒。八百屋での聞き書き：豆腐、茸、魚。

五百石 中加積 魚津——金剛正宗での聞き書き：なれすし。五百石のタバコ屋での聞き書き：なれすし、正月雑煮。中加積における聞き書き：馴れ鮓。魚津における聞き書き：馴れ鮓、漁法、カマボコ。

泊／入膳——車中のバアサンからの聞き書き（泊）：馴れ鮓、交通。入膳の元軍人からの聞き書き：馴れ鮓。

新湊／出町・城端・氷見——新湊での通行人からの聞き書き：さばすし。タバコ屋での聞き書き：鯖すし、燕すし。出町の中条屋菓子店での聞き書き：燕すし、正月雑煮、祭りと食物。出町の魚屋での聞き書き：吹雪すし、燕すし。城端での聞き書き：燕すし、吹雪すし。氷見での聞き書き：ふぶきすし、燕すし、酒。

糸魚川——風俗聞き書き：酒、海岸の特徴、農家のいろいろの凶、かまど、炉、主食、かゆ、食生活、小ダイ、馴れすし、押すし、祭りともち、煮しめ、神宮寺の舞楽、祭礼の様子、棧敷、冬の野菜、漬物、ぶり、雑煮、七草、ばたばた茶、茶会、婚姻、報恩講、酒。

羽咋／松百・石崎——魚屋での聞き書き（羽咋）：燕すし、鯖すし。八百屋での聞き

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

き：鮎のつくり方。金田酒店での聞き書き：鮎の作り方，酒。松百での聞き書き：鮎について。松百のタバコ屋での聞き書き：祭りのすし，正月雑煮。石崎での聞き書き：魚を食べる上での禁忌，鮎のつくり，漁業権，加工未発達，産業，漁業，村の祭礼とすし，正月雑煮，魚料理，魚屋，冷凍さばの商売。

七尾／飯田・町野——七尾での聞き書き：蕪すし，祭りのすし，飯田における酒屋，菓子屋，菓子屋，干魚亦菓子屋，漁夫。バスの中の人からの聞き書き：鮎について。町野におけるバスの中の人談：茶屋。うどん屋からの聞き書き：鮎について。

輪島／三井・穴水——輪島において：魚屋，漁夫，下駄屋。オバアチャンからの聞き書き：雑煮，鮎について。

金沢／小松——金沢の菓子屋での聞き書き：鮎。小松の魚市の女性3人，角のオバハン，酒屋のおかみからの聞き書き：蕪すし，雑煮，卵の花づけ，鯖すし，巻すし。

028 京 大阪（二）

B5判 横書き 206頁

昭和27～43年のあいだの主として京・大阪でのさまざまな職業の人からの聞き書きを合本したもの。

[目次]

1. 京都市内——金瓢（秋山太一郎）昭和39年4月，箸（市原商店）昭和40年11月27日，野鍛冶（亀山老）昭和40年3月，鉄扇ぶし（瀬戸憲久老）昭和39年春，鳥井小路（藤島益雄書信）昭和39年5月，三幸放談（今堀友次郎）昭和38年2月，千鳥酔（村山忠次郎）昭和39年4月，山市みそ（山口市郎）昭和39年4月，鉄仙踊り（吉村福太郎）昭和40年1月 2. 山城——大蓮寺（島利兵衛）昭和43年7月，梅谷（上村正一）昭和43年9月 3. 大阪市中——鮎（阿部直吉書信）昭和27年6月ホカ，大阪鶏卵（伊木鹿十郎）昭和40年11月，あめ（奥山製飴所）昭和40年6月，鮎（小倉英一）昭和39年8月，鮎（久保登一）昭和39年8月，千人食献立（新阪急ホテル）昭和43年9月，タクシー雑談（タクシー運転手）昭和42年1月ホカ，大阪みそ（土屋勇）昭和39年2月，吉野鮎（橋本宗一）昭和39年10月，太鼓（坂本店）昭和38年12月，もやし（樋口松之助）昭和40年12月，播宇海苔ばなし（長尾卯一）昭和38年11月 4. 摂津——原家史（井上老人）昭和39年7月 5. 和泉——阿問賀瀧・葛城ばなし（植田常信）昭和37年12月，塔の原（小山先生）昭和37年12月，泉南民俗（杉野唯雄）昭和31年3月，糠杜氏について（橋本杜氏）昭和31年 6. 城陽町史抄 * 目次として地域・人・題・年月日を表にしたものがある。

[内容]

金瓢——京都の日本酒メーカー「金瓢」の秋山太一郎氏から、酒造業界の現状、日本酒の味の画一化、同社の現状などについて聞き。

箸——京都四条通りの「市原平兵衛箸店」で箸のさまざまなについて聞きをする。市原平兵衛氏が日経新聞に執筆した「日本の箸」という記事を貼りつけてある。

野鍛冶——京都出町の鍛冶屋の亀山老を2回訪問、野鍛冶の歴史について聞く。この結果は「近畿の野鍛冶」(『風俗古今古東西』所収)としてまとめられている。

瀬戸憲久老(市原)——京都の旧市原村の瀬戸憲久老から、洛北の村々でかつて流行った鉄扇節について聞く。

藤島益雄書信——資料についての問い合わせにたいする藤島益雄氏からの葉書を貼りつける。

三幸放談(昭和38年2月21日)——河原町蛸薬師の「三幸」主人今堀友次郎氏からの聞き(ナンバ垂水主悦宅にて):フグ料理について、すしについて。庖集会発会式(於宗右衛門町菱富)。海苔屋「播宇」主人からの聞き:最近の巻き鮓。橋本(吉野)弟:上方の巻き鮓。清水(姫路):地元の鮓。堀内(幸ずし):コブカズノコ。播宇:莫大について。

千鳥酢(昭和39年)——京都東三条の「千鳥酢」の村山忠次郎氏からの聞き:好い酢、尾道造酢。

山市みそ(昭和39年4月16日)——京都縄手四条の「山市」の山口市郎氏からの聞き:店について、労務者、味噌の味、各種味噌の製法、味噌の利用法。

鉄仙踊(昭和40年1月)——京都北白川の吉村福太郎氏から、昔の鉄仙節とその踊りや歴史について聞く。

長池(昭和43年9月4日)——大連寺の住職からの聞き:サツマイモの普及に関係した人物である、島利兵衛の事跡について聞き、島利兵衛供養塔台石の銘文を筆写。

木津(昭和43年9月9日)——相楽郡木津町教委教育長の上村正一氏と下梅谷駒喜多芳大郎老から、梅谷新田についての事跡と農業について聞く。宝永8年の「梅谷新田開発記」からのノートが記されている。

蛸竹(阿部直吉)書信(昭和27年6月)——阿部直吉氏(『すしの本』柴田書店に「阿部直吉老人聞き書き(抄)」がある)からの書状3通を貼る。

大阪鶏卵(昭和40年11月20日)——大阪鶏卵社の伊木鹿十郎常務からの聞き:鶏卵業界、市場流通、雛の産地と産卵数、鶏の寿命、卵の等級、加工卵、養鶏業について聞く。同社の「会社経歴書」のコピーが貼りつけてある。

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

あめ（昭和40年）——城東区西鴨野の奥山製飴所で、あめづくりについての聞き書き。

鮎万——「鮎万」主人小倉英一氏から小鯛の雀鮎について聞く：鮎ねた、鮎の改良、職人、他地方の鮎。

美登利——鮎屋「美登利」の久保登一氏から聞き書き：鮎飯の炊き方、米、防腐剤、酢。

千人食献立（昭和43年1月）——新阪急ホテルの従業員1200人分の昼食、夕食の6週間ぶんの献立のコピーを貼りつける。

タクシー運転手——4人の大阪のタクシー運転手からの聞き書き：運転手の後ろの枕と怪我、追突、スピード、運転手の後ろのガラス。「タクシー運転手」（『風俗古今東西』所収）にまとめられている。

味噌（昭和39年）——大阪西区江戸堀の「大阪味噌食品株式会社」土屋勇社長からの聞き書き：同社の歴史、大阪人の味噌にたいする嗜好、全国の名産味噌の特徴。

吉野（橋本宗一）——大阪淡路町の「吉野鮎」主人からの聞き書き：巻き鮎の原料、精進料理について聞く。

太鼓（昭和38年）——大阪市電木津勘助町前の「坂本太鼓店」での聞き書き：玩具太鼓のつくりかたなどを聞く。「太鼓屋」（『風俗古今東西』所収）にまとめられている。

もやし（昭和40年12月4日）——大阪阿部野の「桶口松之助商店」での聞き書き：酒造のさいの種麴である「もやし」づくりについて。

播字（長尾卯一）——大阪の「播字」長尾社長からの聞き書き：海苔の製造、消費など、海苔に関する全般的な聞き書きをする。また、昆布、カツオ節のダシに関する話もある。

原家史（昭和39年）——高槻市原家の歴史について井上老から聞く。

阿間賀瀧（昭和37年7月18日）——岸和田市阿間賀瀧で会った岸和田税務署員からの聞き書き：岸和田市の概況、税務、織屋、食生活などを聞く。阪和線の大和川～和泉府中間の車中日記の個条書き。バスの時刻表の写し。聞き書きの続き：願泉寺。葛城ばなし（祈年祭の直会の席で）：岸和田市阿間賀瀧の雨降神社祈年祭の直会のさいに、この地方の現況や民俗について聞く。「葛城ばなし」（『風俗古今東西』所収）にまとめられている。

塔ノ原（昭和37年7月18日）——東葛小学校分校の小山先生からの聞き書き：葛城山近くの塔ノ原、相川の概況と小学校について聞く。

泉南民俗（昭和31年）——杉野忠雄氏が泉南地方の特殊献立について発表したものをノートしてある。

糠杜氏（昭和31年）——「堺酒造」の杜氏である橋本氏に糠〔地名〕杜氏について歴史・人数などを聞く。

城陽町史抄——京都府の「城陽町史」から江戸期の領主、木津川の浜、寺小屋、講、宿場、産土神について抜書きをしたもの。

029 播磨

B5判 横書き 204頁

昭和27年から昭和32年にわたる播磨での風俗の聞き書きを綴ったもの。

[目次]

1. 姫路（島の鮓） 2. 加古川（島の鮓） 3. 前之庄（昭和29年） 4. 飾磨（昭和29年）
5. 家島（昭和29年） 6. 赤穂（昭和27年） 7. 龍野・佐用・大原（昭和32年） 播磨風土記（昭和29年） 8. 高砂 9. 妻鹿 10. 飾磨 11. 前之庄 12. 神崎郡志より 13. 書写 14. 山崎 15. 道中献立

[内容]

姫路（島の鮓10月10日車中にて）——車中のオバサンより：鮓，行事食，亥の子，祭りの食事。

加古川（島の鮓10月3日車中にて）——話者不明で鮓についての聞き書き。

前之庄（昭和29年）——壺坂氏よりの聞き書き：酒及び酒造法，杜氏，土地の歴史，米，祭，すし。

飾磨（昭和29年）——藍染めについての聞き書き。

家島（昭和29年）——小島・母オヤ：婚姻圏，行事食，漁船，船大工，紺屋，おはぐろ，島の産物，雑煮と正月料理，行事，冠婚葬祭。ジイサンより：船，魚，家計，講。中上氏：島の呼称，島の歴史，海賊，産物，水，西鶴，娘宿，若衆宿，旦那寺，主食，正月及び年中行事，講，まむし除け，嫁入り。

赤穂（昭和27年7月29日～30日）——田町の石井修一氏より：方言，魚，鮓，雑煮，行事食，冠婚葬祭，花岳寺。

龍野・佐用・大原（昭和32年）——佐用高校にて：佐用姫神社，祭，鳥。大原にて：植物，土地の古豪。高田や主人（教育委員）：大原劇場，灰焼き小屋。

播磨風土記（昭29）と書かれた別表紙がつけられて後半と分けられている。

高砂（5月1日）——小南氏：杜氏，酒，甘酒。

妻鹿（5月1日）——岩崎氏：紺屋。民谷氏：酒造法，地杜氏。

飾磨（5月1日）——女中：行事食についての聞き書き。

前之庄 (5月2日)——山崎壺坂氏より：間取り，賃金，年貢，酒。神崎氏より (5月2日)：機織，八幡，紺屋。壺坂正彦氏夫人より：行事食と日蓮宗の行事食についての聞き書き。

神崎郡志より——神崎郡誌からの引き写し，行事食について。

書写 (5月2日)——東坂本の山中若主人：松食い虫，書写山正門。東坂本の菓子ヤの姐さん：祭，村の現状，雑煮。東坂本村のおばあちゃんより：雑煮，祭の鮎。

山崎 (5月3日)——山崎の壺坂氏：鰯・播州杜氏，醸造，酒の種類。壺坂おく様：正月料理，行事食，祭，鮎，蕨，ぜんまい。福井さん：播州流酒造法，備中・安芸，スッポン仕込。長谷川さん：地杜氏，他の杜氏。前野さん：酒造法と歴史，杜氏。山崎・前野御隠居様：正月料理，行事と行事食，祭とその食事。

道中献立——5月1日から3日までの献立。

030 島の鮎

B5判 横書き 192頁

1953年10月3日から10月15日まで，主として瀬戸内海の島々を訪ね，主として鮎，雑煮を調査した記録。三津杜氏組合刊『昭和27年度 杜氏勤務先一覧表』(B5判4頁)を合本してある。

[目次]

1. 加古川 2. 川棚 3. 尾道 4. 三の庄 5. 土生 6. 田熊 7. 弓削 8. 岩城 9. 有津 10. 木の浦 11. 余所国 12. 宮窪 13. 津倉 附/幸・仁江 14. 今治 15. 御手洗 16. 豊島 17. 久比 18. 大長 19. 竹原 20. 安芸津 21. 木之江 22. 口総 23. 宮の浦 24. 井の口 附/好味 25. 瀬戸田 26. 高根 27. 三原 28. 笠岡 29. 鴨方 30. 姫路 31. 地酒・献立 *1. 加古川から，3. 尾道と，27. 三原から，30. 姫路には矢印が付けてあり他のフィールドノートに移したものと思われる。

[内容]

目次のすぐ後に対象となる地域の手描きの地図がはさみ込んである。

地酒一覧 (10月3日)——目次の最後の「地酒・献立」の部分が最初に組んである。地酒22銘柄の醸造元の名前，味にたいしてのコメントが羅列してある。10月3日から10月10日までの旅行中の献立を記してある。

三ノ庄 (10月3日)——呉服屋のおかみ：氏神，鮎，甘酒，餅，雑煮。海岸の百姓3人：芋の豊作，肥料。酒屋のマダム：祭，甘酒，鮎，雑煮。下駄やのオバサン：鮎，雑煮。三之庄・下駄やの小母さん：雑煮，シバ鮎。

土生 (10月3日4日)——雑貨食料品店 (京城の法務関係上りの人物)からの聞き

き：酒，鮓，芋菓子。呉服兼酒屋のおやじ：客筋，酒。中山氏（酒造組合理事長）：島の酒造。魚や及おばさん達：しばすし，正月，祭。定期船の時刻表。果物やのおばはん：雑煮，正月料理，祭，しばすし。

田熊（10月4日）——木村のおばさん：祭，雑煮，行事食。

下弓削（10月4日）——神社，婚姻，すし，正月，芋，寺，祭，船。下弓削・横井さん：祭，おからすし，雑煮，甘藷。柴作りのおばさん：雑煮，鮓，甘藷，衣服。

岩城（10月4日）——杜氏，酒造，祭，すし，雑煮，産物。芋菓子や（吉岡）マダム：芋菓子の作り方，祭，鮓，雑煮，正月料理，衣服。鉢巻きのおっさん：雑煮，祭，甘藷，畑。

有津（10月4日）——おっさん：祭，雑煮。おばはん：祭，雑煮，正月，甘藷。

木浦（10月4日5日）——酒屋の三人女：祭と料理，雑煮，正月料理，行事。さらさ屋おかみ：芋，祭，鮓，正月料理，名物。

余所国（10月5日）——おちぐん杜氏，酒造，大島杜氏，若い衆，祭，正月料理，氏神。

宮ノ窪（10月5日）——招婿婚，芋，漁業。切符うり場のオバサン：雑煮，正月料理，祭。

津倉／幸・仁江（10月5日）——仁江の藤田氏：祭，雑煮，亥ノ子，盆，神社。津倉・果実・野菜・下駄やのオカミ：祭の鮓，雑煮，正月料理，甘藷，衣服。お菓子やのオバサン：雑煮，鮓。

今治（10月5日）——さらさ屋おかみ：雑煮，鮓，祭。瀬戸内海汽船時間表（木浦にて）。

御手洗（10月5日）——氏神，祭，鮓，雑煮。木村屋主人：漁夫，女郎，櫓，民謡，寺，行事と行事食。木村旅館マダム：祭礼，花見，雑煮，甘藷，鱈すし，おからすし，衣服，魚。時刻表（乗り物は何かわからない。）

豊島（10月6日）——豊島の現況，神社，祭礼，行事食，鮓，正月料理。ソコラの小母さん：雑煮，祭，漁夫，韭。コワイ小母ちゃん：五目すし，雑煮，衣服。

久比（10月6日）——祭，鮓，行事食，産物。

大長（10月6日）——鮓，小船。時刻表。回送店のオバサン：衣服，手甲脚絆，鮓と祭。

竹原（10月6日）——魚屋：アツマスシ。うどん屋のオバサン：孕み鮓，鯖鮓，雑煮。

安芸津（10月6・7日）——三津杜氏組合概況。杜氏勤務先一覧表（昭和27年度）。

篠田統資料目録 I (フィールド・ノート)

三津の概況, 備中杜氏, 大島杜氏, 九州杜氏, 三津杜氏, 西条・呉・尾道の酒造メーカー。半農半漁, かべり, 杜氏の分布。重田氏より聞き書き: 西条の酒, 三津の酒屋の古い記録。行友翁: 三津の酒屋, 杜氏, ギオン社, 魚, 甘酒, ハラミズシ, 御輿, フク, 三浦氏 (醸造元の名前)。安芸津本田老人: さつま, 餅 (雑煮用), バラスシ, 異形握り鮓, 祭礼の鮓, 正月, 花見, 蛸の厚焼き, 寺, ギオン祭, アツマスシ。漁協にて: 雑煮, 寒餅, 祭りと鮓, 主食, 日常の食事, 年中行事, 衣服。

木之江 (10月7日)——高田氏より: 醸造, 祭り, 鮓, 高校。お菓子屋の小母さん: 雑煮, 鮓, 正月料理, 行事食, 主食, 副食。

口総 (10月8日)——船まちの子供連れのごケさん: 畑縞, 祭り, 行事食, 雑煮, 寺, 行事, 山登り, 講, 魚, 芋。

宮の浦 (10月8日)——雑貨屋オバハン等より聞き書き: 正月, 鮓, 芋。

井の口・好味 (10月8日)——井の口にて: 醤油雑煮, 鮓, 縁組, 麦。好味にて子供だいたオバハン: 祭りと料理, 雑煮。八五才老婆: 脚伴・手甲, 衣服, 食事, シバズシ, 雑煮, 村の学校, 薬師さん, 縁組, 婚礼支度, 魚。

瀬戸田 (10月8日)——酒屋・菓子やおカミより: 祭り, 鮓, 正月料理, 寺。時刻表。

高根 (10月9日)——オバハンより: 衣服, 主食, 芋, 産物, 祭り, ミカン, 除虫菊, 雑煮, 正月料理。

031 但馬 丹後

B5判 横書き 116頁

昭和28年から33年にかけての但馬, 丹後での風俗の聞き書きを綴ったもの。

[目次]

1. 舞鶴 2. 和田山 2a. 八鹿・豊岡 (昭和28年) 3. 柴山・津居山 4. 和田 5. 村岡
6. 浜坂 7. 栗野・村岡・生野 8. 和田山・八鹿・津居山・香住 (昭和29年) 9. 出石
(昭和33年)

[内容]

舞鶴——建物の雑感を述べている。

和田山 (昭和31年)——役場にて: 粟氏の人数や行き先の聞き書き。

八鹿・豊岡 (昭和28年)——八鹿高校生より (6月14日): 祭り, 正月雑煮。豊岡日下酒店: 祭り, 正月, 酒。

柴山・津居山 (昭和31年)——柴山の漁婦: 漁業, 雑煮, 鮓。津居山にて: 赤禪, 正月料理, 職業分布, 伝説。付近の孔版刷りの地図がはさみこんである。

美方／和田（昭和31年）——川本数蔵さんよりの聞き書き：杜氏の動向，簡易水道，昔の杜氏の給金，醸造法，悴，村の歴史，史跡，織物，紺屋，衣服，講，農作物，間取り，イロリ，若衆屋，行事食，正月，縁組。

村岡（昭和31年）——川本さん：弁当の菜，炭焼。田村町長：杜氏の数，精米，醤油。

浜坂（昭和31年）——中学校での聞き書き（8月24日）：川下祭り，小豆雑煮，五月五日。

栗賀・村岡・生野（昭和30年）——栗賀村副島緑のレポートが一部はさんである。村岡“江戸常”老女将より聞き書き：雑煮，正月料理，行事食，鮓，講，仲人，手紙。生野高校にて教頭より：川裾祭り。

但馬・和田山・八鹿・津居山・香住（昭和29年）——香住多田氏より聞き書き：くさりすし，へしこ，雑煮，祭り。津居山漁夫の主婦連3人：小豆雑煮，信州，いかめし，祭り。八鹿（2月28日）オフィスガール：雑煮，糍つけ，祭り，このしろすし。和田山（2月28日）農村の老・中婆4人づれ：雑煮，祭り，行事食。日本西国百ヶ霊場兵庫県香住町大乘寺座敷図がはさんである。

出石（昭和33年）——高山貞氏より聞き書き：士族。

032 川裾祭 二八(昭二九)

B5判 横書き 296頁

近江，丹波，播磨の川裾祭のフィールドノートで，各地の川裾祭についての聞き書きと地方文書や目録類の写しを記している。この結果は「川裾祭」（『風俗古今東西』所収）にまとめられている。

[目次]

1. 近江／知内 2. 丹波／香良 3. 丹波／香良文書 4. 丹波／伊佐口 5. 丹波／田中
6. 丹波／成松 7. 丹波／佐治 8. 播磨／杉原谷 9. 播磨／松井庄 10. 播磨／社 11.
丹波／立杭 12. 丹波／稲畑人形（昭和29年）

[内容]

近江／知内（昭和28年）——唐崎神社の鳥居神職からの聞き書き：川裾祭について，日程・料理・行事等，神社のパンフレットを添えてある。

川すそ祭／丹波（昭和28年）——“経路とニュース源”のタイトルで昭和28年7月29日から8月2日までの旅程と聞き書きの相手の名前が記されている。

香良——臼井芳郎氏より：川裾祭り，講，雑煮，正月料理，年中行事。葛の村／水神・幸世・川裾祭，苗代，田植，盆，年中行事，結婚，相続，出産，争議，香良の現

況，病氣，親方子方，醸造，文学，物相めし，間食，公民館。成松田中氏より：祭り，鮎，雑煮，正月料理，年中行事，行事食，沼貫の稲畑人形，神楽，横田，食生活，蛋白質。

丹波／香良文書——（紹） 芦田氏：「宗門帳」断簡，「小物成」断簡，「質入証文」，「借用証」，「香尊帳」の書き写し。安田半耕文書／大叔半耕放人自筆「蔵書目録」，「書籍収集日記」（大正元年9月より大正15年2月まで），「養子祝儀来客控」（元治式正月），「婚礼到来品兼入費録（明治二十一年旧二月）」，「嫁入ニ付到来兼入費扣（明治二十三年旧十二月）」，長帳（初帰り）の他長帳類から献立に注目して書き写してある。

伊佐口——伊佐口：川すそ祭り，猪の子，トンド，年中行事，祭り，丹波木綿，囲炉裡。

田中——安田栗郷氏より聞き：安田半耕蔵書。安田村長：立杭焼。

成松——小川神職より：供物の図解，川裙祭，厄落し，古文書。

佐治——酒の銘柄。つばめやの主人からの聞き：猪の子，川裙祭，年中行事，行事食。

杉原谷——藤賀与一氏からの聞き：検地帳，川裙祭，雑煮，年中行事，行事食，若い衆，講，囲炉裡。宇高弥三助氏（三谷）より：和紙，農家，川裙祭，山，田まつり，鳥獣，祭り，雑煮，地神，先祖講，7日盆。永井万次氏より：若い衆，古文書，地神，山之神，祭り，お頭，トンド，川裙さん。

松井庄——バスのおばさんから：川裙祭，祭りの料理。

社——肥田文主人よりの聞き：雑煮，とんど，年中行事，行事食，猪の子，出産，講，川裙祭，庄屋。

上立杭——清水寅市氏からの聞き：焼物，地神，祭り，すし，年中行事，山の神，正月，雑煮，講，墓。

味間——神社，すし，天道花，川裙祭。

033 湖北色盲調査—加田，息長，米原—

B5判 横書き 228頁

昭和28年頃，滋賀県の琵琶湖東岸地域を対象に色神異常の調査をおこなったさいの記録である。その結果は，「色盲の多い村の生態」（『滋賀県立短大雑誌 B3号』1954所収）および「色神異常」（『風俗古今東西』所収）にまとめられている。先天的色神異常の遺伝を調べるためであろう，戸籍関係の写し書きがおおい。

[目次]

1. 加田——加田・一般, 聞き茂森太四郎, 聞き加田老, 聞き中川・阪東・長尾, 宗門帳文政12年 2. 息長——色盲例, 関係戸籍 3. 米原・朝妻筑摩・多良——関係戸籍 4. 彦根——佐和山小 色盲例

[内容]

一般——長浜市加田の小学校において児童の既応症, 色紙の識別テスト結果, 保健関係について調査した記録。

聞き茂森太四郎——茂森太四郎マダムからの聞き: 衣服, 手織, 麻。茂森新五郎氏 (80才) より: 麻, 魚, ふなすし, いせ講, 雨乞, 祭り, 神社, 婚姻, 正月, 年中行事, 若い衆, 日常の食生活, 講, 神社, 縁組, 年中行事と食事, 元服, 若者宿, 「明治34年香儀受納帳」, 「大正12年香儀受納帳」, 「大正12年病気見舞」の写し。

聞き加田老——加田老人からの聞き: 社寺, 雨乞踊り, 地藏盆, 年中行事と食べ物, 講, 出産, 宮参り, 縁組, 結婚, 葬式, 厄年, 野神, 虫送り, 主食, 女の仕事着, 水。

聞き中川喜一・阪東夫人・長尾巡查——中川喜一: ビロード。阪東夫人: 地藏。駐在所長尾巡查: 治安。

文政12年宗門帳下書き——「坂田郡加田村文政12年宗門御改下帳」の写し。

色盲例——色神異常の7家系に関するノート。

関係戸籍——色神異常者の家系を戸籍から調べた記録。

小中学校色盲現状——近江町息長の小中学校での色盲例を記す。

関係戸籍——色神異常者の家系を戸籍から調べた記録。

米原・朝妻筑摩・多良/関係戸籍——これらの地方における色神異常者の家系を戸籍から調べた記録。

034 [色盲調査 基礎資料]

B4判 横書き 未製本

年代不明 (昭和28年ごろと推察される)。「033 湖北色盲調査 加田・息長・米原」に関連した調査資料を書類袋にまとめてある。家系及び家族構成, 食事まで含めた調査で, 地域は滋賀県下湖北・湖東地域のもの。

[内容]

B4判用紙に孔版印刷で表をつくり, 氏名, 職業, 食事内容を調べたもの, 無野用紙に家系図を聞きしたもの, 調査集計を書いたものなどがふくまれている。

035 中野死亡届

B 5 版 横書き 231頁 未製本

表紙に、「中野村[滋賀県八日市市] 死亡者綴 明治29年1月より昭和27年11月30日まで 註昭和8年一書類なし 明治31年一順序混乱」と書かれている。

[目次] なし

[内容]

明治29年より昭和27年までの、中野村の死亡者名・性別・死因・死亡年月日・生年月日・職業が書かれている。結婚に関するレポートが一部一緒に収められている。スクラップブックの形態ではなく袋につめられている。

036 志摩 昭二八

B 5 判 横書き 320頁

昭和28年夏、大阪学芸大学家政科研究室のスタッフが志摩の片田村を中心に、海女の生活実態調査をおこなったさいの記録である。7月に下調査に行き、8月に本調査がなされたものようである。この調査結果の一部は「小豆雑煮—志摩国海女民俗断片」（『増訂 米の文化史』所収）として発表されている。

[目次]

1. 片田 2. 布施田／和具 3. 船越 4. 片田／下調査 5. 片田／タテガキ 6. 片田／民俗志

[内容]

片田——浜野佐太雄氏より聞き書き(昭和31年9月5日)：真珠養殖。浜野夫人：稚貝、貝の選別、伊勢神宮寺社の配置図、オタイ、宗旨送り文書の抄録、紙ひなの折り方図、壁土の塗り方。片田村長田中氏の聞き書き：漁網、海女の収入、アメリカ移民、真珠業者、海女の死因。奥野漁業組合長聞き書き：風の名称、三蔵寺の大般若経と豊漁祈願、若者組の赤禪。大里の老婆の話：磯人の祭る神の種類、浜遊び、浜施餓鬼。田んぼで老人と海女に聞いたもの：海女の作業、食生活、芋、麦飯、コフゴ、海女の収入、天王祭、鮓の種類。浜口氏他海女から：海女、のみ、粥、食事、大磯人、嫁入り道具。吉田工場長より：ピンクパール、Caの影響。

片田文書——「物産表片田村」、「検地帳（慶長8年4月26日）」、「おみさ出入控帳（万延1年2月）」の写し。

布施田／和具——薬師、大念仏。

船越——北村先生・山深氏・中村村長より聞き書き：地域の現況、婚期、冠婚葬祭、

寿司，雑煮，正月，磯祭り，講，年中行事，厄年，大念仏，春夏秋冬。大田・伊藤マダムより：手こね，節句，雑煮，大念仏。周辺で気付いたものをスケッチ。

片田7月下調査——山の木，風，講，みそ，村の予算。

志摩民俗志——村の概況，結婚，雑煮，鮓等のアンケート30枚がはさんである

下調査プリント——「志摩国片田村の下調べ」というタイトルのゲラ刷りがはさんである。

037 広島・山口

B5判 横書き 115頁

昭和28年から36年までのあいだに広島県，山口県での各地でおこなった聞き書きを集めたもの。

[目次]

1. 松永（昭和34年）
2. 尾道（島の鮓，昭和36年）
3. 三原（島の鮓）
4. 市（昭和28年）
5. 落合，下和知，十日町車中（昭和28年）[十日町は十日市のあやまり]
6. 三次（昭和28年）
7. 吉田（昭和34年）
8. 大朝（昭和30年）
9. 萩（昭和36年）
10. 佐々並（昭和36年）
11. 柳井津（昭和36年）
12. 佐々並道中献立
13. 玖珂（昭和28年）
14. 川棚（島の鮓）奈古

[内容]

松永——下駄づくり，鮓。

尾道——鮓。

三原——鮓，酒造関係。

市——年中行事と行事食，鮓，妊娠・出産の食物禁忌，講。

落合，下和知，十日市——年中行事と行事食，キノコ，酒。

三次——酒造関係。

吉田——年中行事と行事食，酒造関係。

大朝——年中行事と行事食。

萩——スダレ製造販売。

佐々並——酒造関係。

柳井津——阿月風俗，尾道の造酢。

佐々並道中献立——昭和36年11月19日から22日までのおん。

玖珂——鮓，泊った旅館での献立。

川棚——鮓，年中行事と行事食。

038 豊能郡

B 5 判 横書き 208頁 A 5 判 縦書き 6 頁

内扉に「豊能」と記されている。昭和29～37年に大阪府下，旧豊能郡各地域でおこなわれた聞き取り調査および文書調査の記録。

[目次]

1. 豊中／山片文書
2. 麻田／旧藩事情
3. 池田／酒
4. 池田／林田文書
5. 土々呂美
6. 歌垣
7. 大里
8. 宿野
9. 能勢
10. 稲地／酒
11. 能勢／津田文書
12. 吉野・杉原

[内容]

豊中／山片文書——A 5 判 6 頁分に仙台藩の「御家中席順」，「御分領中郡名」を記す。「山片重芳 旅譚」（有坂隆道氏により昭和40年『史泉』第30号にて「升屋平右衛門山片重芳の寛政七年仙台下向日記」として翻刻・紹介されている）の抄録。仙台藩藩士等44人の氏名を列挙する。「山片重芳 旅譚」三月朔（寛政7年）条の写し。「天保6年起誓文」（手代の衣服に関する内容をもつ）の写し。

麻田／旧藩事情——昭和32年調査 藩主青木家子孫についての聞き書き。豊中郷土史学会（3月16日）・ノート：明治期の豊中のこと，青木家・藩旗・小学校の紋を記す。武家屋敷の間取り図16戸分。

池田／酒——吉田芳夫氏談（昭和32年秋）：古い酒屋，地室，朝あげ，半仕舞，シコミ，スクミドリ。西田倉之助氏談（昭和34年1月）：摂津の造酒屋，杜氏（備中・美方・越後），杜氏の条件，道具，麴。岸上氏老母談（昭和34年1月）：近在の家々の事情。造酒屋と酒の銘柄あるいは醸造規模をあらわすと思われる数字を過去の記録にさかのぼって列挙する（年不明，大正8，明和8，天保3，天保年間，元禄10年）。北村系図。

池田／林田文書——昭和37年5月調査，林田家についての聞き書き。「明治二年巳四月九日 祝儀帳」の写し（先代出生のコメントあり）。「明治六年林田松三郎出生につき祝儀帳」，「明治廿六年騎兵之徴記支人被贖」（林田松三郎徴兵に付き，贈物覚え）。「明治29年婚姻賀儀到来記」（乾 静子結婚につき贈物覚え）。「明治31年林田木一誕生につき祝儀帳」，「明治33年林田明三出生につき祝儀帳」，「明治43年再婚につき祝儀帳」，「明治10年納家上棟祝記帳」，「明治13年出店出火見舞納帳」，「明治43年結婚式につき床鈔・膳部品目書上げ」（南新町都楼より林田家あて）。「明治15年林田安平法事につき献立覚書」及び「香資覚え」，「櫛到来記」（明治31年林田木一死去につき）。

「榊料到来記」(明治33年林田家嫁乾静子死去につき)以上の写し。

土々呂美——久保夫妻談(昭和37年7月):年中行事と行事食,ビワ栽培,みそ,炊事,土々呂美神社祭礼,秋祭の鯖すし・餅,伊勢講,観音講,愛宕講,出産,結婚,葬式,寺,公民館。石屋からの聞書き(昭和37年7月):豊中の石屋,石碑,材料石。

歌垣——子安寛一氏談(昭和29年2月):酒造,杜氏(垂水他),奥能勢の蔵,糠杜氏,広島杜氏,甘酒甑,室,酒粕,近在の酒屋,天秤棒,男柱,桶,本念寺,株,株の集まり(墓参りと正月),葬式(宗旨講),神主,事始め,杜氏の給料(明治29~34年頃)。

大里——昭和29年1月調査 大里:正月行事と食物,正月飾り,トンド,歳徳さん,野神さん,柴上げ祭り,粥占,伊勢講,さいの頭,達磨忌。幸世村:柳箸,しめかざり。山田村:しめかざり,雑煮の箸。

宿野——昭和29年調査 森上日向屋での聞書き:嫁入り(話者の経験)。2月10日夜の献立。津田氏談:部屋の名称,間取図,家の各部,国崎銅山,和紙。略地図。文政十一年五人組帳の一部写し。文政十三年宗門帳より宗派別の檀家数(男女別)を控える。聞書き:手織,株,八幡祭,屋敷神,村の概況(家数,人口等記すが,いつの統計か不明)。

能勢——森本氏談(昭和31年5月):西能勢山辺の大師講について(献立,酒宴作法,頭わたし,講の由来),観音講。

稲地,酒——「大正五年度酒類製造帳」(酒類製造主田和市作の名あり),「大正五年度酒類蔵出・割水・売上帳」(同田和市作の名あり),「大正六年度酒類製造帳」,「蔵出・割水・売上帳」,「大正七年酒造年度酒類製造受検簿・蔵出・割水・売揚帳」,「大正八年度受検簿・蔵出・売上帳」,「大正九年度受検簿・蔵出・売上簿」,「大正十年度受検簿」の写し。

津田文書(能勢)——「嘉永四年酒造明細書上帳」(能勢郡山田村酒造人三右衛門より高槻御役所あて),「酒造及び桶新調等について酒造人三右衛門の願書」4通(嘉永5年3通,嘉永6年1通),書状(養子に関する内容)の一部,「明治2年能勢郡山田村役人より同郡野間村役人あて引合書」,「能勢郡宿野村願書」,「安政二年能勢郡垂水村酒造人三郎右衛門願書」,「嘉永五年能勢郡吉野村酒造人三右衛門願書」,「天保八年去申酒造取調御出役様入用割賦」の写し。

吉野・杉原——子安貫一氏談(昭和34年5月):近在の医者・酒造家事情,酒(銘柄と味についてのコメント),株,株の墓,神主,子安家由緒,親戚筋の家々のこ

と、釈迦堂由緒，年中行事（天道花，山の神，トシフリ），伊勢講，御日待，妙見講，愛宕講，十二日講，鯖ずし，八幡放生会，婚礼，水田，裏作，麦，酒造米，酒男，五斗盃。妙花寺での聞き（昭和34年2月）：関西身延，真如寺，清普寺，安穩寺，少林寺，湧泉寺，妙法寺。命尾氏談：家の由緒，地元の様子，釈迦堂，多い姓，歌垣神社，牛の神さん，人物評。杉原での聞き（昭和34年2月）：仏称寺，戸数，薪炭，庄屋，雑煮，粽，亥の子，報恩講，永代経，彼岸，天神さん，祭の御馳走（鯖ずし，巻ずし，おこわ，餅），山ノ神，牛の神さん。

039 歌垣 子安文書 2冊ノ1—紅事

B5判 横書き 248頁

摂津歌垣の子安家にかかわる祝い事（結婚，婚礼，出産，還暦など）の文書を写したものだ。病気の際の見舞控を写したメモと思われるものがはさまれている。年代は不明であるが，「038豊能郡 6.歌垣」の内容と一致するのでその項の調査と判断して次のノートとともにこの順番に並べた。

[目次]

祝儀 1.天保 2.弘化，嘉永 3.安政，万延，元治，慶応 4.明治 5.大正，昭和
6.年次不明 7.メモ記入分

[内容]

天保——「丁天保八歳 隠居門棟上祝儀物受納帳 酉四月廿九日 子安三右エ門」
写し，「天保4巳12月21日 祝儀請控帳 子安しず」，「丁天保8歳 吉野村隠居門棟
上祝儀物受納帳 酉4月29日 子安三右エ門」，「天保12年 祝儀受納帳 丑2月吉日
子安三右エ門」，「天保11年 安産祝受納覚帳 子3月25日生富士栄」，「上巳雛受納」。

弘化，嘉永——「弘化2年 安産祝請納控帳 乙巳2月21日出生 子安小喜久」，
「嘉永元年 お信祝儀受納帳 并出産物扣置 4月23日」，「嘉永二乙酉年隠宅之階土
蔵，普請上棟祝儀，諸式扣 五月十六日主 子安三右エ門頼義代」，「嘉永3年安産祝
納帳 庚戌2月4日未ノ上刻出生ス子安浜五郎事」，「嘉永5年子閏2月6日押方 門
棟上祝儀受納扣帳 類」，「嘉永5年 寿枝祝儀儀受納帳」，「嘉永6癸丑年 安産祝請
納帳 12月3日卯ノ上刻出生ス寿津」。

安政，万延，元治，慶応——「安政2乙卯年 安産祝請納帳 6月5日午ノ上刻出
生ス 子安三次郎」，「安政4巳年 酒蔵建替上棟祝儀受納帳 子安頼義」，「安政6年
祝儀受納 未3月吉祥 子」，「庚万延元歳 安産祝請納帳 申九月八日辰ノ上刻出産
子安寿満」，「元治元 甲子年 東門上棟祝儀受納帳 九月7日子安氏」，「元治2年

安産祝納帳 丑2月5日 卯ノ上刻出生ス 佐太郎,「慶応3歳 祝儀請納帳 卯4月27日」この文書は、「別の家のものらし」と但書が記されている。

明治——「巳明次2年 安福出生 平産祝儀請納帳 巳五月十三日辰ノ刻出生」,「明治3年 土蔵棟上祝儀帳 午3月10日」,「明治7年1月吉日 祝賀六十一子安頼義 甲戌」,「明治8年 子安三右ヱ門 身延参詣見舞受納帳発足 亥四月廿五日」,「明治8年旧10月17日 安産祝儀帳 朝五ッ時誕生 子安義重」,「明治10年丑1月12日 買物帳 義重養子遣ニ附」,「明治10年丑旧11月15日 御祝儀受納 子安義重」,「明治11年旧3月16日 安産祝儀受納帳 巳上刻出産 子安寿栄」,「明治15年旧4月8日 朝誕生 安産御祝儀請帳 子安房乃」,「明治22年 祝儀受納扣 4月吉祥日 子安朝枝」,「明治22年旧11月11日 吉辰ニ付 能多氏お祥嫁入ニ付祝ひ受納帳」,「明治22年旧12月9日 誕生 安産祝記簿 子安艶女」,「明治24年旧9月3日 甲子, 日辰上刻生ル 安産祝請納記帳子安はる江」,「明治26年 乙丑日辰上刻生 安産御祝儀受納帳 己旧10月17日 子安頼義」,「明治28年3月吉日祝賀61子安三右ヱ門」,「明治31年12月22日 午前1時出生 安産祝儀受帳 子安貫一」,「明治33年5月吉日 還曆内祝覚帳 子安フジ江」,「明治35年4月出生 安産祝儀受帳 子安ハヤ」。

大正・昭和——「大正9年4月16日 井村トミヲ迎へ 婚礼祝儀受帳」,「大正11年7月13日 午後6時出生 安産祝儀受帳 子安仁子」,「大正12年7月27日 吉日 診察室上棟式祝儀受帖」,「昭和3年5月26日 貫一結婚祝受帳」,「昭和4年4月6日 安産祝儀帳 子安春野」,「明治29丙申ノ年ハ同一日午後八時出生 安産祝儀受納帳 子安シカノ」,「昭和5年9月26日 午後 寿郎安産祝受帳」,「昭和8年5月4日 午前1時10分誕生 寿美子安産祝受帳 子安寿美子」,「昭和10年11月12日 午後5時50分誕生 貴美子安産祝受帳 子安貴美子」。

年次不明——「還曆祝受帳 子安朝野 明治末ノモノ」,「3月25日 出産祝受納帳 子安礼子 大正11.7生レ 仁子の妹ナラン」,「御婚礼献立 頼義の折のものならん」,「伊勢まいりみやげもの覚帳」。

メモ記入分——「本守院清色鳳麟日出居士遺物覚」「同香奠帳」いずれも天保11年のもの,「鳳龍院顕真日如居士入用控」,「同香奠帳」いずれも文政5年のもの,「大正10病 佐太郎」,「明治29病(中風)三右ヱ門」,「明治20病 頼義」,「明治22病 頼義」,「明治20病 頼豪」,「明11病」,「明治3病 お丈」,「明治1 歌枝病」,「慶応2病 八郎助」,「嘉永4病 菊次郎」,「嘉永1 三右ヱ門 病」,「弘化4痘 藤松, 小喜久」,「弘化4病 静」いずれも食品名と数を記す。おそらく見舞品の覚えを写したものであろう。

040 歌垣 子安文書 二冊ノ二 白事

B5判 横書き 164頁

摂津の歌垣の子安氏関係の病気見舞・葬式に関する文書の写しを合本したもの。歌垣周辺の自筆地図1枚がはさまれている。

[目次]

1. 病気見舞 2. 凶事／幕末 3. 凶事／明治 4. 凶事／大正・昭和

[内容]

病気見舞——「弘化4丁未年 静病気見舞請帳 十月 子安氏」,「弘化4丁未 瘡瘡見舞受納帳并湯かけヲ扣」,「嘉永1年 病気見舞扣 申六月日 子安三右ヱ門」,「嘉永4亥8月19日 家之節見舞諸納帳 子安菊次郎」以上はいずれも見舞品としての食物とそれを持参した人の氏名を記したものである。「嘉永4亥8月19日薬之覚」,本文書は薬と医師の覚え書である。「慶応2年寅3月 御見舞受納覚帳子安八郎助」,「明治元辰年 歌枝病気見舞品物留 十一月」,「明治3年4月 瘡瘡見舞受納帳 子安文」,「明治11年 病気ニ付見舞物受納帳」,「明治二十年七月頃ヨリ 病気見舞品其外恵贈品記 子安頼義」,「明治29丙申年9月 病気ニ付見舞受記 子安三右ヱ門」,「大正10年12月8日 子安佐太郎病気見舞受帳」以上は病気見舞の食品と持参した人を記したものである。

凶事／幕末——「文政5年 子安大三郎 鳳龍院顕真日如居士香奠帳 午5月22日」香奠品目とその数の控え,次に「忌中見舞」をも記す。「文政5年 鳳龍院顕真日如居士葬式 諸入用覚帳 午ノ5月22日 子安大三郎」京都,亀山での買物の覚え書,品目(食品が主),値段を記す。「天保11年 子安藤枝 本守院清邑鳳麟日山山居士香奠帳」米,赤飯,牛房などの食物を香奠,忌中見舞の別にその数を記したもの。なお,さらに「本守院様遺物覚」を付す。「天保12年丑12月14日御命日 本守院様一周忌法事施行 香料料理物并盛物献立 子安三右ヱ門」内容の要約を記す。「天保13年9月4日ニ取越改相勤メ候 本守院様三回忌法事施行 香料料理物請納盛物遺シ料理献立 子安三右ヱ門」請物の品目,9月4日献立,「本守院様法事施行7回忌弘化3年4月14日取越改相勤候香料・料理物請納并盛物遺ス,料理献立,客人名前記シ置頼義代」請物の品目,買物の覚を記す。「弘化4才 行年30才俗名静女 鷲峯院妙唱日禮大姉香奠帳 未11月24日 同26日葬式 子安三右ヱ門」退夜までと忌中見舞の香奠品目,寺への布施,買物覚,初七日香料,三七日香料,遺物を記す。以後,初盆,1周忌,3回忌,7回忌,13回忌,7回忌(17回忌の誤り),25回忌,50回忌の請物の品目,献立を記す。「文久3年 行歳4才 俗名寺満 智勇妙勝童女 亥6月18日同

19日葬式 香奠帳」忌中見舞の品目、葬式献立、一七日献立、買物覚、初盆の請物品目、三回忌、7回忌、13回忌、17周忌、25回忌、33回忌それぞれ献立表、供物覚など。「天保12丑6月3日 50年忌4月13日相勤 真性院宗利日解信士 寛政4壬子年 死去」供物、買物覚を記す。

凶事／明治——「明治7戊年 蓮乗妙空嬰子俗名ゆきへ行年3歳 陽曆8月8日子安三郎ヱ門」請物品目、初盆請物品目、一周忌布施、7回忌供物、他の法事覚、「明治9年陽曆12月6日 香奠帳 冬屋妙香大姉 俗名鶴飼おへと」葬式、忌中、五七日の請物の表、葬式買物覚、五七日買物覚、川施餓鬼、七七日・一周忌・三周忌布施、初盆買物覚、「明治11年7月29日 香料帳 蓮浄秀寛居士俗名鶴飼兼寛」葬式、忌中の布施表、「明治11歳 天勇院妙照日喜大姉 俗名子安宇多枝 寅11月7日式」葬式・忌中の香奠・布施表、拂方覚、葬式献立、一七日・五七日・百ケ日献立、葬式・一七日・五七日買物覚、遺物覚、百ケ日買物、供物、初盆・1周忌・3周忌、一周忌献立、「明治35寅年11月20日 天真院妙観日照大姉 俗名子安フジエ」庄内香奠記、他所香料、33回忌香奠控、他所香奠受納帳、「明治37年 仮香奠受納帳 真諦院 5月13日 俗名子安三右ヱ門」他に他所香料、3周年、25回忌の香料覚、他所忌中、「39年9月 香奠仮記入帳 俗名子安濱五郎」他に待夜の請物、待夜講中外手伝人の献立、入費記など。

凶事／大正・昭和——「大正12年12月 累徳院 俗名子安佐太郎 香奠帳」支拂先控、他所香料記、「大正10年12月 累徳院忌中見舞帳 俗名子安佐太郎」35日法会客、献立、布施、葬式当日献立、「大正11年8月盆 累徳院初施餓鬼供物受帳」、「昭和2年12月7日法事献立」、他に供物覚、「大正11年12月7日 累徳院1周忌香料受帳」献立、布施を記す。「昭和8年10月19日取越 累徳院13回忌法要香料受帖」、「昭和12年10月5日 法要香奠受帖」、「昭和8年3月23日卒 智信円乘孩子香奠受帳 俗名子安信彦」他に買物覚、35日供物、「昭和22年4月2日 温良院35日忌一周忌供物受帳」。

041 岡山

B5判 横書き 148頁

内扉には「山陽道（岡山）」と記されている。昭和28, 29, 34, 35, 36年に岡山県下および兵庫県の一部でおこなった調査の記録、ほかに「玉島・瀧沢文書」（A5判）を合本したもの。

〔目次〕

1. 勝間田 2. 月田（昭和36年）・落合（昭和34年） 3. 司真 4. 撫川 5. 高梁 6. 刑部（昭和36年） 7. 広瀬（昭和35年） 8. 唐松（昭和35年） 9. 高梁・成羽・地頭方・

本郷（昭和29年） 10. 玉島・乙島（昭和28年） 11. 玉島・瀧沢文書（昭和28年）・家計 12. 笠岡（島の鮓） 13. 鴨方（島の鮓） 14. 金光・鴨方

[内容]

勝間田——昭和32年に府立病院〔京都府立医大附属病院〕で岡山県英田郡（もと勝間田郡）出身者からの聞き書き：正月雑煮，3月節句の食物。

月田——昭和36年の酒造関係を主とした聞き書き：月田の歴史，酒造業者，水車，酒造技術と道具，明治・大正の酒づくり，鮓屋，山林，木地屋。

落合——昭和34年におこなった，おそらく学芸大学生からの聞き書き：サバズシ，雑煮，正月の食事。

司真——現在熊山町に合併されている旧司真村の菓子屋のオバサンから聞いた年中行事の食事。

撫川——撫川領主戸川家の歴史，武家屋敷，武士の長屋の間取図2，社寺。

高梁——武士の住居間取り図3。武士の住居での聞き書き：ウナギ，そば。

刑部——昭和36年に聞いたこの造酒屋の話のメモである。

広瀬——昭和35年の聞き書き：年中行事と食事，出生に関する行事，仲人，庄屋，鮓。

唐松——昭和35年の聞き書き：年中行事と食事，社寺，祭りのドロクづくり。

高梁・成羽・地頭方・本郷——昭和25年に伯備線で旅行したさい列車のなかやバスで会った人々からの聞き書き：高梁の雑煮，サバズシ，祭りの食事。成羽の雑煮，祭りの食事，卵の花すし。地頭の雑煮，すし，祭り，墓，社寺，青年の仕事，山中鹿之助の墓，米作，甘酒。本郷の祭りの食事，サバズシ，甘酒，五目すし，正月の食事，ちまき，3月の節句の重詰，4月8日の甘茶と天道花。

玉島・乙島——昭和28年の聞き書き：ママカリすし，五目すし，オミノロ，粥，雑煮，山の神の祭り，正月の食事，若い衆の赤フンドシ，樵の習俗，天道花，月経小屋，備中杜氏，年中行事と食事，社寺，講，手機，正月15日のワラ馬，常食，換金作物の変遷，船乗り，魚売り，下人，株，「良寛さん」と題する孔版印刷のチラシ1枚（良寛は玉島の円通寺に20年居た），杜氏の聞き書き，備中杜氏出稼先及び人数表1枚，備中酒造業者所在地と銘柄などを記した表1枚。

玉島・瀧沢文書（A 5判）——「弘化2年大阪行諸入用控」，「弘化2年日記帳」，「弘化2年万覚帳」，「弘化2年諸入用控帳」，「弘化3年金銀出入帳」等の写し，以上は守屋勝太郎なる人物が京大阪へ旅行したときの記録である。

笠岡——備中杜氏の歴史や出稼先きなどに関する聞き書き：年中行事と食事，通婚，女性の衣服の変遷，ヤレボウ行事。

鴨方——汽車のなかでオバサンから：年中行事の食事，すし，祭り。

金光・鴨方——山陽線の車中で：金光と鴨方の年中行事の食事。

042 玉島 宗門帳

B 5判 横書き 138頁

備中国浅口郡乙嶋村の寛永から明治にわたる宗門改帳，人別送りなどの文書を写したものの。製作年度は不明であるが，地域が「041 岡山」と同一地域であるのでこの順番に並べた。

[目次]

1. 寛永廿年以降浅口郡之内乙嶋村家付人付帳 牛共々 其一 2. 寛永廿年乙嶋村家付人付牛共々 未ノ十二月二日 3. 寛永一明治年別集計 4. 正徳5年備中国浅口郡乙嶋村宗旨御改帳 未三月 5. 戸籍 6. 乙嶋村家付人付帳・宗門帳目録 7. 人別送り

[内容]

寛永廿年以降浅口郡之内乙嶋村家付人付帳牛共々其一——寛永20年から慶応4年にわたる乙嶋村の世帯数，男女人口，一世帯平均人数，職別人数，婚姻の月の表など。

寛永廿年乙嶋村家付人付牛共々 未ノ十二月二日——各家族の人数，氏名，年齢，家の間数，持牛の数を記す。

寛永～明治年別集計——乙嶋村における人付家付帳より家数，室数，人数，牛数の合計を記したもの。年次は正保2～4年，慶安1，2，4，5年，承応2～4年，明暦2，3年，文治2～4年，寛文2～12年，延宝3，4，8，9年，天和2年，貞享2年，元禄7年のものがある。(記載順)(その次には，同じく乙嶋村の家付人付帳があるが，これは頁全面に×印をして消している。)そしてその後「備中国浅口郡乙嶋村宗旨御改帳」の正徳5年のものがあり，ついで元禄7年の家人付帳，そしてまた弘化8年の宗門帳を記す，以後再び家付人付帳を記す。年次は文政3，11～13年，天保3，4，天保6年～明治3年まで，途中「安政3年の寺々」の表あり。

正徳5年備中国浅口郡乙嶋村宗旨御改帳 未三月——持高の有無，氏名，年齢，檀那寺院を記す。

戸籍——生年月日，氏名，年齢，職業を記す。明治5年。

乙嶋村家付人付帳・宗門帳目録——延宝4年の人付家付帳，正徳5年～明治3年にわたる宗門帳の編年目録，元治元年・文政13年宗門帳。

人別送り——出稼先の地名と年次を記したもの。末尾に地名ごとに件数を整理する。

043 土佐日記 上 昭29

B 5 判 横書き 102頁

昭和29年7月22日から8月1日までの四国旅行のさいの記録。「土佐日記 上」には7月21日から26日までのものをおさめる。

[内容]

7月22日——阿波那賀郡における行食事，鮓，酒，食生活一般，年中行事，結婚，漁業について。平谷（上那賀町）における行食事，鮓，餅，年中行事，住居，山仕事について。

7月23日——日和佐における年中行事，ソロバン玉製造，衣服，漁業について。甲浦における年中行事。

7月24日——佐喜浜（高知県）における年中行事，行食事，鮓，衣服。室戸崎灯台職員からの聞き書き：奈半利の年中行事と行食事，鮓，結婚，住居。

7月25日——安芸（高知県）での密造酒，鮓，魚飯，漁業。赤岡での酒造業，鮓。

7月26日——高知（市）での酒造についての聞き書き。

044 土佐日記 下 昭29

B 5 判 横書き 135頁

7月26日から8月1日までのものをおさめる。

[内容]

7月26日——田井（高知県）での講，農業，結婚，年中行事と行食事。長沢での青年団，焼畑，密造酒，鮓，年中行事と行食事。

7月27日——日比原（高知県）の雑煮と鮓。

7月28日——宇佐（高知県）での年中行事と行食事，皿鉢料理，高やつけ。須崎（高知県）の変遷。

7月29日——松葉川（村）での幣，ドブロク，年中行事と行食事，祭り，鮓，結婚，妊娠中の食物禁忌，酢。入野（松原）での年中行事と行食事，主食，味噌，結婚。

7月30日——中村（高知県）での酒造法。

7月31日——岩松（愛媛県）の鮓，雑煮。

8月1日——伊方（愛媛県）での地誌，年中行事と行食事，雑煮，鮓。

045 石見路 昭二九

B 5 判 横書き 128頁

日程等の月日は不詳であるが，石見旅行の時の風俗の聞き取り帳で地域別に綴じら

れている。

[内容]

美作勝山・備中新見——津山 Bus 網，勝山新村の老婆，今出屋老女，三浦藩主，勝山 Bus，新見高校の聞き書き。

大田・大森——大田発の石見交通バス網，朝日屋主人，朝日屋女中かヨメさん等からの聞き書きと役場での調査メモ。

浜田・三隅・津田——浜田 Bus，三隅，浜田のおかずの品名。三隅，津田での聞き書き。

津和野——望月幸雄氏からの聞き書き，古文書から。

046 瀧畑 I 一般，関屋，平井谷

B 5 判 横書き 150頁

昭和29年，当時主宰していた大阪学芸大学家政科研究室のスタッフ，学生約30名を引率して，現在の河内長野市瀧畑の調査をおこなったさいの記録。この調査の結果は『大阪学芸大学紀要』第3号昭和30年，『生活文化』第4冊に収録されている。5月と8月における聞き書きのそれぞれ2篇と，文書別にわけた3篇を合本してある。

[目次]

1. 瀧畑（5月28日） 2. 瀧畑／8月聞き取り 3. 関屋その他 4. 平井谷 5. 宗門帳

[内容]

瀧畑（5月28日）——地区の概要，年中行事。

瀧畑／8月聞き取り——河浦校長：地区の概要，生業一般，農作物，女の内職，方言，棧織。辻之上教官：衣服，林業，婚姻，イロリ，教育。橋向こうのオヂサン：萱場と屋根ふき。西ノ村の山手のアンチャン：椎茸，炭。西ノ村のオバサン：葬式。西ノ村配給所ヂイサン：葬式，養蚕，主食，相続，発電所，炭焼き。坂谷通夫氏・梶谷亀次氏より聞き書き：寺，鐘，カクレゴ，方言。三浦玄良氏より：モンベ，揚梅，住居。西ノ村森下力松氏より：家計，聞き取り図，婚姻。

関屋その他——「寛政十年戊辰九月吉日 山株附年貢盛分け帳」，「宗旨送り文書文久3年」，「元禄12年瀧畑検地帳」。

平井谷——妻君の談話：先祖，雑煮。「井谷家系図（寛政8年まで）」，「分銅員数帳（文政2，14年）」，「炭焼関係文書（文政9年）」，「訴状」，「大工取引続に関する文書（文政9年）」，「分配勘定目録（天明9年）」，「茶畑梯木井山御年貢帳（寛文8年）」，「威鉄砲御改帳（文化14年）」，「年貢減免状（文政元年）」，「無宿人をおかしたことにつき村役人に提出した始末書（文政6年）」，「行倒人に関する始末書（享和3年）」以上の写し。

宗門帳——文化5～11, 13年, 文政2～11年, 弘化5年のものの写し。「人別送文書(寛政, 文化, 文政, 享和年間のもの)」写し。

047 瀧畑 II 大谷(村政)

B5判 横書き 110頁

天保以来平井谷氏に代って庄屋になった大谷家の文書の写し。

[目次]

1. 村政 2. 雨悦・雨乞・願ほどき 3. 村方懸り入用帳 4. 人別送り・往来手形・村役人表 5. 検使口上 6. 家出人跡付 *本巻には1～3を収録, 4～6は『瀧畑 III』に収められている。

[内容]

村政——「相続に関する代官所の問合せにたいする返書(天保2年)」, 「借用証書(天保2年)」, 「売掛金支拂請求文書(天保9年)」, 「木附子密伐を禁じる文書(天保4年)」, 「子供組定め書(天保15年)」, 「宗旨請状(天保5年)」, 「宗旨請状」, 「仕法講覚之帳(慶応元年)」, 「明治3年村高」, 「奉公人請状(天保9, 10年)」, 「控貧之者書上帳(慶応2, 3, 4年, 明治3年)」, 「道造他力寄進帳(慶応元年)」, 「牛売買に関する一件文書(弘化3年)」, 「苗字帯刀の免許(嘉永3年)」, 「猪狩に関する申渡書」, 「所拂に関する文書類」, 「家出跡附帳(嘉永6年)抄録」, 「大般若経奉獻関係文書(嘉永3年)抄録」, 「家出人の貨財にたいする口上」, 「家出人の跡附相続に関する願書(万延元年)」, 「家出人の届け状」, 「永豆腐株に関する文書(安政4年)」, 「山木売買に関する証文(安政4年)」, 「大工, 木挽関係文書(改化4年, 天保14年)」, 「江戸送りの酒荷に関する文書」, 「大阪向け商品の種目, 数量を求める文書とその回答文書」, 「明治5年の鉄砲の数」, 「天保13年における一朱銀調査抄録」, 「屋根ふきかえに関する文書類抄録」, 「奉公人給金に関する証文(天保3年)」, 「器物毀損事件訴状・附幾解決の事を記す(天保14年)」, 「無法人取締願書(天保13年)」以上の写し。

048 瀧畑 III 大谷(人事)

B5判 横書き 148頁

天保以来平井谷氏に代って庄屋になった大谷家の文書の写し。

[目次]

1. 人別送り・往来手形 2. 村役人・太夫成 3. 検使 4. 家出人跡附

[内容]

人別送り・往来手形——往来手形13通(文政6～明治5年), 生きだおれ調書(天

保8年), 座送り証文2通(寛政3~4年), 離村・宗旨送りの手形3通(嘉永3, 元治2, 弘化5年), 嘉永5年の宗門帳からの氏名抜書き, 宗旨送り手形(元政元年), 訴状(文政7年), 百姓相続関係文書13通(文化4~13年), 諸物価取締帳(文化2年)の写し。

村役人・太夫成——「村役人表(文政13年, 天保7年)」, 「組頭名の表(天保8, 10, 12~14, 弘化2~5, 嘉永2, 7, 安政4, 7, 万延2, 文久2, 3, 元治元, 慶応2, 3, 明治1~3年)」, 「文化十年7月氏神の太夫成帳」, 「地券改正時の瀧畑の世帯主名表」, 「弘化4年太夫成出銀帳」, 「村役人技書(寛政8, 文化5, 弘化5, 天保7, 8, 10~14年)」, 「五人組改帳(天保15年)」, 「村役人技書(弘化2~4, 嘉永2, 安政4~6, 万延元, 文久1~3, 元治元, 慶応元, 明治1~3年)」以上の写し。

検使——「行き倒れの検使願並に持物」, 会計の報告書36件(嘉永3, 弘化10, 文政13, 天保2, 安政5, 文久2, 嘉永4, 明治25年), 「司農局へ嘆願書」(明治3年), 「行き倒れの検使願並に持物」, 会計の報告書4件(天保年)写し。

家出跡附——夜逃げ, 駈落ち, 身代限り等の遺留品の目録(家出跡附帳)を「村方懸り入用控帳」から6件(天保9~12年)と他から35件(うち重出4件)(弘化10, 11, 享和2, 3, 弘化3, 嘉永6, 7, 天保9, 万延元, 文久元)の写し。

049 瀧畑 IV 猪狩・献立

B5判 横書き 84頁

この村で, 冬期殿様以下家中によって行われる特殊行事としての猪狩の記録と, 猪狩及び香儀, 祝儀, 年中行事の中に出る献立や食品名の写し。

[目次]

1. 猪狩 2. 献立

[内容]

猪狩——「御殿様御□□見御所入目録書(安永5年)」, 「御殿様御巡見御猪狩右ニ付入用(安永5年)」, 「御家中御宿(内容は略されている)」, 「御上様より村方江□□下」, 「人足覚」, 「家賃銭」, 「殿様御巡見御狩帳(享和2年)」諸の注意・御前廻り献立・被下金銭・宿割・狩の手順, 「御殿様御巡見御狩入用(享和2年)」賄の記録, 「御殿様御巡見御狩目録帳(天保13年)」準備・宿割・献立・狩の手順, 「御殿様ししかりお成村方入用帳(嘉永元年)」賄帳, 「人足勘定帳(嘉永元年)」, 「御殿様猪狩ニ付諸処入用帳(嘉永3年)」人足割当・賄・被下金銭, 「御殿様猪狩ニ付入用割方内より人足勘定(嘉永3年)」, 「御殿様御猪狩目録帳(嘉永4年)」役目割・献立・賄・獲物, 「御家中猪狩御延引ニ付買物□□帳(嘉永4年)」, 「御殿様御所入御猪狩一条帳(嘉永5

準備・宿割・献立・献上物品・買物，「人足帳（嘉永5年）」，「御殿様御順檢御狩山記録帳（文久3年）」準備・入用覚・献立・買物・献上品，「御殿様猪狩雑用覚帳（文久3年）」賄帳，「御家中下宿割帳（天保13年）」，「御殿様御巡見御狩ニ付村方入用帳（天保13年）」賄帳，「光滝寺造用付立帳（天保4年）」賄帳。

献立——「此度庄屋本役下仰付村方江ふるまい覚（天保14年）」，「光滝寺諸什物相改控（嘉永7年）」，「光滝寺諸用帳（安永5年）」そのうち2月7日の献立部分，「諸道具買帳（文化9年）」文化9年から天保13年までの払金額と相手の名，「婚礼覚帳（嘉永6年）」，「婚姻受祝儀覚帳（昭和3年）」酒と祝儀人名，食品名を記す，「支配帳（安政2～明治3）」松茸茶がみられると記すのみ，「大般若経奉獻（嘉永3年）」食品名4つ，「大宮屋根替普請勘定帳（弘化4年）」，「平藪一件土砂方掛り（嘉永6年）」，「光滝寺賢梁得度之節諸口覚（享保8年）」賄・献立，「神殿祝儀覚帳（明治12年）」酒の量と祝儀人名，「婚礼祝儀請取簿（明治35年）」祝儀品とその代価，「線香料覚帳（安政3年）」，「紛失物届書（嘉永4年）」，「平井谷香儀帳一覧表（明治30～昭和23年）」6件，「関谷祝儀」，「香儀帳一覧（明治24～昭和28年）」25件。

050 瀧畑Ⅴ 左近・産業・公事・戸籍

B5判 横書き 114頁

左近熊太翁旧事談から書き抜いたノートと産業に関係した文書の写し，禁令文書の写し，戸籍からの抜書き。

[目次]

1. 左近熊太翁旧事談 2. 産業 3. 公事・法度 4. 戸籍

[内容]

左近熊太翁旧事談——アチックミュージアム彙報23「河内国滝畑左近熊太翁旧事談」昭和12年宮本常一著の頁を追った要点の技書。

産業——「物産之品書上帳（明治3年）」，「炭の値上げ願書，茶種売拂値段書上帳（天保11年）」，「油密移わび状（天保4年）」，「訴状 炭焼の特権の願い出（寛政6年）」，「申渡状 土地の売買の許可（寛政10年）」，「訴状 延納者への催促願（明治2年）」，「減刑嘆願書二通（明治2年）」，「炭の値上げ嘆願書（文政6年）」，「同嘆願書（文化2年）」，「上書（文政9年）光滝寺住職快栄から上毛の炭の売却は大目に見てやってほしいという願書，町役人から村役人への依頼状（天保9年）」，「逃散事件の明細書（宝歴のころ）」，「田地下作手形（享保2年）」，「田地下作手形（宝永1年）」，「下作請証文（嘉永7年）」，「草山下請証文（弘化2年）」，「下請証文一覧，取替証文

(嘉永6年)],「平藪田地小作の件(嘉永7年)],「平藪田地小作の件文書一覧」。

公事・法度——「郡中申合書(天保4年)],「郡中申合書(天保4年)],「滝畑村若者取締(文政7年)」。

戸籍——家族の名前と年齢,婚姻関係を戸籍から抜書き。

051 瀧畑 婚姻圈資料

B 4判 25枚 34.5×39cm 1枚

平井谷家文書・大谷家文書による瀧畑町の村内婚・嫁入・養女のアンケートとそれをまとめた表。

052 諸国聞書

B 5判 58枚 未製本

後にフィールドノートとして製本する予定のものと見られ,中を内容ごとに分けてあり,本のケースに入れられている。各地の聞き書きであるため,内容,年代にはばがある。途中ハガキ2葉と封書一通がはさまれている。

[目次] なし

[内容]

吉野放談——昭和44年9月7日 吉野昇雄氏と西川清三郎氏ともに放談したあらまし。「考証篇」,「江戸前篇」,「雑談篇」と分かれている。

奄美群島,その他——昭和46年10月26日 北白川で,アマミ旅行の時の様子を記したものである。

日向——昭和27[29]年宮崎県東臼杵郡延岡付近の海岸農村での調査のメモ。年中行事とそれに付随する料理,生活の様子等を記している。

鹿児島——昭和28年に行われた鹿児島の料理についての調査のメモと思われる。

薩摩坊の津——調査年代は不明であるが,9月16日の日付の入った,鹿児島県川辺郡坊の津町秋目での食生活についての調査のメモ。

今村駿一郎「さつま物語」——読書メモ。昭和41年7月12日松ヶ崎宅にての日付がある。

九州大村——年月日不明。九州大村の鮓についての調査メモ。

松任談——近畿ツーリスト KK の森成義氏の松任の話を書き記したもの。

越前・岡本・酒——越前岡本村での調査で写した文書と思われる。「御尋之御答書 上納酒屋共」とあり,上納酒屋に対し出された質問や下知に対しての解答,申しひらきを記した書付けである。

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

一般，すし（西内手紙）——西内正からの四国のすしに対する手紙と，それを白地図に示したもの。昭和30年2月28日の書き込みあり。

大分県佐志生——昭和45年6月25日の日付の入った聞書き。朝日学芸部記者の高橋徹から大分県臼杵市の佐志，隣の一尺屋の生活状況を記している。

宮崎県のすしの種類と作り方のアンケート

大分県，宮崎県，熊本県で行なったすしのアンケートの統計資料。

江戸——昭和29年2月の日付があり，東京の古くからの鮓について種類，製法を記している。

東海道線——昭和29年2月の日付あり。東海道沿線の地方の行事とそれに付随する料理を記したもの。

鶯亭金升談 西洋料理——昭和27年7月4日，NHKが放送した番組からのメモ。明治の舶来物として当時の料理の話をのせている。

053 丹波

B5判 横書き 246頁

昭和29年から34年にかけての丹波地方での風俗を地方別に綴ったものに年中行事とその食生活のアンケートを付して一冊にまとめたもの

[目次]

1. 柚原 2. 犬甘野 3. 綾部，山家，園部 4. 稲畑人形 昭和29年 5. 立杭 昭和29年 6. 篠山 昭和29年 7. 神楽 昭和29年 8. 佐治 昭和29年 9. 香良，成松，絹山 昭和34年 10. 小川，香良 昭和29年 11. 和田 12. 沼貫 13. 葛野 昭和34年 14. 氷上一円（香良を中心に）昭和31年 15. 福住 昭和29年 16. 年中行事／柏原，山南，氷上 17. 年中行事／青垣，市島，春日

[内容]

柚原——よろづ風俗の聞書き。

犬甘野——社寺他の聞書き。

綾部，山家，園部——土族屋敷を目的とした聞書き。

稲畑人形——伏見人形の系統を引く稲畑人形に関する聞書き

立杭——焼き物に関する聞書き。

篠山——紺屋での聞書き。

神楽——よろづ聞書き。

佐治——産業の聞書き。

香良，成松，絹山——よろづ聞書き。

小川——よろづ風俗聞書き。

和田——よろづ風俗聞書き。

沼貫——よろづ風俗聞書き。

葛野——よろづ風俗聞書き。

氷上（香良を中心に）——よろづ風俗聞書き。

年中行事／柏原，山南，氷上——年中行事のアンケート用紙を綴ってある。

年中行事／青垣，市場，春日——年中行事のアンケート用紙を綴ってある。

054 京 大阪 昭29～37

B5判 横書き 170頁

昭和29～37年のあいだに記録した京都，大阪の鮓屋，酒・酢醸造業者，和菓子屋，羅宇屋，売薬，アンマ，焼イモ屋，船頭などの商売に従事する人々からの聞書き，薬史学会講演記録，先生の住居があった北白川の風俗，缶詰，都市ガスに関するノートなど。

[目次]

1. 重兵衛（昭和29年）
2. 伊豆卯（昭和29年）
3. 末広
4. 桜戸
5. 千鳥，松井の杜氏 辻留（昭和31年）
6. 秋山（昭和29年）
7. 秋山（昭和34年）
8. 俵屋（昭和34年）
9. 上尾 平井（昭和35年）
10. 薬史学会（昭和37年）
11. 愛郷会座談会
12. 北白川（おくに）
13. 羅宇や
14. 按摩
15. 淀（土族やしき）
16. 大阪／焼いも・大豆あん・ねや川船頭・缶詰大学・大阪ガス

[内容]

重兵衛——京都の鮓屋「重兵衛」での鮓，料理に関する聞書き。弁当の盛りつけの図あり。

伊豆卯——京都の鮓屋「いづう」でサバ鮓のつくりにかたを主とした聞書き。同店の包装紙が貼りつけてある。

末広——京都の鮓屋「末広」での鮓関係の聞書き。

桜戸——酢づくりの聞書き：腐敗酒からの酢づくり，同店の文書のうつし。

千鳥酢——酢づくりの聞書き。

杜氏——域崎郡杜氏組合長からの聞書き。「京都における酒造業調査計画内容」という6枚の孔版印刷が貼りつけてある。

辻嘉一——「辻留」主人からの京料理に関する聞書き。

秋山——酒造関係の聞書き，昭和29，30年の2回ぶんあり。

俵屋——京菓子に関する聞き書き、『京菓子』（菓匠会 昭和30年）の目次および部分をぬき書きし、菓子の形をうつし色鉛筆で描色したものあり。

目薬——京都の上尾庄兵衛商店の従業員から同店の「上尾目洗い薬」の歴史と「雨森無二膏」, 「奥谷蘇命散」, 「井上目洗い薬」について聞き書き。

養神膏——京都の「養神膏」の平井氏にこの薬の歴史、製法などについて聞き書き。

薬史学会——昭和37年4月4日の宗田一氏の研究発表「江戸期京都における製薬」, おなじく川崎道太郎氏の「京都舎密局のことも」のノート。

北白川愛郷会——昭和37年10月4日におこなわれた北白川の昔について語る座談会のノート。

おくにさん——北白川の昔についての聞き書き。

羅宇屋——住居近くの道で会った羅宇屋からの聞き書き, 「羅宇屋」（『風俗古今東西』所収）にまとめられている。

アンマ——目の不自由なアンマの女性のライフヒストリー。

土族屋敷——淀の土族屋敷のメモ。

焼芋屋——大阪の小株町で会った焼芋屋から商売について聞き書き, ボイラーの図あり, 「焼芋屋」（『風俗古今東西』所収）にまとめられている。

大豆餡・別品餅・船頭——東大阪市徳安橋の果物屋で昔つくっていた大豆の餅について聞き書き, 「くるみ餅」（『風俗古今東西』所収）にまとめられている。おなじく, 徳安橋で大豆を原料とする別品餅と木津川船頭の話しを聞き書きしている。

缶詰学校——東洋食品工業短期大学の松本氏から, 缶詰についての聞き書き。

大阪ガス——同社西島工場での聞き書き。

川原正明氏への手紙の写し（先生の書かれた手紙ではないと思われる）。

055 標野ぶり 1

B5判大学ノート 横書き 80頁

昭和20年代におこなわれた中野村（現在、滋賀県八日市市）調査記録を整理して浄書したものである。中野村が『万葉集』に「茜さす紫野ゆき標野ゆき」と歌われた場所にあたるため、このタイトルがつけられたものであろう。この調査結果は『滋賀県立短大雑誌 B』中野特集号（1954年）にまとめられているほか, 「江州中野村の場合」（『暮しの知恵—考える生活科学』『家政学序説』第一部 化学同人社1968年を改題）所収）にこの村の人口動態について, 「山の神」（『風俗古今東西』所収）に山の神信仰について発表している。

[目次] なし

[内容]

村の概要——地名、戸数、村の歴史、村の地図。

年中行事——月別に行事の種類を記す、5月に鮎鮎つけの方法が記されている、山の神信仰に関するスケッチ、野神の神木スケッチ、墓地のロウソク立てのスケッチ、絵馬のスケッチ、西老蘇の「へび」スケッチ。

村の風俗と生活——村の歴史、作物、魚の移入経路、農作業の労賃、肥車スケッチ、屋根の雪どめスケッチ、主食と餅、忌禁、宮座のお供え、野獣、若衆組、宮座、結婚、出産、還暦、庄屋、一統、村への移住者、地図、蛇とり、社寺、社寺の石像スケッチ、地誌、伊勢音頭の文句、絵馬スケッチ、寺の建物の一部スケッチ、祠堂スケッチ、中野神社祠堂配置図。

寺講証文、正徳年間から元治年間にいたる宗門帳を表化したもの。

056 出雲 1 (大芦、加賀、講武、佐陀、和田)

B 5判 横書き 192頁

先生は昭和20年代後半から、昭和30年代前半まで島根県立女子短大の非常勤講師をしておられた。島根に出講のさいに調査したものと思われる記録が「出雲」1、2と「雲州献立集」として合本されている。「出雲」には調査時の不明な聞き書きがおおい。

[目次]

1.木次線／大東、東中、三成、横田、油木 2. Bus 3. 秋鹿 4. 大芦 5. 加賀 6. 講武 7. 佐陀 8. 松江 9. 和田

[内容]

小タイトルなし——大東町、八束地方のイカ、オカラ、サバ、鮎と五目鮎、ブリの肝料理、沖すき、茶の漬物、味噌漬、井戸水の水質。寮の学生の食事：食費、栄養価、3食献立20日間。木次線車窓風景。車中での聞き書き：三原郷の年中行事とその食物、講、結婚、相続、三成の概況、ササマキ、節句の食事、八川の年中行事とその食物、油木の概況。

Bus——鉄道、島鉄バス、日ノ丸バス、備北バス、ニコニコバス、鞆鉄バスの時刻表を手写。

秋鹿（昭和33年）——酒造関係の聞き書き：酩酊歌の歌詞、醜歌の歌詞、杜氏の出身地と人数、技術伝播経路、杜氏の職制、杜氏の賃金、出雲の酒造における杜氏の歴史。年中行事と食物、鮎類、神社と祭。

大芦——大芦の概況、主食、結婚、衣服、農業、行事と食物。

加賀——粟と雑穀、加賀の概況、隠居、結婚、小豆善哉、鮎、密造酒。

篠田統資料目録 I (フィールド・ノート)

講武——祭、祭りの飾りのスケッチ、小豆善哉、茶、婚礼のしきたり、牛に食わせるズイキ粥。

佐陀——正月の雑煮と食物、この地方の酒造業者のリスト。

松江——この地方での酒造に関して杜氏の出身地と歴史、直し灰 (?), 八雲塗、カマボコづくり、行事食。

和田——直し灰 (この調査をもとに「直し灰」『風俗古今東西』所収が記されている)。

出雲杜氏組合杜氏名簿——出雲杜氏組合、昭和28年刊、本文17頁を合本してある。

酒品——12銘柄の酒 (おおくは出雲産) の味についての印象を記してある。

057 出雲 2 (出雲, 八神, 広瀬)

B 5 判 横書き 160頁

056『出雲』1を参照。

[目次]

1. 松江 [昭和29年] (又ハもっと古い)
2. 松江 (昭和31年)
3. 松江 (昭和37年)
4. 松江/士族やしき (昭和32年)
5. 松江 鰐淵寺文書 (宗門関係)
6. 出雲 (昭和29年)
7. 須佐 (昭和30年)
8. 八神
9. 道中 (昭和30年)
10. 道中 (昭和31年)
11. 道中 (昭和32年)
12. 道中 (昭和36年)

[内容]

松江——端午の節句用のチマキ、ササ、カシワの葉、ショウブ、ヨモギ、アオイなどの聞き書き、それに竹崎嘉徳博士 (島根県出身元京大教授、島根県立農大・島根県立女子短大の学長であった。1975年没。篠田先生とは50年間親しかった。) のアオイを食用とすることについてのコメントがつく、春日神社神職藤脇進氏から、同社の神事についての聞き書き、同社の間取り図。

松江・広瀬 (昭和32年)——藤布づくり、紺屋のアイ染め、アネサマ人形づくり、広瀬の吉田運一氏からの酒造聞き書き、広瀬高校。

松江 (昭和37年)——花づくり、昔の茶屋、一畑坂下集落地図。

士族屋敷 (昭和32年)——かつての士族屋敷のたたずまいを7人から聞き書き。

鰐淵寺文書 (昭和32年)——天明5年～嘉永4年にいたる宗門帳のうつし。

出雲 (昭和29年)——宇井の行事食、境の行事食、今市の行事食とアイ染のオムツ、大社のアイ、綿づくりと海苔づくり。

須佐 (昭和30年)——牛市の祭、行事食、藤布、郷土料理、高校の話、牛飼い、結婚式、この地方の概況。

八神（昭和30年）——村の概況，年中行事とその食物，講，牛市，木炭，縁組，相続，地方の有力者，機織，食事。

道中献立（昭和30年）——5月16～29日までの3食の献立。この間の食費等のリスト。駅弁の包装紙，箸袋，柚べしの包装紙を貼りつける。

道中献立（昭和31年）——2月24～28日までの食事献立。

道中献立（昭和32年）——5月27日～6月4日までの食事献立。松江市の印刷所の名刺代の領収証とてんやものの代金を記した紙，菓子，鮓，駅弁の包装紙と箸袋，旅館の領収書，出雲民謡の歌詞を記した松江市観光課のチラシ，三瓶山観光案内チラシが貼りつけてある。

道中献立（昭和36年）——6月6日～11日の食事献立。

058 チマキ，雑煮記録

B4判 12枚 B5判を3枚つないだもの 2枚

島根県・鳥取県におけるちまき，かしわ餅，小豆雑煮に関する記録。製作年代は不明であるが調査地域や内容が「出雲1・2」と重複しているのでこの順番に並べた。

[内容]

端午の節句を新暦・1月おくれ・1日暦で行う，現住所による端午節の食物，主婦の出身地別，端午節の食物，小豆雑煮の種類等，各記録が白地図に色分けされて記入。

059 大和

B5判 横書き 110頁

昭和20～30年代に調査した大和各地での聞き書き，文書のうつし，士族屋敷についてのノート。

[目次]

1. 十津川（昭和27年） 2. 下市（昭和33年） 3. 田原本（昭和27年） 4. 酒 5. 緋（昭和34年） 6. 年中行事 7. 飯田文書 8. 土族やしき（昭和32年）

[内容]

十津川——柿の葉鮓のつくりかた，柏餅，サバ鮓，アユ鮓，雑煮，神社，相続，男尊女卑，村内婚，シイタケ栽培，サル，磁鉄鉱，林業，炭，キノコ。

下市——「弥助鮓」での聞き書き：アユ雑炊，サバ鮓，柿の葉鮓，服装，茶粥，ツルベ鮓，弥助鮓の歴史，弥助鮓に関する過去帳のうつし。

田原本——間取り図4件。

酒——並川氏から大和の酒屋の歴史聞き書き，今西氏より同酒倉での酒づくり，奈良

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

の酒の品評，杜氏の話。

大和餅——西手英子氏が天王寺分校ゼミナールで「大和の地機」という発表をしたときのノート。

大和年中行事——機織，油屋，雑煮，年中行事と食物。

飯田文書——文化2年安産祝儀受納リスト・餅くばりの人名リスト・おひあけの人名と献立，「文化3年ちまきくばり」，「節句始諸入用」，「節句初受納控帳」，誕生日献立。

士族屋敷（近畿）——芝，柳本，高取，櫛羅，新庄，郡山，小泉，田原本の武家屋敷のたたずまいなどのメモ。

060 土佐日記 続編 昭30

B5判 横書き 204頁

昭和30年1月の四国旅行の記録であるが，旅行行程や日程については記されておらず，記録採集別にとじられている。巻末の道中献立から判断すると1月5日に香川県仏生寺に着き，香川，愛媛，高知県の各地を周遊したのち1月15日に帰洛したもようである。

[内容]

志度——地勢，鮎。

高松——酒造関係。

香西——杜氏関係。

丸亀——地勢，鮎。

比地——農業。旧庄屋の向井氏文書が67頁にわたって筆写されている。江戸，明治初年の記録である。その主な内容は行事のさいの献立，贈答録，宗門改帳，買物帳，三野郡物成帳，向井氏家系，過去帳。

川之江——年中行事と行事食。

今治——年中行事と行事食。

小田町——年中行事と行事食。

大州——年中行事と行事食。

樽原——地誌，農産物，衣服，年中行事と行事食，保健関係，食生活一般。

佐川——酒造関係，年中行事と行事食。

弘岡——鮎，年中行事。

高知——茶，鮎，うどん，年中行事と行事食。

池田——鮎。

脇町——年中行事と行事食。鮓，そばめし。

鴨島——藍，そば。

桑野——酒造関係，鮓，年中行事と行事食，機織。

道中献立——旅行期間中の食事の記録。

061 たたら日記 昭和30・7月

A 5判 横書き 136頁

昭和30年7月3日から17日までの松江行のさいの聞きと記録。

[内容]

手間——五千石で風俗聞き。

米子——車中での聞き。

隠岐——押田教授からの聞き。

佐陀——酒造の話の聞き。

片句——老婆他からの種々の風俗聞き。

吉田——種々の風俗聞き。

阿毘縁——種々の風俗聞き。

帝釈——種々の風俗聞き。

道中記——献立と費用と旅程とが記入されている。

附録——箸袋や弁当の包装紙などが添付してある。

062 火の国 上(宮島～高鍋) 昭30

B 5判 横書き 192頁

昭和30年10月5日～18日の九州旅行の時のノートの前半分13日の途中までの分である。聞きが主で旅程等は「火の国 下」にある。

[目次]

1. 宮島 2. 別府 3. 佐賀関 4. 一尺屋 5. 佐伯 6. 重岡 7. 臼杵 8. 野津市 9. 緒方 10. 竹田 11. 阿蘇 12. 内之牧 13. 高森 14. 高千穂 15. 延岡 16. 細島 17. 富高 18. 椎葉 19. 高鍋

[内容]

宮島——記載なし

別府——記載なし

佐賀関——江藤夫人から年中行事，食生活，人の一生等風俗聞き。佐賀関の店頭風景。

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

- 一尺屋——軽便の中のオバさんから近辺の生業，年中行事，食生活等風俗の聞き書き。
- 佐伯——豊南高校佐藤先生から食生活の聞き書き，片岡丈吉老から藩政時代に関して聞き書き，町で店頭風景と弁当の献立。
- 重岡——車中で老爺から食生活中心の聞き書き。
- 臼杵——高風荘の老女将から食中心の年中行事と料理法等の聞き書き。
- 野津市——バス停で老人から年中行事の聞き書き。メガネ屋さんでの聞き書き：雑煮，酢。
- 緒方——車中の女子高生から食生活の聞き書き。
- 竹田——写真屋の店員さんや宿の女中さんからの生活の聞き書き，浜口という八代出身の高校の校長から鮎の聞き書き，さらに話者不明で年中行事から各種の調理にわたる食生活の記録が竹田として記されている。
- 阿蘇——神社のパンフレットがあるのみ。
- 内之牧——宿の主人の永田さんから年中行事にまつわる食生活とその他食品等，食生活の聞き書き，酒の話。
- 高森——高校長から鮎の話を聞き書き。
- 高千穂——高校長と佐藤先生から鮎と雑煮等の話，話者等不明の棒術と神楽の所作や曲の内容の記録，小手川善次郎氏他の諸氏からの風俗聞き書き。
- 延岡——記載なし。
- 細島——話者不明，風俗聞き書き。
- 富高——宮島高校齊藤教頭から風俗聞き書き。
- 椎葉——おたけおばさんに家の間取りと鮎，行事食の話，那須銀蔵のバサマから風俗聞き書き，那須二世と那須教官から風俗聞き書き。
- 高鍋——酒造の話。

063 火の国 下（妻～牛窓） 昭三〇

B 5判 横書き 172頁

昭和30年10月5日～18日の九州旅行の記録の後半，13日以降の聞き書きと費用や時刻の記録，パンフレット，箸紙類を添付。

[目次]

1. 妻 2. 宮崎 3. 内海 4. 都城・須木 5. 佐土原 6. 村所 7. 多良木 8. 五木 9. 五箇荘 10. 人吉 11. 熊本 12. 備中美袋 13. 牛窓・虫明 14. 献立 15. 道中記

[内容]

妻——米や芋による酒造に関すること，年中行事，織物の生産，杜氏の墓誌，年中

行事の食物。

宮崎——記入なし。

内海——記入なし。

都城・須木——記入なし。

佐土原——農事談。

村所——農産品，産業，家造食品，間取り，年中行事とその食品。

多良木——酒と焼酎の銘柄と産地と味，間取り，食品，産業，杜氏の酒造談。

五木——間取り，農業生産，五木子守唄に関して，シシ，年中行事と食品。

五箇荘——年中行事と食品。

人吉——記入なし。

熊本——雑煮の話。

備中美袋——年中行事と食品。

牛窓・虫明——鮓と雑煮。

献立——10月5～18日の旅行期間中の食事の記録。

道中記——着発の時刻の記録，金銭支払記録，領収証や案内パンフレット・箸袋・マッチ・包紙を添付。

064 速野村1 一 間取図一 昭30

B5判 横書き 118頁

昭和30年滋賀県でおこなった調査の記録，速野，幸津川，立田，小津，中村での聞き書き，死因統計，文書の写しなどが記されている。

[目次]

1. 速野村 2. 幸津川・立田・小津・中村 3. 死因統計 4. 山本庄作文書 5. 幸津川文書

[内容]

速野村——内田教授談（7月30日）：条里制，天保の新田開発，大曲のこと，大きな家，養子，女のヘソクリ。舩にて由本院生談（8月1日）：獲れる魚，西牧野の小舩，船，水泳。中野 猿飼準三郎氏談（8月1日）：紺屋，野洲町の紺屋，藍瓶。川西中北恒治氏談（8月3日）：キビ染め，鮓鮓，村の生業。山本庄作氏談（8月2日）：無常講，村のボス，堤防番，生業，足入れ，もらい風呂（今浜），婚姻。内田教授談追加：「伊勢南」，掬いめし。山本庄作氏談（8月4日）：慶応3年宗門帳の抜書き，幕末の頃のこと（一揆，三上騒動，新田，照久寺 野洲宿，助郷），博奕，酒。上村教授談：青花，紺染。鵜飼での聞き書き：野洲郡の紺屋。地酒6銘柄について，それぞれの

コメントを記す。遠藤母子談：酒の飲み方，遊び。補遺：オマハン，パーチカル，イチビ，長脚絆，帯，医師，言葉（わせる），近鉄バス時刻表写し。

幸津川・立田・小津・中村——幸津川にて神輿もり，野洲郡の神職，造酒屋，講，寺，前髪，若衆，番太，龍骨車，パーチカル，成年式。立田区長 本城氏談：神社の祭礼，左座と右座，オトナ，正月オトナ入り，ユリワ座，屋敷神，株の財産，婚姻，結婚式（結納，三日帰り，部屋見舞，足入れ婚）。小津 三品教官談：米作り，給食。

死因統計——昭和25～29年の総死亡者数 224 名について死因別（13項目）の人数と割合を示す統計を記す。また各年ごとに，'死亡した日，地区（水保・洲本・木浜・今浜），性別，死因，年齢を記す。

山本庄作文書——明治5～9年の出生について出生月と性別，死亡について死亡月と性別・年齢，結婚・引越などによる転入出について，戸主と本人の氏名・続柄・年齢・旧住所あるいは転出先，転入出の理由，人口（男女別）・戸数・寺社数を写す。（以上明治8年まで開発西村，9年以降は洲本村のものと思われる），「天保4年五人組覚帳」（大曲）写し，組ごとの人数を控える。「慶応4年戸口御改帳」（大曲）写し，19戸の石高，戸主氏名，年齢，家族の続柄，氏名・年齢を控える。

幸津川文書——「御祭礼当番式法記 四番組（安政5年）」，「天保3年新川大明神並ニ龍神社雨乞御礼踊り役割帳」（新庄），「御神事道具目録（嘉永六年）」の写し。

065 速野村 2 —中北文書— 昭和30

B5判 横書き 190頁

滋賀県速野村の中北文書を写したものである。筆写された文書は，近世後期のものであり，その内容は野洲郡内の酒造業に関するもの。野洲郡内の酒の製造，流通を知ることができる。野洲郡南組に属するもの。

[目次]

1. 酒屋数造石高
2. 独占・酒価統制
3. 株譲替・休潰株
3. 献立・酒原価・その他
4. 拝借銀

[内容]

酒屋数造石高——「嘉永六丑年十二月江州野洲郡南組 酒造屋仲ヶ間名前帳」，「文政十年江州野洲郡南組 酒造屋仲ヶ間名前帳」，「天保四己年九月改栗太郡甲賀郡野洲郡高嶋郡酒屋名前帳 [控]」，「元治二年二月 酒造并桶御改帳 [控]」，「慶応 四辰四月 酒造米高御冥加銀書上ヶ帳」，「享和元酉年覚（酒造株高二付）」，「巳二月 乍恐奉願口上書（清桶の儀ニ付）」，「寛政十二年申八月覚（酒桶新調，御消印願等ニ付）」，「享和二年

戊九月覚（酒造高御届ニ付）」、「文化十四年丑五月口上覚（酒造桶新調願）」、「文政五年七月口上覚（酒造桶新調願）」、「丑五月口上覚（印鑑差出ニ付）」、「寛政十三年酉三月覚（造酒高ニ付）」、「寛政十三酉年二月（造酒米高ニ付覚書）」、「享和元年酉三月覚（酒造高ニ付）」以上酒屋数造石高。

独占・酒価統制——寛政元年から慶応四年まで計四十二点、野洲郡内の酒造屋仲間間、酒造株などに関する文書を写す。

株譲替・休潰株——安永十年から嘉永二年まで計三十一點。野洲郡内の酒造株の名義の移動、酒造の停止などについての文書を写す。

献立・酒原価・その他——享和三年から明治十一年まで計三十四点。酒造仲間間のさいの献立、酒原価などに関する覚。

拝借銀——文政三年から弘化四年まで（但し年未詳多し）。計二十二点、銀子拝借に関する証文。

066 江州 鷺田・中北・白井文書 昭30

B5判 横書き 232頁

滋賀県野洲郡小篠原村の鷺田家の酒造関係、吉事・凶事に関する覚など、滋賀県川田の中北家の酒造関係文書、また角文書・白井文書も酒造についての文書で、これらの文書の写しを合冊したもの。

[目次]

1. 小篠原／鷺田文書（酒造） 2. 小篠原／鷺田文書（雑） 3. 小篠原／鷺田文書（横帳類 吉事） 4. 小篠原／鷺田文書（横帳類 凶） 5. 川田／中北文書（株） 6. 川田／中北文書（造石高） 7. 角文書 8. 川田／中北文書（献立・勘定書） 9. 白井文書

[内容]

小篠原／鷺田文書（酒造）——「文久元年酒造兼勘定帳」写し。

小篠原／鷺田文書（雑）——「卯之歳御物成下札之事」、「未之歳御物成下札之事」、「申之歳御物成下札之事」、「酉之歳御物成下札之事」、戌年の断簡、亥・子の年の「御物成下札之事」、「江州篠原村申之御年貢米之事」、「江州小篠原村酉之御年貢之事」覚書3通、「五人組前書?」、「延享4年 朝鮮人来辰之年参向帰国御廻状写、卯4月日」。

小篠原／鷺田文書（横帳類 吉事）——「甲宝曆四歳 婚礼祝儀請納帳 戊八月十九日」、「寛政4子年 蔵普請覚帳」、「酉天明8年 居家普請 お覚帳 二月吉日」、「庚寛延3年 日お覚帳 午正月吉日」、「享保8歳 普請ニ付お合力帳 卯ノ2月21日」、「癸寛政5年 婚礼祝儀請帳 丑正月吉日」、「文政6年 婚礼祝儀并部屋見舞受納帳

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

未2月15日、「戊嘉永元年 御祝儀覚帳 申九月廿四日」,「丁慶応3歳 土蔵諸入用扣帳 卯四月吉日」,「見舞受納扣へ」,「明治四年未三月吉日新宅 ふしん手伝見舞扣へ」,「明治5年壬申9月27日 新宅家移ニ付浄人並悦受納帳」,「嘉永2酉年11月15日 おふさ婚礼一件諸入用通」,「嘉永3年戊12月 おふさ安産方への口覚」,「嘉永6丑6月4日朝立 おしへ婚礼之萬扣」,「安政4巳4月22日朝 おいそ婚礼萬扣 当村利右エ門殿へ」,「安政4巳4月22日朝 お磯婚礼色々扣 酒屋平助」,「安政6年未2月□□るい おしへ大津五右エ門方遣ス 婚礼受納扣」。

小篠原／鷺田文書（横帳類 凶）——「安永4年乙未正月5日往生 役人付并香奠覚帳 法名釈尼妙体 おさつ」,「安永6年 釈教俊香奠帳 酉11月11日往生」,「巳寛政1年 釈妙玄香奠帳 酉7月27日往生」,「寛政8年辰3月日 宗春妙春御仏躰」,「壬享和2年 香でん覚帳 戊正月20日 平助」,「癸享和3年 香奠帳 釈宗春往生 亥正月23日」,「文化4丁卯年9月10日往生 御香奠并役人附帳 俗名おすみ15歳」,「嘉永4亥とし 釈せいげん様五十年忌 正月廿日当日」,「嘉永5丑7月22日往生 葬式役人附并香儀帳 俗名嘉兵エ60才」,「嘉永5年丑7月22日 葬式香儀帳」,「嘉永6年 入用之扣帳 丑7月22日」,「嘉永7年 父親一周忌 寅2月21日勤候也」,「明治2年 釈徳量拾七回忌并ニ母法躰覚帳 巳3月10日勤」,「明治3庚午正月十日往生 葬式役人附并香儀帳 俗名おみよ年66才」,「庚明治3午正月日 葬式香奠帳 釈尼知善俗名おみよ年66才」,「辛明治4年 釈尼智善, 釈誠登童子, 一周忌扣帳」,「明治5年申2月9日勤ル, 5名の法事覚え」。

川田／中北文書（株）——酒造株仲間についての文書 16通。

川田／中北文書（造石高）——酒造仲間の造石高についての文書 7通。

角文書——「嘉永六丑歳十二月 江州野洲郡曲組 酒造屋仲ヶ間名前帳」,「天保4巳年以前迄之造高」。

川田／中北文書（献立 勘定書）——扉に「食料関係のみ摘出, 人夫その他のは省略す」とある。買物覚など 6通, 金銭預り覚 5通「嘉永2酉年改 津川村貞蔵分, 小浜村伊兵エ分 滞り」,「慶応2年丙寅7月11日 六山一件ニ付 南 立会勘定帳」

白井文書——明治27年より34年まで各年の酒店卸決算覚。

067 江州 福谷文書 昭30

B5判 横書き 236頁

滋賀県野洲郡第四区永原村の福谷家の文書の筆写である。幕末から明治初めにかけての野洲郡北組に属する酒造業の史料を筆写する。

[目次]

1. 祇王福谷文書（酒造株）
2. 祇王福谷文書（酒造人名前帳，造石高）
3. 祇王福谷文書（桶帳）
4. 祇王福谷文書（会計勘定帳）
5. 祇王福谷文書（献立）
6. 祇王福谷文書（雑）

[内容]

祇王福谷文書（酒造株）——「乍恐奉願々口上書（北組分裂ニ付）」、「嘉永二酉年四月二十五日乍恐口上書（新年寄選出ニ付）」、「嘉永六年丑十二月請書（酒造問屋仲ヶ間之儀ニ付）」、「定（酒屋仲ヶ間株之儀ニ付）」、「安政6年1月乍恐口上書（酒造株譲渡ニ付）」、「安政6年正月晦日御請書（酒造株譲渡ニ付）」、「安政七年三月京都江壳捌出願之次第写并元来分之委舖」、「乍恐奉願口上書（無断造酒ニ付）」、「乍恐奉願上口上書（酒持込禁止願）」、「十二月御触書」写し、「明治四年十月御布告（酒造其他醬油類改正ニ付）大津県庁」他3通、「明治四年十月乍恐以書付奉願上候（造酒株税則御改正ニ付）」、「九月三十日治定（願書提出ニ付）」、「十月布告留（醸造税則改正ニ付）」、「安政七年二月疑定為取替一札之事（酒造稼之儀ニ付）」、「安政七年二月定直段」、「元治元年三月十日差入申一札之事（酒造株譲渡ニ付）」、「安政六年十一月為取替一札之事（北組分裂ニ付）」、「安政五年四月書付之事（印形差出を代人を以てすること）」。

祇王福谷文書（酒造人名前帳，造石高）——「文政三年正月酒造株高書附写」、「嘉永二年六月江州栗太甲賀野洲高嶋郡酒造人名前帳」、「安政五年度改野洲郡北組酒造屋仲ヶ間名前帳」、「慶応四年四月二十三日乍恐以書付奉願上候（酒造人名前等ニ付）」、「慶応四年四月酒造米高御冥加銀書上帳」、「二月野洲郡三番組酒造帳」、「明治六年四月野洲郡第四区酒造改帳」、「明治四年十月清酒醸造御免許御願書醬油醸造御免許御願書」、「明治四年十月酒造株税則御改正被仰渡之儀ニ付御嘆願書」。

祇王福谷文書（桶帳）——「享和二年酒造入用桶（覚書）」、「文化十四年酒道具切印請御消印書上帳」、「天保二年減石三分式造仕込仕訳帳」、「天保二年五月桶帳（公儀差上候写）」、「天保二年九月酒造桶道具帳」、「嘉永三年四月酒造桶御改帳」、「嘉永三年御見分ニ付桶数改帳」、「嘉永四年二月酒造桶改差上之扣」、「嘉永五年三月酒造桶改指上ヶ扣」、「嘉永六年四月・嘉永七年四月酒造桶御改指上候扣」、「安政二年二月・安政三年四月・安政四年四月・安政五年四月・安政六年四月・酒造桶御改帳」、「安政七年三月酒造御檢分御改帳」、「万延二年・文久二年三月・文久三年四月酒造桶御改帳」、「元治元年七月・元治二年三月・慶応三年三月酒造并ニ桶御改帳」、「清酒改帳」、「明治六年清酒醸造方休業御願書」、「明治七年十月十四日清酒醸造廃業ニ付申上書」、「安政七年三月・文久二年三月・慶応元年七月酒造桶数買上ヶ帳」、「慶応三年三月酒造桶

数並有酒書上ヶ帳」,「慶応三年酒造并桶御改帳」,「(文久二年三月)酒造人平造酒造高桶数御改帳」,「(元治元年七月)酒造人平造酒造高書上」,「(文久二年三月・元治元年七月・慶応三年三月)酒造并桶御改帳」,「明治七年四月清酒改帳」,「慶応三年三月酒造并桶御改帳」,「明治七年四月二十三日・明治七年清酒改帳」,「安政七年三月・文久三年三月・元治元年八月・慶応二年二月・慶応三年三月酒造并桶御改帳」覚。

祇王福谷文書(会計勘定帳)——「乍恐奉願上候口上書(安政四年・拝借銀之儀ニ付)」,「安政七年正月吉日酒造仲ヶ間御検分并年中諸入用覚帳」,「万延元年三月吉日酒屋仲箇間入用帳」,「文久三年正月吉日俵物通」,「元治二年正月吉日江州野洲郡北上組酒造御仲ヶ間通」,「慶応二年七月十一日六山一件ニ付南北立会勘定帳」,「御役所勤方覚」,「安政三年四月十三日[献立](御見分御出役松原千右衛門泊リニ付)」,「安政七年三月酒造御検分御改帳」,「万延二年酒造御改帳」,「嘉永六年五月御見分ニ付諸入用覚帳」,「安政三年四月十三日・安政六年四月三日御見分宿入用帳」,「天保六年七月奉拝借証文之事」,「正月吉日酒之通」,「慶応四年七月五日乍恐以書付奉願上候(上納金分納願)」,「天保十五年十月(上永原仕法一件ニ付届書)」,「天保十五年三月差入申一札之事(上永原仕法一件)」,「覚(酒代)」,「十二月二十七日覚(米代)」。

祇王福谷文書(献立)——「文政十一年二月二十五日拾ヶ村参会当番諸入用帳」,「天保七年二月二十九日拾ヶ村参会備物買物帳」,「明治三年二月二十九日拾ヶ村井凌参会入用帳」。

祇王福谷文書(雑)——「絵図目録(文久二年七月十六日守山へ出ス)」,「正徳三年九月二十八日覚書(御殿舗地惣高等ニ付)」,「御触書」写し,「文政十年二月膳所組助郷切附帳」,「天保十三年六月差入申一札之事(離婚ニ付)」,「嘉永七年六月八日往来一札之事」,「文政十三年十二月二十九日一札(又三郎遣骸受取ニ付)」,「安政五年二月差入申一札之事(孫三郎請状)」,「嘉永二年十二月奉誤一札之事(孫三郎之儀ニ付)」,「嘉永三年六月乍恐差入申一札之事(済状)」,「嘉永三年十月乍恐差入申一札之事(治左衛門伴治郎助儀ニ付)」,「嘉永三年六月乍恐差入申一札之事(半兵衛後家相続之儀ニ付)」,「弘化三年三月乍恐御書付御詫奉願上候」,「嘉永二年八月御詫一札之事」,「弘化三年三月乍恐以書付御詫奉願上候」,「天保十五年九月請書」,「土岐関係」六点,「天保九年六月取締証書(普化宗取締証書)」,「酉三月為取替一札」。

068 繁盛村 昭三一

B5判 横書き 180頁

繁盛村婦人研修会が7月18日に行なわれ、その時の講師として参加された旅行のノートらしい。日付も7月9日や7月13日14日等が散見される。

[目次]

1. 繁盛一般 2. 上岸田 3. 百千家満 4. 倉床・富士野 5. 横山 6. 黒原・太谷 7. 井内 8. 千町・草木 9. 三方 10. 下三方・神戸 11. 千種

[内容]

繁盛一般——風俗の聞きと村のかんげい茶話会でのメモ及び風俗の聞き(13日), 浦上伊勢子さんからの風俗の聞き, 太田校長からの風俗聞き, 繁盛村婦人研修会要項。

上岸田——傘屋, 日下種三郎の両氏から風俗聞き。

百千家満——薄木東太郎さん, 木下類一郎さんからの風俗聞き, 統計数量メモ。

倉床・富士野——松田さん, 梶浦春一氏, 梶浦六郎氏らからの風俗の聞き。

横山——解答者不詳と松本慶次郎氏からの風俗聞き。

黒原・太谷——小椋雄平, 小椋清一, 山本さん等の人達から主に木地屋に関する聞き。

井内——内山さんという人からの風俗聞き。

千町・草木——大植謙一さん, 大植清一さん等からの風俗聞きと宗門帳からのメモ。

三方——回答者不詳の聞き。

下三方・神戸——昭和31年7月13日伊和神社々司からの神社に関する聞き。岡本さんから14日に風俗の聞き。

千種——鳥羽教授からの聞き。

069 越前杜氏 附 知多杜氏・員弁杜氏 昭31

B5判 横書き 252頁

昭和31年8月3日から同月7日に行なった越前杜氏の出身地方, 福井県下での調査記録, 同年8月12日から13日に行なった知多杜氏の出身地方愛知県下での調査記録, 日付け不明であるが, 8月に行なわれた員弁杜氏の出身地方三重県下での調査記録が収められている。杜氏の酒造, 年中行事と食物, 信仰などが中心。内扉に同題あり。

[目次]

1. 大野 2. 勝山 3. 永平寺 4. 吉崎(塩屋) 5. 三国 6. 褒 7. 鮎川 8. 茶崎(蒲生) 9. 織田 10. 糠・宮崎・宅良附 11. 厨 12. 武生 13. 道中記(以上目次に記載) 14. 糠 京大病院ニテ 15. 知多・西浦・小鈴谷・野間 16. 知多・豊浜・武豊・半田 17. 伊勢

[内容]

大野——杜氏組合（大野市役所内）における聞き書き：組合の構成，酒造家，組合員。
大野高校における南部エミ子先生からの聞き書き：同高校と大野城，城下町と現状，ニ
シンづけ，スシ（サケ，マス，鮎，五目，イナリ，のりまき），年中行事と食物（正月
雑煮，小豆粥），青田まつり，節句（3月3日～4月3日）・彼岸・節句（6月5日），
灌仏，盆，祭り，赤飯，ズイキ，里芋，町の寺の宗派，年頭祝，勝山の布市，半夏生
（大野，坂井郡竹田），紺布，名物，当地の家のつくり（図示）。願成寺における聞き
書き：河濯大権現，祭神由来，寺の現況。

勝山——板葺の女将からの聞き書き：年中行事と食物（正月雑煮，節句，盆，猪の子
等），織物，紺屋，祭，鮎，にしんづけ，ホーキの実，ズイキ，正月料理，左義長，
七夕，タバコ，家業，夕食献立。開禅寺における聞き書き：宗派，河濯大権現。久保氏
からの聞き書き：地杜氏，勝山の杜氏の歴史と現在，勝山の歴史，開禅寺と河すそ祭，
勝山・大野の映画館料金。島田氏からの聞き書き：小原の民俗，酒造，雑煮，主食，結
婚，相続，宗門帳，キリシタン関係遺物，當屋，山之神，おみきすすぎ，ホーキ，朴
の葉，食用植物，若連中，元服，トチモチ，縁組，雉，胡瓜，産，一乗谷，出土人骨，
木地屋，民具，染織，石徹白，盆，神社（図入），ガマの穂，牛首つむぎ，アゼ織り，
イロリ。河□氏からの聞き書き：神社，郷土史家，民俗品，民俗行事。

永平寺——中森殿司からの聞き書き：寺内の組織と役，日課，総持寺，住職，僧堂，
世襲，雲水，修業。菅原典座和尚からの聞き書き：典んづけ，浜名みそ，瓜漬，鮎。

藪——島国氏からの聞き書き：杜氏の講習，酒屋の旧家，主な杜氏，祭，年中行事と
食物（正月雑煮，祭，節句，初むろ，新酒，コシキタオモ，鮎，糘づけ，ホーキの実，
そばおとし，盆，七夕，彼岸，切芋）。高橋氏からの聞き書き：阿弥陀割，記録類，
紺屋，浅倉氏残党，為寄村と紺屋，近世文書，あいさつ，溜池の碑，大福帳写し（所
有者の記載なし）。聞き書き（話者の記名なし）：年中行事と食物，ほうけんの実，ソダ
・ボタモチ・半夏生，祭，赤飯，鮎，糘づけ，節句，盆，河濯権現信仰，講，家の間
取り図，方言，蚕と馬の信仰。

鮎川——中学校の出村先生からの聞き書き：村況（戸数，学校，産業，出稼ぎ，海女），
婚姻（婚約，結納，仲人，結婚式，足入れ，里帰り，荷物，自分の経験例），家の間
取り図，庄屋，神社，年中行事と食物（正月雑煮，節句，半夏生，彼岸，七夕，猪ノ
子，船玉，山之神。漁夫3人からの聞き書き：産業，船玉まつり・信仰，清水谷。バス
の中で聞いた方言。

茶崎・蒲生——越廼中学校での聞き書き（話手の記名なし）：雑煮，小豆善哉，糘づ

け、近辺の産業（大味、茶崎、蒲生）、鮓、学校、酒屋。橋詰一雄氏からの聞き書き：火災、近世の支配関係、近世古文書。酒屋のおっさんからの聞き書き：ホーキクサ、漁業、清水町。

織田——聞き書き（話手の記名なし）：年中行事と食物、雑煮、七草、節句、にしんづけ、猪の子、半夏生、神社祭礼、鮓。

糠——杜氏組合における聞き書き（大浦慎一、浜松伊之助の両氏からの聞き書きと推定される）：酒屋、越前の糠氏、下人、伏見への交通、暮の送金、神社の堂、糠の起源、糠杜氏組合沿革、糠杜氏と伏見の各酒造の関係、堺・灘・笠置・玉水・八幡・愛知中川・歌垣・金沢・福井・兵庫・フセ田・鯖江・福知山の酒造と杜氏の関係、主な酒造の米の高、糠の墓、酒造功労者、切支丹遺跡。糠の橋本屋での夕食の献立、朝食献立。学校前の墓の銘。大浦孫三郎氏からの聞き書き：氏自身の懐古譚（杜氏としての修行、経験）、伏見への交通、臼ふみ、宇津尾杜氏、県内良酒、村の産業別戸数、年中行事と食物、正月雑煮、七草、左義長、船神、山之神、養蚕、エビス信仰、祭礼、七夕、河濯権現信仰、盆、彼岸、猪の子、半夏生、報恩講、ホーキ、土地利用状況、近辺の産業、縁組、婚姻（仲人、式、膳、足入れ）、宮参り、大宿、染織、十九社。小学校の谷野先生からの聞き書き：年中行事と食物（正月雑煮、七草、節句、河濯祭礼、七夕、彼岸、半夏生、田植の朴葉めし、里帰り、猪の子、節分）、鮓、糰づけ、学校。大塚先生からの聞き書き：年中行事と食物（正月雑煮、鮓づけ、鮓、節句ちまき）、祭礼、杜氏、いろり。

厨——城崎北小学校の津田先生からの聞き書き：年中行事と食物（正月、節句、河濯権現信仰、サツキマツリ、舟神、山之神、盆、宗派、祭礼、ボタモチ、鮓、金比羅信仰）、村誌、庄屋。

武生——墨流鳥の子紙製造者、広瀬治左衛門氏からの聞き書き：源氏小紋島の子紙の製造法、墨流しの歴史、価格、染料、帯、色紙。『無形文化財墨流の由来』のリーフレット貼付。芳春寺における聞き書き：宗派、河濯大明神。

道中記——盲学校の先生からの聞き書き：鮓、酒。8月3日から8月7日までの日程、同期間の献立、京福電鉄の『沿線案内』、大野名産けんげらラベル、菊酒由緒書、『河濯大権現略縁記』のリーフレット（宝円寺）、8月3日から7日までの支出表、あゆ寿司包紙、箸袋（今庄駅）、鯛鮓包紙、箸袋（敦賀駅）、勝山市料理旅館板甚の領収書、箸袋、鮎川の石丸旅館の領収書、吉崎の相茶旅館箸袋、北国新聞、福井新聞の新聞名切抜き等を貼付。

糠／京大病院ニテ——京大病院における宮本氏、橋本氏からの聞き書き：杜氏として

の経験談, 加賀杜氏・越後杜氏, 月給。

知多・西浦・小鈴谷・野間——西浦小学校の入山先生からの聞き書き: 年中行事と食物 (正月, 節句, 盆, 農やすみ, 彼岸, 祭, 猪の子)。古場の瀧田酒造における聞き書き: 知多杜氏, 酒造家, 杜氏。小鈴谷バス停における聞き書き: 年中行事と食物 (正月雑煮, 節句, 祭, 押ズシ, 盆, 酒働き)。野間における聞き書き: 餅つき。

知多・豊浜・武豊・半田——豊浜の東西屋の夕食献立。東西屋における聞き書き: 小学校のボイラー, 年中行事と食物, 正月雑煮, 舟神, 七草, 山之神, 節分, 節句, 彼岸, 花まつり, 農あがり, 川裾まつり, 七夕, 盆, 祭, 鮓, 氏神, エビス講, 猪の子, 婚姻, 小学校, 朝食献立。山長の斎藤駒吉氏からの聞き書き: 古文書, 万葉の地名, 東風, 初神, 年中行事と食物, 正月雑煮, 鮓, 庄屋, 文書所在について, 船, 漁法, 赤禪, 夜這い, 婚姻, 染織, 漁網, 酒屋, 土地利用。武豊における聞き書き: 年中行事と食物 (正月雑煮, 節句, 鮓), 学校, 給食室間取り図。板垣氏からの聞き書き (半田と推定される): カプトビール, 酢屋, 米酢, 昼食弁当献立, 名古屋の寿司店紹介, 海老, 師崎から内海の漁業, 酢醸造業, 料理づくり方アンケートの結果 (中部都村の三千人対象), 豊浜の東西屋旅館の領収書と箸袋, おにぎり弁当包紙と箸袋 (名古屋駅), サンドウィッチ包紙 (米原駅), 8月12日から8月13日の日程, 同期間の献立。

伊勢——白子高校における聞き書き: 酒屋, 年中行事と食物 (正月雑煮, 舟玉, 山之神, 猪ノ子, 年越し, 節句, 野上り, 花まつり, 菖蒲湯, 川裾祭, 盆, 婚姻, 月見, 七夕, 盆踊り, 伊勢講, 他講), 御弁当包紙, 箸袋 (京都駅), (なお, この調査は員辨杜氏に関するものであると思われるが, その日時が明記されていない。この弁当包み紙の印は薄くなっており, 8月の何日であるか断定できない)。

070 島根県庁文書ノ四 諸家 難船 昭三二

B5判 横書き 140頁

内扉には「県廳文書」と記されている。文書の写し, または抄出であるが, 内容の箇条書きも一部含まれている。背表紙に昭三二とある。

[目次]

1. 人狐
2. 難船
3. 差出帳類
4. 日記 差出控
5. 古文書 旧記

[内容]

人狐——「寛政6甲寅正月御触, 人狐之儀御触」, 「文化3年付召仕小人の人相書・服装」, 「文政4年 人狐についての文書」, 「天保13年 書物統制についての文書」, 「文久3年 軍用硝石についての文書」。

難船——「越中国射水郡放生津新町油屋七兵衛の船の積荷目録」, 「越中国富山壳菓

師五右衛門の荷物目録」, 文政11年の奥書がある。

差出帳類——「萬差出帳」と次頁にある大根嶋 宝暦13年末3, 16の日付あり。(明治2年の写し), 島の大きさ, 周囲の土地への距離, 村の名, 戸数, 人口, 持舟, 寺院, 神社, 舟役などの諸役を記す。宝暦4年, 神門郡南方(大正10年写し)。本田石高, 小物成, 人口(職別人口), 家, 牛馬の数, 村町役人の数, 灌漑施設の数などを記し, 最後に村別細説(人口, 軒数, 石高等)を記す。「明治4年, 大原郡, 村別明細」, 「明治8年, 仁多郡, 村別明細」, 「寛保元年, 寛政4年の村別明細」, 「寛政4年12月飯石郡中萬差出帳(大正3年写)」, 「宝暦4年以降多根村萬差出帳つづり(大正3年写)」この内容は宝暦4年, 寛政4年, 明和8年のもの, 最後に明治10年, 村誌編輯志料, 寺社の記載とある, 「十郡村浦石高御成稼隠岐国共 広瀬御分知村名神社領高宗門人高御制札場所並数御茶屋御番所ヶ所郷町数寺社堂家牛馬御立山失箇山農家役人給来威箇鉄山鉄穴炭釜紙漉名所旧跡名産松江橋々数(明治45年写)」。

日記・差出控——「宝暦拾庚辰年拾月朔日ヨリ日記(大正3年写)」主に米相場(松江, 尾道, 大阪)についての記事, 「元治2年乙丑正月吉日奮記(大正3年写)」, 「慶応2年丙寅正月萬見聞留(大正3年写)」, 「宝暦4年御制札拾三枚写し」, 「長澤家古文書」天和3年, 宝暦2年, 享保12年の3通, 「薮川郡平田町石橋弥八蔵(大正3年写)」, 「寛政3辛亥年世事記録(明治45年写)」, 「鑄物師ノ旧記由来概要(大正4年写)」, 「歳時記 安政3年辰3月より(大正1年写)」正月・二月分, 「(畠谷氏蔵書) 覺蝶, 登城御奏者, 御先番, 御代参, 雑(昭和3年写)」, 「文化14年巳五月願出江戸日記(大正4年写)」, 「寛政年中ヨリ文政十, 七月迄, 記録(大正4年写)」, 「寛政3辛亥年世事記録(明治45年写)」, 「安政6年差出留(大正12年写)」。

古文書・旧記——「那賀郡石見村岡本文書」巻1, 2をはじめとして12種の旧記・古文書の内容覚え書き, 書写年代の明らかなものは大正1年より3年。

071 島根県庁文書 酒造・巡見・諸家

B5判 横書き 228頁

内扉に「島根県庁文書(2)」と記す。文書の年代は, 近世が大部分で酒造, 幕府の巡見, 産業などの資料がある。

[目次]

1. 酒造 2. 巡見 3. 産業 4. 船 5. 井尻・内田 6. 布智・春日 7. 八川・糸原 8. 雑 9. 武家

[内容]

酒造——「元治元年九月 御用留」, 「天保五年午正月～未十二月, 文政十三年, 天保

八年，文政十一年，文化年間，天保十一年，天保十五年御用留，「天文二年使用日記」，「慶応四年 慶応三年正月吉日御用留」，「安永五年酒屋坐座日記」，「寛政十一年広飯秘鑑」，「文政5～9年御用留」，「寛政十一年広飯秘鑑（酒屋五軒分運上銀）」。

巡見——「享保十七年十月二十三日御目附様 御巡見仁多郡 御通筋村々手鏡帳」，「寛政元年四月大田北村案内帳」，「遠藤源五郎様御巡見書」，「天保九年四月御巡見様御尋之趣御答申上候覚書」，「天保九年四月公儀巡見使諏訪縫殿様巡見使一行名簿」，「延享三年五月御巡見様御尋事可申披覚書」，「延享三年御巡見御用留」，「寛政元年御巡見様御用諸事手配書」他二冊，「寛政元年五月私領御巡見様御案内手扣」，「公儀巡見使石尾七兵衛様御案内口上書」他三点，「寛政元年四月御料御巡見様御用留」他二点，「御料御巡見案内実録」，「天保九年九月私領御巡見様御案内帳」，「御巡見様御尋之節御答申上候覚書」，「天保九年正月御巡見様御通行一途留帳」，「寛政三年正月仁多郡諸色値段書出帳」。

産業——「享和元年六月朔日雲州干鮑新規稼取極候受書」，「述摩郡湯里村竹内正重文書」他七部，「大原郡木次町紙市 専行願書」，「文政八年九月南村油木御運上木高寄人別帳」，「文政八年九月南村油木減少仕候ニ付愁訴申出御運上錢猶稼被仰付ヶ所別帳」，「鉾山発達史」，「寛政十一年広飯秘鑑」，「御願申上一札之事（借米願）」，「古書古記」，「寛政十一年広飯秘鑑」，「天和二年十一月千家直治公火継之旧記」，「御用留」，「永代売渡申田畑之事」，「温泉津村巳年畑方新開改帳」，「簸川郡日郷崎村古庄武之助蔵文書」，「仁多郡横田村岩屋寺蔵文書」，「御用留」，「文政九年憶中覚帳」，「郷方古今覚書」，「大原郡木次町野家文書」，「宝暦七年十一月仁多郡湯村槻屋村卯秋紙漉御法被仰渡承知割形帳」。

船——「天保七年正月・文政十一年七月～十二月御用留」，「五十猛・林受吉蔵願書控等」，「目久曾出入訳書」，「御制札拾枚ノ内字誌浦」，「延享二年十月直政公御直書」写し2通，「寛政十一年広飯秘鑑」，「簸川郡日郷崎村古庄武之助蔵文書」，「長崎道中記」，「伯耆国西伯郡経久学蔵文書」，「寛政四年三月改口田儀灘損願書類数々留」，「飯石郡飯石村佐藤家古記録」。

井尻・内田——文政二年から明治三年までの「御用留」八点。

布智・春日——「安政十二年，文政十三年，文政十一年，天保十三～十五年，文化御用留」，「寅年御巡見衆道具印並人数附」他三点一冊，「文政十一年，文政五～九年，嘉永二～三年御用留」。

八川・糸原——「糸原家御用留（八川糸原武太郎蔵）」，「糸原家御用留」。

雑——「寛政十一年広飯秘録」，「出雲山田氏家譜要略 抜萃」，「簸川郡日郷崎村古庄

武之助蔵文書」,「神能の由来・神能考」,「阿位の見聞雜誌八束郡津田村永井列蔵文書」,「戸籍正月, 明治四年, 明治三年四月, 明治二年三月三日御改正後, 午八月御用留」,「諸用日記」,「郷方古今覚書」,「岡本甚左衛門事績文政九年憶中万覚帳」,「寛政四年三月改口田儀灘損願書類数々留」,「天明四年八月村定法物見合帳」。

武家——「斎木様 江天保二卯年入御覧六月言上の覚」,「寛政四年正月二十六日松江御家中知行高順附」。

072 雲州献立集

B 5判 横書き 174頁

年代は不明であるが, 内扉に「島根県庁文書 献立 食物 ト蔵献立」とあり島根県庁文書より, 献立, 食物に関する文書を写しているのでのこの順番にいた。

[目次]

1. 献立／食物
2. 献立／ト蔵

[内容]

献立／食物——田中精一蔵 田中朝房「秋大凶作日記」(天保7年12月～)のうち喰物の記を写書, 第346号の4母黒藩「御用留」(天保8, 天保12, 天保13)のうち食物に関する公儀御觸書, 第273の2「御用留」(文化), 第102「寅年御巡見衆道具印並人数附」第4点合冊より 石州聞書の献立, 第1300～1「二度之御巡見様御社参覚」等3点合冊より 巡見日程と献立, 第906～11「廣飯秘鑑」より献立, 第96「御巡見御用留」より 公儀御精進日之事料理材料等, 第壹, 300号2 21枚, 「寛政元年官使両度御巡見御社参ニ付諸事留帳」より, 御巡見御社参ニ付御料理献立のうつし。第447号「弘化五申二月七日御殿於御軍役御張紙之間御料理被下置候節順列心得書写」(ト蔵扣) 28枚より料理心得・作法・献立, 第906～11「廣飯秘鑑」132枚より 田植給物のマセ飯についての觸, 第3546号「(寛曆七年)長州参着并徳山岩見日記」13枚より 宿の献立, 第1299・2「御順見御社参記」(延享三年寅六月) 36枚より献立, 「寛政三年酉五月大御順見御渡海御登山一件」より献立。第1299号, 一「天保九戌閏四月十一日御巡見御社参記」32枚より献立。第壹, 300号ノ三「文化六年巳四月廿九日公御役人高木氏御社参諸色入用覚帳」他二編より 文政六年社参の節の献立, 第1726「諸用日記」より 金山寺味噌伝来之事, 第1310「御料御巡見様御用留」より献立, 第695「御巡見ニ付何備心得日記」(天保9)より 御本陣御献立等献立。

献立／ト蔵——第647ノ1「献立其一」(弘化2年正月吉日), 第1684号ノ1, 2, 「献立其一」(弘化2年正月吉日) 414枚より 料理人言上書・客の名簿・献立・饗応役割

篠田統資料目録 I (フィールド・ノート)

・千秋万歳楽写し、以下、各々の場合の献立を記している。「弘化二巳九月十九日立毛御用之節地方様御宿」、「弘化三年四月十三日元祖貳百年忌法事」、「弘化三年九月八日客来」、「弘化四年四月二日郡奉行小川太祖右衛門様御宿仕候節」、「柳多様御巡行(弘化4)」、「法事(静安院泰巖寿清大姉、茂林内貞信女)(弘化4、5、10)」、「検見一行(弘化4、9、11)」、「代々階具合羽、生涯名字御免の祝(弘化4、7)」、「五蔵帯直し祝儀(弘化4、11)」、「有次様御巡御(弘化5、3)」、「出世御礼のための寺方招待(弘化5、4、19)」、「玄英童子33回忌(嘉永2、5、10)法事」、「立毛御用(嘉永2、8、10)(ただし記載なしの注あり)」、「仁沢宗安居士十三回忌(嘉永2、10)法事」、「つね帯直祝儀(嘉永3、11)」、「安政五年道菴正恒居士四十九日法事」、「生涯お目見得の祝(安政2、4、29)(祝儀は10月に行なわれた)」、「御勝手方御奉行并鉄方様順御(安政6、3)」、「祖母上様87之賀の祝い(安政6、3、8)」、「道菴正恒居士一周忌(安政6、8、29~)」、「於新宅祖母上様88御祝之節(安政7、2、16)」、「安政七申三月十四日祖母上様八十八御祝昼客表座敷」、「菴正恒居士三回忌法事(万延元、8、29~)」、「菊月七日地方頭取佐野周右衛門宿船通山上」、「万延元申十二月五日并尻問屋分養女罷越候節」。

073 丹波大山一 聞書

B5判 横書き 170頁

昭和32年「丹波国多紀郡丹南町旧大山村調査記」で地域別の聞書き。「丹波大山」のタイトルで製本・未製本あわせて17のフィールド・ノートがある。製作年代不明のものもあるがこの時の調査として並べてある。他に、アンケートにも同タイトルのものがある。

[目次]

1. 一般
2. 追入・宮
3. 荒子新田・上
4. 高倉・石住・一卯谷
5. 新・徳永・町
6. 田・長安寺
7. 北野新田・北野・下・明野

[内容]

一般——中学統計(学年別生徒数・地域別生徒数・教員担当課目)、村勢統計、小学生数、産業統計、学校の先生から教育と杜氏に関する話。

追入・宮——酒屋その他の家系と屋敷、社寺と講、交通、屋号、神仏、寒茶、大山宮、生活体験談、酒屋ゴム印集、杜氏の行き先、山での作業、大来寺の現況。

荒子新田・上——屋敷神、祖先、講、部屋割、年中行事、酒の味、杜氏の体験談、中門造、花卉栽培、農産物、紺屋、機織、酒銘柄、神祭り、石碑。

高倉・一卯谷——檀家、住職系譜、離村数、葬式風俗、年中行事、百日後家、出か

せぎ、砂糖入番茶、お札、杜氏の風習、蔵人、産見舞、婿入り、雑煮、山のしごと、嫁名、家系、機織、人の一生。

新・徳永・町、田・長安寺——村の由来、盆と正月、杜氏の行先、講、杜氏の体験談、神社と祭り、モンペと脚伴、魚の経路、床、他所からの這入り、家々の伝来、家祈禱、株、昔の歌、油屋、紺屋、酒屋。

北野新田・北野・下・明野——愛宕神社の由来、酒造家、道標、寺、講、村の生活状態。

074 丹波大山二 外廓聞書（篠山・岡屋・沢田・宮田・柏原）、死亡原因、戸籍（高倉・一卯谷・明野）

B5判 横書き 228頁

戸籍の抜書きと死亡者の年令と死因の表、調査地の外廓をなす地域での聞書き。

[目次]

1. 大山死因表 2. 大山戸籍 3. 外廓——篠山、東岡屋、沢田、宮田、木之部、板井、柏原

[内容]

戸籍——高倉・一卯谷・明野各集落の戸籍から家族の名前と生まれ年月・婚姻関係を抜書き、姓の表、縁組数。

死因表——役場の資料から明治43年から昭和32年までの死亡者の月日と集落名と氏名年令死因の表。

灘——菊正・白雪で会った丹波杜氏 畑栄吉・今井忠考氏より：水配、摺配、菩薩、直し灰、醪かけ、菊正、会津若松、天田部、宇川、小西藏、衛門、スッポン仕込、余り米、精米、灘の水配、速醸。

篠山——台湾の酒、紅酒、米酒、考紅酒、紹興酒、中支の米、日本の米の分布、ユルゴダング、但馬小代の稗食、間取り図、藩士の役名、城、寺。

東岡屋——諏訪神社祭礼、御頭屋、頭わたし、頭屋が預るもの、神輿、神主、区長、庄屋、天道花、粽、ぞうに、スシ、神饌、神事。

沢田——雑煮、天道花、脚絆、松尾講、山神、いせ講、愛宕講、春日講、念仏講、観音講、寺、鱧祭り、当家、頭わたし、鯛祭り、もちつき、式日、スッテンテン、踊子、おみき持、相伴人、猿田彦、働き人、祭礼、供物、玉串、膳、席次、諸役、祭りの料理、正月料理、機おり、綿、藤、麻。

宮田——麴、甘酒、酒名、旧家、寺、五穀豊饒のいのり、柏餅、チマキ、利酒、墓・ミバカとキヨバカ、年中行事、食事・鯖すしと巻きすしと餅と甘酒、猪の子、正月

料理, 地神, 株, 縁組, 出生儀礼, 講, 伊勢大神楽, 墓掘り, 婚礼, 村八, 祈禱, 山椒, 榎, 宿屋での19日夕から26日朝までの献立, 寺, 養老院。

西木之部・上板井——寺と宮さん, 観音講, 山之神, ヤシキ神, 地神, 株, 講, 猪の子, 行者, 柏もち, ちまき, 神職, 祭り。

柏原・31/VII '57——米ふみ, 百日, 天神祭の料理, 八幡様の料理, 間取り図, 柏原にすぎたもの, 武家やしき, 柏原藩士, 士族の内職。

075 丹波大山四 園田文書イ 吉事献立・系図

B 5 判 横書き 110頁

大庄屋の園田家の文書の写し。

[目次]

1. 園田文書——系図, 年中行事, 吉事横帳類

[内容]

系図——秀郷8世の孫成実からの系図。年代は元亀1から大正9年。

年中行事——明治十年分年中行事(明治10年6月から26年, 行事の人数・賄・献立・入用)。

祝儀——「太助元服祝儀帳(文化2年)」, 「お柳之節嫁見祝儀帳(文化4年)」, 「目録らしき文書」, 「お節嫁見祝儀覚帳(文化8年)」, 「収引取并貫物万心覚(文政3年)」, 「厄年祝儀録(文政12年)」(覚の文章と献立か付記), 「出生男子祝儀帳(文政13年)」, 「おひさ引取に付祝儀帳(文政13年)」, 「披露宴献立」, 「巽蔵普請帳(天保3年)」(祝膳献立付記), 「多之助瘡瘡見舞覚帳(天保5年)」, 「御母様瘡瘡御熄ニ付見舞万事取斗始末(天保6年)」, 「出生ニ女子祝儀心覚帳(天保6年)」, 「多祐婚礼并万事心おほへ帳入袋(天保6～明治11年の横帳5冊在中)」, 「厄悦ひ貫物帳(天保6年)」, 「大三郎婚姻祝儀万事心覚帳(天保10年)」, 「家督并ニ婚儀披露(嘉永4年)」, 「目出度(明治3年)」, 「祝儀貫物帳(明治11年)」, 「お八重嫁入一件(天保10年)」(献立, 天保10亥大三郎女房引取ニツキとも), 「壮年賀祝儀帳(天保15年)」, 「見舞心覚帳(嘉永2年)」, 「相続之節祝儀帳(嘉永4年)」, 「田文平聳入(嘉永4年)」, 「母様還暦之御賀祝儀帳(文久2年)」, 「出生男子祝儀帳(元治元年)」, 「初老年賀祝儀帳(明治4年)」, 「出生男祝儀帳(慶応4年)」, 「お千勢田氏に嫁入一件(明治7年)」, 「婚禮祝儀帳(明治9年)」, 「結納目録(明治19年)」, 「お量引取祝儀帳(明治19年)」, 「聳入の土産(明治20年)」, 「御献立ひかる(明治23年)」, 「見舞到来覚(明治29年)」, 「到来見舞扣(明治31年)」。

076 丹波大山五 大山文書イ 香奠調査・講当

B 5判 横書き 134頁

講当と香奠帳の写し。

[目次]

1. 講当——宮村愛宕講, 追入明神講, 新村伊勢講 2. 香奠帳——上村石川氏, 高倉岡田氏, 荒子新田大崎氏, 長安寺森本氏

[内容]

宮村愛宕講(田中弘氏)——「明治41年調大山宮村下愛宕講(一箱)」, 「明治23年愛宕参宮造用帳」, 「講当改正規約及献立記(明治41年)」, 「愛宕講当文帳(文久2, 慶応4, 明治7, 9, 13, 14, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29年) 賄いと決算の覚」大正8年まであるうちからの抜書き。

追入明神講(水船実二氏蔵)——「明神講覚帳(文久3～慶応3年)」, 「明神講覚帳(明治2～15年)」, 「明神講覚帳(明治17～昭和11年)」。

徳永・新・伊勢講(酒井勝男氏蔵)——「明治29年度村費地価戸数割勘定帳」, 「明治33年度村費勘定帳」, 「表紙欠・講順や賄の覚帳(安政5～明治2年)」, 「伊勢講当文勘定帳(明治12～22年)」, 「伊勢講当文帳(明治22～39年)」, 「伊勢講当文帳(明治39～大正2年)」, 「伊勢講当文帳(大正3～10年)」, 「伊勢講当文帳(大正11～昭和5年)」。

上村・石川秀一香奠帳——「香奠帳(安政5年)」, 「香奠帳(慶応3年) 亮雄信士」, 「香奠帳(明治14年)」, 「香奠帳(明治24年) 石川さと」, 「香奠帳(明治24年) 石川しげ」, 「香奠帳(明治24年旧8月)」。

高倉・岡田丈太郎香奠帳——「御香奠帳(明治21年)」, 「香奠帳(明治42年)」, 「香奠帳(昭和7年)」。

荒子新田・大崎丑太郎香奠帳——「御香奠帳(文政2年)」, 「御香料帳(天保4年)」, 「香奠帳(嘉永2年)」, 「御香奠帳(元治元年)」, 「香奠帳(大正5年)」。

長安寺・森本六太郎香奠帳——「香奠帳(嘉永5年)」, 「香典帳(安政7年)」, 「香奠帳(慶応3年)」。

077 丹波大山七 園田文書ロ 酒造関係天明～文政

B 5判 横書き 154頁

大庄屋の園田家の文書の写し。

[目次]

宮村・園田文書／酒造関係——横帳天明～寛政, 横帳享和～文化, 横帳文政, 文政

八年廻酒一件

[内容]

横帳天明～寛政——「酒造書上帳（天明7年）」、「酒株高造高書上帳（天明8年）」、「多喜郡酒株他表紙なし（天明8年）」、「酒造方御改帳（天明8年）」、「酒造方諸入用割帳写（天明8年）」、「酒造方諸道具御改帳（寛政1年）」、「酒造方諸道具御改帳（寛政4年）」。

横帳享和～文化——「酒家諸入用割帳（享和元年）」、「酒造十分一役米（享和3年）」、「桶改封印帳（享和3年）」、「文案と思われる写し（文化3～5年）虫食い多し」、「文化年中酒造棚卸（嘉永3年）」、「酒造売上勘定（文化4年）」、「酒造売上勘定（文化5年）」、「酒造売上勘定記（文化6年）」、「次来卸酒掛方勘定記（寛政7年）」、「酒造売上ヶ勘定記（文化7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14年）」。

横帳文政——「文政稔中酒造棚卸台帳（嘉永3年）」、「酒造売上ヶ勘定記（文政2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12年）」。

文政八年廻酒一件——「廻酒新規願立一件（文政8年）」、「廻酒新願諸記録（文政8～9年）」。

078 丹波大山八 園田文書ハ 酒造関係書信

B5判 横書き 106頁

大庄屋の園田家の書信・觸書・証文の写し。

[目次]

宮村・園田文書／酒造関係——書信、書信・觸書・証文

[内容]

書信——「差入申一札之事（嘉永5年）」、「約定一札之事（文政8年）」、「引合之事（文政10年）」、「乍恐奉願頼仕口上（文政10年）新酒造願・原稿」、「乍恐奉愁願侯口上（天保3年）廻酒の行事願書」、「乍恐奉内願口上之覚（天保5年）原稿・善三郎酒造願」、「荷物輸送の断り状（年次不明）」、「西京ニ而十二人集会江戸へ出状之覚（宛名・日付なし）」、「出店断り状（年次不明）」、「江戸積酒造屋積方之儀（文政8年）」、「買酒苦情応答書状（年月不明）」、「江戸送り酒の連絡状（3月25日）」、「撰州伊丹泉町加勢屋小助様と上封の書状（5月4日出）虫食い内容不明」、「大山上村真佐藏殿用書と上書の書状（5月8日）」、「江戸酒問屋より来書（嘉永6年）」、「四月十二日を後入用覚（人名以外内容不詳）」、「七夕之御祝儀目出度」、「売附仕切目録（嘉永6年）」、「薬仕切之事（嘉永5年）」、「通（腐食甚だしく内容ほとんどなし）」、「正月16日出24日着書状（荷送り連絡状）」、「入船覚（2月8日）」、「11月16日発2月9日着書状（酒

の船入津の件)」、「入船覚(11月19日・11月26日)」、「覚(丑2月9日)」、「入船覚(正月23日・正月26日)」、「無名虫くいダラケ書状(3月12日)」、「追啓で始まる書状(11月26日)」、「別啓で始まる書状(11月26日)」、「追啓で始まる書状(正月6日)」。

書信・觸書・証文——「譲り申酒株之事(享保6年)」、「売渡申酒道具事(享保18年)」、「預り申酒株譲り証文之事(丑12月13日)」、「譲り相渡申酒株之事(享保18年)」、「覚(正月22日)」、「預申銀子之事(享和3年)」、「酒造抑制の觸書の抜き写し」、「覚(注記に日付ナシとあり)」、「寒酒40石(11月7日)酒造用具封印して酒造を40石とした書面」、「乍恐口上手扣(申4月・酒造業を続けたい願い文)」、「店売之儀御定直段他」、「他所売捌他」、「乍恐奉願上口上書(文化3年)酒造渡世を続けたい旨の願書)」、「口演と題するかざりやの型録」、「荷物船積所の所と名」、「追啓で始まる書状(3月12日)酒の着荷の連絡文」、「御度目出度で始まる書状(正月6日)相場の連絡」、「六日限一筆致で始まる書状」、「覚(嘉永5年)江戸へ酒積下しの書状」、「改年之御度…(正月29日)」、「西田何太郎船送状(子10月)」、「新酒15駄受(正月26日出2月9日来)」、「其地2艘中国4艘入津御座候の書状(子12月16日出丑2月九日着)」、「子11月11日出丑2月9日着書状」、「其地9艘中国8艘ノ入津御座候の書状(子12月6日出極月下旬)」、「子12月21日出丑2月9日着書状」、「番船着案内の書状(正月19日出丑2月6日来)」、「着船連絡状(正月26日)」、「追啓当月割…の書状(2月16日)」、「入船覚(3月2日)」、「船積申送り状」。

079 丹波大山九 西尾文書イ 酒方諸記録他

B 5 判 横書き 64頁

西尾家の酒造関係文書の写し。

[目次]

1. 西尾文書酒方諸記録 2. 西尾文書文政八年廻酒一件

[内容]

酒方諸記録——「酒方諸記録」、「天明8年酒株造高書上帳写」、「享和2年造酒書上帳写」 「覚(享和3年)」、「乍恐奉願上候口上之覚(享和3年)」、「覚(享和3年10月27日・亥10月23日・亥11月23日・亥11月24日)」、「乍恐奉願上口上書(文化3年)」、「酒家中へ連絡文(寅11月14日)」、「預金申銀子之事(享和3年12月)」、「覚(年月不明)」、「乍恐奉願上候口上覚(享和3年7月)」、「文化6年大山酒家中源吾方会合」、「文化6年酒家年番受取」、「廻酒仕込水(文化6年)」、「廻状の控(12月19日)」、「五尺桶の価(文化6年)」、「五尺桶の規格(享和2年)」、「酒株譲り願書(文化7年)」、「譲相渡し申候酒株之事(文化7年)」、「酒仕込水之事(文化7年)」、「申冬酒

仕込水定 (文化9年)、「桶代金 (文化7年)」、「酒家年番受取 (文化10年)」、「杜氏交替の事 (文化10年)」、「酒仕込水 (文化11・12年)」、「酒火入 (戌年)」、「同 (亥年)」、「酒桶竹入用・古米モ為造酒之事・白酒作法・子ノ酒火入・年番よりの触書 (文化14年)」、「酒方諸記録其二」、「五尺桶の価 (丑年)」、「酒年番交代 (文化14年)」、「杜氏交替の事 (文化14年)」、「酒仕込方」、「酒価格通達 (10月11日)」、「年番交替 (文政1年)」、「男柱仕替入ル (文政3年)」、「桶の価 (文政4年)」、「酒屋年番交代 (文政8年)」、「京都御触書 (文政9年)」、「新酒造一件之扣 (文政12年)」、「一札之事 (文政12年)」、「六尺桶仕立 (文政13年)」、「五尺桶仕立 (天保2年)」、「酒造年番 (文政13年)」、「六尺桶寸法仕立 (天保3年)」、「文化子年御公儀へ書上ケ写」、「酒船仕立 (天保3年)」、「御触書 (天保2年)」、「覚 (天保2年)」、「覚 (天保2年)」、「年番より廻書 (天保3年)」、「郡取ノより廻書 (天保3年)」、「御触書 (天保4年)」、「廻状 (天保8年)」、「明治8年5月清酒腐酒売上税金先納目録」、「其二見聞記」、「其三見聞記 (文政11年)」。

文政八年廻酒一件——「酒方諸記録其二・文政8年廻酒一件・約定一札之事 (文政8年)」。

080 丹波大山十 西尾文書口 雑 見聞記 年時考 来客記

B5判 横書き 188頁

丹波大山における様々な記録、文書の写しを合本したもの、多くの文書に、「西尾邦直」の名がみえ、西尾氏に伝来したものであろうと考えられる。

[目次]

1. 西尾文書／雑 2. 西尾邦直／見聞記1～3 (享和3～文政11) 3. 西尾文書／年時考 (天明6～天保9) 全3冊 4. 西尾文書／来客記付献立

[内容]

雑——「寅正月 大阪表御用向手扣 西尾与左エ門」、「弘化八未年十一月京撰筆記」、「文化9年申3月朔日発 京撰筆記」、「天保4卯2月 大乘寺経栄上人継目次来記録」。

西尾邦直／見聞記1～3 (享和3～文政11)——「見聞記」, 享和三年癸亥晩夏とあり、様々な薬・菓子・酒などの製法を記す。「其二見聞記 西尾邦直」文化10癸酉年とあり内容は先の見聞記と同様であり、さらに病気に対するまじないなども記す、また俳句の写し、民間療法を記した巻物の写し、「其三見聞記 西尾邦直」文政11年子2月吉日の記がある。内容は先のものと同様でなく、産前産後の養生法や人を尋ねる法など一般的なまじないなども記す。

年時考(天明6～天保9)全3冊——「年時考」天明6年正月よりの天候、稲・綿・小豆などの相場、天明7年の米・油・綿などの相場、天明6丙午年米値段記、天明7未初相庭、文政11子年の天候、相場、文政12丑年大阪初相場より12月までの相場、天候、以下、文政13年、天保2年、天保3年まで同様の内容を記す、「其二年時考」天保3年9月～12月、天保4年、天保5年、天保6年、天保7年5月の天候、大阪米相場などを記す、「其三年時考」天保7申年6月～12月、天保8酉年、天保9戊年初相場、(相場はいずれも大阪)を記す。

来客記附献立——内扉に目次あり、以下その目次の項目を記す、1. 文政8酉4月9日客6人 2. 文政8酉5月3日齋 3. 文政9戊8月24日法事 4. 文政10亥年春還曆正月11日・12日・19日・20日・21日・27日・29日・2月4日 5. 亥5月3日祥当 6. 亥12月12日 7. 文政11子正月12日子供節会16日16人(台所) 8. 文政11年4月5日青山公及供 9. 文政11年5月3日お寺さん齋 10. 文政12丑4月24日年忌 11. 文政12丑5月3日齋 12. 同5月21日郡奉公一行 13. 同11月7日家老一行 14. 文政13年2月9日家老 15. 同2月24日御山方3人 16. 同5月3日齋 17. 文政13寅8月21日内藤様外2人 18. 天保2年5月2日齋 19. 天保3年2月10日禱多蔵役目賀酒 20. 同5月3日齋 21. 天保4年4月7日閑居棟上 22. 巳5月15日閑居うつり 23. 同5月15・16日村方一同 24. 同12月8日柏原覚右衛門外 25. 午(天保5)5月3日齋 26. 同8月7日法事 27. 同エビス講 28. 天保6年1月12日～20日病氣本復祝 29. 同2月24日法事 30. 同5月3日齋 31. 同郡方役人 32. 同10月19日エビス祭 33. 同11月18日病氣本復祝 34. 天保7年4月1日太子講 35. 同5月3日祥当とあり、いずれも献立が記されている。

081 丹波大山

B5判 8枚 B5変形判 57枚 A4判 7枚 他に変形の用紙が10枚同封されている 未製本

[内容]

豆腐・油揚・高野豆腐・焼豆腐・こんにゃく・素麺・干瓢・蕪・豆・小豆・小芋・竹の子・松茸・みかん・白米・酒・醤油・酢・砂糖・みりん・小鯛・はまち・しいら・ぶり・しび・ひらめ・鰯・ほら・鯉・鮭・鰹・鰹節・鯖・雑魚・いわし焼・あじ・こち・章魚・烏賊・するめ・牛肉・鳥・鯨・罐詰の値段の推移・明治43年～昭和31年にかけての年令と発病の割合。丹波大山婚姻圏の地図。主な物価の動きのグラフ。凶事到来物の表。各種祝儀のもらいもの。各種祝儀の献立の材料。病氣見舞。結婚祝品…食料品。出産祝。講の宴会の献立材料。結婚祝品…衣料品。年令別死亡割合。乳幼

兎死因比較。自殺年令別分布。結核年令別分布。全死亡に対する各種死因の割合。丹波と四国との関連についてのグラフ（杜氏の出身・すしの種類・作業衣・平常衣）。

082 丹波大山 西尾文書公私録第1～第6

B5判 横書き 24枚 未製本

西尾文書の公私録の写し。

[目次] なし

[内容]

西尾邦直の享和3～嘉永2年までの公私にわたる記録で、寛政6寅年の日記、寛政7年～享和2年までの諸記に続くもの。

083 丹波大山 西尾文書公私録所収酒記事

B5判 横書き 8枚 未製本

西尾文書の公私録中から酒についての記事を抜き出したもの。

[目次] なし

[内容]

酒記事——「覚・土佐削木香」,「霰酒」,「アラレ之仕法」,「荷樽寸法」,「酒仕込水之覚」,「銘酒」,「酒仕込水之事」,「乍恐奉願上い口上覚」,「文化4（1807）巳2月お觸れ」のうち。

084 丹波大山 西尾文書御用日記

B5判 横書き 18枚 未製本

西尾文書御用諸記録等の写し。

[目次] なし

[内容]

御用日記——御用諸記録。「寛政三年辛亥年七月 西尾与左エ門・御用帳」,「寛政3辛亥年七月 西尾與左エ門・御用帳」,「西尾邦直・其二御用方日記・其三御用日記」。

085 丹波大山 宮村／園田文書 酒造関係 横帳 嘉永

B5判 横書き 6枚 未製本

大庄屋の園田家の文書の写し。

[目次] なし

[内容]

酒造関係——嘉永5年，園田多祐手控，申合定書連印帳の写し。

086 丹波大山 園田文書流れ帳

B5判 横書き 6枚 未製本

大庄屋の園田家の文書の写し。

[目次] なし

[内容]

流れ帳——金銀出入覚・覚・覚・横帳・覚

087 丹波大山 1. 上村／戸籍 2. 追入／戸籍・荒子新田 在住

B5判 横書き 54枚 未製本

戸籍の写し。

088 鳥取

B5判 横書き 128頁

昭和32年から昭和36年頃の鳥取での風俗の聞き書きを綴ったもの。

[目次]

因伯 1. 加茂，智頭 昭32 2. 川原 3. 浦富 4. 若桜 4a. 鳥取漢医蔵書 5. 鳥取
家政学会 6. 松崎 7. 赤松，大山寺，倉吉 8. 伯耆 9. 生山 10. 夜見 野澤文書

[内容]

旅行中の各地での聞き書きと，個人の蔵書の書名リストが何人かに関して作成してある。

089 第一回研修旅行—山陰— 昭和33年

B5判 縦・横書き 149頁

昭和33年7月31日から8月6日の大阪学芸大学生生活文化研究会第一回研修旅行として，山陰の旅が行なわれた。その時の孔版印刷の旅行案内と，先生の旅行のノートとを合本したもの。

[目次]

1. 賀露 2. 河原 3. 鳥取 4. 佐摩 5. 安来 6. 松江 7. 講武 8. 加賀 9. 楽山 10.
本庄 11. 美保関 12. 大根島 13. 富村 14. 大社 15. 日御碕 16. 宇龍 17. 島根の
鳥 18. 宍道 19. 書込み 20. 道中献立 21. 観察票 22. 雑品・小物等 23. 旅行案内

[内容]

賀露——7月31日賀露での風俗、主に生業と食生活の聞き書き。

河原——7月31日河原での風俗の聞き書き。

鳥取——8月1日記載なし。

佐摩——8月1日佐摩での風俗聞き書き。

安来——8月2日和鋼会館での鉄穴流しの聞き書き。

松江——8月2日夜松江で竹崎老他からの風俗の聞き書き。

講武——8月3日講武での風俗聞き書き。

加賀——見物のメモ。

楽山——8月4日記載なし。

本庄——意味の不明なメモが2行。

美保関——漁業に関する風俗聞き書き。

大根島——八束村公報の切り抜きと農産物に関する聞き書き。

富村——8月5日富村での風俗聞き書き。

大社——記載なし。

日御碕——記載なし。

宇龍——海辺の男からの聞き書き。

島根の鳥——新聞の切り抜き。

穴道——八雲荘での見聞。

書き込み——記入用紙を綴るが記載はなし。

道中献立——7月31日から8月6日までの旅行中の朝夕、時には昼も含む献立が記載。

観察票——車窓日記の用紙に記入したものが綴ってある。

雑品、小物等——箸袋、パンフレットの類のスクラップ。

旅行案内——生活文化研究会の孔版印刷の旅行案内で、旅程の時刻表、班別編成表、地図、問題のテーマ別の案内が付されている。

090 栄養学・食物史 講義プリント

B5判 横書き 172頁

大学での講義のさい受講生に配布したと思われる孔版印刷の講義録類に書き入れたものを合本してある。これらの講義録のなかには『家政学序説』第一部（のちに『暮らしの知恵——考える生活科学』と改題した新版も刊行されている）にまとめられた論考がいくつも記されている。

[目次]

1. 書入本 一般栄養学 2. ビタミン 3. 昭33 4. 昭34 5. 参考

[内容]

一般栄養学——年度不明。先生自身の調査にもとづく図表がおおく含まれていて以下の12節から構成されている。I. 栄養学の種類 II. 栄養は家族の形態を支配する III. 栄養は社会現象を反映する IV. 山村と農村の栄養のちがい V. VI. 科学的であることのむつかしさ VII. 栄養は総合的に考えねばならない VIII. 間食も食品のうちである IX. 欠けやすい栄養 X. 献立の固定 XI. 外国料理の導入 XII. 栄養改善の方向。

ビタミン(1)——年度不明。「Vitaminの発見——新しい栄養学の誕生と発展——」と題した講義に使用したもののものであり、図、表、化学構造式がおおく含まれている。

ビタミン(2)——昭和24年「ビタミンの発見」というタイトルが付されている。脚気についてのべている部分がおおく、わが国ばかりではなく中国古典からの脚気引用もある。図、表、化学構造式もおおい。

昭和33年度講義(1)——おそらく家政学原論の講義であろう。女性の地位と家庭論に関する部分がおおくを占める。11節から構成されている。1. 栄養学の種類 2. 我国本来の家庭の在り方 3. 人間性喪失以前の武士の考え方 4. 元禄以前の民家の考え方 5. 徳川家康の思想対策 6. 女大学の制定 7. 活動に則しない布令は空文化する 8. 武家法を民衆に強要した明治憲法 9. Rorschach法と家族関係 10. 売春について 11. 死亡数に及ぼす生活実態 12. 饑じさと恋と寒さを比ぶれば、恥しながら饑じさがさき。

昭和33年度講義(2)——一般栄養学を講じたさいのプリント。冒頭にあげた一般栄養学と講義の構成は似ているが、参照資料として使用した図表が主で33点ある。

昭和34年度講義(1)——家政学原論にあたる内容で以下の構成をとる。序章——女大学とその背景 1. 結婚形態の変遷 2. 相続形態の変遷 3. 人間性喪失以前の武士の考え方 4. 元禄以前の庶民の考え方 5. 元禄以前の学界 6. 徳川家康の思想統制 7. 元禄以後の庶民の考え方 8. 町人の思想統制 9. 明治政府の思想統制 第1章——家族の形態は栄養を支配する 1. 家族の形態を支配する経済的背景 2. 饑饉と戦争 第2章——主食の問題 1. 主食の問題がクローズアップされたわけ 第3章——現実の栄養状況 第4章——消化と吸収(原本には章立てはしてないが第4章にあたる部分と考えられる) 1. 口腔 2. 胃 3. 小腸 4. 大腸。

昭和34年度講義(2)——「食品学——ことに主食を中心に——」というタイトルで

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

以下の構成をとる。Ⅰ.問題の焦点 Ⅱ.古代の穀物 Ⅲ.アワ Ⅳ.キビ Ⅴ.イネ
Ⅵ.大麦 Ⅶ.小麦 Ⅷ.燕麦 Ⅸ.ライ麦 X.稗 XI.高粱 XII.玉蜀黍 XIII.鳩麦 XIV.
蕎麦 XV.麻 16.里芋 17.馬鈴薯 18.甘藷 19.大豆 20.小豆（以下ローマ数字
なしで）喰べ方の変遷 参照（文献リスト）。

参考資料——女大学を抄録したもの、石垣綾子の「女は自由である」という文章、
伝染病、逐年比較表（昭和13～23年）、昆虫と疫病、大阪鮓——雀鮓を中心に（文献
リスト）。

091 亥歳の出雲 松江の巻 昭34

B5判 横書き 150頁

昭和34年6月に松江を中心におこなった聞き書きと古文書の写し。

[目次]

1. 松江・附寮生郷里談 2. 片江・七類 3. 佐香 4. 河下・遙堪 5. 川津・池田文書
6. 杵築・恵比須講文書 7. 道中献立

[内容]

松江——竹崎博士（『出雲』2参照）談：沼下駄、鹿角と神社、壁麦、麦の穂刈り、
植物分類。春日神社神職の藤脇進氏談：神社由来、正月の熟饌、チマキ。長瀬の風俗。
真庭郡落合の行事食。岡山県の本陣。

片江・七類——七類にて漁業慣行、雑煮、病気、クワとタバコ畑、小・中学校、正
月飾り、芋、手織、ライ麦。片江にてビール麦、カラス麦、タバコ畑、漁業、雑煮、
チマキ、通学。

佐香——佐香の統計：職業別人口、漁業の種類、船舶、耕地、主食作物、教員。佐
香の風俗：年中行事と食物、漁業、病気、寺、農業、魚料理、味噌、食事、ワカメと
り、結婚、集落別の気風。小学校教員のこの土地の印象談。

河下・遙堪——村の概況、食事、海苔、漁業、舟玉、行事、神社。

川津／池田文書——明治31～32年の村における家屋建築万控簿（棟前などのさいの
到来品リスト、献立記、祝儀金リスト）。

杵築／恵比須講文書——寛政9年～昭和33年までの各年の講参加者人数、講のさい
の収支明細、献立などを記してある。

道中献立——6月3～14日の食事献立。

092 亥歳の出雲 布部の巻 昭34

B 5判 横書き 184頁

「亥歳の出雲」松江の巻に記された調査ののちに布部の家島氏を訪ね、聞き書き、および同家に伝わる文書を写した記録。

[目次]

1. 布部 2. 布部／死因表 3. 布部／家島文書1 労務 4. 布部／家島文書2 横帳 5. 布部／家島文書3 御殿様御成記 6. 布部／家島文書4 鍮・鍛冶屋備品目録

[内容]

布部——家島氏一族からの聞き書き：庄屋であり、タタラを営んだ家島家の江戸時代から現在にいたる変遷、間取り図、小鳥、料理、行事食、漬物、炭焼き、神社、中学校、農地解放。

布部／死因表——大正8年～昭和34年にいたる布部の住民の死亡年月日、出生年、男女別、住所、死因をリストにしたもの。

家島文書1／労務——文政年間以降の家島家使用人にたいする給金、給米、貸金証文、改手形、什器代金控など。

家島家文書2／横帳——「文化9年安産祝到来留帳」、「文化9年初織留帳」、「文化9年破魔弓到来帳」、「文化10年証昌御領留帳」、「文政2年初老御祝儀帳」、「天保4年42年賀祝」、「天保9年61賀万調物帖」、「天保6年御礼廻勤帳」、「天保8年安産祝いとうらいものひかへ帳」、「嘉永5年縁談餞別到来物帳」、「嘉永7年誕生至来物控」、「嘉永6年出生祝」、「嘉永7年法事帳」、「明治30年万控帳」。

家島家文書3／御殿様御成記——家島家にはしばしば御成りがあり、そのさいの記録文書から料理献立のみをぬき書きしたもの、安永4年、嘉永4年、嘉永7年、慶応3年。

家島家文書4／タタラ・鍛冶屋備品目録——製鉄・鍛冶に必要な道具や使用人の什器などの品目、価格などを記したもの、天保9年、天保10年、天保13年、天保14年種、卯年、明治8年の8通が筆写されている。

093 葛野・沼貫 昭三四・八月

B 5判 横書き 150頁

昭和34年8月18～24日のあいだ兵庫県氷上郡氷上町を中心とした地域を対象として、大阪学芸大学の家政学科教官、学生による生活調査がおこなわれた。この調査の一環として旧葛野村・沼貫村を調べた記録である。

[目次]

1. 葛野 2. 三原 3. 沼貫一小野 4. 福田 5. 油利 6. 新郷 7. 佐野・稲畑 8. 予備プリント 9. 香奠帳

[内容]

葛野——三田駅の駅弁の内容、遠身寺の僧侶から氷上の歴史を聞く、調査日程プリント、葛野婦人会研修会プログラムプリント（調査期間に開かれ、ここで先生は講演をしている）、中学校についての聞き書き、調査テーマ別人員配置表のプリント、調査日程・炊事と掃除当番人員配置・持参品のプリント、氷上町婦人会の夏期一日講習会案内状。

三原——三原集落内尾神社宮司の梅本馨氏からの聞き書き：黒見銀山・神社の概要、間取り図、明応4年の神社林に関する文書写し、講、年中行事、祭り、結願、肉食の禁と別火別器、年中行事を清書したもの（便箋に清書して合本）。

沼貫・小野——沼貫の戸倉誠司氏からの聞き書き：山の神の祭り、酒造業者、寺院、古文書、民間信仰、神社、柏原川について、一里塚。小野についての聞き書き：生業、手機、行商、戸数。

福田——旧福田村の寛政3年から明治5年にいたる諸文書から、戸数、人口の部分を写したものの。

油利——ここに残されている文書類のリスト。

新郷——伊尾神社、宝永6年灯籠寄進銘文の写し、社寺。

佐野・稲畑——戸数。

予備プリント——調査地の予備知識を得るために学生に配布したと思われるもの、および調査結果を主計した孔版印刷のプリント26頁。氷上郡地区の地質図、家族内での入浴順位集計表、家族内でのラジオ番組選択決定者の集計表、家族形態表、社会階層と家族形態の集計表、経過の内縁期間のグラフ、通婚圏集計表、社会階層と結納額の集計表、社会階層と購読雑誌の種類の集計表、社会階層と購読新聞の種類の集計表、新聞別購読者数集計表、調味料別使用量集計表、台所器具別保有数の表、燃料の種類別集計表、カマドの種類の集計表、煙突の有無の集計表、妊娠・出産・乳児期から現在にいたる健康状態に関する調査表集計、人口構成グラフ、死亡者の年令別分布表、死亡原因集計表、死産数集計表、生下時体重集計表、住居間取り図2。

香奠帳——上新庄の堂本八郎の香奠帳の写し：慶応元年・慶応4年・明治34年・明治42年・大正7年。藤原氏の香奠帳の写し：大正11年・大正12年。保田氏の香奠帳の写し：大正8年・大正9年。買物帳：大正9年11月の荻野氏の法事のさいの買物帳写

し。写真：名刺版の石碑1，キャビネ版の小学校舎1，農家の家屋2，土間とカマド1。レットル：「はりま寿司」箸袋，三田駅の駅弁包装紙，丹波食品の甘酒・清酒「有家」「成章」「港菊」のラベルを貼りつける。

094 淡路島 昭和三四・十月

B5判 横書き 226頁

第14回日本人類学会日本民族学協会連合大会とその付属の淡路島観光の時の聞き書きやレジュメ等の合綴本。

[目次]

1. 学会関係・他国聞き書き 2. 由良・洲本 3. 市 4. 湊 5. 都志 6. 多賀 7. 郡家 8. 献立 その他

[内容]

学会関係・他国聞き書き——学会での配布品，交換した名刺と学会参加者からの聞き書き。
由良・洲本——由良中学小川先生からの聞き書き：由良で店頭風景，洲本の土族屋敷平面図。

市——三原高校吉田先生岡崎先生から風俗聞き書き：浜田湊小学校校長の瓦の話。

湊——二木屋での風俗聞き書き。

都志——酒造家での聞き書き

多賀——一宮中学校での聞き書きと酒造家，笹野蔵にての聞き書き。

郡家——川端常一氏とその家族の杜氏一家での酒造と風俗の聞き書き。

献立・その他——10月12日夕食から14日朝食までの献立，費用，時刻メモ，箸袋等のスクラップと一宮町の案内書，一宮中学校の学校要覧，三原高等学校の学校要覧。

095 四十四曲峠 昭三四・十一～十二月

B5判 横書き 184頁

昭和34年11月～12月に島根県立女子短期大学で食品学の集中講義をおこなった機会を利用して，岡山県と島根県下で調査をした記録。

[目次]

1. 周匝 2. 吉岡 3. 勝山 4. 美甘 5. 新庄 6. 新庄・戸籍 7. 新庄・死因 8. 新庄・大沢氏香奠帳 9. 江尾 10. 溝口 11. 二部・福岡 12. 母里 13. 賀茂・大東 14. 所子 15. 松江 16. 道中

[内容]

周匝——周匝高校の先生からの聞き書き：矢機，土壌，旧家，棚原鉦山，祭り，城跡，

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

士族の家、水運、高校への通学圏、小作争議、雑煮、牛肉、鮓、神社。周匝で酒造業を営む小宮山義和氏からの聞き書き：家業の歴史、杜氏、酒造米、製造石高、酒造用の水、小宮山氏宅間取り図。

吉岡——吉岡で酒造業を営む石戸氏からの聞き書き：家業の歴史、経営規模、酒造米、眼科医。

勝山——勝山中学校長行本氏からの聞き書き：鮓、雑煮、勝山の歴史、畜産研究者。勝山で菓種業を営む三村興治兵衛氏からの聞き書き：家業の歴史、文書、看板、屋号、祭礼のさいの施菓、玉屋目菓、菓草採集、文化13年の「秘方集」処法あり、取引先き、松江の殿様の参勤交代と三村家、津山の士族屋敷。

美甘——美甘の人々からの聞き書き：学校、村の概況、雑煮、鮓、農業、気候、杜氏、鉾山、宗門帳の所在、木地屋、社寺、脇本陣、年中行事と行事食、味噌つき、機織り、紺屋、雑穀。

新庄——新庄の旅館「山田屋」女将の話：家業の歴史、雑煮と正月料理、従業員のしつけ、新庄の概況、テレビの普及、鮓、行商、キノコ類。新庄中学畦高義政先生からの聞き書き：木地屋、大田植、藤布、新庄の概況と歴史、社寺、ハンザキ、本陣、古文書。新庄教育委員会関係者たちからの聞き書き：平均耕地面積、赤米、雑穀、タバコ栽培、果樹、アイの栽培と紺屋、麻と藤布、気候、交通。新庄の村長らとの座談会での聞き書き：赤米、ソバ、雑穀、サツマイモ、わさび栽培、年中行事と食事、木地屋、交通と運搬、社寺、講、酒造業、味噌づくり、吊し柿の甘味料、村の概況、鉄山村のドブ酒づくりの神事、サンショウウオ、菜食い貧乏になる、政党地盤、野生食用動物。

新庄・戸籍——宗門帳および明治時代の戸籍を抄録する。

新庄・死因——明治時代から昭和34年にいたる死亡者の生年、年令、性別、死因を記す。死因、病名はたいていラテン語で記述されている。

新庄・大沢氏香奠帳——明治31年・33年・大正13年の香奠帳の写し。

江尾——江尾の酒造家大岩氏からの聞き書き：家業の歴史、経営規模、伯州の酒屋、地室。

溝口——溝口の紺屋加藤氏からの聞き書き：県下の同業者、アイの入手先き、技術の変化、需要の変化。

二部・福岡——二部の老婆からの聞き書き：藤布づくり。福岡の阿達酒造での聞き書き：家業の歴史、経営規模、杜氏、酒造技術の変遷、販路。

母里——母里中学校長潮氏からの聞き書き：士族屋敷、廃藩帰農のさいの話、士族の

村の気風，狐つき，タタラ。母里の家屋：シトミ戸，家屋間取り図2例。母里の紺屋：紺屋の変遷。母里の居酒屋で会った男の話：正月の幣。母里の寺と馬頭観音：寺名，墓地の馬頭観音卒塔婆銘文の写し2例。

賀茂・大東——賀茂駅長にサバの串焼きの行商について聞く，中学校で同和教育と鮓について聞く。大東の松本酒店での聞き書き：家業の歴史，杜氏，この地域の酒造業者の変遷，経営の話，田舎酒の運命。大東の食料品店で売っている商品のリスト：魚屋で売っている魚の種類，雑肉の部位別値段，野菜，乾物等の食料品のリスト。

所子——所子の概況を車中で会った老婆に聞く：農業，家畜，養蚕，雑煮，五月節句の餅，茶。

松江——島根県立女子短期大学の家政学関係の時間割の表に赤エンピツで斜線を引いたものが綴じてある。斜線部分が篠田講師の食品学の集中講座の時間割であるらしい。

道中献立——11月21日勇者区から12月3日昼に津山で求めた駅弁までの献立内容を記す。

道中費用——この旅行で出費したすべての費用の明細が記されている。道中で集めたレッテルなどを貼りつける：山田旅館（新庄），しげや（旅館），むらくも荘（公立学校共済組合松江宿泊所），山小屋（バー・松江市）のマッチ，むらくも荘の領収証，国鉄荷物指定切符，はしもとや（吉井町周匝の旅館）・しげや旅館・山田旅館・やくも（松江のうなぎ料理店）・むらくも荘・古浦屋（松江市・出雲そば）の箸袋，津山の駅弁包装紙，「諸白」・「御前酒」のラベル，7氏の名刺，島根県立博物館館の「現代美術名作展」の入場券を貼りつけてある。

096 京 大阪喰い倒れ—附犬其野，布施，河原城— 昭三四

B5判 横書き 120頁

昭和34～36年のあいだの記録。京，大阪の食べ物について，料理人その他からの聞き書き，放送，シンポジウムで京，大阪の町家のほか丹波，布施，河内での日常の食習慣や，献立なども記されている。

[目次]

1. 京料理／祇園祭 2. 京料理／白波瀬君 3. 京料理／秦さん 4. 奇応丸／秦 5. 丹波／犬其野 6. 喰倒れ／小倉氏 7. 喰倒れ／久保氏 8. 大阪の喰倒れ／松屋町筋献立・蛸竹しらべ 9. 摂津・布施 10. 南河内・河原城

[内容]

祇園祭の料理——昭和34年7月16日に祇園祭に関連した，放送に出演したさいのメ

もらしい。祇園中村楼で会合したもののようで、井口海仙、上村松篁、田中弥兵衛、辻重光、辻重彦、辻八重の諸氏の名が記されている。祇園祭のクジ改め、ハモ料理、稚児餅。

京料理／白波瀬君——白波瀬氏から使用人の多い京の商家でのかつての食生活を聞き書きしたもの。

京料理／秦さん——「奇応丸」が実家であった鈴木夫人から、かつての商家における食生活、年中行事とその食べ物について聞き書きしたもの。

奇応丸／秦——「奇応丸」の秦さんからの聞き書き：粥と家伝の漬物、年中行事とその食べ物、嫁いり、お産。

丹波／犬其野——亀岡市犬其野の歴史について和崎真一氏から聞いたノート。

喰倒れ／小倉氏——内容なし。

シンポジウム「大阪」打合せ——昭和34年10月に大阪大学において日本人類学会・民族学協会連合大会が開催され、そのプログラムの一環として10月9日には「大阪」という論題のシンポジウムがおこなわれ、先生は「大阪の生活」という題の研究発表をされている。同年6月26日に大阪大学医学部でこのシンポジウムの打合せ会が開かれたさいのメモである。宮本常一、宮本又次、榎垣実、蔵内数太、小浜基次、喜多野清一の諸氏の発言が記されており、主として大阪文化の地域特性について論じられている。

喰倒れ／久保氏——「美登利」本店で久保登一・久保やえ・西村清子の諸氏から、大阪の商家での日常の食生活と年中行事の食べ物についての聞き書きをしたもの。

大阪の喰倒れ／松屋町筋献立 蛸竹しらべ——大阪の松屋町筋の玩具屋、紙屋、菓子屋などの商店における5月から7月のあいだにおける（調査年不明）日常の食事の献立を記したもの。おそらく「蛸竹」に依頼して、データを収集したものと思われる。24件の献立が記録されているが、そのうち6日分の三食献立を記したものが2例、7日分が15例、9日分が2例、11日分が11例、毎日の献立を具体的に記したものではなく、三食の各々についての一般的な献立を記したものが3例ある。

布施・河原城——東大阪市に合併される以前の布施市水道局の好川建治郎氏から、同市の水道事情について聞いた記録。羽曳野市の河原城の大谷氏から南河内の民俗について聞く：木綿栽培と加工、農業、味噌、豆、朝粥、大晦日の善哉と雑煮、行事食、講、結婚。

昭和35年4月27日から5月10日まで新潟、長野県を旅行したときの記録。各地での聞き書き、見聞の内容のほかに、献立、会計なども記されている。

[目次]

1. 旅程表 2. 糸魚川 3. 高田 4. 潟町 5. 柏崎 6. 出雲崎 7. 新潟 8. 青柳／座談会 9. 内野・五十嵐 10. 味方・白根・燕・三条 11. 葛塚 12. 新発田 13. 津川 14. 村松・五泉 15. 中条・下関 16. 片貝・沼 17. 村上・岩船 18. 浦瀬・長岡 19. 小千谷・塩沢 20. 十日町・外丸・大割野 21. 飯山 22. 松代 23. 戸隠 24. 柏原 25. 道中献立 26. 市場・青物・魚介類 27. 道中会計

[内容]

旅程表——天気、乗物の発着時間、立ち寄った場所、宿泊旅館などを記す。4月27日大阪～糸魚川、28日糸魚川～柏崎、29日柏崎～新潟、30日新潟～内野～新潟、5月1日新潟～三条～新潟、2日新潟～新発田～新潟、3日新潟～村松～新潟、4日新潟～鷹ノ巣、5日鷹ノ巣～新潟、6日新潟、7日新潟～塩沢、8日塩沢～飯山、9日飯山～戸隠、10日戸隠～京都。

糸魚川——糸魚川高校斎藤教頭からの聞き書き：旧士族、三面川の鮭、雑煮、鮓、陣屋跡、士族町、江田屋敷、朝粥、漬菜、粕汁、バタバタ茶。平安堂（旅館）主人からの聞き書き：話者の紹介、バタバタ茶。小林氏（酒造業）からの聞き書き：慶安3年創業加賀之井、杜氏（三島郡から）。

高田——西城高校にて：食物指定校、足軽長屋、間取り図と説明。

潟町——大潟町中学校にて：天然ガス、新堀川の干拓、酒造業。藤縄（酒屋）若主人からの聞き書き：規模はほぼ300石、酒男、杜氏（大口村）、序列、蔵、釜屋。

柏崎——黒船館吉田正太郎氏からの聞き書き：黒船ものの収集、縮の行商、縮の品質、宝栄講（縮屋の同業組合）、古着の商い、土蔵、人力車、新聞、回漕業、鮓、御用、縁組。山田良平氏からの聞き書き：越後南部の旧家、小豆、正月の寺参り、法事の食物（蓮根の餡煮、お祝にも）、湿田、年中行事と食物、三島神社、諏訪神社、八坂神社、秋葉さん、三崎神社、市、通婚圏、足入婚。柏崎で耳にしたかわった言葉（2例）。

出雲崎——出雲崎駅売店の女性から吉田についての聞き書き：正月の雑煮、五月節句のちまきと笹だんご、毒消し売り、漬物。車中で中頸城清里村の中村夫妻からの聞き書き：酒、水、蔵人（中頸城から）、主人賄、山菜、酒造米。

新潟——酒造組合にて松本春雄氏からの聞き書き：越後の酒は北海道に送られた。醸造試験場の星野太郎氏からの聞き書き：杜氏（中頸城・刈羽・三島）、序列、蔵人、水、教育施設、道具、8水、山麩、県下で評判の良い酒、仕込の規模の大きい所。須藤賢

郎氏からの聞き書き：朝市，明治の建物，地盤沈下，マメノキ（餅菓子），ワッパ飯，鯛漁場，岩船の海女，中門造り，雲囲い，干拓，都城，雑誌「うまいもの」，クロクワイ，大福餅，コーレンボ（船），下関の渡辺邸，味方の笹川邸。税関にて五十嵐老からの聞き書き：税関の建物，「うまいもの」36号（1959年4月刊）pp 13～14，水沢謙一「食をめぐる越後の諺」抜き書き。山口賢俊氏からの聞き書き：収集農具についての説明。

青柳／座談会——民俗座談会，越佐民俗学会のメンバーによる，機，回漕業，鮓，行事食，弁当，漁業。

内野・五十嵐——内野中学五十嵐教頭からの聞き書き：生徒の家庭環境，行事食，海藻，天神講，朝雑炊，婚姻，行商，新発田のこと（食生活）。古侯文吉氏からの聞き書き：南瓜などの栽培作物，漁業（建網，大羽鱈・鯛）。某老からの聞き書き：栽培作物，道路。さる主婦からの聞き書き：住居。内野・五十嵐についてのコメント。

味方・白根・燕・三条——車中での話。味方 笹川邸案内の女中（三島郡塚山在）からの聞き書き：鮓雑煮，部屋の名称。三条小学校校長からの聞き書き：生徒父兄の職業，朝雑炊，寺。

葛塚——葛塚中学校校長からの聞き書き：織物，正月餅雑炊，婚姻。酒屋一八田：杜氏。小黒岩人：蔵人，仕込，序列。五十嵐紺屋：家業の規模。

新発田——鶯塚邸間取り図，足軽長屋間取り図。

津川——高校にて：旧本街道，旧会津代官所，節句用笹ダンゴ，鮓漬，鮓雑煮。

村松・五泉——村松の土族屋敷間取り図，志村邸間取り図，道中の見聞（早通所見図解付きなど）。

中条・下関——車中にて新発田から乗ったかつぎやの女性達からの聞き書き：海女，雑煮などの行事食，鮓，みそ汁。樋口中学校長の話。渡辺万寿太郎氏からの聞き書き：住居，水車，文書，画師豊州，正月，鮓，奥女中，下人，回漕業，酒造，大蔵神社とその祭礼。

片貝・沼——片貝～下関の車中での聞き書き：鮓，豆。菅原すみ子氏からの聞き書き：運搬具，作業着。片貝駅前売店での聞き書き：庚申堂。伊藤寅三氏からの聞き書き：運搬具，作業着，イロリ，山菜，鮓。沼小学校吉岡校長夫妻からの聞き書き：鮓漬，維新期のこと，三面のこと。

村上・岩船——肴町，あらもの屋の商品，若林家間取り図。岩船：家伝蒸饅頭。

浦瀬・長岡——長岡の町のコメント，博物館，青柴神社，積雪科学館。

小千谷・塩沢——小千谷東中学校にて：小千谷の概況。塩沢中学校にて：漬物，粽，

だんご，鈴木牧之の家。

十日町・外丸・大割野——車中の話，車窓からの風景。十日町高校下山次郎氏の話。
大割野津南小学校にて：鮎漬，秋山郷。

飯山——「三ツ和」女将の話。白銀（酒屋）：杜氏。

松代——松代高校にて：野沢菜。海津楼（酒屋）：蔵人。

戸隠——「今井」マダムからの聞き書き：名物，生業，大祭，蜂蜜。小学校にて。

柏原——中学校教頭の話。

道中献立——旅行中の食事の献立を弁当も含めて44食分を記す。

市場・青物・魚介類——高田，柏崎，燕，葛塚，村松，小千谷，十日町，大割野，
新発田，中条でみた生鮮食料品の種類を記す。

道中会計——旅行にかかった諸経費の明細。

098 鯉節行（7月）について北海道

13×7.2 cm 横書き 104頁

「1931年祝小松教授在職二十年」の手帳を転用。昭和36年6月30日から7月9日までの旅行，研究会の記録。7月7日から北海道に入っている。

[内容]

旅行日記，交見演説。

099 江州酒屋聞き 附堅田・鶴喜

B5判 横書き 152頁

滋賀県の酒造業者から酒造関係の聞き書きをしたもので「鶴喜」そばで聞いた話も収録されている。堅田，坂本「鶴喜」での調査が昭和36年におこなわれたことがわかるほかは，調査時期は不明。

[目次]

1. 栗太郡・野州郡酒屋名簿・附甲賀・高嶋 2. 川田・中北 3. 永原・祇王寺 4. 永原・白井 5. 永原・福谷 6. 兵主・酒屋 7. 小篠原・鷺田 8. 大曲・山本・野州酒造家の現状 9. アヒル・孫兵衛 10. 小堤・小三郎 11. 杉江・伊蔵 12. 辻町・六右衛門 13. 北村・奥村・ホカ 14. 木辺・八夫 15. 比江・小比江 16. 竹生・市三宅 17. 小南・仁保，江頭・井狩・ホカ 18. 小田・野田 19. 野村・須原 20. 江州堅田（昭和36年6月1日） 21. 坂本・鶴喜（昭和36年8月）

[内容]

酒屋名簿——栗太郡・野州郡・甲賀郡・高嶋郡の江戸時代における酒つくりの株仲

間の人名209を筆写する。

川田「中北」——江州各地の酒造業者について聞く。

永原／祇王寺——永原の祇王寺中村□尼生家での酒つくりについて聞書き。

永原／白井氏——両墓制，宗教と寺院，貧亡徳利，間取り図，白井家の歴史と酒造，年中行事の食事，庄屋。

永原／福谷氏——江州各地の酒造業者，文書目録（12点），屋敷神，福谷家の歴史，杜氏，間取り図，酒用の瓶。

兵主・酒屋——この地方で売れる酒の銘柄について記す。

小篠原／鷺田氏——庄屋，慶長検地帳，家業としての酒つくり，昔の経営規模，米踏みの食事。

大曲山本庄作氏からの書簡——江戸時代の酒つくり株リストから，場所，名前，現在の氏名，現在の職業，酒屋をやめた年代，その他の欄をつくりもうけたアンケートをつくり，送付したものに山本氏が記入して返送したものを綴じる。

アヒル・孫兵衛——阿比留の富田孫一郎氏からの聞書き：酒つくりをやめた理由，水車，酒造道具，井戸，酒蔵。

小堤——小堤の堤卯三郎氏からの聞書き：家業の歴史，杜氏，蔵人。

杉江——玉津町杉江の中西伊蔵氏からの聞書き：家業の歴史，経営規模，技術の変遷，蔵人，酒造用の水，酒造米，他の酒造業者，村の歴史。

辻町——六右衛門で昔酒つくりをしたという話を聞く。

北村——奥村卯三郎氏ほか1名からの聞書き：杜氏，務めた蔵の経営規模，村の酒屋に関する馬喰唄。

木辺——百姓夫婦と八夫の大工から村の酒屋の消息について聞く。

八夫——かつて造酒屋をしていた苗村氏から家業の歴史について聞く。

比江——廃業した造酒業者についての聞書き。

竹生——岡野氏の祖母から，明治時代に造り酒屋をしていた頃の話を書く。

市三宅——土肥氏に同家で昔酒造をしていた頃のことをたずねる。

小南——昔の酒造業者について聞く。

仁保——川端氏から，かつての酒つくりの聞書きをする。

江頭——江頭の「朝日」，伊藤太一氏から，酒造について聞く。「寿酢」川村氏聞書き：合成酢と醸造酢，酒酢の仕入れ先き，腐敗酒の酢。江頭のかつての酒造業者についてたずねる。井狩氏からかつての酒造りとそれに関する文書について聞く。

小田・野田——かつての酒造業者についてたずねる。

野村・須原——かつての酒造業者についてたずねる。

堅田——中島七郎兵衛氏聞き：フナ鮓のつくりかた・粕漬けのフナ鮓，エビ・サバ・モロコ・ハス・ワタカの鮓，祭りとフナ鮓，フナ鮓の食べかた。「いせ屋」仲居の話：鴨猟，鴨料理，カイツブリの黒焼き。

坂本——「鶴喜」でのそばに関する聞き：原料入手，つなぎ，手打ち，家の歴史，粉挽き，そば饅頭，そば切り包丁，だし，土産物としてのそば，本店と支店，山かけ月見そば。

100 氷室村—学生実習— 昭三七

B5判 横書き 148頁

内扉には『昭37 氷室村 見聞記』と記されている。この年，7月に枚方市の旧氷室村で学生実習の調査をしたさいの記録と思われるものが主で，ほかに同年の3月に同村の穂谷と尊延寺でおこなった聞きを収録してある。

[目次]

1. 穂谷・尊延寺 2. 酒屋聞き 3. 尊延寺雑聞 4. 横尾先生談 5. 山下先生談 6. 坂本さん談 7. 天王 8. 献立 9. 植物記 10. 採集品

[内容]

穂谷・尊延寺——通行中の老人からの聞き：ソウメンづくり，山仕事，石工。重村正篤氏からの聞き：集落の概観，寺社。

酒屋雑聞——「富士霞」の重村氏から酒造法について聞く。尊延寺の通りかかりの青年：野鍛冶のカラスキづくりなどについて聞く。「谷川」の田中家で酒造について聞く。山田五郎氏宅蔵の嘉永2年と明治2年の譲渡証文の写し。(以上が3月の調査で，以下は7月の調査記録)。

尊延寺雑聞——島村鉦業所，村での食費，稲作と村民の家計，村の境界，祭，雑煮，縁組，出産，牧場，野鍛冶の話，住宅間取り図。

横尾先生談——学区の戸数と職業，生徒数，児童の体格と栄養，横尾先生の家族構成と農業，テレビ，洗濯機の普及率，果樹，野菜栽培，山林，村の職業，青年団，家号，村の株，結婚式習俗とその食事，葬式，出産，仲人の謝礼。

山下先生談——明治31年に生れ，天王寺師範学校を卒業した山下氏からの聞き：村民の生活と家計，野鳥，雑煮，山仕事の食事，味噌づくり，漬物，正月7日の食事，正月15日の餅あぶり(トンド)，骨正月，伊勢講，愛宕講，太子講，観音講，節句，彼岸，田植休み，盆。

坂本さん談——料理仕出しに従事していると思われる坂本氏からの聞き：料理修

行、献立（どの行事のものであるかは不明）、50年前の祝膳献立、30年前の祝膳献立、葬式の食事、サバズシ、巻すし、柏餅など、コンニャクづくり、クワイ、ハス、竹、職業、家の歴史、鴨の羽盛り、ヒレ鯛の汁。

天王——旧普賢寺村天王での聞き書き：農業、山林、年中行事、家の歴史、茶の栽培。

献立——調査期間の7月21日夕食から7月25日朝食までの献立を記す。

植物記——作物、果樹、工芸樹木、庭木類、草花類、野生樹木、野草類の7種類に分類し138種の植物を学名で記す。

調査表——調査地、男女の服装、作物、木、花、家畜、家屋型式などの記入欄のある調査用紙に記入したもの4枚。

採集品——宿舎と思われる「阪本」の箸袋、「富士霞」、「谷川」、「菊養老」（いずれも調査地付近の地酒）のラベル、道頓堀津ノ清の「粟おこし」ラベル、東京日々新報の木版風俗画3枚、木版美人画断片5枚、明治23年刊の木版本の台所用品の図の部分、印章のラベルを貼りつける。

写真——氷室小学校、尊延寺の社寺、庄屋屋敷跡、牧場、各種職業の家がまえ、ソウメン干し、水車小屋、民家、調査風景、学童の遠足出発風景などカラー1枚、白黒34枚の手札版を貼りつける。

子どもの進路のきめ方——同名のタイトルの枚方市教育研究会進路指導部が昭和37年2月に刊行した12頁のパンフレットを貼りつける。

101 竹翁聞き書き

B5判 横書き 98枚 未製本

後に製本するために整理されたフィールド・ノートと思われ、本のケースに入れられている。目次はないが、内容で分類されている。内容は竹崎嘉徳老人（元京都大学教授、島根県立農業大学長、島根女子短大学長を歴任）からの聞き書きであり、昭和37年から昭和42年までの話が記されている。雑談めいたことが多い。

[目次] なし

[内容]

昭和37年——竹崎老人聞き書き（昭和37年11月9日）：卵（受精卵、無精卵、胚他）、イモ（ダリヤ、自然薯、ムカゴ他）、水利、茶、サザンカ等について。昭和37年11月20日：神饌の米の鑑定、八重垣の山神のリングの写真。昭和38年11月7日：島根農大、短大十周年記念式参列の感想。早川喜四郎老の話等。

附録竹崎嘉徳老人 高原話——姓、鉄穴、隆起地形、葵、馬宿、ダンゴ、藤衣、物資。昭和39年3月14日夜：石見・安芸の国境についての問題、イランの米作、Mother

Language, 牛馬の冬越しの話, 陶器と窯跡等について。3月26日: 牛(神石牛), 藤布(ウムとツムグ), 国産紅茶等について。昭和39年6月12日: 石油のバクテリア, 遺伝, 『出雲と石見』という本について。竹崎姓について, 家系について他。

竹崎老人聞書(昭和38年)——竹崎老(昭和38年8月14日): 山林等の開拓の問題, 水質の問題。(昭和38年8月26日) 竹老: 県庁の政策の問題点, 白子の問題等について。竹崎宅にて: 中途より浜田稔同席。昭和40年2月14日。地質, 鳥の習性, 日本の茶等について。(昭和42年2月18日) 種子の発芽に関する問題, ムカゴ等について。(昭和45年11月20日): Family doctor, 藪北茶, 山刀等について。(昭和39年8月7日) 発芽機構, 竹, 民俗学の問題等について。(昭和39年9月18日) 北九州の博物館, 九州の茶, おいたち等について。(昭和39年11月23日) ハゼシタ茶, 米以外の穀物種(ヒエ, アワ等)等について。(昭和37年12月25日) 五島さんのこと, 花色の着色, 変化, 果樹, カルカン, 日本の政策に対する批判等。

102 伊奈の春

B5判 横書き 146頁

昭和38年3月25日～29日まで信州伊奈地方へ調査に出かけた際の記録。

[目次] なし

[内容]

東京酒造史懇談会, 韭崎附中談, 諏訪/諏訪杜氏縁起, 伊奈/高遠, 道中献立附費用資料, 酒屋萬流, 新聞記事, 水引の話。

103 佐目 附坂田の漢医 昭三八

B5判 横書き 126頁

昭和38年7月26～30日のあいだ滋賀県犬上郡多賀町佐目を中心にこの地方の生活の実態および民俗調査をおこなったさいの記録が中心で, その調査の前後の期間に彦根市の酢醸造業者と坂田郡の漢方医たちからの聞き書きをしたもの。

[目次]

1. 佐目 2. 座談会—佐目にて 3. 大君ヶ畑 4. 後谷 5. こぼれ話 6. 日程・献立・その他 7. 附彦根・酢屋 8. 附漢医探訪—百々・常寿・有川

[内容]

佐目——川本弥三郎氏聞き書き: 木炭, 養蚕, 農業, 酒造業, 集落, ゴボウ, 茶畑, 醤油屋, 味噌づくり, 炭焼き, 山仕事, 地主, 神社, 講, 縁組, 老人。遠久寺聞き書き: 寺の歴史, 庄屋株, 頭分, 生業, 寺の文化事業。老婆聞き書き: ライフヒストリー,

篠田統資料目録 I (フィールド・ノート)

封筒はりの内職。関河酒店聞書き：酒銘，杜氏，家業の歴史。八百屋聞書き：商品と産地，仕入れ。百々氏聞書き：家族の経歴。百々氏蔵書：和刻本の医書を中心に38種の漢籍の書名を記してある。

佐目・座談会——佐目小学校に明治20年代に生まれた3名の老人に集まってもらい聞書き：婚礼，仲人，結婚域，婚期，足入れ，出生，里帰り，神主役，イロリの座順，主食の消費量，馴鮓，行事食，若者宿，雑貨店，組と入会地，家屋，講，報恩講の献立，南京豆，薬草，盆踊り，雨乞い，水争い，ワラビ，手機，紺屋，産後の食事，出産部屋，間取り，相続，葬式，地名説話，鍛冶屋，山仕事の服装。遠久寺での聞書き：集落の概況，農業暦，冬の仕事，祭りの団子，青年団，教員，暖房。

大君ヶ畑——菊川治雄氏聞書き：ライフヒストリー，農業，林業，藤細工，はきもの，年中行事と行事食，植物リスト，神社，姓，地藏盆，柿，自然薯，ワサビ，ツクネイモ，朴の木，乾燥野菜，炭焼き，田畑，茶，作物，馬子，野獣，講，チマキ，フナズシ。

後谷——作物，買物，祭り，野獣，農業，集落の概観，屋根ふき，出かせぎ，炭焼き，ウド，神社，寺。霜ヶ原聞書き：集落の概観，神社，祭り，野獣，作物，茶，雑煮，味噌づくり，年中行事，行商，縁組，間取り図，若い衆宿，集落，タバコ入れ，火打石。小原 久保点一氏から醤油づくりに関する聞書き：材料費，樽，酢屋，酒屋，集落の概況。

こぼれ話——セメント工場の日給，伐採関係の日給，白子。佐目谷植物相：83種類の有用植物名を記す。大君ヶ畑，佐目の「実態調査資料」(孔版印刷)：職業別所得，生活保護世帯，テレビ台数，人口，世帯数，土地利用などを記した統計資料で，この調査のために作成したものと思われる。

献立——7月26～30日の調査期間の献立で，1日170円の予算のもの。スクラップ：「多賀」，「八景菊」，「猩々菊」，「出世誉」，「薄桜」，「龍王」(以上清酒)のラベル，彦根駅前食堂「新海」の紙ナプキン，ノートを引きちぎりインクを滴してつくった即席のロールシャッハテストを子供に試みたものの記録2枚，腹薬「赤玉神教丸」の包装をはりつける。

彦根・酢屋——丸美屋酢店聞書き：店の歴史，酢のにおい，天然酢と醋酸酢，消費者の嗜好の変化，酢の原料として腐った酒を買う，各種の酢。

漢医探訪——山東町の漢方医・百々保氏聞書き：医家としての歴史。坂田郡常谷の医師・常喜郁郎氏聞書き：漢方医として続いた家の歴史。鳥居本・赤玉神教丸の有川市郎兵衛氏聞書き：江州の家庭薬の3系統，神教丸の歴史，宮家御用達のこと。

104 石見路 川本・矢上・波佐・出羽

B5判 横書き 128頁

昭和30年に志学・川本・矢上・波佐へ昭和37年と38年に出羽へ行った時の各種の聞き書きや切符・弁当の包紙等一切の記録ノート。

[目次]

1. 志学・川本・矢上・大田・浜田 2. 波佐 3. 出羽／武田・松川 4. 出羽／片岡・木村 5. 出羽／衛生統計 6. 出羽／戸籍 7. 出羽／松江よりの道中献立 8. 出羽／採集品 9. 出羽／波田野

[内容]

志学・川本・矢上——志学にて：小祠，一畑薬師。川本高校にて：年中行事と料理，大田植，すし。矢上 福沢屋にて：年中行事と料理，鮓，麻ノ実，そば，コンニャク，果物，芋，ワラビ，シイタケ，養蚕，麻，紺屋，藤布，縁組，講，一畑，旧家。石見太田談：正月5日，カリヤ。浜田長浜寮生長瀬談：雑煮。

波佐——港屋にて：雑煮，正月，年中行事，行事食，鮓，縁組。

武田・松川（昭和37年）——高善寺 松川さんからの聞き書き：アクヒ，クサギナ，ヤマゴボウ，カハラニンジン，ワラビ，ウド，フキ，タタラ，鉦山熱。松川さん：産婦，棟上，酒屋，正月，八幡神社，高原神社，行事食，出産，青年団，結婚，還暦，葬送，同族集団，畑作物，商品流通。武田さん：人口について，牛市，牛，出羽のマンサク買い，ダンゴ，オマン。

片岡・木村（昭和37年）——片岡さん談：サバズシ，カクスシ，マクスシ，キツネスシ，オマン，バラズシ，養蚕，泥おとし，雑煮，嫁入り，産婦，市宿，生ズシ，出羽市，ダンゴ。木村さん談：志津の露（酒の銘柄），杜氏，養父，酢屋，醸造道具。

衛生統計（昭和37年）——邑智郡瑞穂町の衛生統計資料，転業，未熟児，瑞穂町史，気象，近年の自殺。

戸籍——浜田県管轄第一大区第五拾五小区戸籍 石見国邑智郡出羽村・三日市・原村・和田村・高里村。

松江・出羽／道中献立（昭和37年）——6月3日の夕食から11日の朝食までの献立が書きだしてある。

採集雑品——旅行中に集めた切符・弁当及び箸の袋・パンフレット・菓子の包紙・酒のラベル等が貼付してある。

出羽（昭和38年8月）——波田野規子君からの聞き書き：作物，食事，タンパク源，若い者。

105 浜名紀行 横須賀から横須賀まで 昭和39年1月

B5判 横書き 214頁（そのほかに図表3枚をとじている）

昭和39年1月の愛知県横須賀から静岡県横須賀に至る沿岸における調査旅行の記録で主に漁業中心。内扉に同題あり。

[目次]

1. 旅程 2. 知多 3. 刈谷 4. 三ケ日・気賀 5. 掛塚・横須賀 6. 浜松・舞阪 7. 献立・会計・名刺 8. 植物相・服装 9. 資料・新聞・附い・行動図・附ろ・写真

[内容]

旅程——1月7日に京都を出発し同月10日に帰着する間の旅程。（列車の時刻，見学先，宿泊先）旅程の前頁に行動図あり。

知多——海苔問屋小浅商事における白羽茂専務からの聞き書き（横須賀）：海苔の養殖の現状，家業。野間漁協長山本源三氏からの聞き書き：海苔の養殖。豊浜の東西屋における斎藤駒雄氏からの聞き書き：漁業（ナマコ，若布，イワシ，タイ，アサクサノリ），盆，食物（くろまめ・雑煮）ビール，酒造，酢，家業（山長）。

刈谷——村上文庫蔵本の目録，刈谷市立図書館長竹中義三氏からの聞き書き：刈谷における旧家の現状。稲垣健太郎司書からの聞き書き：熊野信仰と当地の紀州風。

三ケ日・気賀——三ケ日小学校における女性事務員からの聞き書き：雑煮。給食担当の女性：ウナギ。佐久島生まれの男性教師：魚介，愛知用水。萬屋における宿の手伝い（三ケ日住人）からの聞き書き：年中行事とその食物（雑煮・七草・黒豆・15日・11日・2月旧正月・3月節句・彼岸・三ケ日祭・5月節句・盆・10月在の祭り・亥の子・12月餅つき・年越しソバ・ウナギ・貝・節分・戒講・みそ汁・月見・すし），野菜，衣料。気賀小学校長坪井貞治氏からの聞き書き：近藤縫殿助旧邸等当町に残っている現状，蘭栽培，本人の出身地二俣の製材業，近藤の子孫。

掛塚・横須賀——竜洋町長池田正太郎，同町教育長川島多喜郎，自転車屋からの聞き書き：回船問屋・交通・神社・寺・漁港・色町・鉄橋・河口砂利・天竜川岸における材木運送・川の交通・年中行事と食物，節句，船のりぞめ，伊勢講，庚申講，地藏講，ダンゴ，自転車，おやつ，食生活，農業経営，柑子，町長の家系，掛塚の港。横須賀三社会館における館主松浦勝治郎氏からの聞き書き：戦後の文書調査，旧士の現在，城下，熊野神社，鮓，漁業，遠州における寛永頃の石高，『郷土会誌』Ⅱ（-7）22写し（寺の収支表で明治18～21年のもの）笠岡郷土会編『郷土』巻1第四号（昭和22，11）の写し，（郷土の年中行事，1月初詣から12月冬至まで）

浜松・舞阪——浜松市連尺の宝林書房における店主近藤氏からの聞き書き（前出の気

賀の坪井氏からの情報で訪問)：近藤氏の歴史，子孫の現状，近藤氏の功績。浜名湖養魚組合における聞き書き：ウナギの養殖。浜名湖食品株式会社における取締役杉浦昇氏からの聞き書き：ウナギ加工，カキの加工，ミカン加工。

献立・会計・名刺——1月7日の東西屋の夕食から1月10日の名古屋での夕食までの旅館の食事の献立と駅弁の内容。同期間の会計，名刺13枚貼付，氏名のメモ4名分。

植物相附服装——1月7日の東海道線篠原から安土トンネル間にはじまる同月10日までの車窓から見た植物相・服装の調査表24枚。

資料——静岡鉄道バス時刻表，昭和38年海苔年度乾海苔入札篤割表(小浅商事)，昭和37年度乾海苔受託品取扱表，海苔共販成績表，表題不明(価格表か?) (以上3点は愛知県漁連のもの)，小浅商店の乾海苔の包紙，駅弁包紙，箸袋(大津駅荻乃家)，観光豊浜のしをり，このわた(神忠商店)商標，もなか包紙(豊浜吉川屋)，東西屋お手拭き包み，東西屋領収書及箸袋，刈谷市立図書館パンフレット「村上文庫について村上忠順翁略歴」，駅弁包紙(岡崎駅鍵屋)及箸袋，万屋地図，領収書，佐野屋箸袋，駅弁包紙(浜松駅自笑亭)及び箸袋等，浜名湖養魚漁業協同組合パンフレット「浜名湖うなぎ」，くだもの皮入袋(鉄道弘済会)，大須いろいろ包装紙及び由来書，箸袋(松月寿司店)，マッチ箱(万屋，佐野屋)，新聞の新聞名切り抜き(中部日本新聞，名古屋タイムズ昭和38年1月10日付)，新聞切り抜き(ガラナ飲料，東海産業欄，著者と著者欄)。

写真——目次，白黒六ツ切32枚，白黒八ツ切2枚貼付。

106 比婆・神石・名残りの松江 昭和39・2月

B5判 横書き 338頁

島根女子短期大学での「食用動植物」の集中講義2月10日～15日とその前後の旅行中2月7日～19日の種々の記録を綴ったもの。

[目次]

1. 鳥取 2. 松江 3. 新見 4. 東条 5. 庄原 6. 高野山 7. 比和・森脇 8. 油木 9. 府中 10. 道中献立・会計 11. 車中所見 12. 新聞キリヌキ 13. 名刺・写真 14. 資料 15. 地図・バス時間

[内容]

鳥取——蓮仏重寿郎氏からの聞き書き：川の交通，工芸，産小屋。尾崎三智子氏からの聞き書き：縫い針。

松江——短大山田清野先生に縫い針の話。白瀉島根醤油組合今津惣兵エ氏からの聞き書き：醤油業の生産規模と醤油の成分。堅町小西房吉氏からの聞き書き(錦みそ)：家業

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

の規模、味噌の味の変遷。洞光寺（禅寺）にて通りすがりのおばさんからの聞き：大豆の数珠「念仏供養」について。松江／堅町と殿町の八百屋、花屋、魚屋の店頭に並ぶ商品を書きだしてある。

新見——岸本老人からの聞き：風俗、年中行事と行事食。

東条——東条中学校の先生呉出身の女性と双三部の男性からの聞き：年中行事と行事食、縫い針。武田酒店（浮心）：地元の酒の石高，杜氏。

庄原——庄原中学校佐々木先生からの聞き：5月節句の柏餅・ちまき，ワチゴ。

庄原ホテル主人福島氏からの聞き：帝国製鉄，タタラ。バス内で高話する2人：出稼ぎの日当。

高野山——山崎若マダム：家業，木材チップ，スキー。山崎老女将：正月の雑煮と料理，去年の雪，行事と料理，縫い物，寺，旧盆，亥之子，大豆，みそ，米，キノコ，タタラ，高校，医者，作物。山崎屋 追補：リンゴ，餅，牛乳。上高中学校長横川涉氏からの聞き：生徒数，進学率，雪，特産物，蠟石，タタラ。庄原バス道中：家の壁，土蔵の壁，南無法蓮華経の塚。

比和・森脇——谷口重清老からの聞き：牛の市，タタラ，ちまきと柏餅，信仰，雑煮，南無法蓮華経の塚。谷口さんからの聞き：寺，置き薬。毛利元旦氏からの聞き：タタラ，種牛。比和にて：看板，魚屋・八百屋の店先の商品を書きだしてある。

油木——油木中学校井上校長からの聞き：特産物，コンニャク，生徒数，コンニャクの生産高。永井信次郎老からの聞き：牛，牛市，神石牛，種牛，コンニャク。妻君からの聞き：縫い針，旧5月マキ，年中行事。帝釈～東条間バスでの話：材木について。

府中——橋本旅館 女中の問わず語りの大演説：本人のおいたち，瀬戸田の作物。番頭君談：温泉。府中二中 校長談：家庭科の設備，図面を書いてある。松岡ミソ店 横川常務 藤本氏談：生産高，原料，信州ミソとの比較，醤油，製法，樽，もやし，ミソを用いた料理。府中市内雑見：農具店，こんにゃく，青物店，瓦貼の土蔵。

道中献立・会計——2月7日昼から19日昼までの食事献立とその間の支出金の表。

車中所見——車窓日記と同様の用紙で2月7日から19日までの移動中の車窓からチェックしたもの。

新聞きりぬき——島根新聞，中国新聞，山陽新聞など旅行中の新聞からの切り抜き。

名刺・写真——旅行中に受けとった名刺と旅行中撮影の人物や風景の写真を貼付したもの。

資料——切符，勘定書，箸袋の類をスクラップしてある。

地図・バス時間——旅行した地域の略図とバスの時刻表を写してある。

107 河澄家系図

B 5 判 横書き 14頁

1964年4月19日の市原での調査の際に記録したもの。

[内容]

市原——中西家による聞き書き。明治36年～39年頃の市原の祭礼と食物に関するもの。
34×39.5 cm の河澄家系図が同封されている。

108 原

B 5 判 横書き 160枚 未製本

昭和39年5月15日から7月にかけて、高槻の原を中心に調査したもの。袋に入れられている。

[目次] なし

[内容]

原——婦人会副会長、酒屋、田中マチエ氏、清水寒天組合原試験工場、おぼはん、浮円寺にて、高槻一中、岩谷先生、谷柳老人、田中平五郎婦人、岩谷ステヲ氏らから雑煮、年中行事と行事食、寒天、氏神、酒。

109 都祁村 昭三九・七月

B 5 判 横書き 148頁

昭和39年7月22～26日に大阪学芸大学の2回生の実習調査が奈良県山辺郡都祁村北地区でおこなわれたさいの記録。

[目次]

1. 聞き取り 2. 死因 3. 調査計画 4. 資料 5. 写真

[内容]

都祁村周辺の略地図。

聞き取り——都祁村役場での聞き書き：くるみ餅、サバ餅、トマト、役場の三役、寺、村会議員、地区の境界、村外就職、ゴルフ場、道路工事ともなう村外者が入りこむことについての対策、青年会、転出、村への行商、家計、便所と糞尿処理、飯場、野鍛冶、理髪師、畳屋、屋根屋、左官、大工、タクシー、医師、歯科医、洋服屋、靴屋、呉服屋、娯楽施設。都祁村村長東田氏の話：村の名物、村の産業、名阪国道開通ともなう村の将来、農業、畜産、園芸、温泉、村の人口減少傾向、村史、農業の合理化。

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

下深川の酒屋での聞き書き：家業の歴史，経営規模，杜氏，動力の変遷，生産した酒の販路，酒銘，年中行事とその食事。下深川の石材店での聞き書き：石屋の数，取り引き先，原石，販路。下深川の雑貨・アイスクリーム店のおばはんの話：宮肴当番，荒神様へのお供え，ウシの鼻環，子供の買い食い。上深川区長の徳谷武雄氏の題目立の話。中峯山バス終点のおかみの話：かつての祇園社の祭り，金五郎餅，サバ鮓，亥の子のクルミ餅，富貴俵というにぎり飯，買物圏，粥，コンニャク。友田の「両白」醸造元西田氏からの聞き書き：家業の歴史，この地方の酒造家の歴史，酒造米，杜氏，販路，酒造道具。吐山の酒屋の話：地酒の評判，名所，クルミ餅，富貴俵，茶粥，サバ鮓，祭りの餅，4月3日のひし団子，彼岸のおはぎ，小豆餅，おし鮓，ちらし鮓，鮮魚。

死因——昭和37～39年のあいだの死亡者の本籍，住所，生年月日，死亡月日と病名を記す。

調査計画——調査日程，調査期間の日課，バス運行表，略地図，調査分担者，参考文献，人口と世帯数，地区別職業構成表，地区別家畜数，地区別農家経営面積表などの孔版印刷を綴じこむ。

資料——『奈良県総合文化調査報告書——都介野地区』（奈良県教育委員会 昭和27年）からの抜き書き：人口と集落，家屋形態，垣内，寺社，宗教，墓制，講，若者宿，職業，農業，畜産業，林業，鉱業，工業，商業，農業暦，役牛，植物。『無形文化財大和上深川の題目立』（小島俊次著 出版年不明 全4頁孔版印刷）を綴じこむ。『遺跡と文化財』（都祁郷土会高塚地区著 出版年不明 4頁孔版印刷）を綴じこむ。

写真——集落風景，民家，社寺，酒造道具，三枚歯の高下駄，酒壺，調査風景などの手札版に引伸した写真70枚を貼りつける。

110 筑紫湯 昭三九・十月

B5判 横書き 258頁

昭和39年9月30日から10月11日までの九州旅行の時の記録である。この旅行は宗像大社の放生会と長崎のオクンチを見に行きそれと共に北九州を回った模様である。

[目次]

1. 聞き取り——宗像・神の湊，小郡・秋月，城島，柳河・車中，佐賀・唐津，嬉野・有田・調の川，平戸・吉井，長崎・島原・口之津，日田・門司 2. 商品 3. 道中献立 4. 旅程・会計 5. 名刺 6. 資料 7. 切符・マッチ・酒・弁当 8. 新聞記事 9. 物価・天候

[内容]

宗像・神の湊——宗像大社葦津禰宣からの聞き書き：宗像大社，沖之島，神井の水，

甕祭り，放生会，社の職員，神楽。神湊小学校宿直先生からの聞き：小豆雑煮，雑煮，すし，ちまきと柏餅，養鶏，ミソヅケ。神湊泉館女中君談：雑煮，五月節句。

小郡 秋月——三井郡小郡小学校での聞き：雑煮，祭。山田隼人夫人からの聞き：柿ノ葉すし，小豆雑煮，寺，端午，粕つけ。秋月中学校安岡校長談：人口，柿ノ葉すし，寺，チマキ。

城島——城島酒造協会での聞き：四季醸造，杜氏，杜氏の鑑札（凶入り），杜氏の出身地，生産高，蔵人の呼び方，精米，上水道，酒唄。城島酒造会館ニテ中野タセ女史：雑煮，煮ヅ，鮓，カス汁，エツ（川魚）。城島小学校田中校長談：雑煮，寺。

柳川・車中——柳川小学校教頭某君談：雑煮，端午，行事食，ハゼ。車中の老人からの聞き：ハゼ，蠟工場，蠟製造法，米とわら，買物圏，エイギョーエイサ。

佐賀・唐津——佐賀図書館での聞き：佐賀城，砂糖，木蠟，農作物種子の輸入，生類哀れみ。中里忠夫氏からの聞き（唐津）：窯，ロクロ，土，灰，呼子，有田の美術館。中里弟君談：工業化，久留米餅，辻留，佐世保。

嬉野・有田・調の川——茶業試験場渡辺場長からの聞き：茶，栄西禅師，嬉野，窯いり茶，鹿児島・熊本・宮崎の山茶，鉄観音，茶の香り，芋，需要，価格。有田美術館主事？老談：柿エ門，古伊万里，唐津，古窯社，建物。有田中学校田代校長談：煮餅，雑煮，端午。中部小学校若菜校長談：雑煮。香の前の三婆談：ニガゴ，オクラ，チマキ。竹細工夫人談：竹細工，原料。汽車でのり合せた調ノ川産の若い男談：男節句，雑煮，正月・オクンチの料理，すし，炭鉱坑夫，亥の子。

聞き取り／平戸・吉井——平戸市観光課佐保課長補佐からの聞き：鯨，主産物，酒屋，端午，亥の子，すし，隠れキリシタン。平戸図書館松本先生からの聞き：雑煮，正月の料理，端午，盆，鳶の巣，さつまいも，ハツタケ，川内浦，イヌマキ，コヒキ，千光寺，松浦徴古館，平戸。平戸文化館某老談：コルネリア，お春の文。長尾直君談（後日北白川にて）：平戸の高校，城壁，カンチク，佐賀，士族屋敷の敷石。吉井中学校家庭科主任のオバチャン談：オクンチと料理，ちまき。

長崎・島原・口之津——グラバウ邸番人談：西洋ヤツデ，長崎見物。伊勢宮であったオバチャン：オクンチ，踊り，オクンチ料理，蛇船。桜馬場中学校教頭談：庭見せ，蛇踊り，雑煮，ちまき，盆。島原第一中学校にて聞き：雑煮，侍屋敷，餅控，梅，酒。口之津中学校にて：主食，口之津の船員，農作物，ハゼ，端午，猪の子，秋祭り，山茶。

日田・門司——日田月隈小学校教頭談：赤米田，香米。薫長主人安富談：店の由来，杜氏，消費量。古城小学校日直談：学校の規模，親の職業，糠味噌煮。

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

お店のうりもの——福岡県神湊・柳川、佐賀県伊万里・日田の魚屋や八百屋においてある商品を書きだしてある。

道中献立——9月30日飛行機の中のおやつから10月10日昼兼夕食までの献立を書きだしてある。

旅程・会計——同期間の着発の時間と感想、経費を書きだしてある。

名刺——もらった名刺を貼付してある。

資料——しおり・パンフレット類を貼付してある。

切符・まっち・酒・おべんとう——切符とマッチ・酒のラベル、弁当の包紙を貼付してある。

新聞記事——新九州、佐賀新聞、西日本新聞、大分合同新聞、長崎新聞からの種々の記事の切り抜き。

物価・天候——新聞からの市況と天候欄の切り抜き。

111 文化十年山片重芳仙台下向日記

B5判 縦書き 68頁

内扉に「山片文書のうち 山片重芳文化十年仙台下向日記」と記されている。「山片平右衛門重芳十年仙台下向日記」の写し。山片重芳（1764年生）は大阪の豪商で。仙台藩の蔵元を務めた。有坂隆道氏による翻刻・紹介が挟んである。（「升屋平右衛門山片重芳の文化十年仙台下向日記」『関西大学文学論集』8巻4号所載昭和40年3月）。製作年代は不明であるがこの抜刷の年代から類推してこの順番に並べた。山片重芳の仙台下向経路の先生手描きの地図が添付されている。

[目次]

1. 本文に見える大名衆 2. 仙台藩職制 3. 本文に名が現われる著名人・名物等 4. 山片平右衛門重芳文化十年仙台下向日記 5. 山片重芳仙台下向経路（地図）

[内容]

本文に見える大名衆（旗本の一部を含む）——呼び方、本名、石高、領地の項目をもうけた一覧表。

仙台藩職制——職名、定数、本日記に見えるものとして席順・氏名を表にしたもの。

本文に名が現れる著名人・名物等——人名、品名など30項目をあげ、関連地名と頁を記す。

山片平右衛門重芳文化十年仙台下向日記——日記本文の写し。正月18日～5月3日の大阪・仙台間往復の様子を記したもの。旅程の他に食事の献立についても書き留められている。本文の上部に余白を設け、記載項目を略記す。57頁にわたる。

山方重芳仙台下向経路（地図）——B4版のトレーシングペーパーに、200万分の1縮尺の地図を写し、コースと宿泊地を記す。

112 芦生採菌行 昭四〇・七月

B5判 横書き 68頁

昭和40年7月23日～27日に京都大学の芦生演習林で日本菌学会関西談話会主催の採集会がおこなわれ、それに参加したさいの記録である。篠田先生は菌類にも興味をもち「学者聞書」（『風俗古今東西』所収）にくワッソン老人きのこ談——メキシコの幻覚菌——の文章も残しており、しばしばキノコの採集に出かけている。この採集行の団長は親友の故浜田稔京大教授であった。

[目次]

1. 芦生演習林採集会 2. 生活資料 3. 採取菌類 4. 写真

[内容]

芦生演習林採集会——採集地の地図（ブルーコピー）、採集会参加者名簿（ブルーコピー）、行動表。演習林運転手の話：林業、縁組、キノコと山業、買物、行商人、祭り、山ノ神祭り、野獣、伊勢講、葛屋、木地屋、花卉栽培。もう一人の運転手の話：石数、学校、稲作、林業、亥の子餅、食用野獣、テレビ。トラックで一緒になったおばさんの話：年中行事と食事、生杉集落の概況、交通、買物、農業。鳴き声を聞いた鳥のリスト。出会った動物のリスト。菌以外の採集植物のリスト。

生活資料——地酒「初日の出」、土佐銘菓「陣羽織」のラベルを貼る。

採集菌類——採集した菌類36種の写生図に学名、和名、採集年月日、地名、図鑑、の該当頁を付記する。1種を1枚のカードに記し、精密な鉛筆のスケッチに色鉛筆で着色をしたカードを貼りつけてある。

写真——周山、芦生、生杉などで、集落、民家、宿舎、同行者、植物を写したものを手札判に焼きつけたカラー、白黒合計42枚を貼りつける。

113 飲膳正要（山形）

B5判 横書き 92枚 未製本

昭和40年10月6日～17日の東北の調査旅行の折のものとおもわれる。フィールド・ノートとして、後に製本する予定のものと思われ、内容ごとに表紙がつけられている。また、各部の表紙となる部分に番号がはいっており、製本の時の順を記したものと思われる。

[目次]

1. 会計
2. 献立
3. 大山・湯野浜
4. 矢島
5. 金浦道中
6. 本荘
7. 亀田
8. 酒田
9. 仙人沢
10. 鶴岡
11. 新庄
12. 尾花沢・大石田
13. 寒河江
14. 山形・蔵王・山寺・上ノ山
15. 米沢
16. 磐梯
17. 会津若松
18. 車中所見

[内容]

会計——6日から17日までの諸費用が、各日毎に記されている。

献立——6日から17日までの献立を三食ごとに、旅館名や値段も含めて、記している。

大山，湯野浜（10月7日）——鶴岡西高海老名八郎校長による話：西校の学区，山形県の料理，ハンコタンナ等について。加藤富三郎（富士一・酒造業）：大山杜氏，酒唄，文書，漆塗道具等について。湯野浜亀屋仲居（10月7日）：正月，節句，祭の料理について。

矢島（10月20日）——矢島高校にて：矢島の地方料理（あゆのすし，山菜）等について。佐藤敬一氏（出雲の雪・酒造業）より（10月8日）：地杜氏，酒唄，近江の酒造等について。

金浦道中（10月8日）——女（行商）：梨，柿，ハタハタ，鱧，カニ，魚料理，そば，祭料理。

本庄——本庄東小・松永校長（10月8日）：秋田の風土（県北と県南），正月料理，ハタハタずし等について。若松勝一郎（10月8日）：永泉寺（曹洞），鮭，ヨモギモチ，ハタハタずし，茸。

亀田——佐藤・清正蔵。

酒田（10月9日）——象潟・女学生3人：正月雑煮，すし，5月節句，果物，きのこ。酒田女子高校渋谷繁雄（教頭），小松しげる（家庭）（10月9日）：正月料理，粥ずし，むきそば。本間センセ（理科）：キノコ（食べ方，種類，方言），粥ずしの作り方。佐藤弥太郎，大淵光治氏（10月9日）：料理（箒の実，むきそば，山菜，雑煮，節句料理），祭，盆，講，産物。

仙人沢——弥宣（10月11日）：雪，湯殿山祀神。途中でバスにのった男：月山登山。宿の姐ちゃん：ベニマス，キノコ。田麦俣の少女：正月雑煮，五月節句，すし。

鶴岡——駅の売店の産物。致道博物館犬塚又太郎館長，上の博物館杉村勇造氏（10月11日）：ゼンマイ織，シナ織，藤布，田の虫よけ，蟹，ハタハタ，魚の料理法，納屋汁，納豆汁，むきそば，五月節句料理，法要料理。鶴岡北高校戸川安章（10月11日）：民俗，料理。

新庄——駅前市場(10月12日)商品リスト。新庄南高校／早坂教頭・結城教諭(家庭)・武井教諭(社会)(10月13日):正月料理,肥しよい,菱,山漆,マタギの風俗,鮎ずし。渋江染物店:織物について。

尾花沢,大石田——尾花沢高校(10月12日):雑煮,料理,山菜,五月節句,ゼンマイ綿。尾花沢の駅でおばあさん(10月12日):正月料理,あんこ餅,こんにゃく,モンペ。

寒河江(10月13日)——八百屋の店先にならんだもの。宿屋の副業。寒河江高校にて:熊木,紅,山で利用するもの,五月節句,ヒヤシル,男児7才の祝い,庄内の年末年始の献立,田ノ神の供物,餅。山形県林産加工指導所:方言,食用キノコ,培養むきのキノコ。

山形・蔵王・山寺・山ノ上——山形大学教育学部家庭科斎藤教授(10月13日):紅,紅花染,ぜんまいの綿,カスリ・シマの作業医。

米沢——米沢興譲館高校吉田先生(10月15日):他の知識人の紹介。米沢東高校武田先生(10月15日):酒造りと杜氏,雑煮,農業関係の祀神中心,風俗,しか迎え,ぜんまいの綿,クルミの染色。安部英男(10月15日):市観光課。

114 宮島詣 四一・六月

B5判 横書き 162頁

昭和41年6月3日京都発,安芸宮島での日本風俗史学会研究会に出席したのち,柳井から周防大島,松山,呉,広,蒲刈島,今治,大三島,因の島など瀬戸内の島々を訪ね,尾道に出て6月11日帰路の旅の記録である。その旅程表およびルートマップが巻末に付されている。この旅行は「逢の水車」(『風俗古今東西』社会思想社 所収)にまとめられている。

[目次]

1. 宮島 2. 風俗史学会 3. 久画 4. 惣那 5. 呉・広 6. 蒲刈 7. 豊島 8. 木浦 9. 岩城 10. 土生・瀬戸田・三原 11. 道中献立 12. 旅程・会計

[内容]

宮島——宮司から神社についての聞き書き:しもつかり。

風俗史学会——宮島研究会,研究発表要旨プリントが主。

久画——酒造関係,行商人,漁業。

惣那——島の概要,いずみや,鮓,石工,果物,八百屋の店頭で売る品物,雑煮,海上交通。

呉・広——この地方の概況，教育関係。

蒲刈——農業，漁業，結婚，寺と学校，鮓，餅，雑煮，飯いろいろ，薩摩汁。

豊島——寺，漁業，結婚，鮓，雑煮，醤油飯，おたいや，報恩講，祭り，教育，食用野草，餅，甘藷，ミノ，機織。

木浦——連絡船，雑煮，餅，晦日そば，鮓，節分，餅，米，甘藷，ゼラニウム，船員と杜氏と，結婚，寺，宮ノ島の概要，八百屋の商品。

岩城——高校教師の話，水車，杜氏，菓子，島の歴史。

土生・瀬戸田・三原——製塩，連絡船，教育。

道中献立——旅行中の三食の献立を書く。

旅程・会計——旅程図と旅程の記録。会計のタイトルはあるが会計の記録はおさめられていない。

115 笠沙

B 5 判 横書き 192頁 未製本

昭和42年 5月19日より29日まで，九州へ赴いた折のもの。

[目次]

1. 大牟田・熊本 2. 出水・川内・串木野 3. 甌島 4. 伊作・金峰・笠沙 5. 枕崎・鰻・指宿 6. 鹿児島・苗代川 7. 道中献立

[内容]

大牟田・熊本——大牟田，明光学園と熊本，市立高校の教師に鮓，雑煮，魚について聞書きしたもの。

出水・川内・串木野——タクシーの運転手，出水高校長，川内の釣道具屋，串木野，村浜 豊吉氏に，竹・鮓・産物について聞書きしたもの。

甌島——上村良平氏，和田直人氏，塩田末喜マダムから，風土病，産物，祭，雑煮，鮓について聞書き。

伊作・金峰・笠沙——伊作高校家庭科主任田中万亀さんから，鮓と正月について，金峰町役場，諏訪政行氏，大昭工業の運転手，黒瀬片平氏らに主に杜氏について聞書きしたもの。

枕崎・鰻・指宿——枕崎の運転手に土地柄を，鰻熱帯植物苗圃，鹿大指宿試験地石畑助手等から，植物の生態に関して聞書きしたもの。

鹿児島・苗代川——辻本，田島君から風土について，山元政明氏から焼酎について，荒木幹二郎氏，沈寿官婦人から陶業について，聞書きしたもの。

垂水・高山飴肥——十五郎そばの婆さん，野鍛冶，九州公豚社等での聞き。
 道中献立——5月19日より29日まで旅行中の食事の献立が書き込まれている。
 商店街——八百屋や魚屋等に並べられた商品が記してある。
 雑——各所で気付いた，事柄が書き込まれている。
 最後に5月19日より6月2日まで移動中の車窓から植物の生態を観察した，ノートが封筒にいれられている。

116 吹上日記 昭四十二（一九六七）年

12×7.3 cm 横書き 148頁

5月18日から6月3日までの九州旅行の旅日記。小形の手帳に記したメモでこれを転写した内容が115のフィールド・ノートにみられる。

[目次] なし

117 諸国聞書（北河内）

B5判 横書き 200枚 未製本

後にフィールド・ノートとして製本するために整理されたと推測されるもの。主として1967年から1969年の調査での聞きであるが同北河内地方での聞きを年代に関わりなく集めており，年代には幅がある。内容も生活一般から祭事等の幅広いものである。目次はないが，地域ごとにまとめて表紙がつけられている。話の内容は主として明治頃が中心で以下戦前までをのべていることが多い。

[目次]

1. 河内・鴻池新田 2. 鴻池・福田文書 3. 西諸福 4. 諸福 5. 片町 6. 蒲生・今福
 7. 掘溝 8. 巢本・木屋 9. 常稻寺・古川橋・一番・稗島 10. 布市・小豆雑煮・吉原・石切
 11. 木田 12. 松村・田中・南樋 13. 住道 14. 野崎 15. 徳庵

[内容]

河内・鴻池新田——好川清子（明治42年生れ）による鴻池旧事談：昭和41年6月22日・7月18日の聞き，寝屋川の船運，酒，米の値段，魚・野菜売りの様子，祭りと行事食，汽車の開設。寺川卯吉（明治10年生れ）による四条畷古事談：昭和41年7月15日の聞き。鴻池会所の草分け，会所の様子，鉄道の施設と鴻池との問題，物売り，川の決壊による浸水，祭。福田弥三郎氏マダムによる鴻池新田の古事談：昭和41年7月12日の聞き，実家の料理屋の様子，青物，魚売り，運搬船，祭，料理。おふみ（昭和41年10月18日）聞き：料理，宮参りの話。福田弥三郎孫娘：（昭和42年9月6日）三笠山 [料亭]。

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

鴻池・福田文書——鴻池新田，福田弥三郎文書「大正10～15年頃の船熊（船運送）のツケ」，「昭和2年婚礼御祝控帳 第1月27日」，「明治32年買物帳 3月22日」。

西諸福——東山辰蔵（明治25年生れ）：（昭和42年9月5日・14日）鴻池善右エ所門有の堰の堰守。堰・川岸の様子，舟宿，舟荷，平野屋の会所等について。

諸福（好川婦人）——好川清子による諸福の船頭の話：（昭和40年6月2日）船熊。水野植田安治郎（昭和44年10月30日）聞書き：肥料を専業にしており，そのための船や肥料集めの状況等。

片町——四ツ橋電気科学館に於ける（大正6年生れ）による片町の話の聞書き（昭和43年11月9日）：寝屋川船頭の船宿，夜店，汁粉，巡行船等。鍛冶や鍛冶元による片町の話の聞書き（昭和43年11月18日）：戦前の鍛冶元の話。

蒲生・今福——加藤富美江祖母（明治26年生れ）（昭和44年2月15日）：野崎参り，船頭，巡行船，実家。

堀溝・長谷川宗三老母，単本——長谷川宗三老母（明治27年生れ）による聞書き（昭和41年9月17日）：家業（モヤシ），麦芽業，舟運送，年中行事の料理，野崎参り等。バス停の男（堀溝鼻橋にて，昭和41年9月17日）：寝屋川と舟運送。長谷川宗三郎隠居による堀溝の話（昭和41年10月17日）：年中行事と料理，大阪への交通，織物，冠婚葬祭，井戸掘り。

巢本——中村喜一郎（明治29年生）の話（昭和42年9月20日）：農家，下肥の購入先，正月雑煮。

木屋にて——老人の（昭和44年3月17日）：枚方切れの碑，水争いの赤井堤。

城東興業KK——昭和44年10月30日。城東区内の下肥汲取業者の団結によって設置。戦時中，国家総動員によって統合，運送は別に興農運送を設立。

常稻寺・古川橋・一番・稗島——奥田繁太郎（明治38年生れ）による聞書き（昭和43年4月14日）：船頭家業，下り荷，上り荷，仕入れ先，川路の様子。古川橋老百姓（明治33年生れ）の話（昭和43年4月8日）：肥屋とその仕事場，京阪が出来るまでの交通路，古川の堰のこと蓮池。平田氏（明治41年生）（昭和43年4月14日）：船頭から後米屋となる，船頭の時の周囲の様子，御堂の報恩講。一番路傍の老人（明治29年生れ）（昭和43年4月14日）：蓮根とクワイ，料理法。表口義雄（大正6年生）（昭和43年4月14日）：古川岸の船頭，積荷及びその仕入れ先，蓮根・クワイの料理，正月の雑煮，祭の料理。三ッ島早瀬藤松（明治27年生れ）（昭和43年4月8日）：早舟家業のはじめ，利用客，蓮根，クワイの料理法，アヒル飼い，選挙権，農地改革等。稗島長谷川末吉（明治16年生）：古川べりの宿や，一膳めし，現在タバコや，舟宿，蓮根の食

べ方。岡田（明治37年生れ）（昭和43年4月8日）：菓舟の仕事。中道茂三郎（明治33年生れ）の話（昭和43年4月14日）：回遭の家業，早舟，積荷，盆栽，蓮根の料理，粽，アヒル，祭，衛生面等について。

小豆雑煮（吉原）——河内市（旧看津町）吉原，藤井信良老人（明治14年生），生田清一郎（席かし），大井嘉信（生駒郡富雄人 日下市箕輪 夫人里方にあり），広藤隆夫青年（ガイド），飯田喜代子女子（荷物持たせ）による（昭和30年2月24日）聞き取り調査。Madame：吉原の檀家，講の種類，氏神，祭。藤井老：村の始まり，雑煮，村役，宮座，墓，行事，若組，伊勢講。河内吉原生田夫人による河内市吉原の話：節句の料理，祭の料理について。河内石切日下にて藤井さんの話（昭和27年4月24日）：石切の水車業の特性。河澄（元日下村長）の話：河澄屋敷，酒等。井上氏の話（主人は春日山の小学校長）：香時計と宮管理の池。

今福——北井太蔵（明治41年生）（昭和44年3月24日）：肥家業，舟，縄張り，業者組合。

木田——楠芳二母親の話（昭和42年9月16日）：早船家業，舟，航路，船頭，積荷。

大利——平田熊次郎（明治42年生れ）による話（昭和42年9月16日）：早船家業，舟，航路，積荷，モーター船，肥屋との関係について。

木屋，樋口氏——樋口豊三郎（明治42年生れ）（昭和42年8月10日）：旧樋守で米卸し家業，舟積，周辺の家業，本家。

大森・荒木——荒木長次による秦大秦の話（昭和42年3月3日・13日）：寝屋川の船，明治41年の大火，古墳，汽車，タバコと木綿，野崎参り，秦と大秦の民俗の違い（特に祭り）。

中の 松村・田中・南樋——村松製薬御主人（昭30生れ—明治30年生れの間違いと推測）（昭和40年5月7日）：麦芽業としてデアスターゼを製造。製造法，収め先，ビールやアメ向けの麦芽の製造法。田中康夫の話（昭和40年5月28日）：家業の始め，収め先，製造法，製造時期，製造種類。角樋一三（寝屋川市堀溝）の話（昭和40年5月28日）：麦芽の製造法，収め先，蔵出し値，費用。角樋のオバアサンの話：麦芽業を初めた頃の状況。

麦芽——白井清太郎麦芽工場での聞き取り（昭和40年6月2日）：麦芽の乾燥，原料，生産量，アメ屋。

麦林——麦林猶一（野洲日本麦芽工業KK社長），麦林樽太郎（同工場長）の話：（昭和40年6月26日）麦芽業を始めた状況。収め先の変動（アメ屋からビールへ）。製造法，製造種類，原料，製造量。

寢屋——松木源三郎(昭和43年3月23日):寢屋源(雑貨屋)。天満朝市, 商物, 行事・節句の料理。

新喜多——老婆(明治26年生れ)の話(昭和44年3月24日):八日びについて。

住道・赤井・御供・氷の——横山耕一(明治28年生れ)の話(昭和41年9月8日・17日):早船, 用水, 河内木綿, 相撲。川舟の種類と大きさ, 伊勢参り, 行政の状況。

東谷新蔵のこと——東谷信蔵(明治26年11月5日生れ)による新蔵氏の話。(昭和43年3月28日):龍紋氷室への氷の運搬を家業としており, 運送, 他の船荷, 価格。

住道・角谷——角谷老婆による住道の話(昭和42年4月10日):通船からトラックの運送に転換。運送範囲, 積荷, 住吉神社, 正月雑煮。

赤井——北西鶴吉による旧南郷村赤井の話:農家の船利用, 寢屋川の舟, 汽車, 堰。

御供田——桑木氏による御供田の話(昭和42年8月24日):大正12年頃, 舟は既に下火であった。石田自転車店(昭和42年8月24日):御供田の船頭, 藤の漂白等について。

氷野——宮裏豊吉(明治40年生れ)による氷野の話(昭和42年8月7日・9月4日):船頭の仕事, 宿, 船賃, 祭りの仕事等。鴻池の堰の写真, 赤井の写真, 住道住吉, 茨田浜。

野崎——野崎観音堂守の男(明治18年生れ)の話(昭和42年3月9日):野崎参りの船, 八日びの祭りの様子。広瀬さんの話(昭和42年9月6日):鴻池の堰, 水上り(洪水), 野崎参り, 肥や, もやし, 交野の言葉。

津之辺, 前川——前川老人の話(昭和42年8月7日):床屋, 舟福の舟頭, 積荷の竹細工。

四条暁——植田老婆(堀勘の娘)(昭和41年9月19日):麦芽業の初め, 積出し, もやし業。

雁屋——堀内老(雁勘)の話(昭和42年9月6日):早舟業, 同業店, 積荷, 船頭, 代金。

清瀧——平尾兵吾の話:長尾の王仁塚, 相撲, 浄瑠璃, 酒造家, 雁塚, 寺小屋, 賤民。

徳庵——徳野道一老の話(昭和42年3月13日・9月18日):運送業の初め, 住吉神社の勧請, 船積荷, 明治18年の大火, 火の玉。写真についての話。今津の堰, 鴻池の樋。「クラワンカ」について他。

茨田浜町——西本甚太郎(明治38年生れ)(昭和41年9月7日):神武天皇の伝説,

村の生活慣習，船頭，明治18年の水害，クワイ，蓮根の料理，大阪への交通，祭，電気，寝屋川の舟の種類，買物。西本老母の河北の話（昭和41年9月18日）：河北の船頭，節句，行事の料理，宮座，講等について。

118 無題

14.5×8.7 cm 横書き 146頁

1968年大阪銀行の手帳を転用，フィールドでのメモ，研究会のメモとして使用。

[内容]

研究会発表についてのメモ（梁武の天蓋説・アマゾンの Ethnolotary・左？山人子集・アフリカ行・朝鮮研究）。醸造物の保存・調整剤，食品添加物について。

119 諸国聞書 近畿

B5判 横書き 140頁 未製本

フィールド・ノートとして後に製本する予定とみられ，本のケースに収められている。調査場所，日時についてははばが広く，何度か行われたものの中から近畿地方のものを寄集めたと考えられる。しかし年代としては昭和47～49年になっている。内容は各調査地によって分けられ，表紙がつけられている。

[目次] なし

[内容]

伊賀・音羽——音羽について，福森かずへ，稔増藤雄：寺と祀神，祭りのコノシロのつくり方，宮座等について。

同——福谷半助老，稔増藤雄老（昭和39年12月10日）阿山村音羽：コノシロ，乳の宮さん，祀神，寺社の祭と料理，行事の料理等について。

甲州談——小林泰重（昭和48年11月28日）：ブドウ栽培，保健所の問題，教育施設等について。国岡氏の話（昭和29年3月3日）：用ヶ瀬の旧家，家系，家業，当地方について。

生駒郡・富雄——富雄。宮座，厄年（42才）の料理等について。伊勢山田にて：厄年の行事について。辻井春雄（昭和29年1月1日）：家業の洋服屋について。

河内——河内長野，西条酒店（昭和28年9月26日）：酒造関係（杜氏，穴入，小作，糺他），家系について。高向（昭和27年2月）：祀神と祭，行事料理等について。

上賀茂神社にて——藤木保治氏（昭和43年12月8日）：上賀茂神社の行事，信仰，葵祭，建築等について。成田すぐき工場（上加茂）（昭和43年12月8日）：すぐきの作

り方について。

鮎すし屋由来——大溝喜多品店にて (昭和46年5月9日) : 店の由来について。

靴具波志神社誰説——藤富士雄 : 加島町の歴史, 鍛冶, 稲荷祭神の祭, 祭の料理・御供, 正月雑煮, 行事と料理, 西淀川14社, 藤姓等について。

山之芋掘り——昭和46年10月20日 京 (北白川から比叡山にかけて) の山之芋掘りについて。

個人タクシー運転手——昭和47年3月30日。タクシー業について。

傘・提灯や——東野豊吉 (昭和44年10月30日) : 傘・提灯の販売, 家業について。

松吉懐古——松谷吉蔵 (昭和49年7月16日, 7月29日) : 宿屋業 (客膳, 客あしらひ, 部屋等を現在, 他の旅館と比較しながら) について。

タクシー運ちゃん——昭和49年6月13日, バプテスト~NHKの間。タクシー業について。

佐伯鉄工所——昭和49年7月13日。家業 (自動車部品, 修理) について。

大野高光——昭和49年9月12日。鍛冶家業について。

大和——結解料理献立 東大寺, 御鯨屋獵助からのハガキ1枚 すしの作り方について

奈良, 東山, 昭和38年10月4日——水間小校長。水間, 水間小学校について。水間小教員 : 水間について。室津バス停にて : 生活着について。下水間橋のそばでの職工の話 : 作物と中辻家について。東山中の校長 : 学校の様子について。松尾の鉄工所 : 家業 (製茶道具と農器具の製造), 松尾の祭について。福谷野鍛冶 : 野鍛冶家業について。北野小前 バスマつ男 : 植林, 炭焼き, 行商について。

春日——波田野中 教頭・波多野小 校長 : 所属文化圏 (伊賀), 未解放部落, 生活調査, 食習慣等について。播久好氏 : 自家について。

市原聞書——瀬戸憲久老人 (昭和47年9月25日) : 村の作物と利用法, 買物先, 馬喰, 祭り, 雑煮, 産婦等の生活慣習について。

同老人 (昭和47年10月2日) : ハゼウルシのおはぐろ, 鬼童丸伝説, 塩, 山之神・野神の祭, 講 (伊勢・あたご・観音・行者), 山芋, 山椒, またたび, 蒨等について。

恵光院にて——昭和47年10月2日。寺の歴史について。

鮎すし——北野オ一 (昭和47年9月23日) : 三輪明神の祭礼に用いる鮎すしについて。附, 名刺2枚。

120 台湾山地聞書 1 タイヤル族のA 高德生

B5判大学ノート 横書き 60頁

昭和48年5月14～6月6日の間、台湾に行ったときのフィールド・ノートを整理し浄書したものと思われる大学ノートが5冊「台湾山地聞書」というタイトルで残されている。その第1冊であるこのノートは、5月17～23日に南投県のタウザにおいて投宿した雑貨店の主人である高德生氏(当時55才)から、タイヤル族の民族や食物について聞き取ったものである。なおこのさいの調査の結果は「台湾山地民食生活瞥目」(同行した尾崎千恵子と共著、『季刊人類学』5-2 1974年)と「台湾風俗」,「台湾山地民聞書」(いずれも『風俗古今東西』1984年社会思想社所収)にまとめられている。

[目次]

1. 村の概要 2. 村の作物 3. 動物性食品 4. 調理・加工 5. 狩猟 6. 人生儀礼 7. その他の民族 8. 歌唱 9. 伝承 10. 補遺 11. 高家間取り図 12. 高家献立

[内容]

村の大要——南投県のタイヤル(トクダイラとセーザック。トロクとタウザガセーザック), 学校。

村の作物——焼畑, 土地所有, 粟の耕作とその儀礼, 俗信, 収穫祭, コメ, 豆, 吉備, 芋類, 葉菜, 山菜, 茸類, 愛玉子, 調味料(食塩, 胡椒の代用品), 果樹, 麻, 洗濯用,(4種の植物をあげる)。

動物性食品——家畜(牛, 豚等)。家禽(鶏, 七面鳥等), 野味(山豚, 鹿, 山羊等), 漁(もんどり, 投網, 釣, 魚藤, 川狩の行事等), げて物(蛇, とかげ等), 虫。

調理・加工——粟の調理法, 餅, 弁当, 鳩麦, 芋類, 竹の子の調理法, サマ, 漬物(魚・野菜), 料理法(煮る, 焼く, 干す), 火, 鍋, 竈, 三石竈。

狩猟——猟場, 小屋, 猟期。

通過儀礼——成人式(耳に穴, ブヌンは抜歯), 結婚式(猟, 餅), 里帰り, 婚約, 入れ墨, 結納, 出産, 食べ物にまつわる禁忌等, 葬式。

その他の民俗——キリスト教以後の人生儀礼, 年中行事, 匙の使い方, 匙の凶, 呪師, キリスト教各派, 神観, 歯, 掘棒, 南十字星, 豚の殺し方, 病気。

歌唱——入山歌, 下山歌, 若者の歌, 娘の歌, 山の獲物のよかった時の歌, 宴会歌。

伝承——シシ鳥の豪いわけ, 犬の舌はなぜ黒い, 2つの太陽, 猿のはじまり, 黄金時代, 人間のはじまり。

補遺——尾崎氏の筆によると思われる衣類の図と説明(女性用の上衣, 下衣, 手甲), 田舎の駐在所, 除草, トロクの奥, 産業道路, 上方訛り, 霧社事変の思い出, 婚期,

あいさつの言葉。

高家間取り図。

高家献立——5月17日昼食～5月23日朝食までの献立。

121 台湾山地聞書 2

B5判大学ノート 60頁（44頁以降白紙のまま残す）

表紙に副題として「タイヤルのB」と記され、袁進丁、尤ワンジ、周治輝、何莫孫、孫光明、ワタンリ、大山てる子ら7人の話者の名が挙げられている。昭和48年5・6月、台湾を旅行した際、タウザ滞在中に行なった聞き取り調査の記録。

[目次]

1. 袁進丁 2. 尤ワンジ 3. 周政輝 4. 何莫孫 5. 孫光明 6. ワタンワリ 7. 大山てる子

[内容]

袁進丁（農業）——山の作物（果樹類、椎茸、木茸、麻）、サマ（茶になる）、その他の植物（里芋、野生瓜など）、動物（家禽、家畜、熊）、雑貨、病気、酒屋（酒の価格・種類）、ルブ、三石竈、盧山温泉、娘のこと、獺（狩猟の呪文、狩猟儀礼、禁忌、わな、獺期、鉄砲、山小屋、獲物の売買・交換、花蓮との交流）、口頭伝承（山間に住むようになった由来、霧社事変、女の始まり、人間のはじまり、2つの太陽他）。

尤ワンジ——作物（アワ・イモ・米他）、野生作物（マッカーリ・山りんご他）、動物（野生）、鮓、食塩、酒、成年式、狩猟。

周政輝——穀物（米、粟、黍他）、豆類、芋類、葉菜、その他の植物性食物（大根、唐辛子他）、竹の種類、木（茶、枇杷他）、動物性食物（野生動物、家畜、蛙、蟹など）、食事（主食、調味料、食器）、衣類、衛生、住宅、救荒植物、今日の若者。

何莫孫——狩猟、漁、蜂（野生、飼育）、兵役。

孫光明——村の由来、動物（蛇・虫）、竹、近頃の若者、昔の若い男女、離婚、身の上話、従軍の思い出。

ワタンワリ（長老教会伝道師）——キリスト教教会、長老教会信者数。

大山てる子——村の由来、主食、副食、鮓漬、調味料、食事作法、調理法、箔。

122 台湾山地聞書 3 ブヌン、採集植物目録

B5判大学ノート 横書き 56頁

ブヌン族および、同族をよく知る者からブヌン族の民俗を聞き書き。後半は山地で採集した植物標本82点のリストがある。

[目次]

1. 巡查某 2. 呂天暎 3. 高陸男 4. 全春福 5. 全春榮 6. 黄金安 7. 語彙

[内容]

巡查某——仁愛郷のブヌン族部落名と戸数、狩猟慣行。

呂天暎——穀物、飯、豆と芋、動物性食品、塩、油、酒造り、救荒植物。

高陸男——食習慣、飯、粥、穀物、芋と豆、果実、ネズミを食べる、口嚼酒、機織り。

全春福——村の歴史、村の概要、穀物（粟、餅など）、野菜、調味料、香辛料、野生動物食、魚、酒造り。

黄金安——村の歴史と概況、食習慣、主食、芋の焼きかた、作物、果実、調味料と香辛料、家畜、野生動物食、魚、酒造り。

ブヌン語彙——栽培植物、食用動物を主としたブヌン語彙26語をローマナイズして書いたもの。タイヤル語を対照させたことばもある。

採集植物目録——食用を中心とした有用植物標本82点について、ラテン語学名と和名と用途などを記してある。

123 台湾山地聞書 4 アミ、ピュマ、ルカイ、パイワン、道中記

B5判大学ノート 横書き 56頁

アミ族6名、ピュマ族、ルカイ族、パオワン族各1名からの聞書きと台湾調査の交通費、食費の計算を記したものだ。

[目次]

1. アミ Aポクポク—張阿標・90老・教会婆, Bバター—王錫山・呉仁考, Cタバラ—万仁光 2. ピュマ—孔仁志 3. ルカイ—陳紹寛 4. パイワン—趙生隆

[内容]

アミ——張阿標（アミ族、旧ポクポク社）からの聞書き：主食、副食、漬物、食用家畜、酒、漁業、塩、水、祭り、戸数、楽器、女の地位。90老（アミ族、旧ポクポク社）：主食、副食、酒。教会婆（長老教会の女性、旧ポクポク社）：主食、副食、チマキ、豊年祭。王錫山（アミ族、旧バター社）：穀物（米、餅、粟など）、芋と豆、果実、香辛料、狩猟慣行、病人・妊婦に間食をさせる、魚（毒流し魚法）、塩、漬物、酒づくり、チマキ、海岸アミ族の概況。呉仁考（アミ族、旧バター社）：主食の変遷、作物、塩代用植物、動物性食品、肉・魚の塩漬け（毒流し魚法）、キリスト教、歌と踊り（楽器）。万仁光（アミ族、富田村）：米食の変遷、副食、果実、酒造り、狩猟、魚、

塩, 祭り, 住居, 大家族。

ピュマ——孔仁志 (ピュマ族, 台東県卑南郷利嘉村): ピュマ族の概況, 主食, 芋と豆, 野菜, 野生食用植物, 果実, 狩猟, 漬物, 酒造り, 塩。

ルカイ——陳紹寛 (ルカイ族, 台東県卑南郷大南村): 村の概況, 穀物, 野菜と香辛料, 狩猟, 酒造り, 塩。

パイワン——趙生隆 (パイワン族, 大東県卑南郷新園村): 村の概況, 主食, 副食と野菜, 肉, 魚, 酒, 塩。

道中費用 (劉君支払分)——5月15日から6月1日の間に支出した交通費と食費がリストになっている。おそらく, この間に同行した劉斌雄氏 (現在, 中央研究院民族学研究所長) に立替えてもらった費用を決算したさいのひかえと思われる。

124 台湾山地聞書 5 道中日程

B5判大学ノート 横書き 56頁 (うしろの3頁は白紙)

台湾旅行の日記である。1日分を2頁に記し, 左頁にその日の食事の献立と間食について書き, 右頁に1日の行動について簡単に記している。

[目次] なじ

[内容]

5月14日——尾崎千恵子氏と大阪空港発, 台北着, 中央研究院民族学研究所訪問。

5月15日——台北で入山許可をとる, 中央市場, 孔子廟, 保安宮, 大龍市場を見学。

5月16日——台北～埔里～愛蘭～埔里。愛蘭の平埔族部落見学。台北～豊原間の車窓より見た植生を栽培作物, 園芸品種, 野生に分類し32種記す。台北～埔里間では栽培・野生の2分類, 17種, 愛蘭村落内では栽培・野生の2分類, 31種の植物を記す。埔里泊。

5月17日——埔里～霧社～タウザ。タウザ高德生氏宅に投宿。山胡椒, 塩の実, 馴れ鮓を見る。霧社・タウザ間に見た10種の植物を記す。

5月18日～22日——タウザを中心に周辺のタイヤル族の村を調査。

5月23日——タウザを出て, 過坑のブヌ族調査。埔里に泊る。

5月24日——埔里～台中～台南～高雄。台南・高雄で市内見物, 高雄泊。

5月25日——高雄～台東。市内見物。

5月26日——台東周辺でピュマ・ルカイ族調査。

5月27日～28日——台東～光復。その周辺でアミ族の調査。

5月29日——光復～花蓮。アミ族の調査。

5月30日——花蓮～台中～水里。

5月31日——水里～信義～和社～水里～台中。信義までの車窓より見た植物10種，羅那付近の植物10種，和社の小学校付近の植生を記す。

6月1日～5日——台中～台北。台北で，博物館見学など。

6月6日——台北発，大阪着。

125 1 Tauza

B 5判大学ノート 横書き 70頁

昭和48年に台湾を旅行した際，タウザで聞き取り調査した記録。「台湾山地聞書 1・2」はこのノートの内容を清書したものと思われる。

126 2 Tauza Bunun Ami

B 5判大学ノート 横書き 58頁

昭和48年5・6月に台湾を旅行した際の聞き取り調査の記録。「1 Tauza」と同じく「台湾山地聞書 1・2」はこのノートを清書したものと思われる。

127 学者聞書 1 昭43・9月

B 5判 横書き 224頁

昭和37～43年，27人の学者から聞いた様々な話を記す。ほかに滋賀民俗学会（昭和38年11月10日）のノートと発表資料，青木正児書簡を付す。この調査と「128 学者聞書」の調査は「学者聞書」（『風俗古今東西』社会思想社 所収）にまとめられている。

[目次]

1. 赤塚久兵衛 2. 池田安之助 3. 石神襄次 4. 干景讓 5. 植木 6. 岡田 7. 後藤良造 8. 雑賀宏 9. 斎藤実 10. 笹子義江 11. 佐藤巖根 12. 瀬川宗三 13. 全相運 14. 仙台 15. 園正三 16. 武居三吉 17. 戸谷徹三 18. 外山孟生 19. 外山軍治 20. 外山二世 21. 萩原基衛 22. 浜田稔 23. 福本慶子 24. 藤田恒 25. 蓑内収 26. 村田治郎 27. Wasson 28. 滋賀民俗学会ノート 29. 青木正児書信

[内容]

赤塚久兵衛（昭和38年1月）——地質学：中国地方の調査，中瀬金山の作業。

池田安之助（昭和38年，昭和41年）——昆虫学：殺虫剤，殺鼠剤，薬の価格。

石神襄次（昭和40年7月）——泌尿科学：早熟問題「米と日本人」未来篇，不妊問題，大阪医大のこと。

篠田統資料目録 I (フィールド・ノート)

干景讓 (昭和41年9月)——台湾：高粱酒，台湾問題，台湾の食物。

植木 (昭和43年1月)——雑草学：雑草の防除，雑草の成長，除草剤。

岡田 (昭和38年10・12月)——信州の話，原爆被災談：信州のみそ，たまり，果樹について，被爆経験，信州のクルミ，アズ，高野豆腐。

後藤良造 (昭和38年8月)——紙：土佐の典具帖，和紙の需要。

雑賀宏 (昭和38年9月)——細菌酵素：酵素の析出，工業廃水とその処理，ヒトデ，人口糊料，酵素，酵素の需要。

斎藤実 (昭和42年7月)——海外技術者研修協会：協会の概要，留学生の世話。

笹子義江 (昭和38年2月)——発生学：七面鳥の産卵数と孵化率に関する田原氏の研究，雉，雉の飼育，海外の鳥を食べる習慣，家禽の飼育。

瀬川宗太郎 (昭和34年1月)——温室談：花の栽培，花の販売。

全相運 (昭和43年)——韓国の科学史界：19世紀末以降の韓国科学史学界的動向，研究成果，研究者，研究施設，出版，書誌などについて。

仙台 (昭和43年9月)——麴，もやし：麴栽培，灰 (椿)，酒用麴かび，もやし。

園正三 (昭和37年11月)——追憶：京大農学部草創期のこと，工科のこと，人文科学研究所のこと，水道のこと，園氏の生家，日本人の潔癖さ，最近の学生など。

武居三吉 (昭和38年11月)——蜂の仔：チバチの巣探しから巣を大きくするまで，蜂めし。

戸谷徹三 (昭和40年5月)——象：名古屋東山動物園の象を解剖したこと。

外山孟生 (昭和42年8月)——香料：タバコと香料，香料各種。

外山軍治 (昭和38年8月)——阿波物語：吉野行 (鮎鮓，上市・下市，吉野の弥助さん，洞川，壺坂)，阿波 (和三盆，常備菓子，土地所有，牛，鮎)，島根 (大社の大神楽，玉造，うなぎ，そば，めのう細工)。

外山二世 (昭和38年)——ビール：ビール税，ドイツと比べて，サントリービール，四条河原町辺。

萩原基衛 (昭和42年8月)——茨城談：私紙，食物，県の公害問題，鉱業，福島県いわき市のこと，菓子，教育事情。

浜田稔 (昭和37～39年)——菌：マツタケ，ケンケラ，きのこの菌の成長，梅干，リンゴウメ，ナメコ，エノキ，毒茸，キヌガサタケ，寒天。

福本慶子 (昭和38年9月)——愚痴：ほかに角型のミノのこと。

藤田恒 (昭和38・41年)——診療記：病気や患者についての所感などを述べる。

蓑内収 (昭和39年4月)——細胞学：近況報告，研究内容の説明，生物物理学のこと。

村田治郎（昭和38年12月）——古建築：信州別所三重塔、磚塔、南支那の家の軒。

R. G. Wasson（昭和38年10月）——菌談：中部メキシコ山地 Mazate の巫女（茸巫），菌の種類。

滋賀民俗学会ノート——昭和38年11月10日大津にて。研究発表「近江のイノコ」，「古墳時代における田遊び田舞について」。発表資料（各1枚）がとじられている。

青木正児書信——便箋2枚と封筒1枚が貼られる。手紙の日付は5月21日とある。篠田著「籾考二篇」と「五穀の起源」にコメントを寄せる。

128 学者聞書

B5判 横書き 72枚 未製本

フィールド・ノートとして製本する予定で整理されたものと思われ、本のケースに入れられている。『学者聞書』とあるように、講演会等も含めての聞書きであり、内容、年月日ともにはば広い。

[目次] なし

[内容]

花背のおこり——井上頼寿（昭和46年2月27日）：花背のおこり，江州気質，シャックリなる物について（麻製）。

大台原山ニテ——今関六也（昭和45年7月29日～8月1日）：キノコ（硬菌類）の用途について，特に薬用。樹木について他。浜田遊：台風と松茸について。相良直彦：森林施肥について。黒柳悦次：鳳来寺山の野草について。粟津邦造：京大周辺の環境変化について。大台山の家での食事，採集品，観察物のリスト。押花（楓類），大台ヶ原山の菌類のリスト。大台ヶ原山採集会参加者名簿。

藤田ドクトル——（昭和49年10月6日）患者の話。

Lavoisier の化学——島屋。化学史，特に我国の江戸時代の科学について。

黒の呪術——上村六郎（昭和46年1月23日）：呪術的な色彩を文献から抜き出している。

中国及日本生物学史——北村四郎（昭和54年11月27日）：中国及日本の生物学について（応用面発達，主要著書，植物とその利用法等）。

日本古代の食糧——岡崎一敬（昭和46年3月3日）：縄文時代の食糧（特にドングリ），弥生～土師時代の稲，地層と植物相等について。

新宿文化論——深作光貞（昭和46年6月2日）：新宿に人が集中することについての文化論。

台湾の竹鼠——池田安之助：竹鼠の害への対策と台湾の現状について。

信州飯田医療回顧——宇多小路雄一（昭和46年2月18日）：飯田の医療事情，習慣等について，年代不明。

池田安之助（昭和49年7月14日）：塩化ビモノマーの禁止後の始末について。

硬いキノコの話——青島靖雄（昭和43年7月28日）：硬いキノコの利用法について。

食品添加物について——岡村技師：食品添加物の種類，功罪，取締り，現在の問題等について。

藤田恒（昭和43年10月29日）：寄生虫の話。

山上伊豆母（昭和44年9月8日）：学者批評。

129 筑波嶺

B 5 判 横書き 98頁

昭和43年10月21日から11月3日までの間に茨城県，栃木県，千葉県を周遊したさいの聞き書きを主な内容とする。この旅行中に，東京家政学院大学において開催された第9回日本風俗史学会大会に出席，大会プログラム，発表要旨プリントが綴じられている。

昭和3年に篠田博士はこの地方を訪れているが，そのさいの紀行文を制吒迦童子の筆名で「関三州」というタイトルで『京都化学学会報』28号1936年に発表しているが，その別刷のほか篠田博士著「新あおむ物語」（『生活文化』第9冊1960年）ならびに篠田有策著「新あおむ物語蛇足」（『生活文化』第10冊1961年）の別刷も合本されている。

[目次]

1. 佐倉・木下・佐原 2. 鹿島郡民俗調査・茨城県教育委 3. 鹿島誌 鹿島町教委 (B 5 変形判 タイプ印刷62頁) 4. 鹿島・銚子 5. 八日市場・東金・茂原・大原 6. 勝浦・清澄山・鴨川・干倉 7. 風俗史学会大会記事 8. 龍ヶ崎・土浦 9. 筑波・真壁 10. 笠間・水戸・茂木・益子 11. 結城・高崎 12. 栃本・古河 13. 境・塚崎・関宿 14. 道中献立 15. 店頭風景 16. 植生観察付動物 17. 交通 18. 道中小遣帳 19. 補遺・参考文献『風俗古今東西』96—121頁

[内容]

佐倉・木下・佐原——佐倉 そばや女主人からの聞き書き：町の歴史，名物，名所，鮎，雑煮。高校教頭談：町の様子。木下 銚子屋老婆からの聞き書き：宿屋，汽船，そば屋，すし，雑煮，行事と行事食。佐原 佐原東高校家庭科の先生：すし，雑煮。

鹿島郡民俗調査・茨木県教委——昭和40年民俗資料緊急調査報告書より：瓜木の漁

業、山之上年中行事、神野年中行事・宗教行事、息栖食生活・正月・餅のいろいろ・宗教・通過儀礼・年中行事、鹿島町全図。

鹿島誌——昭和43年に発行された鹿島の郷土資料、大地のなりたち、人々の住みつきと生活、鹿島の古墳、古代の鹿島神宮と郷土生活、鹿島略年表、文化財とは、という内容になっている。

鹿島・鮎子——鹿島渡辺さんからの聞き書き：家人の事、書庫。鹿島吉見屋飯田平左衛門談：すし、雑煮、鯛、鹿島港。

八日市場・東金・茂原・大原——八日市場桐屋老主人談：近所着き会い、鯛のカラヅケ、甘藷、落花生、年中行事と行事食、社会状況、通過儀礼、すし。八日市場匠瑳高校教頭高橋利悦氏談：養豚、地域差、紀州。東金高校家庭科主任小飼雅子先生談：鯛のくさり鮎、年中行事、すし。繁原高校吉野先生談：鮎、年中行事、カラヅケ。大原汽車にのってた高校女生徒より：すし、行事食。

勝浦・清澄山・鴨川・千倉——勝浦朝市のオバハンより：品物の産地。清澄山老僧：寺の説明、上人像。鴨川長峽高校校長・教諭らより：鮎、行事食、ハバノリ、漁業。千倉運転手より：高家神社。

風俗史学会大会——プログラム。吉田幸平「韋駄天立騒にみる兜美濃国鏡島乙津寺」原稿抜粋。「戦国時代の武士の衣生活資料」。清田倫子「東山時代の宮廷行事一御湯殿の上日記を中心として一」が挟みこんである。

竜ヶ崎・土浦——竜ヶ崎第二高校校長横田一二氏・家庭科中山先生より：代官屋敷、馴れ鮎、雑煮、煮鰯、年中行事、サメ。扇屋主人石塚政太郎氏談：すし、魚産地、酢、船頭ずし、地名。土浦第一女高校長高塚半衛老談：鮎、雑煮、短大。

筑波・真壁——筑波：筑波山神社 西瓜の記念碑。筑波町、筑波納豆。真壁真壁高校校長富山徳四郎氏・家庭科オバハン・食品化学科若い男より：綿、紺屋、蕎麦、雑煮、鮎、行事食、祭礼、だいどう。

笠間・水戸・茂木・益子——笠間笠間高校堀川収校長：すし。水戸弘道館：陳列品。益子道祖本見目陶場にて：浜田庄作、益子焼。タクシー運ちゃん談：鮎、雑煮。

結城・高橋——結城結城二高小野昂校長 家庭科深谷さんより：関東と稿西、石岡、雑煮、正月料理、行事食、鮎、講、蒟蒻、豆腐、初茸、年越し。結城～高橋運ちゃん：鯉、結城紬。高橋 官守角田庄一郎談：高橋神社、鯉、文書、刀。下野国下都賀郡高橋鎮座 延喜式内県社高橋神社御縁起畧記が挟んである。

栃木・古河——栃木栃木二高校長・家庭科先生より：鮎、雑煮、蕎麦、蒟蒻、産物、粥、行事食、町の盛衰。古河二高吉田校長・社会科石川教諭より：雑煮、正月料理、

篠田統資料目録Ⅰ (フィールド・ノート)

鮎, 鯉延寺。石川治「昭和43年度高校教育課程研究集会研究要綱」が挟んである。

境・塚崎・関宿——境町境高校蓮沼節哉教頭ほか2人：鮎, 赤だし, 猿島肝炎, 行事食, 雑煮, 干納豆, そば, 特産。塚町大賀こう談：正月料理, 鮎, 油, 左官, 盆, 生活食, 特産物。関宿旧士族奥原謹由談：黒川家系図, 雑煮, 士族, 舟問屋, 正月料理, 藩士会, 氏族屋敷。「関宿雑記交通ノ変遷」, 奥原氏よりの手紙と士族屋敷の間取り, 制吒迦童子「関三州」, 篠田統「新おあむ物語—機無女聞書一」, 篠田有策「新おあむ物語蛇足」がはさんである。

道中献立——10月21日より11月3日までの旅行中の食事の献立が記されている。

店頭風景——佐倉・布佐・勝浦・竜ヶ崎・土浦・真壁・笠間・水戸・益子・結城・茂木・高椅・栃木・竜ヶ崎補の商店の店先に並べられた品物を記してある。

植生観察付動物——旅行中の上記の各地の植生及び鳥等の種類を書きだしてある。

交通——勝浦・竜ヶ崎・土浦・笠間・境からの交通の便。

道中小遣——旅行中の小遣い帳。

補遺——内容なし。

130 山草会資料

B4判 横書き 6頁

1977年7月10日の山草会での資料と思われる。

[内容]

カンアオイ属 *Asarum* の分布・分類・性質・特徴について。ぎふちょうの分布・京都府下産蝶と食卓。

131 実録 BALI 1977

10.5×14.8 cm 横書き 72頁

1977年8月22～26日まで, 風俗史学会のツアーによるバリ島旅行の記録。

[目次] なし

[内容]

バリ島の旅行日記。献立, 風俗等が書きこまれている。

132 BALI Selecta

10.5×14.8 cm 横書き 46頁

1977年8月22～26日まで, 風俗史学会のツアーによるバリ島旅行の記録。

[目次] なし

[内容]

旅行記。風俗、植物等が書きこまれている。

車窓日記

133 土佐日記 附冊 昭29

B6判 横書き 100頁

内扉に「土佐日記」と記されている。昭和29年7・8月に四国を旅行した際の記録「車窓日記」の調査票で、票数は45。7月22日から26日を除く8月2日までの日付が記載される。

[目次]

1. 旅程 2. 調査票

[内容]

旅程——第1日大阪発、船中泊小松島、第2日平谷泊、第3日甲浦泊、第4日安田泊、第5日赤岡泊、第6日田井泊、第7日日比原泊、第8日須崎泊、第9日入野泊、第10日清水泊、第11日岩松泊、第12日伊方泊、第13日京都着。13日間分、1日ごとに経由地と交通機関を記す。

調査票——記載されている調査地は次の通り。南小松島駅、羽浦、立江駅付近、橋、桑野、和喰、平谷、平谷～川口、川口、日和佐、牟岐、甲浦、佐喜浜、佐喜浜～室戸岬、室戸岬～奈米利、奈米利～安田、安田～安芸、安芸、田井、田井～日浦、長沢、日比原、日比原～伊野、伊野～宇佐、横浪～須崎、久礼～窪川、窪川～小野川、小野川～影野、影野、入野、入野～中村、清水、小筑紫～宿毛、岩松、岩松～宇和島、宇和島～八幡浜、八幡浜～伊方、八幡浜～伊予下灘、下灘～菊間、菊間～西条、西条～川之江、川之江～詫間、詫間～高松、茶屋町～岡山。

移動中の乗物の車窓からの観察が主になっていると思われる。

134 石見路 附録 附丹波稻畑 昭二九

B6判 横書き 62頁

昭和29年10月19日と24日、27～31日の間の山口へ行った時および8月10日11日の兵庫県へ行った時の車窓や車内の記録を「車窓日記」の記録用紙へ記入したもの。

135 たたら日記 附録 昭和30/7月

B6判 横書き 54頁

昭和30年7月3日～17日の松江へ行った時の車窓や車内の記録を「車窓日記」の記

録用紙に記入したものを。

136 車窓日記 越前（31） 近畿（34）

B 6判 横書き 108頁

昭和34年10月12日から14日の淡路旅行，12月13日の近江旅行，7月2日，3日，4日，17日，10月2日，3月6日の期間の京阪神間の車窓からの記録を専用の記録用紙に記入したものと，昭和31年8月3日から7日の越前旅行，8月12日から13日の尾張旅行，8月16日の伊勢旅行の間の車窓や車内の記録を前半とは別の専用の記録用紙に記入したものを。

137 車窓日記 昭三三

B 6判 横書き 136頁

昭和33年8月21日から24日の紀和旅行の間および6月1日の山陽，6月1日から8日までの間の山陰旅行，7月14日の山陰旅行の間の車窓からの記録を専用の記録用紙に記入したものを。

138 車窓日記 四十曲峠 昭三四

B 6判 横書き 74頁

昭和34年11月21日から12月3日までの間の車窓からの記録を専用の記録用紙に記入したものを。

139 車窓日記 昭三四夏

B 6判 横書き 100頁

昭和34年6月3日から14日までの松江へ行って帰った旅行の車窓からの記録を専用の記録用紙に記入したものでコースは山陽まわりで行き山陰まわりで帰っている。

140 車窓日記 山陰 昭34～36

B 6判 横書き 82頁

昭和34年から36年の山陰旅行の車窓からの記録を専用の記録用紙に記入したもののまとめで旅行期間は34年8月18，19日と35年8月14日と，36年6月3日4日と，6月10日，11日の期間である。

141 車窓日記 越信道中 昭35

B 6判 横書き 164頁

昭和35年4月27日から5月10日までの越信道中間の車窓からの記録を専用の記録用紙に記入したもの。

142 車窓日記 山陽 昭36～37

B 6 判 横書き 124頁

昭和36年と37年の山陽旅行の車窓からの記録を専用の記録用紙に記入したもの。まとめで旅行期間は36年11月19日、11月23～25日、37年6月3日、6日～11日の期間である。

143 伊奈の春 昭38

B 6 版 横書き 114頁

昭和38年3月25～29日、京都・東京・諏訪・豊橋・京都間を列車で移動中の観察記録。「車窓日記」の用紙の票数46をとじてある。

[目次]

1. 京都～東京 2. 東京～韭崎 3. 韭崎～諏訪 4. 諏訪～水窪 5. 水窪～豊橋 6. 豊橋～名古屋(名鉄) 7. 名古屋～京都

144 道中記

B 6 判 70枚 未製本

昭和39年9月30日から10月10日まで、北九州をまわった折に、移動中の車窓から植物の生態を観察したノートである。

145 車中所見

B 5 判 2ツ折り 横書き 78枚 未製本

車中所見。規定用紙使用。

146 [無題]

B 5 判 2ツ折り 12枚 未製本

車窓日記。

147 朝妻船

B 5 判大学ノート 横書き 84頁

戸籍、計366名を記す。「当村」の記載あるも、どこの村かは不明。

[目次]

松原戸籍

148 池田市米山之口町宗門帳 (文久 2・3・4 元治 2 慶長 2・3・4 明治 2・3)

B 5 判 横書き 88頁

表記各宗門帳より抜き書きして写したものの。

[目次]

文久 2 年

文久 3 年亥 2 月宗旨人別家数員数帳。

文久四歳甲子二月宗旨人別長。

元治 2 年丑 2 月宗門人別長。

慶応 2 年寅 2 月宗門人別長。

慶応 3 年浄土宗, 禅宗, 一向宗, 日蓮宗, 真言宗, 宗門人別帳, 卯十月。

慶応 4 年浄土宗, 禅宗, 一向宗, 日蓮宗, 真言宗, 宗門人別帳, 辰 2 月。

明治 2 年浄土宗, 禅宗, 一向宗, 日蓮宗, 真言宗, 宗門人別帳, 巳三月。

明治 3 年浄土宗, 禅宗, 一向宗, 日蓮宗, 真言宗, 宗門人別帳, 午 2 月。

149 歌

15.6×9.7 cm 縦書き 154頁

短歌・随想を書き綴ったもの。年不詳であるが途中に三高二部三年の文字があり、1920年前後かと推測される。途中、他のノートの断片が挟まれている。

[目次] なし

[内容]

雑記・短歌・醸造物の作成行程。

150 加賀杜氏の概要

B 5 判 横書き 6 頁

加賀杜氏の推移を宝暦から昭和40年まで記したものの。

[内容]

丹波古流の酒造法を修得した加賀杜氏を、宝暦、天保、明治初年～30年頃、明治30年～昭和20年、昭和21年～40年の5期に分けて各々の概要を記したものの。

151 系図

B 5 判 53枚 B.6 判 64枚 未製本

調査年代不明。

152 月琴楽譜

B 6判 縦書き 170頁

月琴の曲を漢字とその読みの片仮名および楽譜の符号で書きあらわした楽譜の写本。

[内容]

等命曲・九連環・剪々花・抹梨花・四季・紗窓・賣脚魚・哈々調・萬壽寺宴・鳳陽調・補缸匠・親母鬧・漫波流水・久聞・風花集・璋州曲・富貴雙聯・滿江紅・魚水調
寶箭・尼姑思還・將軍令

153 讃岐酒史 浜政一

A 5判 横書き 56頁

内扉に「讃岐酒史 浜政一述 香川縣発行（非売品）昭和12年3月 高松」とある。『讃岐酒史』を抄録したもの。香川県における酒造業の歴史を多方面から論じた著。数ヶ所、篠田のコメントと思われる記述がある。

[目次]

1. 目次 2. 本文抜書き

[内容]

目次——序文、写真、第一章 酒と人類の関係 第二章 1. 太古 2. 古代 3. 奈良、平安朝時代 4. 鎌倉時代 5. 室町時代 6. 安土桃山時代 7. 徳川時代 第三章 酒造制度 第四章 讃岐に於ける麴製造業及醴並に雑酒 第五章 讃岐に於ける酒造従業者と出身地 第六章 酒価・賃金其他 第七章 酒に関する伝説・奇聞・風俗集 第八章 酒に関係ある神社 第九章 酒に関係ある人物 第十章 研究機関。

本文抜書き——第2章1～ロ 三豊郡に於る忌部氏の活動 第2章2～ロ 神櫛王の酒造 第2章2～ハ 黒丸酒 第2章3～ロ 酒部黒麴の酒 第2章3～ハ 香河郡に於ける秦人の酒造 第2章7～イ 全国の状態（徳川時代） 第2章7～ロ 金毘羅酒 第2章7～ハ 仁尾の酒、米・糝・水の配合に関し篠田自身のものと思われるコメントが付されている。第2章7～ニ 観音寺和田浜の酒 第2章7～ホ 龍宮の酒 第2章7～ヘ 小豆島の酒 第2章7～ト 丸亀の酒 第3章イ 法令税制第3章ハ 酒造組合 第4章イ 麴と室本浦 第4章ロ 醴 第4章ハ 白酒、練酒、味淋其他 第5章イ 香西町と香西杜氏組合 第5章ロ 豊浜杜氏 第5章ハ 引田杜氏 第5章ニ 仁尾杜氏、小豆島杜氏 第7章イ 酒に関する伝説 第7章ロ 酒戦奇聞 第7章ハ 風俗民謡 第8章 酒に関係ある神社 第9章 酒に関係ある人

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

物 第11章 酒銘物語 第12章 統計表。

154 三正綜覧 王朝，奈良，平安初

B 6判 横書き 120頁

A.D 581年から天長元年（824）までの和暦と太陽暦との月日の対照表で，表も製本も篠田先生の手製。

155 三正綜覧

B 6判 横書き 152頁

延暦十二年（793）から永長元年（1096）までの和暦と太陽暦との月日の対照表で，表も製本も篠田先生の手製。

156 三正綜覧 院政，鎌倉，南北朝

B 6判 横書き 144頁

永保元年（1081）から応安元年（1368）までの和暦と太陽暦との月日の対照表で表も製本も篠田先生の手製。

157 三正綜覧

B 6判 横書き 136頁

建武元年（1334）から慶長十年（1605）までの和暦と太陽暦との月日の対照表で表も製本も篠田先生の手製。

158 三正綜覧 抄 1601 A.D 以降

B 6判 横書き 132頁

慶長六年（1601）から明治五年（1872）までの和暦と太陽暦との月日の対照表で表も製本も篠田先生の手製。

159 住宅図

A 4判 84枚 未製本

調査年代は不明。住宅の見取図が1 m/m 方眼の用紙に書き込まれている。他にその住宅の場所，略歴，建築された年，改築の有無等について，記載されている。

160 新材木宗門帳

B 5判 横書き 60頁

地方は不明であるが，新材木町の天保3・4・7・13年及び安政7年の人別帳を写

したもの。綴じられていないので、袋に一まとめに入れてある。

[目次] なし

[内容]

天保3年 辰2月 人別帳——旦那寺院を記して、それぞれの檀家の石高・氏名・年令・家族構成を記す。

天保4年 乙2月 人別帳——記載内容・形態は上に同じ。

天保7年 宗門帳並人別員数帳 申2月——記載内容・形態は上に同じ。

天保13年 宗門御改人別員数帳 寅2月——記載内容・形態は上に同じ。

安政7年 申3月 宗門御改人別員数帳——記載内容・形態は上に同じ。

161 杜氏名簿

昭和26年より35年にかけて集められた、各地の杜氏の名簿がA4サイズの封筒に収められている。

名簿は、昭和26年城崎、昭和27年西条、昭和29年備中・西宇和郡・丹後、昭和30年南部・能登・広島・美方郡・出雲、昭和31年丹波・南部・香西、昭和32年美方郡、昭和35年福岡県、年代不明能登・愛媛県の各組合のものがある。

162 調査旅行記

B5判 横書き 80枚 未製本

年不明5月24日～28日までの木曾調査記。後16頁が資料となっている。

[内容]

旅程、道中献立、各地の民俗調査。

163 春の鳥

B6判変形 横書き 18頁

孔版印刷でつくった私家版野鳥観察マニュアルに書きこみをしたもの。緑色無地の包装紙を利用した台紙に孔版印刷の部分貼りつけて合本してある。作成時不明。

[目次]

比叡山概略図、凡例、本文、昭和七年観察実例。

[内容]

比叡山概略図—本文中に記した留鳥、漂鳥などの鳥の移動に関する分類の説明、鳴声の分類の説明を記す。

本文—98種類の鳥について分類番号、鳥名、科、形態の特徴、移動の種類、ハビタ

ット、オス・メスの鳴声の特徴、異名の欄をもうけている。これに見かけた月日、卵を発見した月日などを記入している。

昭和27年観察実例—5月28, 29日, 比叡山元黒谷青龍寺で早朝4時から朝の時間帯を, 30分間隔の時間帯に区切り, その間に発見した鳥の種類を記す。同様の観察を5月29日洛東の吉田山, 黒谷, 南禅寺でおこなったもの, 6月18日大文字山麓でおこなった記録も孔版印刷になっている。

164 吉野下市 宅田文書

B5判 縦書き 234頁

大和国吉野下市村の宅田家にかかわる文書を写したもの, 宅田家の家業であった釣瓶鮎の献上などについてや下市村の宮座・村役人についての文書が中心である。

[目次]

1. 天和三年 みつ訴訟一件 2. (享保七年) 宅田文書 宮座関係・村政など 3. (享保十一年) 村役人・宮座役人 任命の件 4. 天明八年 (含享保十七年裁許状) 織田豊前守様御代 芝村御役所様江寂静寺願出候ニ付宮座筋目より奉書上候書付扣・宮座弥助 5. 寛政五年 和州吉野郡郡中潰百姓取立願控 丑二月, 「(寛政十年), 慶長拾九年 御代官様御支配書 并当村宮座之取共由緒書」, 「享和二年 銀札・屋敷の件訴訟, 江戸引越」, 「(嘉永三) 旧宅取戻しの件 附賃入証文 (文久三)」, 「年次不明 可成後のもの 御觸書」, 「(寛政七) 宮座・村政関係」, 「享保六年御用講釈覚」, 「(寛政3) 家督無沙汰ニ相統候出入」, 「明和九 天明五 献上釣瓶鮎書付控」

[内容]

天和三年 みつ訴訟一件——家督争いについての取調に対する言上書。

(享保七年) 宅田文書 宮座関係・村政など——宮座の欠員補足と要銀工面についての証文。

(享保十一年) 村役人・宮座役人 任命の件——村・宮座役人の補充, 宮座年寄・沙汰人・庄屋の勤方大概書, 老順など。

(享保十九年) 讓状——丁銀, 家屋, 山林, 畑などの讓状七通を記す。

天明八年 (含享保十七年裁許状) 「織田豊前守様御代 芝村御役所様江寂静寺願出候ニ付宮座筋目より奉書上候書付扣」, 「宮座弥助——吉野郡下市村の寂静寺と宮座の間の八幡宮神田・神料の使用についての争いに対する願書」, 「裁許状」, 「神事供物献立」。

寛政五年 和州吉野郡郡中潰百姓取立願控 丑二月——京橋柳町の藤右エ門の店に奉公している弥三右エ門き自分の故郷である下市村の潰百姓についての願上書, 銀札

引替納の立替銀滞りにについての願上書。

(寛政十年) 慶長拾九年与御代官様御支配書 并当村宮座之取共由緒書——慶長19年よりの代官の任期、宮座の者の由緒(御用鮓献上、神田料用途など)。

享和二年 銀札・屋敷の件訴訟、江戸引越——銀札引替について、釣瓶鮓献上、鮓屋弥助の江戸引越願書。

(嘉永三) 旧宅取戻しの件 附賃入証文(文久三)——宅田弥助の家屋取戻の願書、差入引当証文。

年次不明 可成後のもの 御触書——釣瓶鮓献上についての触、2通。

(寛政七) 宮座・村政関係——庄屋惣八訴え、新規村役人の事等村政関係文書一通、家屋取戻願書一通(釣瓶鮓献上相勤とあり、おそらく弥助の出したものであろうと考えられる。)

享保六年 御用講釈覚——献上御鮓相勤諸役御赦免、御鮓所儀、御鮓差上ケ申訳書留、(鮓献上延期、鮓献上日、鮓取り日等覚、鮓鮓仕始、献上始、員数等覚、諸色新銀立通用仕御触、鮓通用新銀御値段ニ改メ、献上御鮓の作り方、差上ケ申済状之事、寛永拾七年～享保拾五年までの代官氏名、など。

(寛政3) 家督無沙汰ニ相統候出入——家督出入についての鮓屋弥助一家の願、銀札の事など11通。

明和九 天明五 献上釣瓶鮓書付控——村ごとの献上鮓の数、鮓取りの定め、鮓の外箱・内箱の定め、免札写し、釣瓶鮓献上の触、御絵符写し、献上鮓入目録、献上御鮓村割目録。

165 [無題]

18.8×12.8 cm 64頁

中国・朝鮮の名勝を漢詩を混ぜながら記したもの。表紙・裏表紙脱落。

[目次] なし

[内容]

釜山、東萊、蔚山、金海、梁山、密陽、清道、慶山、大邱、永川、慶州、迎日、高靈、碑泉、永同、滂同、大田、清州、菱岐、天安、水原、始興、京城。

166 [無題]

10.1×15.5 cm 縦書き 126頁

資料ノートと思われるが、表紙・裏表紙脱稿のため年代不詳。

篠田統資料目録Ⅰ（フィールド・ノート）

[目次]

松の葉（省景巻二巻四 抄巻一卷三巻五） 建礼門院右京大夫集（全）。柱頭（数種）。小住宅設計（数種）。鳥居（各種）。

[内容]

松の葉。建礼門院右京大夫集。柱頭図。住宅設計図。鳥居図。樹形図。仁勢物語上。伊勢源氏十二番女合。唯物史論。

167 [無題]

13.2×8.3 cm 114頁

台湾銀行の手帳を転用。フィールドに使用したノート，メモと思われる。

[内容]

南紀の死亡原因率。時刻表。食用或いは薬用食物の有用部分別メモ。

168 [無題]

B4判 横書き 2枚

調査地，年月不明。天保8年～慶応2年まで及び天保8年～弘化1年までの出生・死亡・婚姻による人口の変動の表。

双方とも，フィールド・ノートに組込まれるものかフィールド・ノート製作用の資料と考えられる。

169 [無題]

B5判 横書き 5枚

調査地，年月不明。家系及び家族構成に関するメモ。

いずれフィールド・ノートに組込まれる予定のものか，または，フィールドノートの下書きと思われる。

170 [無題]

B4判2ツ折り 1枚 横書き

調査地・年月不明。文久1年～万延1年までの家族構成状況の表。

いずれフィールド・ノートにはさまれる予定か，或いはフィールド・ノート用の資料であったと推定される。

読 書 ノ ー ト

[解説]

たいへんな博識のもちぬしであった先生は、和漢洋の古今の書籍に通じられていた。質問すると、たちどころに典拠をあげて答えられる先生の記憶力には皆がおどろかされたことであるが、その正確な知識はどうやら漫然とした読書によるものではなく、努力の結果のものでもあった。主として昭和20年代から30年代に書かれたとおもわれる読書ノートが残されている。重要だとおもわれた本を読むさいには、たんねんなメモをとっている。後年の読書ノートがないのは、349頁以下に目録をあげた文献カードに抜書きをするシステムに切りかえたからであろう。

読書ノートの形式はさまざまであるが、分量のおおいは、市販の日記帳を利用して書かれたものである。縦書きの升目の印刷されている日記帳の経を無視して、細かい文字で横書きにしたものである。また、手書きのノートだけではなく、関連資料を貼りつけたり、頁のあいだにはさみこむこともおこなわれている。

[凡例]

- 1) 1冊のノートにまとめて1冊の書籍が記されている場合は、表紙にタイトルがつけられている。
- 2) 1冊のノートに複数の書籍の読書メモが記されている場合がおおいが、このさい、そのノートに記されている書名を目次として表紙の裏などに書いた形式のものがある。このような場合、それを[目次]としてとりあつかった。
- 3) 原則として、[内容]の部分にはメモをとった本の著者名、書名、出版社名、発行年月日を記入した。このさい、もとのノートに記されているままに写してある。したがって、もとのノートにそれらの事項で記載されていないものについては、この目録からもはぶかれている。
- 4) []のなかに記載した事項は原本にはなく、編者が便宜のためにつけくわえた事柄である。
- 5) それぞれのノートが書かれた時期については記されていないが、そこに記載されている本の発行時期や、日記帳の刊行された時期などを編者が推定して、おおまかな年代順に配列した。

001 モリツィオ 食用植物史 I

菊判 手製本 横書き 246頁 (うち28頁は未製本の状態ではさみ込まれている)

A. Maurizio 著, “Histoire de l'alimentation végétale depuis la préhistoire jusqu'à nos jours” (先史時代から現代にいたる食用植物の歴史), Payot, paris 1932 の第1部の翻訳と第2部の抄訳, 第4～9部の目次を収録してある。この本は, 世界の諸民族が食用植物を歴史的に如何に利用してきたかその具体的加工法, 料理法も記述したもので, 先生も著作のなかにしばしば引用している。原本は『篠田文庫』にはない。この作業のおこなわれた年代は不明であるが, 昭和20年代のことと推定される。

[内容]

原本の書誌と, 第1部の目次をタイプしたもの(4頁)。

13章で構成される第1部「土地耕作が始まるまえの食用植物」の本文の翻訳文190頁。挿絵を模写したものもいれられている。植物名などはフランス語のまま記されているが, 原文に和名を付したのもも多い。

原本 606-628 頁の食用植物表を植物名はタイプで, その他の部分は日本語訳をして転写した部分(22頁)。

第2部の目次のタイプ(2頁)。

第2部第1章「穂刈り, 鎌の起源。穂の採集。落穂ひろい」の冒頭の翻訳, 第5章「致酔醸造。古代における Alcohol と食品の争闘。蜂蜜と蜜水。砂糖とデンプンと酒精。真正の酒精保護者」および第6章「低文化圏における醸酵飲料。地上に於る禁酒地域のかず」の翻訳(原本と対比できないので不明であるがおそらくこの部分は抄訳であろう)と第7章「スープとその誘導物。むすび」の冒頭の翻訳(合計22頁)。未製本ではさみこむ。

第4～9部(第3部は欠いている)の目次のタイプ(4頁)。

002 [無題 I]

A 5 変形判 横書き 204頁

原稿用紙の升目のある昭和16年の建設会社版の日記を転用。他に読書メモとして紙片16葉を挿入。また他のノート12頁分を補足している。収録された本の出版年から推定すると, 昭和20年代につくられたノートと考えられる。ほかにパンフレットの切抜き, 京都府のメモ, 待庵がはさんである。

[目次]

明治事物起源。食味の真髓を語る。続々美味求真。春日世家日記。美味求真。我国民間信仰史の研究。続美味求真。日本経済史。世界人は如何にたべつつあるか。図説

篠田統資料目録Ⅰ（読書ノート）

日本文化史大系 別巻。三田村鳶魚著作目録。日本文化史講座（近世）。日本寒貝抄。
日本菓子宝鑑。菓業必携。あまいはなし。

[内容]

- 『明治事物起源』 石井研堂 南堂 明41-1-1
『食味の真髓を探る』 波多野承五郎
『続々美味求真』 木下謙次郎 中央公論社 昭15-4-24
『春日社家日記』 永島福太郎
『美味求真』 木下謙次郎 啓成社 大14-1-8
『我國民間信仰史の研究』 堀一郎 大阪創元社 昭28-11-15
『続美味求真』 木下謙次郎 中央公論 昭15-4-20
『日本経済史』 中村吉治
『世界人は如何にたべつつあるか』
『図説日本文化史大系 別巻』 創元社 昭29-10-5
『日本寒貝抄』 吉田敬 昭24-4-20
『日本菓子宝鑑』 大正5-4-10
『菓業必携』 田茂井秀次郎 昭4-5-21
『あまいはなし』 後屋敷保啓 昭21-9-15

003 [無題 II]

A 5 変形判 横書き 192頁

原稿用紙の升目のある昭和15年の建設社版の日記の転用。ほかに読書メモを紙片に記したものの21葉、「足袋史攷」遠藤武（A 5判、発行年月日、所収不明 雑誌の頁を破いたもの）、新聞の切り抜き3葉を挿入してある。収録された本の出版年から推測すると、昭和30年代前半につくられたと考えられる。

[目次]

食物風土記。茶懐石。包丁控。日本史研究事典。俎上の魚。たべもの味の百科。萩舟食談。舌鼓のうちどころ。日本文学に現われたものの運搬。お茶のすべて。すし。日本の歴史（日本のはじまり）。日本文化史講座（1）。中世住居史。風俗語解釈。建築学大系。日本劇場史の研究。浮世絵史話。

[内容]

- 『茶懐石』 辻嘉一 婦人画報7版 昭33-9
『俎上の魚』 末広恭雄・柳原敏雄 昭33-8-10 講談社
『日本史研究事典』 創元社 昭32

- 『たべもの 味の百科』 多田鉄之助 タヴィット社 32-7-10
- 『萩舟食談』 住吉書房 昭28-10-15
- 『舌鼓のうちどころ』 江原均 北辰堂
- 『日本文学に現われたものの運ばん』 宮野武雄 31-5-5
- 『すし』
- 『お茶のすべて』 34-1
- 『日本の歴史』 1, 日本のはじまり 34-1
- 『日本文化史講座』
- 『中世住居史』 伊藤鄭爾著 京大学術叢書14, '58-5-30
- 『建築学大系』 4, 日本・東洋建築史
- 『日本劇場史の研究』 須田敦夫 相模書房 35-5-20
- 『浮世絵史話』 檜崎宗重
- 『食物風土記』
- 書名, 発行年月日 著者不明, (内容から人相, 骨相学関係の本と思われる)
- 『日本の歴史』 1, 34-1 (書中の図, 地図を写したもの)
- 『国文故実風俗語集訳』 客儀服飾篇 昭10-4-20
- [日記にはさまれた新聞の切り抜き]
- 朝日新聞, 昭和34-10-13, 昭和35-11-6, 昭和36-5-8
- [日記にはさまれた印刷物]
- 「足袋史攷」 遠藤武 (A 5判 発行年月日, 所収不明 雑誌の頁を破いたもの)

004 楽久我記

A 5変形判 横書き 396頁

原稿用紙の升目のある1934年の新正堂版の日記楽久我記の転用。ほかに読書メモを紙片に記したもの9葉, 印刷物3葉を挿入してある。収録された本の出版年から推測すると, 昭和30年代後半に作られたノートと考えられる。

[目次]

日本全史 原始・考古学研究法・古生人類発掘。民衆生活史研究。日本女性史考。日本文学における生活史の研究。食物文化史。食物の真髓。日本百科年表。料理のこつ。味。舌。舌の散歩。上方落語の研究。飲食事典。随筆飲食日本史。日本の建築。日本民俗学大系, 生活と民俗 I。喫煙具 日本風俗史 I。江戸生活事典。味噌汁365日。

[内容]

『食生活』目次

篠田統資料目録Ⅰ（読書ノート）

『日本全史，原始』 斎藤忠 昭33-7 この間に『世界の歴史』1巻のメモが補足されている。

『民衆生活史研究』 西岡虎之助 福村書店 '48-11-10

『日本女性史考』 西岡虎之助 新評論社 昭31-5-20

『日本文学における生活史の研究』 西岡虎之助 1954-5-25

『歌謡からみた近世の農村経済』 「文学15-9」(1947)

『中世経済文学における村落生活』 「解釈と鑑賞」 1921-8

『近世田舎人の文学的感覚』 「文学1-2」1937-4

『食物文化史』 大塚力・青木英夫共著 昭32-3-13

『食味の真髓』 多田鉄之助 万里閣 昭26-8-1

『新日本史年表』 記紀，考古学 西岡虎之助 1955-12-20

『料理のこつ』 秋山徳蔵 有紀書房 昭34-3-31

『味』 秋山徳蔵 東西文明社 昭30-3-31

『味の散歩』 福井武生 産経新聞 昭31-4-10

『舌』 秋山徳蔵 東西文明社 昭32-6-10

『上方落語の研究』 前田勇

『みそ汁三百六十五日』 辻嘉一 婦人画報社 昭和34-11

『飲食事典』 本山萩舟 平凡社 昭33-12-25

『随筆的 飲食日本史』 本山萩舟 青蛙房 31-9-15

『日本の建築』 藤島亥治郎

『喫煙具と喫煙』

『食事・食器』 川端豊彦

『食品』 井之口章次

『食料の種類』 井之口章次

『食物の調製と貯蔵』 橋浦泰雄

『日本民俗学大系 生活技術』 「生活と民俗」昭33-4

『近世法史双書』 石井良助

『近世俳句大索引』 安藤英方

『改訂 強化食品学』 稲垣長史 第一出版 昭34-2-20, 35-6-30

『石器の口考』 昭37-7-15

[日記にはさまれた印刷物]

日本の庭園に関する書籍の発行案内。

柿についての雑誌の切り抜き。

005 [無題 III]

24.5×19 cm 横書き 153頁

『世界の果樹蔬菜』と題して植物に関する文献を集め筆写している。他に関連するB5判サイズのメモや、プリントが15枚はさみ込まれている。引用文献の発行年度から推定すると昭和30年代後半につくられたノートと考えられる。

[目次] なし

[内容]

「寒地において食用に供せられる野生植物」並河功・北村繁太郎・吉良竜夫『園芸研究』iii p.163～173 昭和21年11月

「東亜の果樹目録」寺見広雄『園芸研究』p.174～181

「RECONNAISSANCE SURVEY OF FRUIT TREES OF THE WORLD I TOTAL NUMBER OF FRUIT TREES」Tyozaburo TANAKA『園芸学会雑誌』第17巻第3・4号 p.224～230

[メモ]

「柑橘の花芽分化調査」

書状 1960年2月23日

書状 1960年1月29日

『MONOCOTYLEDONEAE』1960年

006 [無題 IV]

B6判 横書き 31枚

年月日不明 食物、風俗関係のメモ、洒落本の読書ノート同様、古文獻からのメモと思われる出典不明。

007 洒落本 1

B5判 縦書き 77頁

洒落本の中から、風俗、食生活に関する必要事項の部分を抜き書きしたもの。他に、印刷物が1葉、紙片が7葉はさみこまれている。

[目次] なし

[内容]

『両巴卮言』 享保13 擊鉦先生。身毒浪人天魔擊鉦。遊戯堂主人。吉原

篠田統資料目録Ⅰ（読書ノート）

- 『史林残花』 享保15 遊戯堂主人 吉原
『瓢金窟』 延享4 烏有主人仮托作 大阪新町
『百花評林』 延享4 探花亭主人 大阪
『路婦人伝』 宝暦3 泥郎子＝山岡明阿弥＝俊明。深川入江町
『魂膽惣勘定』 宝暦4 石嶋政植 一般
『浪花色八卦』 宝暦6 外山翁 大阪
『月花余情』 宝暦6 戯笑閣主人 大阪島の内
『陽台遺編』 宝暦6 戯笑閣主人 島の内
『遊客年々考』 宝暦7 鮮仁軒
『聖遊廓』 宝暦7 大阪道頓堀
『穿当珍話』 宝暦7 八幡大名（献笑閣） 一般
『異本子六帖』 宝暦7 澤田東江 一般
『段彌味草紙』 宝暦9 鎮西翁 一般
『くたまき綱目』 宝暦11 不成山人 京都
『列仙伝』 宝暦13 先賢トナ 一般
『煙華漫筆』 宝暦 張葛居辰 葛鳥反（安永元） 大阪
『男倡新宗□々経』 宝暦 鎮西翁 大阪
『花路色童袂案内』 宝暦 京都
『閑居方言』 明和5 玩世道人 吉原
『郭中奇譚』 明和6 臼岡先生 吉原
『間似合早粹』 明和6 史魯徳斎 一般
『遊子方言』 明和7 田舎老人多田爺 多田屋利右エ門 吉原
『更の体』
『辰巳の園』 明和7 夢中散人寝言先生 深川
『蕩子釜枉解』 明和7 茶釜散人
『無量談』 明和8 盟嶋隠者覚蓮房 一般
『遊婦多数寄』 明和8 一般
『六丁一里』 明和 万事高慢仙 京都
『浪花今八卦』 安永2 備四郎軒 大阪
『陽台三略』 明和 鎗華子 鎗花子 田和子 方々遊里芝居 苦先生、品川、高輪
『当世気転草』 安永2 金金先生 明滅堂弁三二 内藤新宿
『当世風俗通』 安永2 金錦佐慌流

- 『南閩雑話』 安永2 夢中散人 品川
 『古今馬鹿集』 安永3 南好先生 品川
 『吉原細見里のをた巻評』 安永3 風流来山人 吉原
 『擲錢青楼占』 安永3 金比羅山人 讃岐
 『婦美車紫鹿子』 安永3 浮世偏歴斎道郎苦先生 品川・高輪
 『甲馱新話』 安永4 風鈴山人 四谷内藤新宿
 『寸南破良意』 安永4 靈岸島（こんにゃく嶋）
 『青楼栄種』 安永4 雲中金山蝶 本所回向院前の岡場所
 『後編女風俗通』 安永4 金錦先生
 『虚誕伝』 安永4 虚誕堂□手古山人 一般
 『東都青楼八詠並略記』 安永4 瀬臥散人
 『契国策』 安永5 無名子 岡場所品川
 『当世爱かしこ』 安永4 御無子磨春記
 『当世左様候』 安永5 無物磨別世界 一般
 『風流裸人形』 安永7 大阪
 『桜川微言』 安永6 北斎 芝愛宕山下水茶屋
 『妓者呼子鳥』 安永6 田にし金魚 日本橋橋町 京都木挽町・女芸者
 『郭中掃除』 安永6 □道人
 『ことぶきぐさ』 安永6 湖上丸吞
 『大通伝』 安永6 高慢斎
 『中川雀』 安永6 道□散人無玉 中川
 『売花新駅』 安永6 □□館主人 山崎景貫。新宿。
 『野路の多和言』 安永7 楽山子
 『一事千金』 安永7 田にし金魚 吉原
 『十八大通百手枕 傾城買指南所』 安永7 田水金魚
 『□情買虎の巻き』 安永7 田深金魚 吉原
 『淫女皮肉論』 安永7 田水金魚 深川・吉原・品川・新宿
 『広街一寸間遊』 安永7 献笑軒 山下（岡場所）
 『大通秘密論』 安永7 夢中庵 吉原
 『南江駅話』 安永7 北左農山人 品川
 『伊賀越増補合羽之龍』 安永8 蓬萊山婦橋
 『無礼通説法』 安永8 杜選大和尚

篠田統資料目録Ⅰ（読書ノート）

- 『女鬼産』 安永8 無氣しつちう 一般
『蚊不食呪姐曾我』 安永8 桃栗山人排発才
『雑文穿袋』 安永8 朱口館主人
『廻覧奇談深遠情』 安永8 楓陵 一般
『酔婆夢中』 安永8 一米遊 一般
『大通愛想盡』 安永8 中橋狸吉 一般
『大通法話』 安永8 可客
『大抵御覽』 安永8 朱口館主人 待乳山三橋亭 中洲 高田・富士
『南客先生文集』 安永 南樓坊路？
『風流廓中美人集』 安永8 柿本暗丸 吉原
『百安楚飛』 安永8 時雨庵主人 吉原
『深川新話』 安永8 山平馬鹿人 太田蜀山人 深川
『美地之蛎壳』 安永8 深川 蓬萊山人婦橋 深川
『家暮長命四季物語』 安永8 蓬萊山人婦橋 深川
『呼子鳥』 安永8 鷺鳥亭 品川・山下
『龍虎問答』 安永8 蓬萊山人婦橋 吉原
『辯蒙通人講釈』 安永9 指南物 口巽軒
『客者評判記』 安永9 桃栗山人柿発斎
『廓中名物論』 安永9 宗量斎
『神代摺昧論』 安永9 泉花堂三蝶
『当世似山氣登里』 安永9 上戸庵醉人狂
『嘶之画有多』 安永9 南陀加紫蘭 窪田春口 吉原
『隣壁夜話』 安永9 一婦坊
『大通俗一騎夜行』 安永9年 志水率
『多荷論』 安永9 茶にし金魚
『多圭余字辞』 安永9 不浮散人 品川
『玉菊灯籠弁』 安永9 南陀加紫蘭 窪田俊口
『根柄異軒之伝』 安永9 著々羅山人
『芳深交話』 安永9 深川
『風俗砂払伝』 安永9 時雨庵山人
『初葉南志』 安永9 吉原・深川・品川・堺町

[ノートにはさまれた紙片]

食品名（統計をとったと思われる）

[ノートにはさまれた印刷物]

「難波津」No. 32, 1967・4

008 洒落本 2

B 5 判 縦書き 58頁

洒落本の中から、風俗、食生活に関する必要事項の部分を書き出したもの。

[内容]

- 『遊婦里会談』 安永9 蓬萊山人婦橋 一般
 『金枕遊女相談』 安永9 無署名
 『狐の藻』 安永 噂話 無署名
 『咲分論』 安永年間 竹窓
 『粋町甲閨』 安永6・7? 山手の馬鹿人 新宿
 『世説新語茶』 安永6以前 山手の馬鹿人 蜀山人 谷中いろは茶や
 『大通多名於略志』 安永 閑言□山人
 『太平楽巻物』 安永 天笠老人
 『駅者三友』 安永8? 秩部紀南子 新宿
 『変通経井茶話』 安永 山の手馬鹿人 軽井沢
 『通志選』 安永6 世満里南鎌（当世六知鳥の改作）
 『里鬻風話』 安永10 明和7, 8 風来山人
 『記原情語』 天明元 蓬蕩
 『傾城異見之規矩』 天明元 噂話 堪忍庵呉陵□
 『公大無多言』 天明1 指南 行成山房大公人
 『真女意題』 天明1 森羅万象 芝神明
 『当世繁栄通寛』 天明1 繁盛院隋羅斎
 『通仁枕言葉』 天明1 蓬萊山人婦橋 深川仲町
 『突当富魂短』 天明1 西奴
 『にやん事だ』 天明元 止動堂□呑
 『三都仮名話』 天明1 閨厘坊 葺屋町塔町の大火
 『無陀物語』 天明1 □□山人
 『風俗問答』 安永5 劉道酔・多狼山人 世相
 『娼妃地理記』 安永6 道陀楼麻阿 吉原
 『当世穴知鳥』 安永6 松寿軒東朝

篠田統資料目録Ⅰ（読書ノート）

- 『雲井草紙』 天明1 北斗先生 通
『新吾左出放題盲牛』（品川海苔はこの改題）天明1 大盤山人偏直 通
『通人三國師』 天明1 夢中東介 吉原 岡場所
『ゑ世物語』 天明2 止働堂馬呑 伊勢古市
『古今三通伝世相』 天明2 夢中庵江陵散人
『こんたん手引ぐさ』 天明2 青木氏 買指南
『世界の幕なし』 天明2 本膳亭坪平 坪比良 恵居
『当世導通記』 天明2 天竺老人 道中記
『通人の寝言』 天明2 桃栗山人 烏亭焉馬 吉原
『つれつれ酔か川』 天明2 西口甚三郎酔川子
『登美賀遠佳』 天明2 豊川里舟 深川
『蛇蛻青大通』 天明2 天竺老人 下界隠士 森羅万象 一般
『富賀川拝見』 天明2 蓬萊山人帰橋 深川
『深弥満於路志』 天明2 烏可鳴 指南
『山下珍作』 天明2 十津奈蒔野馬乎人上の山下
『金錦三調伝』 天明3 早田五猿 東叡山下三橋櫓の楊弓店 新吉原
『愚人贅漢居続借金』 天明2 蓬萊山人帰橋 深川
『傾情知恵鑑』 天明3 雲口山人 買指南
『傾城懐嘶』 天明5 一艸亭百馬 仮宅
『濟都酒美選』 天明3 志水率
『柳巷訛言』 天明3 嘶本 明誠堂喜三二
『（通神孔釈）三教色』 天明3 和泉屋源蔵 新吉原 唐口参和
『集口本紀』 天明4 島田金谷 江戸自慢
『角雞卵』 天明4 月亭可笑 内藤新宿
『浮世の四時』 天明 阿陀伽紫蘭 仮宅
『残座訓』 天明4 鈍九斎章丸
『太平楽記文』 天明4 烏亭焉馬 髪結条
『二日酔卮觥』 天明4 万象亭森羅万条芝居
『誰が袖日記』 天明5 宝嘉僧 中出長右ヰ門 江戸橋町の女芸者の口文
『大通とらの巻』 天明5 下界陰士 森羅万象 指南書
『深川手習草紙』 天明5 十方茂内 深川衷櫓
『和唐珍解』 天明5 康来参和 長崎丸山

『令子洞房』 天明5 山東京伝 指南

009 洒落本3

B5判 縦書き 59頁

洒落本の中から風俗・食生活に関する必要事項の部分を書きしたものを。

[目次] なし

[内容]

『無駄酸辛甘』 天明5 千差万別 万障亭門人 吉原行

『客衆肝照子』 京伝 世相

『短華薬葉』 天明6 玄十 大阪

『其あんか』 天明6 中橋散人 深川仲町

『人遠茶懸物』 天明6 一払齋 大伊寛十郎 芝□□

『服神卒語録』 天明6 万象亭 吉原

『無弾砂子』 天明6 多羅福孫左エ門 世相

『田舎芝居』 天明7 万象亭 越後国大□郡妻有口南鑑坂村

『古契三娼』 天明7 京伝 吉原・深川・品川

『通言総籙』 天明7 京伝 穴さがし

『不仁野夫鑑』 天明7 京□山人 医者

『面美知之娼』 天明7 南朝山人 品川

『一向不通替善運』 寛政6 山□蜂□ 富本のケイコ所

『虚実情夜桜』 天明8 梅松亭庭鷺 郭生活

『一目土堤』 天明8 内新好 内田屋新太郎、帆摺屋主人 本所一ツ目（本所十歳町）回向院前の八兵エ屋敷

『傾城鱷』 天明8 京伝

『女郎買之糠味噌汁』 天明8 赤蜻蛉 中洲

『青楼五ツ雁金』 天明8 梅暮里谷峩梅月堂主人 吉原

『曾我糠袋』 天明8 京伝 吉原 唐州

『夜半の茶□』 天明8 山東鶏吉

『吉原楊枝』 天明8 京伝 指南

『自惚鏡』 寛政1 楓鷺亭 北廓

『廓大帳』 寛政1（天明9）京伝 吉原

『志羅川夜船』 寛政1 吉原

『通気粹語伝』上編 寛政 京伝 吉原

篠田統資料目録 I (読書ノート)

- 『中洲の華美』 寛政 1 内新好 仮宅
『南極駅路雀』 寛政 1 逸我 品川
『双床満久羅』 寛政 1 山手山人
『京伝予誌』 寛政 2 京伝 世相
『傾城買四十八手』 寛政 2 京伝
『繁千話』 寛政 2 京伝
『田舎談義』 寛政 2 竹口東子
『格子戯語』 寛政 2 振鷺亭 深川
『傾城真之心』 寛政 2 心口指南
『染抜五所紋』 寛政 2 梅月堂棍人
『文選臥坐』 寛政 2 狂爾湖舟 谷我

010 洒落本 4

B 5 判 縦書き 61頁

洒落本の中から風俗・食生活に関する必要事項の部分を書き出したもの。他に紙片
15葉がはさまれている。

[目次] なし

[内容]

- 『仕懸文庫』 寛政 3 京伝 深川
『傾城診種』 寛政 2 泥田坊夢成
『傾城絹籠』 寛政 3 京伝 吉原
『錦之裏』 寛政 3 京伝 吉原五ツ時一七ツ時
『酔の筋書』 寛政 6 凜見屋凜楽 大阪新町・島の内・新池・新堀・新屋敷
『北廓鶏卵方』 寛政 6 吉原 百一誌
『養漢裸百貫』 寛政 8 睥川子 京都
『仮根草』 寛政 7 紅月楼 深川 (吉原仮宅)
『廓の池好』 寛政 8 石橋庵増井 三河・池鯉鮒
『名所拜見』 寛政 8 紀橋柳下 芝明神・深川古石場
『うかれ草紙』 寛政 9 広莫野人 鹿百川堂藩河 京都ギオン
『廓通遊子』 寛政 9 藍江 吉原
『戯言浮世瓢箪』 寛政 9 呉句堂 京都
『十界和尚話』 寛政 9 酒屋橘子 道頓堀・斯波新地・南赤町・島の内
『阿蘭陀鏡』 寛政 10 借着行長 京都祇園

- 『傾城買二筋道』 寛政10 梅蓉里谷峨 吉原
 『辰巳婦言』 寛政10 三京 深川
 『来芝一代記』 寛政9 指南
 『廓節要』 寛政11 楽亭馬笑 三馬補 吉原
 『傾城買談客物語』 寛政11 三馬 吉原丸 吉原
 『契情買言告鳥』 寛政12 谷峨 吉原
 『二筋道 三篇 零の程』 寛政12 谷峨
 『昇平楽』 寛政12 白舟 大阪
 『青楼真廓誌』 寛政12 松葉亭 吉原 西河岸・小谷
 『大同契語』 寛政12 笹浦鈴成 新宿
 『通俗子』 寛政12 昌平庵□橋

[ノートにはさまれた紙片]

食品名の統計

011 洒落本 5

B 5判 縦書き 58頁

洒落本の中から風俗・食生活に関する必要事項の部分を抜書きしたもの。

[目次] なし

[内容]

- 『南遊記』 寛政12 最一拳六 大阪
 『白狐通』 寛政12 谷峨 □□譚
 『風俗通』 寛政12 松風亭如琴 深川
 『松登妓話』 寛政12 鸚鵡齊貢 吉原
 『廓数可佳妓』 寛政12 成三鳳楼茶 神田あつ丸枝
 『遊ふへの茶から』 寛政12 艶示楼主人 深川
 『遊僊窟烟の花』 寛政7 薄倅先生
 『御膳手打翁曾我』 寛政年間刊 振鷺亭
 『面美多勤身』 寛政 廓通交同集交作 深川
 『客衆一華表』 寛政 (関東米作) 振鷺亭 深川
 『玉の蝶』 寛政 関東米作 深川
 『孔雀梁勤記』 寛政 山□亭主人
 『契情実之巻』 寛政 井之裏楚登美津 吉原
 『契情実之巻』 後編 (稿本) 文化元 減放晦六九 楚登美津

篠田統資料目録Ⅰ(読書ノート)

- 『取組手鑑』 寛政 関古米作 切見世
『秘事真告』 寛政 普穿山人 大阪
『部屋三味線』 寛政 流女それがし 吉原・深川
『見通三世相』 寛政 8 振鷲亭
『不粹照明房情記』 寛政 深川と吉原
『良夜静搔』 寛政 藍川風過 吉原
『仇手本』 享和元 小金あつ丸 深川
『色講釈』 寛政 13 享和元 一九 柳橋 吉原
『恵比良濃梅』 享和元 一九 吉原
『嘉和美多里』 享和元 擔柴樵夫
『甲子夜話』 享和元 谷峨 吉原
『廓の桜』 享和元 谷峨 吉原
『匂ひ囊』 享和元 塩屋艶二 吉原
『比翼球』 享和元 宇田京庵嬉丸』

012 洒落本 6

B5判 縦書き 77頁

洒落本の中から風俗・食生活に関する必要事項の部分の抜書きしたもの。他にハガキ1枚と紙片1葉がはさみこまれている。

[目次] なし

[内容]

- 『(月雪) 二蒲団』 享和 2 酔醒水吉 内藤新宿
『三千の紙屑』 享和 2 うくひす谷自眠仮宅
『野良の玉子』 享和 1 一九 吉原
『夢の盗行』 享和 2 谷峨 吉原
『姫意忪思』 享和 2 谷峨
『商内神』 享和 1 一九 吉原
『穴可至子』 享和 2 富久亭 吉原
『祇園祭礼桃燈蔵』 享和 2 蘭奢亭香保留 品川
『起承転合』 享和 2 一九 吉原
『妓情返夢解』 享和 2 谷峨
『野狐于宝這入』 享和 2 一九 吉原
『廓意気地』 享和 2 一九 吉原

- 『婦足齋』 享和2 成三楼主人 吉原
- 『戯作評判花折紙』 享和2 十文字舎目恐菊屋蔵伎・並木新作 合作 深川 塩屋
艶二
- 『滑稽遊治郎』 享和2 一九 吉原
- 『意妓口』 寛政年間 振鷺亭 深川
- 『嫖客三昧誌』 享和2 塩屋艶二
- 『倡客窺学問』 享和2 一九 吉原
- 『青楼娼言解』 享和2 蘭奢亭主人香保留
- 『青楼小鍋三』 享和2 成三楼主人 吉原
- 『青楼日記』 享和2 白陽東魚 吉原
- 『青楼松の裡』 享和2 一九
- 『通神戯』 享和1 小金あつ丸
- 『後編香之袋』 享和2 塩屋艶二
- 『甲駄雪折笹』(稿本) 享和3 酒艶堂一醉 新宿
- 『甲駄夜の錦』 享和3 宇治茶屋 内藤新宿
- 『(岡目八目) 佳妓窺』 享和 小金あつ丸 深川
- 『廊瞻競』 享和3 小金あつ丸 仮宅
- 『魂膽胡蝶枕』 享和2 著条斉広長 浅草 吉原
- 『酒徒雅』 享和3 衛いじ 吉原
- 『(南門) 兎婦』 享和2 塩屋主人 品川
- 『素見数子』 享和2 一九 吉原
- 『吉原談語』 享和2 一九 吉原
- 『富岡八幡鐘』 享和2 かはきち 深川
- 『(当世) 嘘之川, 空言の河』 文化1 粹川子
- 『傾城買花角力』 文化1 菊黄金雲裡
- 『叶福助畧縁起』 文化2 振鷺亭 両国
- 『面和俱嘶』 文化3 達楼亭主人 四谷新宿
- 『船頭深話』 文化3 四季山人 深川
- 『一盃記言』 橋本 文化4 五岳亭
- [ノートにはさまれた紙片]
- 事柄に関するメモ
- [ノートにはさまれた葉書]

昭和42年5月13日付，岩田浩太郎宛，篠田統出。

013 洒落本 7

B5判 縦書き 36頁

洒落本の中から風俗・食生活に関する必要事項の部分を書き出したもの。

[目次] なし

[内容]

- 『やまあらし』 文化5 種彦 浅草
『婦身嘘』 文化3 稿本 陶器求編成 深川
『青楼快談』 文化7 玉里語言 吉原玉屋 玉斎笑馬
『花街鑑』 文化9 玉菊
『青楼女庭訓』 文化6 鼻山人
『傾城情史』 天保3 関亭京鶴
『竊潜妻』 文化4 盛田小塩
『意気客初心』 天保7 山月庵主人 関亭京鶴
『粹好伝夢枕』 文化12 市中庵 神戸湊川
『籬の花』 文化14 白果山人 吉原
『妓娼情子』 文政 鶯蛙山人 新吉原
『船頭部屋』 文化4 猪牙散人 深川
『吉原帽子』 文化 煙花浪子
『夜廊行灯』 文化 桃猿舎犬雉
『四十八手後之段』 一京伝居士談一 文政1 馬鹿山人
『廓宇久為寿』 文化1 鼻山人
『五臓眼』 寛政 山旭亭主人 深川
『漢讚極史』 寛政 千代丘芋菴主人 社会層
『三人酩酊』 寛政11 三多楼主人
『品川海苔』 寛政 関東米作 品川 吉原
『青楼惚多手買』 寛政 異双楼花咲 庵蜂満校舎 吉原
『通俗雲段』 寛政 雲雀亭春磨 吉原

014 栽培植物起源論Ⅱ

26.5×21 cm 大学ノート 横書き 82頁

ド・カンドール著，加茂儀一訳の「栽培植物の起源」を写したもの。

[内容]

各植物の学名，原産，分布を70種類にわたって記している。

015 栽培植物起源論 III

B5判ノート 横書き 44頁

ド・カンドール著，加茂儀一訳の「栽培植物の起源」を写したものを。

[内容]

各植物の学名。原産。分布を42種類にわたって記している。

016 西鶴本

B5判 横書き 176頁

西鶴の作品の中から，食物，動植物，道具等に関する部分を抜書きしたもの。19葉の紙片がはさみこまれている。

[目次]

一代男。二代男。西鶴諸国咄。近代艶陰者。五人女。一代女。本朝二十不孝。男色大鑑。懷硯。武道伝来記。武道義理物語。日本永代蔵。新可笑記。本朝桜陰比事。

[内容]

西鶴の作品の成立年代，性格付け。『一代男』『二代男』『西鶴諸国咄（大下馬）』『近代艶陰者』『五人女』『一代女』『本朝二十不孝』『男色大鑑（本朝若風俗）』『懷硯』『武道伝来記』『武道義理物語』『日本永代蔵』『新可笑記』『本朝桜陰比事』から，食物，食器，花，風俗に関する部分を抜き出したもの。

[ノートにはさみこまれた紙片]

『五人女』『桜陰比事』『男色大鑑』の風俗に関する抜書き。抜書きについて調べたもの。「日本歴史」45-1月号のメモ。

アンケートとレポート

【解説】

多岐にわたる先生の日本の飲食に関する研究業績のなかで、とくに力をいれたとおもわれるのが、鮓、餅・雑煮、酒に関する研究である。これらの食品はいずれも米を原料とするものであり、米をめぐる日本文化についての先生の考えは、『増訂 米の文化史』（社会思想社 1977年）に集大成されている。

先生のライフワークのひとつであった米に関する食品の研究にあたっては、文献的研究、現地調査のほかに、大規模なアンケート調査をおこなっている。その結果のおおくはフィールド・ノートとおなじ体裁のB5判の手製本で保存されている。また、これらのトピックに関連する事項をテーマとして学生にレポートを提出させて、その結果を地方別にまとめて手製本にしたものも残されている。

ここでは、これらの資料を、1 食物関係（191～256頁）、2 酒造関係（256～264頁）、3 その他（264～268頁）、の3部にわけて目録をあげることにする。

1 食物関係

アンケート結果を製本したもののタイトルには、「鮓」、「鮓と雑煮」、「鮓と正月料理」の3種類がある。いずれも、鮓、雑煮のつくりかたを中心に、年中行事と食物の関係を調査しているものである。タイトルはことなっても、調査票の項目には共通するもののおおい。また、おなじタイトルでまとめられたものなかでも、べつの調査票を使用している場合がある。活版印刷のふんもあるが、調査票のおおくは孔版（ガリ版）印刷でつくられている。長期間にわたる調査の過程で調査項目を訂正しながら、あたらしく孔版を切っては改訂版をだしたためであろう。細部での若干のちがいはあるが、調査票を大別すると、[凡例]の項で例示するA～Oの15形式に類型化される。

調査票を使用して収集した資料のほかに、鮓、雑煮、行事食などに関連して学生たちに提出させたレポートを合本したものがある。先生がさまざまな大学に出講したさいに宿題として課したものがおおいようであるが、それを学生の出身地別に整理したものである。したがって、アンケートとレポートが一体となって活用されることが望ましく、アンケートの部とレポートの部を分離せずに、両方を一緒に地域別に配列することとした。

これらの調査は昭和20年代終りから40年代はじめにかけておこなわれたもので、そ

これは日本人の食生活から地方色が消えていく寸前の時期にあたる。全国的な規模でおこなわれたこのアンケート調査の結果は、日本の食事文化の地域性をしめす貴重な資料となろう。先生も大部のアンケートの全部を利用しての論考はされていないようである。この大量のデータを再利用するためにはコンピュータを駆使した整理が必要であろう。

[凡例]

1) 配列

アンケート票、レポートともに合本単位（製本されずに袋入りの資料は袋を単位に）に、日本列島を北から南へくだるように地域別の配列をしてある。府県単位に北からならべたのであって、おなじ府県のなかでの配列順にはとくに原則をもうけていない。

整理番号 153 以後は2 県以上にまたがるものを北から南へ配列してある。このさい、それぞれの合本に記されている複数の地域のなかから、もっとも北に位置するものを代表として配列順をきめた。

2) タイトル

合本の背表紙に記された題名（袋入り資料の場合は袋に書かれた題名）をそのままタイトルとした。

3) []

[] 内は原本にはなく編者が記した事項である。

4) アンケート調査票の形式

アンケートにはA～Oの15形式の調査票が使用されている。それぞれの合本単位に、どの形式の調査票によるアンケートかわかるように、形式名を記入してある。調査票の形式を右頁以後に例示しておく。

形 式 A

正月とお祭り

家の職業

		県	郡市	町字	昭和	年	月調	
正月 雑煮	調 味		清シ汁	赤ミソ汁	白ミソ汁	小豆善哉	ダシの種類	
		元旦						
		2日						
		3日						
	餅 について		小丸	もちのしもち	ち栗もち等	生のまま	ゆでて焼いて	シモンコもちを入れない
		元旦						
		2日						
		3日						
	煮 具 (汁の夾)	根菜	里芋	大根	人参	午茷		
		青み	三ツ葉	ほうれん草	芹	海苔		
		加工品	白豆腐	焼豆腐				
		魚	ぶり	鯛				
加工品		数の子	鯉ぶし					
鳥獣		鶏	鴨					
理	宝(鳥台)	大豆	つくね豆	洗米				
	来(宝)	橙	柿	昆布				
	煮	くろまめ	人参	午茷	蒟蒻	豆腐	数の子 田作り	
		特にきまりものなし						
	七草粥	作る日	7日	入れる品物の名				
	小豆粥		15日					
畑(帳)初め		日						
骨正月		20日						
祭 礼 料 理	神社祭の日	神社名	祭神					
		月	日より	月	日まで			
	主食	赤飯 (強飯)	小豆飯	五月飯	餅			
	すし	五目鮓	巻鮓	押鮓	鯖鮓			
	その他							
間食	甘酒	あん餅	ぜんざい					
祭礼に 付する 行事	みこし	太鼓	鉦	自家の宗教 天台 真言 禪(臨済 曹同) 浄土 日蓮 真宗(門徒) 神徒 天理教 キリスト教 その他				
	踊り	()		寺の名	寺	所在地	同字内、同町村、他町村	

該当事項を○で囲み、適宜書き込み又は書き足しをして下さい。

すしについて

この家の主婦の出身地		県	郡	市	町	字
	この地方での呼び方(別名)	すし飯に塩や酢の他に砂糖を入れるか	使用する魚とその加工品(カマボコ)	野菜及乾物(高野豆腐、筍など)	その他	
(ち)五目すし						
巻のすし(巻)						海苔の他に次のもので巻く イ. 昆布 ロ. 青のり ハ. 玉子焼 ニ.
(油揚)稲荷すし		中に入れるのは イ. 白めし ロ. 五目めし ハ. 具(午粿など)をまぜる				油揚げの切り方は イ. 3角形 ロ. 4角形 ハ. うらがえて使う
(箱)押すし						
握りすし						
(卵)オカラ花すし						
(くさり)馴れすし						魚と飯をつけておく期間 イ. 2~3日 ロ. 5~6日 ハ. 7~14日 ニ. 数カ月 ホ.
魚野菜と麴とをすし						同上 イ. 2~3日 ロ. 5~6日 ハ. 7~14日 ニ. 数カ月 ホ.
魚の姿すし						
その他						
スニにそえる植物の種類	竹の皮 笹の葉 シダの葉 柿の葉 バラン 茗荷の葉 南天の葉 (その他)					

昔作って今作らないとか、逆に近年から作り出したのは右端の〔その他〕の欄にしるして下さい。

5. 料理方法について、何時もよくする方法の順に番号をつけて下さい。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| イ. 魚類 | ロ. 獣肉類 | ハ. やさい類 |
| ()煮つけ | ()煮る | ()煮きこみ |
| ()焼く | ()いためる | ()いためる |
| ()生でたべる | ()油であげる | ()ゆでる |
| ()油であげる | ()焼く | ()酢のもの |
| ()酢のもの | ()その他 | ()生でたべる |
| ()その他 | | ()その他 |

6. 調味料について—現在、家の台所にあるものに○印をつけて下さい。

塩 味噌 醤油 酢 食用油 バター類 ソース ケチャップ
 マヨネーズ・ソース こしょう 芥子 カレー粉 砂糖
 化学調味料(味の素や旭味など) その他()

・主な調味料の一ヶ月大体の使用量はどのくらいですか。

塩 _____ 味噌 _____ 醤油 _____ 砂糖 _____
 その他 _____

7. 嗜好調査—好き・嫌いに人数を記入して下さい。

	まぜずし	きつねずし	まきずし	にぎりずし	カレーライス	親子丼	すき焼き
好							
嫌							
	うどん	そうめん	パン	かまぼこ	たまご	油あげ	とうふ
好							
嫌							
	さかな	にく類	バター類	ソーセージ・ハム	さし身	牛乳	山羊乳
好							
嫌							

8. お盆のごちそう—○でかこんで下さい。又はその他記入して下さい。

・3日間をとおして仏さんにお供えするものをあげて下さい。

はすの葉に うり はす ほーずき きび ささげ 柿 里芋
 (小さい葉)
 お菓子(七色)

・日によってかわった料理をお供えしますか。

13日の夜のごちそう	
14日の朝	〃
昼	〃
おやつ	
15日の朝	〃
昼	〃
おやつ	
夜	〃
見送りの時	

・盆の仏等にだけ使用する食品がありますか。

ソーメン すいか

形 式 C

慣行食品調査票										該当する欄又は項目に○をつけて下さい (特に多いものは◎稀に作るものには△を)					
お正月の煮御馳走	みそ汁	清し汁	小豆ぜんざい	鳥獣を入れる	魚を入れる	生魚を入れない	頭芋	大豆根	三ツ葉	その他葉菜	その他	削りかつを	元日だけ作る	三ヶ日作る	
祭礼の走	祭礼の季節			餅	だんご	五目ずし	鯖ずし	その他	調査地	府県	郡市	町字			
	春	夏	秋										冬		
おすしは家庭で作るは	鮓を作る時期				入れる魚の種類				漬けこむ期間						
	祭礼	節正	旬月	来その	客他	赤身の魚	白身の魚	ジャコ	その他使う魚の名を入れる	当日	一夜	二三日	十日以上	日以内	それより長く
五目ずし (バラズ)															
巻きずし (のりま)															
いなりずし (あげずし)															
押しずし (箱ずし)															
鯖ずし (きずし)															
イツナシ等 の姿ずし															
海魚のしなれずし															
川魚のしなれずし															
魚と雑の鮓 と野菜の鮓															
おからずし (とうずし)															
そのギ 他															

* 変わったものは名前をかき入れて下さい。

形 式 D

- 1 郷里の住所 府 市 町 部落
 県 郡 村
- 2 正月の雑煮は（元日だけ 3ケ日だけ 5日まで）作る。
 a. 味ソ汁 清し汁 小豆ぜんざい キナコモチ ナットウモチ
 正月の雑煮には
 b. 鳥獣肉を入れる 魚を入れる 生臭物はいれない
 c. 頭イモ ミツバ 大根 蕪 人参 トウフ 鯉節(ふりかける) その他
- 3 祭礼の御馳走は
 a. 祭礼は 春, 夏, 秋, 冬
 b. モチ ダンゴ 五目ズシ 五目メシ 鯖ズシ 其の他を作る
- 4 貴方の郷里では家庭でどんな“スシ”を作りますか

	祭 節 遠 来 随	礼 句 足 山 合 時	魚の種類は(赤身 白身 チリメンジャコ) その他使う魚の名
五目ズシ(バラズシ)			
マキズシ(ノリマキ)			
イナリズシ(キツネズシ)			
イシズシ(大阪ズシ)			
ニギリズシ(東京ズシ)			
鯖ズシ(キズシ)			
姿ズシ			
ナレズシ			
魚と野菜とコウジのスシ			
オカラを入れるスシ			
其の他			

- 5 五目ズシの材料にどんなものを使いますか。
 サバ チリメンジャコ ハナガツオ タマゴヤキ カンピョウ シイタケ ユバ
 コウヤドウフ アゲドウフ コンニャク ズイキ ダイコン ゴボウ コイモ
 ニンジン ホウレンソウ ミツバ その他() 薬味にショウガをふる
- 6 鯖ズシに就いて
 鯖ズシは 普通に 稀に作る 全く作らない
- a. 材料
 塩鯖 塩鯖を塩出しして 生さば 他の魚(イワシ, アジ, フナ, アユ)
- b. 漬け方
 どの位の期間漬けますか 当日 一夜 二~三日 十日以内
 どうして漬けますか 酢 塩 酒 その他
- c. 圧をする時何で包みますか 竹の皮 笹の葉 バラン、 その他

篠田統資料目録 I (アンケートとレポート)

7 馴れずしに就いて

馴れずしは 普通に, 稀に作る, 全く作らない

a 材料

海魚(サバ, サケ, ニシン, ハタハタ, その他)で作る。

川魚(フナ, コイ, ワタカ, アユ, マス, ウナギ)で作る。

b 漬け方

どの位の期間漬けますか

2~3日, 10日以内, 1月位, 3ヶ月位, 6ヶ月位, 1年以上

どうして漬けますか

米飯 コウジ 塩 酒 その他

(該当項目又は欄に○印をつける, 特に多いものは◎, 稀に作るものは△をつけて下さい)

京都学芸大学 動物学研究室 川勝 正彦

慣 行 食 品 調 査 票

此の調査は食生活研究の一部として, 全国的に“スシ”の分布を知るために実施しているものです。

貴方の御郷里ではどのような“スシ”を作っておられるでしょうか御手数ですが調査項目にお答え下さい。又此の調査項目にない様な珍しい“スシ”とか, “スシ”に関する些細な事柄でも御気付の点を余白に記入して頂ければ幸甚に存じます。

形 式 E

慣 行 食 品 調 査 票 (祭礼の部)						昭和	年調
県		郡市		村字	姓名		
氏神	神社	祭神	寺院	寺(院)	宗		
祭 禮	日 時	月 日・		月 日・	月 日		
	神 興	なし・有り； 基 その種類					
	曳山, 山鉦類 車	なし・有り；その特徴					
	太 鼓	なし・有り；動かさぬ, 曳く, かつぐ : 大きさ					
	舞 踊	なし・有り；踊る 男・女・童・青年・壮年・老人 場所 宮・道中・特定の所人					
	音 楽	なし・有り；歌, 大太鼓, 小太鼓, 笛, 小鼓, ささら, 其他					
その 他							
祭りの料理	料 理	本膳, すき焼(肉, 鳥), 煮 ^メ など, 小豆飯, 強飯 ^{オコワ}					
	す し	五目鮓, 巻きすし, 押鮓, 稻荷鮓, 鯖鮓, その他 ()					
	其 他	餅 (そのまま, 餠で包む, 餠を包む), 甘酒, 団子					
鮓 の 作 り	五目鮓 (ばらし)	魚・生臭き物	野菜・乾物類	調味料	酢 塩 砂糖	飯の加減	軟く 中 硬く
	巻き鮓 (のり)	同	同	同	酢 塩 砂糖	同	軟く 中 硬く
	押し鮓 (型ぬき)	同	同	同	酢 塩 砂糖	同	軟く 中 硬く
	稲荷鮓 (狐)	油揚	三角に切る・矩形に切る・裏返す		めし	酢めし・牛蒡・五目めし	
方	鯖 鮓	魚の種類	漬けておく期間	即日・1夜・数日	鮓を包む植物		
	姿 鮓			即日・1夜・数日	竹ノ皮・昆布・バラ		
	馴れ 鮓			数日・数週・数月	竹の皮・バラ・柿の葉・笹・ソウグ		
おからを入れるもの () : <input type="checkbox"/>				薬味			
野菜や桃を入れるもの () : <input type="checkbox"/>				野菜			

形 式 F

下記の項目にお答え下されば幸甚に存じます
 （該当項目には○印をつけて下さい）

- 1 住所 郡 村 部落
- 2 貴方の所ではどんなスシを作りますか、又どういう時に作りますか。

	五目ズシ （チバラシズシ）	カヤク飯	鯖ズシ	フナズシ	アユズシ	イワシズシ	ハコズシ	ニギリズシ	マキズシ
祭 礼(月日)									
婚 礼									
集 会・会 合									
遠 足・遊 山									
葬 式									
随 時									

- 3 五目ズシの材料にどんなものを使いますか
 サバ チリメンジャコ ハナガツオ タマゴヤキ カンピョウ シイタケ ユバ
 コウヤドウフ アゲドウフ コンニャク ズイキ ダイコン ゴボウ コイモ
 ニンジン ホウレンソウ ミツバ ソノ他（具体的に）（ ）（ ）
- 4 ニギリズシの材料にどんなものを使いますか
 タコ イカ サバ イワシ トリガイ（マテ） カイバシラ タマゴヤキ ソノ他（ ）
 アカガイ
- 5 鯖ズシに就いて
- a. 材 料 塩サバ 塩サバを塩出して 生サバ 他の魚 {常に 時に} フナ アユ イワシ
- b. 漬 け 方 どの位の時間漬けますか 時間 日間位
 どうして漬けますか 酢 柿酢 塩 酒 ソノ他（ ）
- c. 圧をする時、何で包みますか。
 竹の皮 笹の葉 バラン ソノ他（ ）

どうも有難うございました。

7 狎れずしに就いて

狎れずしは 普通に, 稀に作る, 全く作らない

a. 材料

海魚(サバ, サケ, ニシン, ハタハタ, その他)で作る。

川魚(フナ, コイ, ワタカ, アユ, マス, ウナギ)で作る。

b. 漬け方

どの位の期間漬けますか

2~3日, 10日以内, 1月位, 3ヶ月位, 6ヶ月位, 1年以上

どうして漬けますか

米飯, コウジ, 塩, 酒, その他

(該当項目又は欄に○印をつける, 特に多いものは◎, 稀に作るものは△印をつけて下さい。)

京都学芸大学 動物学研究室 川勝 正治

慣 行 食 品 調 査 票

此の調査は食生活研究の一部として、全国的に“スシ”の分布を知るために実施しているものです。

貴方の御郷里ではどのような“スシ”を作っておられるでしょうか。御手数ですが調査項目にお答え下さい。又此の調査項目にない様な珍しい“スシ”とか、“スシ”に関する些細な事柄でも御気付の点を余白に記入して頂ければ幸甚に存じます。

形 式 G

播州赤穂方面では、イナ・コノシロ等で 半馴スシを作る ④に塩及酢をし 之を姿スシにつ
 け 5—10日おいて喰べる（中略）この半馴スシの東の分布は、どこかどこまでか きゝたいの
 だ 網干は作る 飾广は作る 作らぬの両説あり どこでは作る 作らぬ どこでは数年（数
 十年）前は作った（中略）その他スシの類 ソレを作る機会（祭 吉日 遠足等）作り方（特に
 材料）など 判るだけ 教えてほしい 郡村 出来れば字も知らしてほしい（原文寫）

上記のすしを	現在	作る	
	昔	作った	年前頃
		作らない	

不要の部分//で抹消

普通のすし	巻すし	箱すし	五目すし	にぎりすし	さばすし	を作る
作らぬものは抹消						

特殊のすし	名称	材料
	作り方	
	作る機会	
	現在作る	年前作った

	具	郡	町	字
			村	

形 式 H

お料理調査

部落名 _____ 昭和 年 月

◎ お正月料理 該当に○をして下さい

1. ぞうについて

(イ) おもちは……小餅(丸もち)・切もち(のしもち)・栗もち・その他 ()

おもちの入れ方は……生のまゝ・ゆでて・焼いて・其他 ()

元日, 2日, 3日とも同じですか 同じ, ちがう (ちがう場合は下へかいて下さい)

(ロ) 調味について

汁は……しょうゆ汁(すまし汁)・赤みそ汁・白みそ汁・あずきのぜんざい

其他 ()

ダシは何を用いますか……

元日, 2日, 3日とちがう場合は下へかいて下さい

(ハ) ぞうにへ入れるもの

野菜・かんぶつ類……さといも・大根・人じん・ごぼう・みつば・ほうれんそう

その他……

鳥獣魚類は……ぶり・鯛・削りぶし・鶏・鴨・其他……

2. お正月のにしめにするものは

黒豆・こんぶ・ごぼう・人じん・こんにゃく・とうふ・其他……

3. 七草がゆに入れるもの……芹・水菜・ねぎ・ほうれんそう・結球白菜・人参・さといも

4. 15日正月に用いるもの……

◎ 神祭料理 神社名 _____ 祭神 _____

祭礼日……夏祭（新 月 日） 秋祭（新 月 日）

1. 主食は……白めし・赤飯・強飯・ごもく飯・餅・其他……
2. すしは……五目すし・巻ずし・板こぶずし・押ずし・すがたずし
其他……
3. さしみは……かつお・たたき(かつお)・さば・其他……
4. くみものは……かまぼこ・高野とうふ・えび・其他……
果物……みかん・かき・りんご・其他……
5. 菓子類……
6. その他……

◎ 婚禮料理

婚礼の時 特に用う料理を下へかいて下さい

生づくり……鯛・黒鯛・その他……

いせえび・その他……

◎ 葬式料理

葬式の時 特別に用う料理は何々ですか

こうや豆腐・あげ豆腐・しいたけ・そうめん・其他……

形 式 I

	すしの種類	地方	市販の有無	家庭で作る機会 祝事・葬祭・山遊等	材料	添付物 南天・パウ ン・ショウ ガ・つけ の等	容器 箱・皿・竹 皮 バラ ン等
混 合	ちらしずし むしずし						
巻	のりまき 玉子まき きつねずし						
にぎり							
姿ずし	さばずし						
箱ずし	箱ずし						

形 式 J

慣 行 食 品 調 査						
勤 務 校						
父兄の職業						
寺 院	宗	派	寺			
	//	//	//			
	//	//	//			
神 社	社, 祭神	祭	月	日		
	// //	//	//	//		
	// //	//	//	//		
用水の種類 主食（麦の混入割合） 主な食料品 土地で出来るもの 移入するもの						
正 月	雑 煮 七草粥 小豆粥(15日)	味噌汁 清 汁 作 る 作らぬ 作 る	小 餅 餅 餅 必ず入れる実 作 る	日より 日まで	必ず入れる実 時に入れる実	
節 句	三 月 五 月 七 月 九 月			十一月		
春秋	彼 岸					
祭 礼	御 馴 走 すし(種類) 甘 味 品					
す し	種 類	材 料	作 り 方	使 ぶ 機 会		
	五 目 鮓			正 月 節 句		
	巻 鮓			全 上		
	押(筥)鮓			祭		
	馴 れ 鮓			祭		
	そ の 他			祭		

形 式 K

市 町
郡 村 字

該当項目又は該当欄に○印をつける。

I 正月の雑煮 醤油汁(清汁) 味噌汁 小豆ぜんざい。 入れる餅は II 祭禮の特別料理 餅 だんご 餅 i 生, 焼いて iii 小餅(円餅) iii 切餅 III 特に餅について (民家でふつう作る餅)。								
種 類	作 る 時 期					材 料		つくり方, その他
	祭礼	節句	吉凶	来客	その他	魚	野 菜	
五目ずし (ばらずし)								
押 ず し (大阪ずし)								
いなりずし (あげ餅)								
とうずし (おから餅)								
馴れずし								
鯖 餅								
鮎 ず し								
其 の 他								

形 式 L

家庭関係慣行食品その他調査		姓 名					
県	郡市	町村	字	土着	外来	より	
神社	祭	月	日	月	日	月	日
寺院	寺						
正月 新 旧	雑煮	スマシ汁・白みそ・赤みそ・小豆・ダン汁					
	餅は	小餅・切餅	煮・茹・焼	中に入れるもの			
	日によって違うならば	1日は		4日は			
1 月 お く れ	七草粥	作らぬ	作る（中に入れるもの）				
	小豆粥	10日	20日	日	作らぬ		
	山之神		日				
	大義長		日				
	粥 占		日				
二月	初午						
	節分						
三月	節句	新・旧・1月おくれ		初節句	男	女	
		御馳走					
彼岸	一般に						
	特に春						
	特に秋						
四月	卯月	日	行事				
			大道花	たてぬ・たてる（花は	形は	）	
五月	節句	新・旧・1月おくれ					
	行事						
	チマキの形	作り方					
	苗代	祭祀					
六月	田植	行 事					
		御 馳 走					
		さなぶり					
七月	津島（ギオン）祭						
八月	虫送り						
	盆	新・旧・1月おくれ		墓そうじ			
		迎え	日	送り	日		
		食物					

形 式 M

県 郡 村

部落の名前（区又は大字くらい。但風俗が変われば小字でも）	
戸数	全戸数
	漁業（兼業をふくむ）戸数（概略でけっこうです）
	その他の非農家戸数（全上）
人口	全人口
	もし海女がいればその概数
神社	社名（合祀してあれば各部落に昔あった社名を括弧に入れて下さい）
	祭神（沢山あれば主なのと他幾柱として下さい）
	祭日（数回あれば主なのの他は括弧に入れて下さい）
寺院	寺名（余り沢山なら主な寺について他何ヶ寺として下さい）
	宗旨
民間信仰	火伏せの神さんは ①愛宕 ②秋葉 ③その他 ④祀らぬ
	厄病よけは ①祇園 ②津島 ③牛頭天王 ④その他 ⑤祀らぬ
	山の神を ①祀る（祭ればその月日） ②祀らぬ
	田神（野神）を ①祀る（全上） ②祀らぬ
	磯神（浜神）を ①祀る（全上） ②祀らぬ
	水神（龍神）を ①祀る（全上） ②祀らぬ
	川裾（カワウソ）祭り ①祀る（全上） ②祀らぬ
	屋敷神（地神、先祖神とも）を ①祀る ②祀らぬ ③祀る家と祀らぬ家とがある 祀れば ①屋敷内で ②墓地で ③その他で
道祖神（サイの神） ①祀る（祀ればその月日） ②祀らぬ	
その他	盆の行事は ①新暦で ②旧暦で ③一ヶ月おくれで
	盆踊りは何日にやりますか
	地藏盆は何日ですか
	墓は ①埋める所と参る所と同じ ②埋める所は別にある
雑	村にはどんな講が残っていますか ①伊勢講 ②愛宕講 ③秋葉講 ④祇園講 ⑤津島講 ⑥金刀比羅講 ⑦出雲講 ⑧大師講 ⑨観音講 ⑩尼講 ⑪大子講 ⑫その他
	男子の陰部の名称 女子の陰部の名称 月経のことを何というか

県 郡 村

部落（大字又は区）名，風俗が変っていれば小字でも	
婚姻	結婚範囲は原則として ①部落内 ②村内 ③郡内 ④不定
	結婚したら ①嫁は直ぐ婿家に入る ②暫くは婿が嫁の家に通ふ
	息子が結婚したら親達は ①同居する ②別居する ③富家でのみ別居
正月料理	雑煮を作るのは ①元日丈 ②1，2日 ③三ケ日 ④気が向く丈 ⑤作らぬ
	雑煮の味付けは ①醤油（スマシ） ②白みそ ③赤みそ ④小豆のゼンザイ もし日によって違うなら 1① 2② 3③ とゆう風にかいて下さい
	雑煮に入れる餅は ①小（円）餅 ②熨斗もちを切って
	餅の入れ方は ①生マのまゝ ②ゆでて ③焼いて もし日によって違うなら 1① 2② 3③ とゆう風にかいて下さい
	雑煮には ①生臭さもを入れない ②魚を入れる ③鳥 ④獣肉を入れる 野菜も ①何も入れない ②芋 ③大根 ④豆腐 ⑤青味 ⑥他を入れる
	その他
鯰、すしに ついて いる 祭 禮	祝儀物として ①鯛 ②鰯 ③その他の魚を必ず並べる
	七日には七草粥を ①作る ②作らぬ
	小豆粥を ①作らぬ ②15日に作る ③その他の日に作る
	五目鮓（バラずし，散らし鮓）には ①魚を入れない ②ジャコを入れる ③魚肉 を入れる
	巻すし（海苔巻）には ①魚を入れない ②魚を入れる
	押鮓（型ぬき鮓）の材料
	稲荷すし（狐すし）の油揚げは ①三角にきる ②四角にきる
	同上 中に入れる飯は ①白めし ②牛蒡めし ③五目めし
	握り鮓を家庭で作るならその原料の魚の名前
	鯖鮓が ①作らない ②作る即日たべる ③数日漬けておく
その他の魚の姿鮓（たとえばイナ ツトシなど）を作ればその魚の名	
米の代りにオカラをつめる鮓（卵ノ花鮓 おまん鮓）があればその魚の名	
野菜と魚と糍とつける鮓（スシ漬）があればその魚や野菜の名，並びにつけてむ日数 をかいて下さい	
魚（塩をした又は生マの）と米飯を交互につめ重石をして数日及至数ヶ月つけこむ馴 れ鮓があればその魚の名と漬けてむ日数	
その他変った鮓がありますか	
祭りの料理は ①本膳 ②スキ焼 ③煮メ	
めしは ①白飯 ②小豆飯 ③コワメシ ④五目鮓 ⑤巻鮓 ⑥其他の鮓	
その他 ①餅 ②船餅 ③ダンゴ ④甘酒等を作りますか	
祭りには ①神輿あり ②なし ③山車，曳山などあり ④なし ⑤特殊の行事あり	

附 鮓を包み，又は鮓に添えるのは ①竹ノ皮 ②バラシ ③笹の葉 ④柿の葉 ⑤その他

形 式 N

郡市		村字					
氏神		神社		祭神			
祭礼	本祭	月	日	月	日	月	日
部落にあるその他の社							
愛宕	祇園	八幡	天神	金刀比羅			
祭祀の當番							
頭(頭屋, おとろ)	名	順番	選挙	関取			
頭の集り	月	日	月	日	月	日	
頭わたし							
		寺	宗	派			
		寺	宗	派			
		寺	宗	派			
部落にあるその他の堂塔							
() 観音							
株(マキ, 地下などとも) 有り 有った 無い 有る家と無い家と							
株の名前							
株	戸	株	戸	株	戸	株	戸
株	戸	株	戸	株	戸	株	戸
株	戸	株	戸	株	戸	株	戸
地神の名前							
先祖神で		特に名は判らぬ				(株)	
		神(株)					
		神(株)					
地神の位置(大木のそばなら木とかきそえる)							
本家の邸内						株)	
村 内						株)	
山 中						株)	
地神の祭り							
先祖(地神)講		本家	廻りもち	行はない			
特殊の祭事							
山の神	月	日	道祖神	月	日		
田の神	月	日	大將軍	月	日		
野神	月	日	川裾神	月	日		
水の神	月	日		月	日		

形 式 0

慣 行 食 品 調 査 票 (正月の部)		昭 和	年 調
県		郡 市	村 字
氏 神		社 寺	姓 名
氏 神		祭 神	宗
氏 神		社 寺	宗
お 雑 煮	祝 ふ 日 数	1日だけ・1, 2日・三が日・気がむく間いつまでも	
	入 れる お 餅	小(円)餅・のし餅を切って・生のまま・茹でて・焼いて もし日によって違ふならば 元日は 生焼 2日は 生焼 3日は 生焼	
	調 味 法	醬油汁・みそ汁(白みそ・赤みそ)その他 もし日によって 元日は スマシ 2日は スマシ 3日は スマシ 違ふならば 白みそ 赤みそ 白みそ 赤みそ 白みそ 赤みそ	
	だ し	昆布・かつを節・雑魚・魚・鳥獣肉・牛肉	
	汁 生 臭 さ	魚(その種類名)・鳥獣肉(その種類名)	
	の 野 菜	芋(親芋・小芋)・大根・豆腐・青味・その他()	
	実 そ の 他	数の子・卵・その他()	
	小豆ぜんざい	元日・2日・3日・3ケ日・4日以後	
正 月 料 理	祝 儀 物	にらみ鯛・ぶり	
	煮 〆		
	その他の特別の料理		
	七 く さ 粥	作らない・作る(入れる草又は野菜の名)	
	小 豆 粥	作らない・作る(15日・20日・その他の日)	
行 事	若 水	汲まぬ・汲む(井戸・川・泉・屋敷外の特定の水)	
	年 始 廻	男子 日・女子 日・僧侶 日	
	佐 義 長 (とんど)	14日・15日・ 日;街角で・神社で・その他()	
	山 の 神	祀らぬ・祀る; 日・家内で・氏神で・山神で(所在)	
	お こ な い (と う)	やらぬ・やる; 日・家で・宮で・寺で・その他()	
	そ の 他		

001 鮎と正月料理 秋田 矢島 昭四〇

B 5判 89件 形式A

内扉に秋田県由利郡矢島町由利町鳥海町 矢島高校調べと記載され手書きの地図が挟んである。昭和40年11月に矢島高校においてアンケートをとったもの。

[目次]

1. 町部／城内・栄町・豊町 2. 北部／木在・立石・小杉沢 3. 東部／須郷田・新ラ町・九日町・郷内・新荘 4. 南部／荒沢／針ヶ岡 5. 七日町・水上・川部・掘苗代・上の山・田中 6. 矢島 7. 由利／吉沢・新上条・山本・久保田・飯沢 8. 由利 9. 鳥海北／伏見 二階／沢内・堤鍋・久保・鶴田 10. 鳥海／男鹿内・平林・虎杖平 11. 鳥海 12. 住所不記載

002 鮎と正月料理 山形 鶴岡 昭四〇

B 5判 85件 形式A

昭和40年10月のアンケート。内扉に山形県鶴岡市東田川郡西田川郡の記載があり手書きの地図が添付されている。

[目次]

1. 町部／大宝町・宝・泉・五日・八坂・紙漉・上肴・八日・銀・七軒・大海 2. 遠賀原・谷定 3. 長崎・面野山・平田・豊田・本田 4. 大山町・大山・菱津・向町 5. 馬町・西目・水沢・大広 6. 湯野浜・加茂・油戸・由良・三瀬・小波渡 7. 日吉町・末広町・山王町・土畑町 8. 鶴岡市 9. 田川郡温海町／五十川・山五十川・湯温海・越沢・鼠ヶ関 10. 住所不記載 11. 酒田市 新潟市

003 鮎と正月料理 山形 大石田 昭四〇

B 5判 68件 形式A

昭和40年10月のアンケート。内扉に山形県北村山郡大石田の記載があり、手書きの地図が添付されている。

[目次]

1. 黒滝・横山・来迎寺・小菅・田沢・楯 2. 大石田・本町・新町・庚申町・四日町 3. 大石田町 4. 住所不記載

004 鮎と正月料理 山形 天童 昭四〇

B 5判 100件 形式A

昭和40年12月のアンケート。内扉に山形県天童市の記載があり、手書きの地図が添

付されている。

[目次]

1. 天童・北目・老野森・久野本・向原・小路 2. 山元・下貫津・貫津・上貫津 3. 一日町・三日町・五日町・九日町・田鶴町 4. 天童市 5. 住所不記載

005 鮎と正月料理 山形 新庄 昭四〇

B 5 判 71件 形式A

昭和40年10月のアンケート。内扉に山形県新庄市最上郡の記載があり、手書きの地図が添付されている。

[目次]

1. 町部／末広・吉川・若葉・北紙漣・東・石川・下仲・常盤・川原・上堀端 2. 中山・十日町・沼田・小田島・金沢・五日町・升形・塩野 3. 新庄市 4. 最上郡／最上町・瀬見・大堀・向町・富沢・赤倉 5. 最上郡／舟形町・紫山・長沢 6. 最上郡／大蔵村・清水・戸沢村・向名高・鮭川村・石名坂 7. 最上郡／真室川町・金山町

006 鮎と正月料理 山形 寒河江 昭四〇

B 5 判 83件 形式A

昭和40年10月のアンケート。内扉に山形県寒川江市，西村山郡，東村山郡，天童市の記載があり，手書きの地図が添付されている。

[目次]

1. 寒川江町 2. 日田・本楯・高屋・皿沼 3. 柴橋・平塩・中郷・清助新田・白岩・八鋤・上河原 4. 幸田・船橋・六供 5. 寒川江 6. 西村山・河北町・西川町・大江町・朝日町 7. 東村山・中山町・山辺町・山形円応寺・宮 8. 天童・蔵増 9. 住所不記載

007 鮎と正月料理 山形 尾花沢 昭四〇

B 5 判 101件 形式A

昭和40年12月のアンケート。内扉に山形県尾花沢市の記載があり，手書きの地図が添付されている。

[目次]

1. 荻の袋・野里沢・芦沢・名木沢・和合・田沢・寺内・牛房野・南沢 2. 正巖・丹生・押切・上ノ宿・行沢・北郷・鶴巻田・市野々 3. 取上・古殿・下原田・六沢・粟生・上柳渡戸・下柳・荒町・延沢・鶴子・細野・畑沢 4. 尾花沢／上町・横町・寺町

・新町 5.尾花沢市

008 鮎と正月料理 山形 米沢 昭四〇

B 5判 50件 形式A

昭和40年11月のアンケート。内扉に山形県米沢市，東置賜郡，西置賜郡の記載があり，手書きの地図が添付されている。

[目次]

1.市街／表町・立町・長町 2.市街／花沢町・住之江町・玉の木町・万世町・通町・上野町 3.市街／袋町・土手内町・屋代町・門東町・免許町 4.市街／御小者町・代官町・木場町・木場仲町・信夫町・同心町 5.宮井・窪田・川井・竹井 6.笹野，芳泉町，関小白布，板谷 7.赤芝・入田沢・八谷 8.東玉置郡／川西町・時田・玉庭・高畑町・一本柳・福沢・糠野目・和郷村・西落合・赤湯村・二色根・宮内町・宮内 9.西置賜郡／飯豊町・手の子 10.住所不記載

009 鮎と正月料理 福島 喜多方 昭四〇

B 5判 144件 形式A

昭和40年11月のアンケート。内扉に福島県喜多方市の記載があり，手書きの地図が添付されている。

[目次]

1.松山町・吉志田・関根・高畑・村松 2.岩月町・入田不治里・大沢入・大沢・上田・稲村 3.関柴町・関柴・下柴・入柴・平林・京出・中里・沢田・上高額・上勝・下勝・西勝・布流・打入・家の前・西中明・堂の上 4.熊倉町・熊倉・金沢・本林・小沼沢・雄国村中・雄国川前・五軒丁・高柳・芦平 5.豊川町・一ノ堰・下高額・田・渋井・太郎丸・高吉・長尾・中田・南ノ台 6.慶徳町・新町・松舞家・新宮・天神塚・原添・今町 7.上三宮町・上三宮・下三宮・山本・細谷・見頃・吉川・新屋敷・籬山 8.新町・本四ツ谷・上町・北町・本町・南町・寺町・塗物町・縁町・新仲町・常盤町・花園町・諏訪町・幸町・下町南部町・新道町・菅原町・桜ヶ丘町・栄町・末広町・雲雀ヶ丘町・長面・御清水町

010 鮎と正月料理 福島 会津若松・耶麻・河沼 昭四〇

B 5判 142件 形式A

昭和40年11月におこなった調査。内扉に福島県，会津若松市，耶麻郡，河沼郡の記載があり，手書きの地図が添付されている。

[目次]

1. 会津若松市／上荒久田・八幡・滝沢・徳久・黒岩
2. 会津若松市／七日町・城東町・愛宕町・東栄町・千石町
3. 耶麻郡／西会津町・尾野本・野沢・地境
4. 耶麻郡／山都町・一ノ木
5. 耶麻郡／熱塩加納村・中在家・黒川・新村・二本木原・針生
6. 耶麻郡／熱塩加納村・半在家・宮川・西岩尾
7. 耶麻郡／熱塩加納村・日中せきば・下赤崎・上根岸・東原
8. 耶麻郡／北塩原村・大塩・北山・下吉・谷地
9. 耶麻郡／塩川村・別府・小府根・高木・上江・新井田谷地・新井田・源太屋敷
10. 耶麻郡／塩川町・江添・金川
11. 耶麻郡／塩川町・下遠田・上遠田・第六・貝沼・会地・大木
12. 耶麻郡／塩川町・田原・能力・柴城
13. 耶麻郡／塩川町・上窪・上利根川・下利根川・谷地・西鎧召・西常世・寺内・諏訪町・西岡・館ノ内・仲町・中屋敷・身神・石橋・田中・竹屋・新丁・深沢
14. 河沼郡／河東村・島・岡田・大和田・熊野堂・冬木沢・南高野
15. 河沼郡／河東村・代田・京手・郡山
16. 河沼郡／河東村・広田・塩庭・板駒・藤倉・槻ノ木
17. 河沼郡／河東村・中島・沢目
18. 河沼郡／湯川村・堂畑・沼上・浜崎・水谷地・高瀬
19. 河沼郡／湯川村・笈川・玉領・笠目・八日町
20. 河沼郡／高郷村・下井川

011 鮎と雑煮 高田・頸城 [新潟県]

B 5 判 155件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 高田
2. 新井
3. 東頸城・西頸城
4. 中頸城
5. 吉川

012 鮎と雑煮 柏崎・刈羽 [新潟県]

B 5 判 167件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 柏崎旧市内
2. 中浜・岬町・鯨波・青海川・米山
3. 大久保・枇杷島
4. 比角・新田畑
5. 悪田・荒浜・椎谷
6. 田尻・高田
7. 鯖石中・鯖石南
8. 柏崎
9. 西山
10. 刈羽
11. 北条・黒姫

013 鮎と雑煮 内野 [新潟県]

B 5 判 132件 形式A

昭和35年5月と6月におこなった調査。内鼻に内野，内野町，五十嵐，不備の記載

がある。

[目次]

1. 内野
2. 内野町
3. 五十嵐
4. 不備

014 鮓と雑煮 小千谷 [新潟県]

B 5判 117件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 小千谷
2. 末広町・大道り・旭町
3. 滝原・山寺
4. 木津(農)
5. 稗生(農)
6. 中子(農)・元中子(農)・公舎
7. 浦柄・横渡・峠・岩沢

015 鮓と雑煮 出雲崎・三島 [新潟県]

B 5判 169件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。内扉に出雲崎, 出雲崎, 羽黒町, 伊勢町, 稻荷町, 石井町, 岩船町, 鳴滝町, 住吉町, 木折町, 陣屋, 勝見, 八王子, 尼瀬, 井鼻, 豊洲, 川西, 越路, 和島の記載あり。

[目次]

1. 出雲崎
2. 伊勢町・稻荷町・石井町
3. 岩船町・鳴滝町
4. 住吉町・木折町
5. 陣屋・勝見・八王子
6. 尼瀬
7. 井鼻・豊洲
8. 川西・三島・越路・和島

016 鮓と雑煮 豊浦・北蒲原 [新潟県]

B 5判 101件 形式A

昭和35年5月・6月・7月におこなった調査。

[目次]

1. 中間／豊浦・佐々木一部
2. 山手／菅谷
3. 山手／川東
4. 山手／米倉・赤谷
5. □
6. 中間／加治川・加治
7. 中間／五十公野
8. 以下海岸部／紫雲寺
9. 海より／聖籠

017 鮓と雑煮 村上・岩船 [新潟県]

B 5判 146件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 村上／旧市内
2. 村上／外郊
3. 岩船
4. 山北・粟島
5. 朝日
6. 神林
7. 不備

018 鮎と雑煮 中野小屋 [新潟県]

B 5 判 97件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 中野小屋
2. 大友・金巻・道河原
3. 曾和・田島
4. 笠木・高山
5. 小瀬・早潟・藤野木・小見御屋
6. 前野・保古・野木・明田・勘助
7. 槇尾（内野校区）

019 鮎と雑煮 浦瀬 [新潟県]

B 5 判 80件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 浦瀬
2. 亀崎
3. 桂
4. 加津保
5. 水穴
6. 麻生田
7. 宮路
8. 乙吉
9. 雑

020 鮎と雑煮 村松・五泉 [新潟県]

B 5 判 58件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 村松
2. 村松外郊
3. 五泉
4. 五泉外郊
5. 不備

021 鮎と雑煮 直江津・中頸城 [新潟県]

B 5 判 89件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

1. 直江津
2. 小舟津
3. 土底浜・潟町
4. 雁子浜・潟田・その他
5. 柿崎

022 鮎と雑煮 三面・関川 [新潟県]

B 5 判 107件 形式A

昭和35年5・6・8月におこなった調査。

[目次]

1. 三面（三面中学校・三面婦人会から食品栄養学研究室宛の手紙が二通はさみ込まれている。）
2. 上関・下関・雲母
3. 沼・片貝・聞出
4. 上土沢・土沢・小見・金丸・大石
5. 関川
6. 荒川・北蒲原・乙

023 鮓と雑煮 新発田・中条 [新潟県]

B 5判 110件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 町家
2. 土町
3. シバタ佐々木・ニイガタ鳥見
4. 中条

024 鮓と雑煮 塩沢 [新潟県]

B 5判 97件 形式A

昭和36年3月におこなった調査。

[目次]

1. 塩沢
2. 片田・思川・吉里
3. 竹俣・竹俣新田・島新田
4. 上十日町・目来田・中村
5. 天野沢・花野沢・泉盛寺・早道場
6. 栃窪・岩ノ下(山間)
7. 六日町・付不備

025 鮓と雑煮 十日町・津南 [新潟県]

B 5判 144件 形式A

昭和35年5～8月におこなった調査。

[目次]

1. 十日町
2. 川西・水沢
3. 中里・新座・吉田
4. 小泉・中条・下条・川治・菅沼
5. 島・高山・その他・不備
6. 下船渡
7. 大割野・赤沢・松沢
8. 横根分校地区・秋成・横根・日出山他
9. 中の平・上郷・その他

026 鮓と雑煮 白根 [新潟県]

B 5判 129件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 白根
2. 諏訪の木・能登
3. 七軒・戸頭・和泉
4. 味方・鍋潟・上木山・下木山
5. 田中・神尾・櫛笥・その他
6. 不備

027 鮓と雑煮 燕 [新潟県]

B 5判 95件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

篠田統資料目録Ⅰ（アンケートとレポート）

1. 燕 2. 旧市内 3. 小高・佐渡り 4. 太田 5. 郷屋・灰方・花見 6. 外郊 7. 巻町

028 鮓と雑煮 三条 [新潟県]

B 5 判 149件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 一ノ町～六ノ町 2. 大町・上町・田町 3. 八幡小路・門前町・日吉町・相生町4.
古城町・常磐町・鍛冶町・居島・由利・裏館 5. 島田／本成寺・鱈田 6. 三条／不備

029 鮓と雑煮 豊栄 [新潟県]

B 5 判 130件 形式A

昭和33年3月と35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 海より／豊栄 2. 葛塚 3. 加山・土地亀 4. 城山・鳥屋・島見 5. 太田・大口・
須戸・黒山 6. 松影・樋ノ内・他門・新鼻 7. 栄町・早通・新井郷・その他

030 鮓と正月料理 石川 鶴来 昭四〇

B 5 判 44件 形式A

昭和40年4月におこなった調査。内扉に「石川県 石川郡 鶴来」と記され、鶴来
を中心に手書きの路線図が付されている。

[目次]

1. 鶴来 2. 本町・今町・新町・古町 3. 知守町・大国町・日詰町・清沢町 4. 水戸
町・朝日町・下東町・名なし 5. 能美郡・和佐谷

031 鮓と雑煮 越前南部・若狭 [福井県]

B 5 判 79件 形式A

昭和31年8・9・10月と32年2月におこなった調査。

[目次]

1. 鮎川・白浜 2. 大丹生・小丹生・三本木 3. 茶崎・蒲生 4. 越廼 5. 織田 6. 朝
日 7. 大野・足羽 8. 三方

032 鮓と雑煮 甲州・葦崎 [山梨県]

B 5 判 98件 形式A

昭和38年4月におこなった調査。内扉に「山梨・韭崎」と記され対象となる地域の手書きの地図が付されている。

[目次]

1. 韭崎 2. 岩下・竜岡・清哲 3. 祖母石・一ッ谷 4. 円野・上, 下円野・武田・北宮地・鍋山 5. 不明

033 鮎と雑煮 飯田・下伊那 [長野県]

B 5判 103件 形式A

昭和38年4・6月におこなった調査。手書きの地図が付されている。

[目次]

1. 上伊那・飯島・中川 2. 下伊那・松川(片桐・大島・その他) 3. 下伊那・高森(山吹・吉田・下市田・牛牧・その他) 4. 下伊那・上郷(黒田・飯沼・別府・その他) 5. 飯田 6. 飯田・羽場・上飯田・丸山 7. 下伊那・鼎 8. 飯田・北方・大瀬木・山本 9. 飯田・松尾・毛賀・駄科・時又 10. 飯田・上川路・川路・伊豆木・下瀬・その他 11. 下伊那・下條・平谷・根羽 12. 下伊那・和南・千代・久堅・天竜・竜丘 13. 下伊那・喬木・豊丘・不明

034 鮎と雑煮 高遠・伊那 [長野県]

B 5判 124件 形式A

昭和38年5月におこなった調査。

[目次]

1. 東高遠・西高遠 2. 長藤・藤沢 3. 三義・山室 4. 美和・非持・中尾・市の瀬 5. 勝間・小原・下山田・上山田 6. 美篤・笠原・南割・末広・中泉・川手等 7. 日影・伊那部・中央区 8. 手良・中坪 9. 新山・桜井 10. 伊那市のうち 11. 東箕輪・西箕輪・南箕輪

035 鮎と雑煮 すわ地区 [長野県]

B 5判 51件 形式A

昭和38年5月におこなった調査。手書きの地図が付されている。

[目次]

1. 上諏訪 2. 茅野 3. 富士見 4. 下諏訪 5. 岡谷 6. 辰野 7. 不明

036 鮓と雑煮 下すわ [長野県]

B 5 判 54件 形式A

昭和38年4月におこなった調査で、手書きの地図が付されている。

[目次]

1. 下すわ・栄町・友の町・緑町・春日町・曙町他 2. 下諏訪 3. 下すわ・萩倉・矢木東・久保海道・下の原・小湯の上 4. 不明

037 鮓と雑煮 駒ヶ根 [長野県]

B 5 判 106件 形式A

昭和38年6月におこなった調査。

[目次]

1. 赤穂 2. 宮田 3. 西春近 4. 東春近 5. 東伊那 6. 中沢・中川 7. 飯島 8. 不明

038 鮓と雑煮 飯山・高井 [長野県]

B 5 判 129件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 飯山旧市内・奈良沢 2. 飯山・岡山・太田・外様・柳原 3. 飯山・瑞穂・常磐4. 木島・秋津 5. 飯山 6. 下高井・野沢温泉 7. 下高井・木島平・山之内 8. 下水内・栄 9. 下水内・豊田 10. 中野 11. 上水内

039 鮓と雑煮 信州柏原 [長野県]

B 5 判 122件 形式A

昭和35年7月におこなった調査。

[目次]

1. 柏原 2. 柏原上町・柏原新町 3. 柏原上町・柏原新町 4. 柏原中町・柏原花咲町・柏原停車場 5. 柏原旭町・柏原諏訪町・柏原中島町・柏原赤浜・柏原長原・柏原焼結 6. 二之倉 7. 熊倉・大平・大久保 8. 信濃町・村名なし

040 鮓と雑煮 松代 [長野県]

B 5 判 179件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 松代
2. 豊栄
3. 東条
4. 寺尾
5. 西条
6. 清野・岩野
7. 上高井・須坂
8. 更北
9. 長野・篠の井・屋代
10. 雑

041 鮎と雑煮 袋井 昭39 [静岡県]

B 5 判 128件 形式A

昭和39年1月におこなった調査。対象となる地域の手書きの地図が付されている。

[目次]

1. 袋井・高尾駅前
2. 高尾・下地・田端・掛の上・大門・三門
3. 袋井／豊沢・法多・宝野・菩堤
4. 袋井／愛野・石野・柳原・山梨・村松
5. 磐田・浅羽・福田・中川・西島・住吉
6. 周智・森・掛川・金谷

042 鮎と雑煮 三ヶ日 昭39 [静岡県]

B 5 判 163件 形式A

昭和39年1月におこなった調査。

[目次]

1. 引佐郡三ヶ日・三ヶ日・神明・天王・宇志・津々崎
2. 鶴代
3. 釣・日比沢・本坂
4. 御園・岡本・摩耶・大福寺・福長
5. 只木・小字不明

043 鮎と雑煮 水窪 [静岡県]

B 5 判 94件 形式A

昭和38年4月におこなった調査。

[目次]

1. 水窪
2. 水窪
3. 大黒・小畑
4. 向島・神原
5. 上村・向市場
6. 奥領家
7. 竜戸・河内
8. 小又
9. 大野・地双・有本
10. 大原・長尾
11. 西浦
12. 夏焼
13. 大地・新道・灰の沢
14. 水窪町のうち

044 鮎と雑煮 気賀 [静岡県]

B 5 判 95件 形式A

昭和39年2月におこなった調査。

[目次]

1. 気賀／遠州・引佐・細江町
2. 細江
3. 気賀
4. 清水・奥清水
5. 小野・広岡・呉石
6. 油田・老ヶ谷
7. 中川・落合
8. 跡川・仮屋・曳舟・上平
9. 不明
10. 引

佐・湖原・浜松

045 鮎と雑煮 横須賀 昭39 [静岡県]

B 5 判 145件 形式A

昭和39年1月におこなった調査。

[目次]

1.小笠郡横須賀（昭39年1月調） 2.横須賀 3.横須賀・川原町・西大谷 4.横須賀・沖之須 5.横須賀・西大淵・今沢・河原崎 6.横須賀・山崎・石津・清ヶ谷 7.大須賀・方々

046 鮎と雑煮 刈谷 昭39 [愛知県]

B 5 判 145件 形式A

昭和39年1月におこなった調査。

[目次]

1.刈谷 2.刈谷・小垣江 3.刈谷・野田・半城土 4.刈谷・富士松・逢見・東境・恩田 5.碧南 6.碧海・高浜 7.碧海・知立・高岡 8.知多・東浦・大府・大高

047 鮎 上野市 昭二八 [三重県]

B 4 判 69件 横書き この調査だけに使用した形式

昭和28年三重県上野市での調査。「すしの種類」「つくりかた（材料とその割合）」を表の中にレポート風に答える形式。

[目次] なし

048 鮎と雑煮 伊香郡 昭31 [滋賀県]

B 5 判 88件 形式A

昭和31年7・8月におこなった調査。

[目次]

1.伊香／木之本・千田 2.広瀬 3.杉野 4.高月 5.余呉 6.丹生

049 鮎 湖北 昭28 [滋賀県]

B 5 判 158件 形式C・E

[目次]

1.伊香 2.東浅井 3.坂田・長浜 4.彦根

050 正月 湖北 [滋賀県]

A 5判 15件 縦書き レポート

学生の書いたレポートを綴ったものである。

[目次]

1. 伊香／東浅井・坂田・長浜
2. 東浅井
3. 坂田・長浜

051 正月料理 近江 昭和30年3月 [滋賀県]

A 5判 24件 縦書き レポート

学生の書いたレポートを綴ったものである。

[目次]

1. 伊香・東浅井・長浜
2. 彦根・犬上
3. 愛知・蒲生・膳所

052 正月 湖東 昭31 [滋賀県]

A 5判 20件 縦書き レポート

学生の書いたレポートを綴ったものである。

[目次]

1. 彦根
2. 犬上・愛知
3. 神崎

053 正月 湖南 [滋賀県]

A 5判 18件 縦書き レポート

学生の書いたレポートを綴ったものである。

[目次]

1. 蒲生
2. 野州・栗太
3. 甲賀・大津・滋賀

054 鮓 滋賀 昭28

B 5判 125件 横書き 形式C・E

[目次]

1. 犬上
2. 愛知・神崎
3. 蒲生
4. 甲賀
5. 栗太
6. 野洲
7. 大津
8. 滋賀
9. 高島

055 鮓 滋賀

15片 袋入り レポート・手紙

年代不明だが、滋賀県立短大で教鞭をとっていたころのものと思われる。滋賀県下の鮓についての学生のレポートおよび知人たちへの問い合わせの返信を書類袋に集め

篠田統資料目録Ⅰ（アンケートとレポート）

たもの。

[目次]

1. 守山市 2. 彦根市 3. 米原市 4. 長浜市 5. 甲賀郡 6. 愛知郡 7. 蒲生郡 8. 東浅井郡

056 鮎 西江州 昭28

B 5 判 58件 形式C

[目次]

1. 大津 2. 滋賀 3. 高島

057 雑煮 伊香郡 [滋賀県]

B 6 判 68件 横書き

年代不明。書類袋に調査票をつづったものと、知人に正月料理と鮎について問い合わせた返事1通が集められている。調査は、伊香郡木之本町に限定されている。

058 鮎 近江 昭三〇 [滋賀県]

B 5 判 46件 形式M

[目次]

1. 伊香・東浅井 2. 坂田・長浜 3. 彦根 4. 犬上・愛知・神崎・蒲生 5. 甲賀・野洲・栗太

059 鮎と雑煮 園部・山家・出石 [京都府]

B 5 判 106件 形式A

昭和33年6・7・9月におこなった調査。

[目次]

1. 園部 2. 山家 3. 出石

060 鮎と雑煮 弥栄 間人 昭35初 [京都府]

B 5 判 96件 形式A

昭和35年1月におこなった調査。

[目次]

1. 弥栄（旧野間）・野中・中津・吉野・須川・霰・末三谷 2. 間人 3. 豊栄・大山・岩木・吉永・矢畑・是安・谷・成願寺・徳光 4. 丹後町のうち部落名なし・網野・久美浜

061 鮎と雑煮 京都 昭28

B 5 判 57件 形式C・F

[目次]

1. 京都
2. 乙訓
3. 久世・宇治
4. 綴喜
5. 相楽
6. 加佐・舞鶴
7. 與謝
8. 中
9. 竹野
10. 熊野

062 鮎 船井・何鹿・天田 昭28 [京都府]

B 5 判 93件 形式D・F・G

[目次]

1. 船井
2. 何鹿・綾部
3. 天田・福知山

063 鮎 南桑田・北桑田 昭28 [京都府]

B 5 判 56件 形式D・E

[目次]

1. 南桑田
2. 北桑田

064 鮎 奥丹後 [京都府]

B 4 判 1件 袋入り レポート

書類袋に学生の鮎のつくり方を記したレポートをまとめようとしたものと思われる。

065 正月 大阪 昭二八

B 5 判 32件 縦書き（一部横書き） レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート

[目次]

1. 大阪
2. 布施・守口
3. 三島
4. 豊能
5. 河内
6. 和泉

066 郷土料理 正月と祭礼 大阪 昭二八

A 5 判 11件 縦書き レポート

学校の教諭が書いた食習慣、特に祭礼と正月についてのレポート。専門教養「家庭」の認定講習時のものと思われる。

[目次]

1. 大阪市
2. 堺市
3. 泉北郡・南河内郡
4. 大東市・岸和田市
5. 貝塚市
6. 八尾市
7. 和歌山県
8. 岐阜県
9. 大分県

067 鮎 大阪 昭二八

B 5 判 48件 形式C・D・I

[目次]

1. 大阪
2. 高槻
3. 茨木
4. 吹田
5. 池田
6. 三島
7. 豊能
8. 牧方・布施・八尾
9. 北河内・中河内・南河内
10. 堺
11. 岸和田・大津・貝塚・佐野
12. 泉北・泉南

068 鮎 大阪

11片 袋入り レポート・手紙類

昭和28年ごろのものと思われる。書類袋に鮎に関する学生のレポートと知人に問いあわせた返事を集めたもの。

[内容]

1. 三島郡
2. 茨木市
3. 高槻市
4. 岸和田市
5. 大阪市
6. 牧方市
7. 泉南郡
8. 西能勢郡・豊能郡

069 正月料理 大阪 昭三〇の一

A 5 判 13件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 大阪市
2. 摂津
3. 河内

070 正月 大阪市 昭二八

A 5 判 17件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 大阪混合型
2. 大阪不定型

071 盆と正月 大阪市内 昭三二

A 5 判 54件 縦書き レポート

学生が書いた「盆の風習と食生活」および「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 天王寺・阿部野
2. 住吉・東住吉
3. 城東・生野・旭・東淀川
4. 大正・混速・福島・西成

072 正月 大阪府 昭三三

A 5判 57件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 大阪市港区・西区・北区
2. 大阪市・福島区・西淀川区・此花区
3. 大阪市東住吉区・住吉区・阿部野区
4. 大阪市浪速区・旭区・城東区・東成区・生野区・天王寺区
5. 豊能郡・三島郡
6. 河内
7. 和泉

073 正月 大阪（摂津・和泉） 昭二八

A 5判 18件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 北摂／池田・豊中・豊能
2. 南摂／吹田・茨木・高槻・三島
3. 泉北・泉南

074 盆と正月 和泉・摂津 昭三二 [大阪府]

A 5判 50件 縦書き レポート

学生が書いた「盆の風習と食生活」および「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 和泉
2. 福泉
3. 泉ヶ丘
4. 堺・高石（南河内・徳島）
5. 泉大津
6. 岸和田
7. 貝塚・佐野
8. 泉南（淡路）

075 盆と正月 河内 昭三二 [大阪府]

A 5判 45件 縦書き レポート

学生が書いた「盆の風習と食生活」および「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 北河内
2. 布施・八尾
3. 中河内
4. 松原・磯長・高鷲
5. 富田林
6. 河内長野
7. 南河内

076 正月 大阪（河内）

A 5判 14件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 北河内
2. 中河内
3. 南河内

077 端午 半夏生 [大阪府]

B 6判 54件 横書き 袋入り

学生にB 6判のザラ紙を与え、「5月5日に何を食べるか、新暦か旧暦か1ヶ月おくれか、かしわもちを作るか、葉は何を使うか、その形は」と「半夏生にどんなことをするか、何を食べるか」「自分の家の地方名」を問うたもの（主に大阪を中心とした地域）。

078 鮓 奈良

5件 袋入り 形式D・手紙

年代不明だが、昭和27・28年頃のものと思われる。書類袋に調査票（形式D）と知人に鮓について問い合わせたものの返事を集めたもの。

[目次]

1. 桜井市
2. 高市郡明日香村
3. 吉野郡川上村
4. 奈良市

079 [奈良県添上郡東山村]

B 5判 59件 形式A

昭和38年10～12月と昭和39年1・5月におこなった調査。

[目次]

1. 室津
2. 松尾
3. 的野
4. 桐山
5. 峰寺
6. 北野
7. 他郡

080 [奈良県山辺郡 西]

B 5判 138件 形式A

昭和39年におこなった調査。

[目次]

1. 山辺郡都祁村針ヶ別所地区西部
2. 針ヶ別所
3. 荻
4. 馬場

081 [奈良県山辺郡 東]

B 5判 158件 形式A

昭和39年4・5月におこなった調査。

[目次]

1. 山辺郡都祁村針ヶ別所地区東部
2. 小倉
3. 上深川
4. 下深川

082 鮎調査表 和歌山

B 5判 112件 形式J

学校の教諭を対象とした慣行食品調査。

[目次]

1. 和歌山 2. 海草 3. 有田 4. 日高

083 鮎 紀伊・伊都 [和歌山県]

B 4判 59件 縦書き レポート

昭和27年1月の和歌山県伊都郡橋本町橋本中学校での講習会の受講者に対しておこなった調査。

084 鮎と雑煮アンケート 南紀 [和歌山県]

B 5判 89件 形式A・B

昭和39年9月におこなった調査。

[目次]

1. 新庄 2. 高城 3. 龍神 4. 南部

085 正月 兵庫 (丹波・但馬) 昭二八

A 5判 12件 縦書き レポート

学生の書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 丹波 2. 但馬・美方・養父 3. 城崎・朝来

086 鮎 兵庫 昭二八

B 5判 54件 形式C・D・F・G

[目次]

1. 神戸・尼崎・明石・武庫 2. 川辺 3. 多紀 4. 氷上 5. 津名・三原

087 鮎 兵庫

3片 袋入り 手紙

年代不明だが消印より昭和28年頃のものと思われる。書類袋に知人に鮎について問い合わせた返事を集めたもの。

[目次]

1. 川辺郡六瀬村 2. 朝来郡中川村 3. 明石市上ノ九

088 正月 兵庫（摂津・播磨・淡路） 昭二八

A 5判 18件 縦書き レポート

学生の書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 摂津 2. 播磨 3. 淡路

089 盆と正月 兵庫県 昭三一

A 5判 58件 縦書き レポート

学生の書いた「盆の風習と食生活」および「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 尼崎・西宮・神戸 2. 川辺・有馬 3. 明石・姫路 4. 神崎・宍粟・赤穂 5. 播磨
6. 但馬 7. 淡路 8. 丹波

090 鮎と正月料理 兵庫 昭三八・三九

B 5判 52件 形式A

昭和38年1・2月と39年1・5月におこなった調査。

[目次]

1. 神戸 2. 芦屋・西宮 3. 尼崎・伊丹・宝塚 4. 播磨 5. 丹波・但馬・淡路

091 鮎と雑煮アンケート 但馬 [兵庫県]

B 5判 73件 形式A

昭和31年8・9月と32年6月におこなった調査。

[目次]

1. 和田山 2. 豊岡 3. 浜坂

092 鮎と雑煮アンケート 但馬 [兵庫県]

B 5判 124件 形式A

昭和30年11・12月と31年8・10月・32年1・6月におこなった調査。

[目次]

1. 温泉 2. 美方（射条・小代） 3. 村岡・熊次 4. 香住 5. 竹野 6. 養父 7. 朝来

093 鮓 播磨・丹波 昭二八 [兵庫県]

B 5判 90件 形式C・D・F・G

[目次]

1. 姫路・宍粟・飾磨・揖保・神崎・
2. 加古・印南・加古川
3. 加東・加西・美裏
- ・多可
4. 赤穂・相生・佐用
5. 城崎・美方・豊岡
6. 朝来・出石・養父

094 鮓と正月料理 丹波大山 三 [兵庫県]

B 5判 87件 形式A

昭和31年1月におこなった調査。フィールド・ノートの「丹波大山 一～八」の第3冊目にあたる。

[目次]

1. 追入
2. 宮
3. 上
4. 石住・高倉
5. 新・町之田
6. 北野新田
7. 北野
8. 下
9. 東河地
10. 中学校調

095 鮓と雑煮アンケート 丹波・宮田 [兵庫県]

B 5判 71件 形式A

昭和33年2月におこなった調査。

[目次]

1. 川北・川北新田・黒田
2. 口坂本・西坂本・西谷
3. 宮田・高屋
4. 東本之部・西本之部・川西
5. 西坂・上坂井・下坂井
6. 打坂・乗竹・垣屋・高坂・倉本・坂本・栗柄

096 鮓と雑煮 播磨・淡路島 昭三一 [兵庫県]

B 5判 53件 形式A

昭和31年2～6月におこなった調査。

[目次]

1. 坂越
2. 室津
3. 飾磨
4. 郡家

097 鮓と雑煮アンケート 淡路 [兵庫県]

B 5判 101件 形式A

[目次]

1. 淡路
2. 由良
3. 三原
4. 南淡
5. 西淡
6. 鮎原
7. 一宮
8. 郡家
9. 多賀

098 鮎と雑煮アンケート 淡路島 [兵庫県]

B 5 判 162件 形式A

昭和35年5月におこなった調査。

[目次]

1. 五色 2. 鮎原 3. 都志・鳥飼 4. 津名 5. 大町 6. 木曾 7. 畑・上畑

099 鮎と雑煮アンケート 宍粟・東播 [兵庫県]

B 5 判 56件 形式A

昭和31年5月と32年6月におこなった調査。

[目次]

1. 宍粟 2. 三方 3. 繁盛 4. 播磨

100 鮎と雑煮アンケート 揖保・佐用 [兵庫県]

B 5 判 76件 形式A

昭和32年6・9月におこなった調査。

[目次]

1. 竜野 2. 揖保郡 3. 村田 4. 佐用

101 鮎と雑煮アンケート 氷上郡 [兵庫県]

B 5 判 115件 形式A

昭和34年7月におこなった調査。

[目次]

1. 柏原 2. 山南 3. 氷上 4. 青垣 5. 市島 6. 春日

102 鮎と正月 鳥取 八頭郡

B 5 判 56件 形式A

昭和32年8・9・12月におこなった調査。

[目次]

1. 智頭 2. 用ヶ瀬 3. 河原 4. 国英 5. 郡家

103 鮎と雑煮アンケート 鹿野 [鳥取県]

B 5 判 73件 形式A

昭和36年6月におこなった調査。調査担当者からの報告文と鹿野付近図を含む。

[目次]

1. 鹿野 2. 気高殿村 3. 気高町

104 鮎と雑煮アンケート 余子 [鳥取県]

B 5 判 80件 形式A

昭和37年11・12月におこなった調査。

[目次]

1. 境の余子 2. 境港 3. 中野 4. 福定 5. 竹の内 6. 高松

105 鮎 出雲 昭二八 [島根県]

B 5 判 79件 形式E・K

[目次]

1. 松江 2. 能義 3. 八束 4. 簸川 5. 出雲 6. 大原 7. 仁多 8. 飯石

106 [雑煮アンケート 島根]

455片 袋入り この調査だけに使用した形式

年代不明(島根県立女子短大で教鞭をとっていた昭和26~37年のころのものと思われる)。各学校別に分けられている。

地名、三ヶ日とも清汁か味噌汁か、三ヶ日のうち1~2回は小豆雑煮かを簡単に問うたもの。

[目次]

1. 秋鹿中学校 2. 恵曇中学校 3. 宍道中学校 4. 美保関中学校 5. 揖尾中学校 6. 大東中学校 7. 本庄中学校 8. 平田高校 9. 出雲高校 10. 三刀屋高校

107 鮎と雑煮 島根 昭三一

B 5 判 69件 形式A

昭和30年11月と31年5・6月におこなった調査。

[目次]

1. 掛合・八神・日登 2. 木次 3. 三刀屋 4. 波佐・三瓶・矢上

108 鮎と雑煮アンケート 島根(松江及び以西)

B 5 判 85件 形式A

昭和31年7・11月と32年6月, 37年5月におこなった調査。

[目次]

1. 松江 2. 八束 3. 簸川 4. 須佐 5. 大原 6. 仁多 7. 飯石 8. 石見

109 鮎と雑煮アンケート 出雲 [島根県]

B 5判 81件 形式A

昭和33年6月と34年6・12月におこなった調査。

[目次]

1. 松江 2. 能義 3. 安田 4. 母里 5. 井尻・横屋 6. 布部 7. 西谷・宇波 8. 大原
9. 仁多

110 鮎と雑煮アンケート 加茂 大東 昭三五初 [島根県]

B 5判 102件 形式A

昭和35年1月におこなった調査。

[目次]

1. 加茂中 2. 斐伊川北・砂子原・大西・中村・東谷・猪尾・延野 3. 斐伊川南・立
原・南大西・宇治・神原・三代 4. 大東・大東下分 5. 幡尾・仁和寺・遠所・畑鶴
6. 春殖・養賀・佐世・大ヶ谷 7. 新庄・清田・金成・阿用・川井 8. 湯石・塩田・笹
谷・大木原・岡村

111 鮎と雑煮アンケート 石見・安芸吉田・備中高梁 [島根県]

B 5判 100件 形式A

昭和33年6月と34年2月におこなった調査。

[目次]

1. 石州鹿郡六日市 2. 柿木 3. 旭 4. 旭 5. 吉田 6. 高梁

112 鮎と雑煮アンケート 石見・邑智・瑞穂村 [島根県]

B 5判 174件 形式A

昭和37年6・7月におこなった調査。

[目次]

1. 瑞穂・田所・出羽地区 2. 瑞穂・高原地区

113 鮎と雑煮 牛窓界隈 昭三〇 [岡山県]

B 5判 68件 形式A

昭和30年10月におこなった調査。

[目次]

1. 鹿忍 2. 牛窓 3. 長浜・玉津 4. 裳掛 5. 邑久・長船 6. 鶴山・香登 7. 伊部・片上 8. 伊里 9. 白生

114 鮎と雑煮アンケート 美作 [岡山県]

B 5判 48件 形式A

昭和32年5・6月におこなった調査。

[目次]

1. 英田郡大原 2. 英田郡作東 3. 苫田郡加茂 4. 苫田郡・英田郡・勝田郡・津山市

115 鮎と雑煮アンケート 作州・新庄 [岡山県]

B 5判 68件 形式A

昭和34年11月におこなった調査。

[目次]

1. 新庄町 2. 大所・茅見 3. 戸島・鍛冶屋・田井・田中・梨瀬・浦手・大原 4. 高下・土用・ニツ橋・田浪

116 鮎と雑煮アンケート 和気・二部 昭三五初 [岡山県]

B 5判 84件 形式A

昭和34年11月と35年2月におこなった調査。

[目次]

1. 和気・佐伯 2. 吉永・三石 3. 瀬戸・吉井・熊山 4. 二部・畑地・福岡 5. 三部・福島・福吉・福居・焼杉

117 鮎と雑煮アンケート 美甘・勝山 [岡山県]

B 5判 95件 形式A

昭和35年1月におこなった調査。

[目次]

1. 美甘 2. 延風・田口・片岡 3. 当政・河田・平島・羽仁 4. 黒田・鐵山 5. 勝山町・本郷 6. 草加部・原方・三田・江川・福谷・後谷敏 7. 横部・組・神庭・岡・柴原 8. 畝世・見尾・且・神代

118 鮎と雑煮アンケート 周匝 [岡山県]

B 5判 93件 形式A

昭和35年1月におこなった調査。

[目次]

1. 英田・作東 2. 柵原 3. 周匝 4. 吉井 5. 佐伯 6. 和気・片上・熊山

119 鮎と雑煮アンケート 松永（上） [広島県]

B 5判 83件 形式A

昭和33年12月におこなった調査。

[目次]

1. 松永 2. 本郷 3. 原田 4. 東村 5. 西村 6. 今津 7. 高須 8. 高西

120 鮎と雑煮アンケート 松永（下） [広島県]

B 5判 74件 形式A

昭和33年におこなった調査。

[目次]

1. 藤江・西藤 2. 金江 3. 神村 4. 柳津

121 鮎と正月料理 広島 福山 昭三九

B 5判 105件 形式A

昭和39年1～3月におこなった調査。

[目次]

1. 東堀端 2. 三の丸 3. 西町・木之庄 4. 長者町 5. 本庄・南本庄 6. 西神島 7. 佐波 8. 東桜・桜・西桜 9. 松山町・伏見町・米屋町 10. 地吹町・名なし

122 鮎と正月料理 広島 高野山 昭三九

B 5判 97件 横書き 形式A

昭和39年2月におこなった調査。

[目次]

1. 新市 2. 南 3. 上湯川 5. 和南原 6. 市原・別所

123 鮎と雑煮アンケート 比和 昭三九 [広島県]

B 5判 120件 形式A

[目次]

1. 比和 2. 木屋原・元常 3. 福田・布見 4. 古項 5. 永原・森脇・越原 6. 三河内

124 鮓と正月料理 広島 油木 昭三九

B 5 判 107件 形式A

昭和39年2月におこなった調査。

[目次]

1. 油木 2. 安田 3. 入谷 4. 永野・有元 5. 不明

125 鮓と正月料理 広島 東条 昭三九

B 5 判 69件 形式A

昭和39年3月におこなった調査。

[目次]

1. 東城 2. 川西 3. 川東 4. 福代 5. 久代 6. 戸宇・宇山 7. 受原・竹森・その他

126 鮓と正月料理 広島 府中 昭三九

B 5 判 50件 形式A

昭和39年5・7月におこなった調査。

[目次]

1. 府中 2. 鶏飼・広谷 3. 出口 4. 土生 5. 名なし 6. 神辺

127 鮓と正月料理 広島 庄原 昭三九

B 5 判 68件 形式A

昭和39年9・10月におこなった調査。

[目次]

1. 庄原 2. 川手 3. 三日市 4. 宮内 5. 大久保

128 鮓と雑煮アンケート 長州佐々並 [山口県]

B 5 判 49件 形式A

昭和36年11・12月におこなった調査。

[目次]

1. 旭 2. 佐々並

129 鮭アンケート 徳島 1954～1955

B 5判 64件 形式A

[目次]

1. 板野郡・鳴門市
2. 那賀郡桑野・鷺食
3. 海部郡日和佐
4. 麻植郡鴨島
5. 三好郡池田（吉野川北岸・山間部・西部）

130 鮭アンケート 高知 1954～1955

B 5判 84件 形式A・H

[目次]

1. 安芸郡甲浦
2. 安芸市・奈半利
3. 土佐郡長沢
4. 吾川郡日比原
5. 高岡郡佐川
6. 須崎
7. 禰原
8. 幡多郡大方（入野）
9. 中村・清水・宿毛

131 [福岡県甘木市秋月地区]

B 5判 156件 形式A

昭和39年10月におこなった調査。

[目次]

1. 秋月
2. 下秋月
3. 今小路・中野・魚野・その他
4. 上野鳥・野鳥
5. 上秋月
6. 日向石
7. 出町・松丸・浦泉・その他
8. 江川
9. 安川千手
10. 下淵
11. 隅江・二ツ石・名なし
12. 甘木・朝倉・喜穂・名なし

132 [福岡県三井郡小郡]

B 5判 104件 形式A

昭和39年10月におこなった調査。

[目次]

1. 小郡
2. 大板井
3. 大崎
4. 福堂
5. 西福堂

133 [福岡県 門司]

B 5判 65件 形式A

昭和39年10月におこなった調査。

[目次]

1. 和布茹
2. 旧門司
3. 八幡町
4. 井戸
5. 平安町・宝来町・賑町・浜町
6. 東本町・内本町
7. 堀川・内堀川
8. 浪花町・真光寺谷町
9. 丸山町
10. 門司区・欠名
11. 他県

134 [福岡県三潯郡城島町]

B 5判 47件 形式A

昭和40年1月におこなった調査。

[目次]

1. 城島
2. 内野・浜
3. 檜津
4. 高津・東津・六丁原
5. 大依
6. 失名

135 福岡県

B 5判 115件 形式A

昭和42年5・6月におこなった調査。

[目次]

1. 筑紫郡
2. 三井郡
3. 三潯郡
4. 山門郡
5. 三池郡
6. 八女市
7. 筑後市
8. 柳川市
9. 大川市
10. 久留米市
11. 大牟田市
12. その他

136 [佐賀県北松浦郡有田]

B 5判 204件 形式A

昭和39年10月におこなった調査。

[目次]

1. 有田
2. 中部・本町・赤絵町
3. 名なし
4. 戸杓・岩崎・南山・白川・中ノ原・幸平・上幸平
5. 泉山・大樽・中樽・原宿・南原
6. 岩谷川内・境野
7. 応法・黒牟田・丸尾
8. 外尾山・外尾・南川良
9. 西有田・原明
10. 桑古場・大野
11. 戸矢・古木場
12. 波佐見・村木・稗木場

137 [長崎市]

B 5判 116件 形式A

昭和39年におこなった調査。

[目次]

1. 本河内
2. 鳴瀧
3. 矢の平
4. 中川・新中川
5. 桜馬場・夫婦川・伊良林
6. 八幡町・伊勢町・新大工町・寺町
7. 本紙屋町・麴屋町・諏訪町・磨屋町・銀屋町
8. 本古川・東古川・西古川
9. 榎津町・万屋町・東浜町・鍛冶屋町・今籠町・八坂町・油屋町
10. 銅座町・西町

138 [長崎県南高来郡]

B 5判 80件 形式A

篠田統資料目録Ⅰ（アンケートとレポート）

昭和39年10月におこなった調査。

[目次]

1. 口之津・町名 2. 栄町・仲町・南大泊・東大泊 3. 唐人町・久木山 4. 大屋 5. 前方・貝瀬・真米・木ノ崎・角屋・東 6. 小利・三軒屋 7. 早崎・野向 8. 南有馬・夏吉

139 [長崎県島原市]

B 5 判 113件 形式A

昭和39年11月におこなった調査。

[目次]

1. 桜馬場・新馬場・片町・中ノ町・西町・宮ノ町 2. 古町・新町・万町・田町・先魁町・江戸町・北原町・今川町・上の町・高島町・新建町・荻ヶ丘 3. 荻原・田屋敷・浦ノ川 4. 杉谷・本町・中尾・浜 5. 柏野・山寺・宇土 6. 六ツ木・折橋・千本木 7. 名なし

140 [長崎県平戸]

B 5 判 56件 形式A

昭和39年におこなった調査。

[目次]

1. 平戸・新町・職人町・浦の町・宮の町 2. 魚之棚・崎方・大久保 3. 鏡川 4. 戸石川・大野・木引 5. 岩之上 6. 失名

141 [熊本県]

B 5 判 119件 形式A

昭和42年6・7月におこなった調査。

[目次]

1. 熊本市 2. 荒屋市 3. 八代市 4. 水俣市 5. 鹿本郡 6. 天草郡 7. 宇土郡 8. 菊池郡 9. 上益城郡

142 [大分県日田市]

B 5 判 67件 形式A

昭和39年10月におこなった調査。

[目次]

1. 中央通・淡窓町 2. 御幸通・港町 3. 上城内・北豆田・丸山 4. 丸の内・城町・中城町 5. 三本町・南豆田・庄手 6. 田島・今津・玉川 7. 日田・失名

143 鮓と雑煮 宮崎県

B 5 判 167件 形式A

昭和30年10～12月におこなった調査。

[目次]

1. 西臼杵郡 2. 延岡市 3. 東臼杵郡 4. 児湯郡 5. 東諸県郡 6. 宮崎郡 7. 宮崎市

144 [宮崎県日南市]

B 5 判 155件 形式A

昭和42年7月におこなった調査。

[目次]

1. 油津町 2. 大堂津町 3. 細田町 4. 吾田町 5. 飫肥町 6. 酒谷村 7. 鶏戸村

145 [鹿児島県]

B 5 判 215件 形式A

昭和42年5・6月におこなった調査。

[目次]

1. 出水市 2. 大口市 3. 阿久根市 4. 川内市 5. 串本野

146 [鹿児島県薩摩郡]

B 5 判 96件 形式A

昭和42年5月におこなった調査。

[目次]

1. 東郷町南瀬・山田・斧淵・鳥丸 2. 上甕村 3. 下甕村 4. 不明

147 [鹿児島県日置郡]

B 5 判 107件 形式A

昭和42年5・6月におこなった調査。

[目次]

1. 東市来町 2. 伊集院町 3. 日吉町 4. 金峰町

148 鹿児島市・鹿児島郡

B 5 判 159件 形式A

昭和42年におこなった調査。

[目次]

1. 鹿児島市田上・宇宿・上福之・下福之・塩屋・原良町・西田町・武町・上荒田町・高麗町・南林寺・下荒田町・郡之町・平田・山田・薬師堂・新屋敷 2. 小野・上伊敷・下伊敷・小山田・坂元・下田・吉野・稲荷

149 [鹿児島始良郡・国分市]

B 5 判 96件 形式A

昭和42年5・6月におこなった調査。

[目次]

1. 加治木町・反土・本町・小山田・西別府・港町・錦江町・仮屋町・諏訪町・木田 2. 始良町・鍋倉・脇元・東餅田・下名・西餅田・平松 3. 隼人町 4. 溝辺町 5. 横川町 6. 蒲生町 7. 国分市新町・下井村 8. 牧園町 9. 霧島町 10. 吉松町・泉町・山手町・千代田町・緑町・折口町・新町・西本町・旭町・住吉町・汐見町・宮前町亀沢町・日之出町・中町

150 指宿市・揖保郡 [鹿児島県]

B 5 判 156件 形式A

昭和42年5・6月におこなった調査。

[目次]

1. 指宿市十町・十二町・西方・東方・新西方・宮の前・小牧・岩本・池田・西方大園原・今和泉 2. 指宿郡山川町・開酷町・颯娃町・喜入村

151 [鹿児島県加世田市・川辺郡・枕崎市]

B 5 判 114件 形式A

昭和42年1月と5～7月におこなった調査。

[目次]

1. 加世田市益山・唐仁原・武田・内山田・津貴 2. 川辺郡川辺町 3. 知覧町 4. 坊津町 5. 枕崎市道野村 6. 東鹿籠村 7. 西鹿籠村 8. 別府 9. 木原村 10. 大塚・手ノ山 9. 枕崎市・東本町・高見

152 [鹿児島県嚙啖郡他]

B 5判 104件 形式A

昭和42年5～7月におこなった調査。

[目次]

1. 嚙啖郡
2. 肝付郡
3. 垂水市
4. 熊毛郡
5. 大島郡
6. 名瀬市

153 正月 東海・北陸

A 5判 22件 縦書き レポート

学生の書いた「正月の食生活について」のレポート

[目次]

1. 福井
2. 石川
3. 富山
4. 新潟
5. 福島
6. 宮城
7. 北海道
8. 三重
9. 岐阜
10. 愛知
11. 山梨
12. 茨木

154 鮓と雑煮 伊勢・尾張・参河

B 5判 109件 形式A

昭和31年2・8・9・10月におこなった調査。

[目次]

1. 鈴鹿
2. 三重・河芸・津・四日市・桑名
3. 名古屋
4. 飛島
5. 春日井
6. 大野・知多・横須賀・上野
7. 常滑・苅屋・古場
8. 常滑・松原・熊野
9. 美浜・野間
10. 美浜・柿並・内扇・若松
11. 内海・豊浜
12. 武豊
13. 阿久比・大府

155 正月 東海・北陸・奥羽 昭二八

B 5判 18件 縦書き レポート

学生の書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 三重
2. 東海
3. 東京
4. 関東
5. 北陸
6. 奥羽

156 鮓と雑煮 津川 東蒲原 [新潟県・福島県]

B 5判 133件 形式A

昭和34年10月, 昭和35年5・6月におこなった調査。

[目次]

1. 津川
2. 津川外郊
3. 鹿瀬・日出谷
4. 鹿瀬村・豊見・当麻・赤崎
5. 三川・各花・五十島・岩谷
6. 三井・吉津・川口・その他
7. 上川・九島・広瀬・粟瀬・その

他 8. 会津・付不備

157 正月 各地 昭三三

A 5判 35件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 三重・滋賀
2. 岐瀨
3. 石川・福井
4. 新潟
5. 福島
6. 両備
7. 美作
8. 山口
9. 広島
10. 島根・鳥取
11. 高知・徳島
12. 香川
13. 愛媛

158 盆と正月 東海・北陸・関東 昭三二

A 5判 35件 縦書き レポート

学生が書いた「盆の風習と食生活」および「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 福井
2. 石川
3. 富山
4. 新潟
5. 三重
6. 東海
7. 関東
8. 東北
9. 北海道

159 鮓 関東

10片 袋入り

年代不明だが、昭和27・28年ごろのものと思われる。書類袋に、ガリ版印刷調査票と知人に鮓のことを問いあわせた返事などを集めたもの。なお、山梨大学学芸部（当時）の調査による、広域にわたる調査統計表がふくまれている。

[目次]

1. 群馬県甘楽郡秋畑
2. 千葉県山城郡白里
3. 千葉県佐倉市
4. 東京都中央区新富町
5. 東京都荒川区三河島町
6. 東京都港区麻布
7. 神奈川県足柄郡中井町
8. 山梨県北巨摩郡清里村

160 正月料理 東国・西国 昭三〇の四

A 5判 23件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 岡山・備前・備中・美作
2. 鳥取
3. 徳島・香川・愛媛
4. 石川・富山・青森
5. 静岡・関東

161 鮓 北陸 昭28

B 5判 47件 形式B・C・D・レポート

鮓に関するレポートとアンケートが、混って綴ってある。

[目次]

1. 福井
2. 石川・能登
4. 富山
5. 新潟・越後
6. 新潟・佐渡

162 鮓 北陸

22片 袋入り レポート

年代不明だが、消印などより昭和28年ごろのものと思われる。鮓にかんする学生のレポートと、知人に鮓について問い合わせ返事を書類袋に集めたもの。

[目次]

1. 福井県小浜市
2. 福井県大飯郡
3. 福井県三方郡
4. 福井遠敷郡
5. 福井県今立郡
6. 福井県坂井郡
7. 福井市
8. 富山市

163 鮓と雑煮 越前(坂井郡)・加賀 [福井県・石川県]

B5判 92件 形式A

昭和31年9月におこなった調査。

[目次]

1. 吉崎
2. 浜坂
3. 三国
4. 新保
5. 木部
6. 川西
7. 石川・鳳至
8. 大聖寺
9. 塩屋

164 鮓アンケート 中国・九州・近畿・東北 昭二九

B5判 43件 横書き 形式A・E・L・M・N・O

[目次]

1. 大阪・兵庫
2. 京都・福井
3. 中国・九州
4. 山形

165 鮓と雑煮 舞鶴 [京都・福井県]

B5判 117件 形式A

昭和35年1月におこなった調査。

[目次]

1. 舞鶴・西舞鶴
2. 舞鶴・余部・新舞鶴
3. 舞鶴・四所・高野・中筋・池内
4. 舞鶴・倉橋・志楽・西大浦
5. 綾部・福知山・大江・宮津
6. 若狭・高浜・大飯

166 正月 行事と料理 昭三〇・一月

B5判 52件 横書き レポート

学生の書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 滋賀県伊香・東浅井・坂田・長浜・彦根・犬上・愛知・神崎・蒲生・甲賀・野洲
・栗太・滋賀 2. 京都府 3. 福井県 4. 和歌山県 5. 徳島県 6. 長崎県 7. 愛知県名古屋
古屋市

167 正月 京都・滋賀 昭二八

A 5判 13件 縦書き レポート

学生の書いたレポートを綴ったものである。

[目次]

1. 京都 2. 滋賀 3. 清水・奥清水 4. 小野・広岡・呉石 5. 油田・老ヶ谷 6. 中川
・落合 7. 跡川・仮屋・曳舟・上平 8. 不明 9. 引佐・湖原・浜松

168 正月 京都・大阪・兵庫・滋賀その他 昭二八

B 5判 103件 横書き 形式O

[目次]

1. 京都府 2. 三島・吹田・茨木・高槻 3. 豊能・池田 4. 兵庫 5. 伊香 6. 東浅井
7. 坂田 8. 長浜 9. 彦根 10. 犬上 11. 愛知・神崎 12. 蒲生 13. 甲賀・野洲・栗
太 14. 大津 15. 大連・千葉・東京・長崎・和歌山

169 鮓と雑煮 近畿・近江・大和・京阪・丹波

B 5判 84件 形式A

昭和31年10月、32年8月・9月、33年9月、35年1月におこなった調査。

[目次]

1. 京都・大阪 2. 東能勢 3. 篠山 4. 下市 5. 野洲・草津 6. 八幡 7. 八日市・神
崎 8. 蒲生・彦根

170 正月 近畿 昭三三

A 5判 37件 縦書き レポート

学生の書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 京都府 2. 大和 3. 紀伊 4. 神戸 5. 摂津 6. 淡路 7. 播磨 8. 但馬 9. 丹波

171 正月 近畿 昭二八

B 5判 21件 縦書き レポート

学生の手いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. [京都] 2. 滋賀 3. 奈良 4. 兵庫

172 正月 関西（場所不明・上方風） 昭二八

A 5判 17件 縦書き レポート

学生の手いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 関西（大阪）風

173 [高槻（大阪府）他]

B 5判 108件 形式A

昭和39年6・7月におこなった調査。

[目次]

1. 高槻 2. 服部地区 3. 服部 4. 欠名・服部？ 5. 塚脇・西河原 6. 大蔵司・浦堂
7. 原 8. 榎田地区 9. 田能 10. 二科・杉生 11. 出灰・京都府を含む 12. 中畑・外畑（京都府）

174 正月 京阪神 昭三一

A 5判 10件 縦書き レポート

学生の手いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 京都 2. 大阪 3. 兵庫

175 正月料理 近畿 昭三〇の二

A 5判 9件 縦書き レポート

学生の手いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 京都 2. 和歌山 3. 兵庫

176 盆と正月 東近畿 京都・奈良・和歌山 昭三二

A 5判 51件 縦書き レポート

学生の手いた「盆の風習と食生活」および「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 京都府山城・丹波・丹後 2. 奈良県奈良市・生駒・磯城・山辺・高市・北葛城・

篠田統資料目録Ⅰ（アンケートとレポート）

南葛城 3. 紀伊 4. 近江

177 正月 奈良・和歌山

A 5判 18件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 奈良 2. 和歌山

178 鮎と雑煮 近畿及びそれ以西

B 5判 111件 形式A

昭和32年6月におこなった調査。

[目次]

大阪・守口 2. 豊中・箕面・池田 3. 吹田・茨木・高槻 4. 枚方・布施・八尾・岸和田 5. 川西・尼崎・西宮・芦屋・伊丹・宝塚 6. 有馬・氷上 7. 大和・紀伊 8. 岡山 9. 広島 10. 大朝 11. 四国・九州

179 外語 不完

13片 横書き 袋入り 形式A

昭和39年1月におこなった調査。学生に調査票形式Aのワクを各自につくらせ、答えさせたもの。

[内容]

1. 京都府 2. 大阪府 3. 兵庫県 4. 岡山県 5. 宮崎県

180 孟蘭盆 昭三一

B 5判 18件 縦書き レポート

学生が書いた「お盆について」のレポート。

[目次]

1. 近畿 2. 出雲 3. その他

181 鮎 山陰

4片 袋入り 手紙

年代不明だが、消印から昭和28年頃のものと思われる。知人に鮎について問い合わせた返事を書類袋に集めたもの。

[目次]

1. 鳥取県下全土 2. 鳥取県東伯郡 3. 島根県松江市 4. 島根県美濃郡

182 鮎 山陰 昭二八

B 5 判 55件 横書き 形式E・K

[目次]

1. 東伯 2. 西伯 3. 日野 4. 米子 5. 安濃 6. 邇摩 7. 邑智 8. 那賀 9. 浜田 10. 隠岐

183 正月 山陰 昭二八

B 5 判 56件 横書き 形式O

[目次]

1. 東伯 2. 西伯 3. 日野 4. 米子 5. 松江 6. 能義 7. 八束 8. 簸川・出雲 9. 大原・仁多 10. 安濃・邇摩 11. 邑智・那賀 12. 隠岐

184 鮎 石見 昭二九

B 5 判 67件 横書き 形式A

昭和29年11・12月におこなった調査。

[目次]

1. 大田 2. 浜田 3. 三隅 4. 益田 5. 津和野

185 正月雑煮 松江 昭三一

B 5 判 63件 横書き この調査だけに使用した形式

[目次]

1. 鳥取県西伯郡 2. 東伯郡 3. 鳥取市 4. 境港市 5. 米子市 6. 島根県安来市 7. 能義郡 8. 松江市 9. 八束郡 10. 斐川郡 11. 出雲市 12. 大原郡 13. 飯石郡 14. 周吉郡 15. 日野郡 16. 江津市 17. 浜田郡 18. 大田郡 19. 邑智郡

186 鮎と雑煮アンケート 島根県東部・鳥取

B 5 判 45件 横書き 形式A

昭和32年6月におこなった調査。

[目次]

1. 知夫 2. 龍義 3. 安来 4. 佐摩 5. 伯耆 6. 因幡

187 鮎と正月料理 中国五県 昭二八～三九

B 5 判 95件 横書き 形式A

昭和30年1・2月と38年1月, 39年1・2月におこなった調査。

[目次]

1. 備中
2. 尾道・御調・三原
3. 世羅・双三
4. 安芸
5. 山口
6. 出雲・平田以西
7. 松江以东
8. 石見・隠岐
9. 鳥取

188 鮎と雑煮アンケート 山陰・広島・岡山・栃木

B 5 判 100件 横書き 形式A

昭和33年6月と34年6・9月におこなった調査。

[目次]

1. 八束
2. 片江
3. 七類
4. 千酌
5. 簸川
6. 坂浦
7. 飯石
8. 石見
9. 隠岐
10. 伯耆
11. 広島
12. 岡山
13. 栃木

189 鮎 附正月 中国 昭二八

B 5 判 25件 横書き 形式C・D・F

[目次]

1. 備中・備前
2. 美作
3. 広島
4. 山口

190 盆と正月 中国 昭三二

A 5 判 40件 縦書き レポート

学生の書いた「盆の風習と食生活」および「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 備前
2. 備中
3. 美作
4. 備後
5. 周防
6. 長門
7. 因幡
8. 伯耆
9. 出雲

191 鮎 山陽

12片 袋入り 手紙

昭和28年頃のものと思われる。知人に鮎について問いあわせた返事を集めたもの。

[内容]

1. 山口県防府市・山口市・熊毛郡・阿武郡
2. 岡山県王野市・邑久郡
3. 兵庫県高砂市
4. 広島県呉市・尾道市・高田郡・豊田郡

192 鮎 中国筋 昭二九・一〇

B 5 判 32件 形式A

昭和29年10月～30年1月にかけておこなった調査。

[目次]

1. 沼貫 2. 津山 3. 新見 4. 山口 5. 田布施

193 鮓と雑煮 広島・山口 昭三一

B 5判 73件 形式A

昭和30年12月と31年1～3月におこなった調査。安下庄地区の地域図，室津地区の正月料理の解説文が付されている。

[目次]

1. 鞆 2. 宮島 3. 安下庄 4. 麻郷 5. 室津 6. 上ノ関

194 正月 中国・四国

A 5判 20件 縦書き レポート

学生の書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 岡山 2. 広島 3. 山口 4. 島根 5. 愛媛 6. 香川 7. 徳島 8. 高知

195 鮓 四国 昭二八

B 5判 41件 縦書き この調査だけに使用した形式

[目次]

1. 伊予 2. 讃岐 3. 阿波 4. 土佐

196 鮓 四国

10片 袋入り レポート・手紙

四国における鮓についての学生のレポート，および，知人たちへの問い合わせの返信を集めたもの。

[内容]

1. 愛媛県温泉郡・松山市・今治市 2. 香川県三豊郡・仲多度郡・木田郡 3. 高知県高知市・安芸市・安芸郡 4. 徳島県麻植郡

197 鮓アンケート 香川・愛媛 1954～1955

B 5判 83件 形式A

[目次]

1. 愛媛県宇摩郡川之江 2. 今治 3. 喜多郡大洲 4. 宇和島 5. 香川県大川郡津田・

篠田統資料目録Ⅰ（アンケートとレポート）

志度 6. 木田郡 7. 香川郡香西 8. 仲多度郡琴平 9. 丸亀

198 盆と正月 四国・九州 昭三二

A 5判 50件 縦書き レポート

学生が書いた「盆の風習と食生活」および「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 愛媛 2. 香川 3. 美馬・徳島市 4. 那賀・海部 5. 高知 6. 福岡・長崎・熊本
7. 鹿児島

199 正月 中国・四国・九州 昭二八

B 5判 16件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 岡山 2. 広島 3. 四国 4. 九州

200 正月 九州 昭二八

A 5判 14件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 鹿児島 2. 宮崎 3. 大分 4. 福岡 5. 佐賀 6. 長崎

201 鮓と雑煮 熊本・大分

B 5判 100件 形式A

昭和30年10月におこなった調査。

[目次]

1. 大分県竹田市 2. 直入郡 3. 臼杵市 4. 佐伯市 5. 南海部郡 6. 熊本県阿蘇郡
7. 球磨郡 8. 人吉市

202 正月 場所不明・田舎風 昭二八

A 5判 13件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次]

1. 関東風

203 正月 場所不明 昭二八

B 5判 23件 縦書き レポート

学生が書いた「正月の食生活について」のレポート。

[目次] なし

2 酒造関係

昭和28～32年のあいだに全国の酒造業者 200 軒を訪問し、酒造慣行について、質問票を使用して、先生みずから聞きとり調査した結果が、『酒屋万流』という手製本にまとめられている。酒造法の機械化が進行する以前の調査であるので、伝統的な酒造慣行についてまとめた資料として、酒造研究者にとっては重要な研究材料となるであろう。調査した 200 軒のなかには、現在は廃業したものもおおくふくまれている。

すべてが、おなじ質問票を使用した調査であり、質問票の形式を次頁以後に例示しておく。1冊ずつの [目次] には調査対象となった業者の酒銘と所在地が記されている。

酒造慣習調査票 No. _____

昭和 年 月 日調

銘
柄

--

蔵の位置	府 県	市 郡	町 村	字	丁目
製造者	有 限 会 社 株 式 代 表 者				

歴 史	明 治 創 業 大 正 年頃 旧藩時代より 昭 和 （再 開 昭和 年 年前）				
銘柄の変遷					
現 況	特 級	石くらい	味 淋	石くらい	
	一 級	石くらい	焼 酎	石くらい	
	二 級	石くらい			
	8				
	9 石	仕舞	仕込蔵の数	棟	
	10				

I 杜氏について

出身地	府 県	市 郡	町 村 字	勤続	年目		
採用	縁故	組合	官庁他の蔵の主人	この蔵で昇進	引ぬき	前杜氏すいせん	
前任者	出身地			勤続	やめた理由		
	府 県	市 郡	町 村	年位	老令	不醸	素行

II 蔵人の組織

	蔵での呼方	人数	府 県	郡 市	町 村
頭			・	・	・
大 師			・	・	・
配 廻 り			・	・	・
釜 屋			・	・	・
道具廻し			・	・	・
上 人			・	・	・
中 人			・	・	・
下 人			・	・	・
飯 炊			・	・	・
精 米 師			・	・	・

Ⅲ 信仰について

祀る神々	仕込蔵 釜 店	松尾 荒 稲	住吉 神 荷	梅宮 愛宕 エビス	日吉 秋葉
酏日	原則として冬至 冬至に拘らず一応暦は見る 寅の日丈は嫌う 暦は一切かまわない				

Ⅳ 酒米について

	産地	品種
麴米	府 郡 村 県 市	
酏米	府 郡 県 市	
掛米	府 郡 県 市	

精米方法 水車 タテ ヨコ 機械（中野、佐竹、中相 式）

Ⅴ 醸造作業

麴室の形態：二階，岡，半岡，地室
 麴種の仕入先：令，樋口，黒ばん，田中
 酏の種類：生酏，山麴，速醸，甘酒
 桶の種類：仕込桶 杉，珙瑯
 枝桶 〃 〃
 貯蔵桶 〃 〃
 搾り方：しめ木，ジャッキ，油圧器
 醪の輸送：桶，ポンプ，ホース
 火入れ：直火，二重釜，蛇管
 初しぼり： 月 日ごろ
 新酒口切り： 月 日ごろ

VI 作業手順

入 込： 月 日ごろ

秋 洗 い： 月 日ごろ 夏 洗 い： 月 日

湯洗い 薬品 (H_2O_2 HCl)

甌：宵 朝 時ごろ

杜氏の引揚げ： 月 日ごろ

帰国の土屋：杜 氏 斗 頭 本 貫 大師 本 貫

平 人 本 貫 追廻し 本 貫

VII その他

[1.5頁分の記入欄]

VIII 酒 唄

[1頁分の記入欄]

001 酒屋万流 第一冊 No. 1~20（瀬戸内海の島々，安芸津，笠岡，彦根，飯）

B 5 判 横書き 120頁

[目次]

1. 浮世の友一広島・因島・土生
2. 太平洋一広島・因島・土生
3. 寿保一愛媛・越智・岩城
4. 笹の井一広島・越智・余所国
5. 藤の井一広島・越智・津倉
6. 酔菊一広島・豊田・木之江
7. 誠鏡一広島・豊田・竹原
8. 竹鶴一広島・豊田・竹原
9. 本福一広島・豊田・竹原
10. 此花一広島・賀茂・安芸津
11. 関西一広島・賀茂・安芸津
12. 金泉一広島・賀茂・安芸津
13. 富久長一広島・賀茂・安芸津
14. 日の丸一広島・賀茂・安芸津
15. 蘭菊一広島・豊田・三原
16. 酔心一広島・豊田・三原
17. 大泉一岡山・山田・笠岡
18. 磯自慢一岡山・小田・笠岡
19. 大老一滋賀・犬上・彦根
20. 湖北一滋賀・坂田・飯

002 酒屋万流 第二冊 No. 21~40（豊岡，松江，赤名，三次，手原，金瓢）

B 5 判 横書き 120頁

[目次]

21. 初花一兵庫・城崎・豊岡
22. 真寿鏡一鳥取・米子
23. 国輝一島根・松江・茶町
24. 豊の秋一島根・松江・東本町
25. 東川一島根・八束・大芦
26. 太平洋一島根・八束・佐太
27. 李白一島根・松江・石橋
28. 都の花一島根・松江・石橋
29. 出雲寿一島根・松江・京店
30. 天界一島根・能義・安来
31. 山三正宗一島根・簸川・平田
32. 絹の峯一島根・飯石・赤名
33. 金井正宗一広島・双三・三次
34. 美和桜一広島・双三・三次
35. 真寿の井一広島・双三・三次
36. 白蘭一広島・三次
37. 雪心一広島・双三・三次
38. 寿栄一兵庫・赤穂・上郡
39. 里司一滋賀・粟太・手原
40. 金瓢一京都・左京・古門前

003 酒屋万流 第三冊 No. 41~60（京都，滋賀，丹波，能勢，池田）

B 5 判 横書き 124頁

[目次]

41. 白精一茨木・摂津銘醸
42. 艶正宗一茨木・中尾酒造
43. 和原一茨木・大阪酒類醸造
44. 富士千歳一京都・松井
45. 万両一茨木・藤井
46. 文正宗一茨木・田中
47. 道灌正宗一草津・太田
48. 緑一一池田・吉田
49. 帝釈正宗一小河・丹波酒造
50. 公卿家一下瀧・多紀酒造
51. 鳳鳴一篠山・多紀酒造
52. 鳳鳴一大山・多紀酒造
53. 鳳鳴一味間・多紀酒造
54. をだ巻一住・野々口
55. 小桜一園部・園部酒造
56. 大江山一八木・八木酒造
57. 桜川一歌垣・能勢酒造
58. 秋鹿一倉垣・北摂銘醸
- 59.

稲根正宗一京都・大黒酒造 60. 静海一京都・平野勘兵衛

004 酒屋万流 第四冊 No. 61~80 (三河, 京都 伯備線, 出雲)

B 5判 横書き 120頁

[目次]

61. 宝菊一西尾・鈴木 62. 菊養老一京都・大門 63. 福寿一京都・第一酒造 64. 男鶴一京都・富田 65. 養神一三谷・竹内 66. 鶴亀一棚尾・斉藤 67. 昇勢一棚尾・永井 68. 自慢長一棚尾・長田 69. 大典一成羽・渡辺 70. 国吉一地頭・浅野 71. 吉備美人一地頭・山本 72. 鯉正宗一高粱・永井 73. 伯耆富士一生山・山上 74. 暁山一境・西谷 75. 秀蘭一境・杉谷 76. 福授一出雲・今岡・今岡 77. 白梅一出雲・山田 78. 旭日一出雲・佐藤 79. 八千予一大社・古川 80. 神遊一大社・金山

005 酒屋万流 第五冊 No. 81~100 (出雲, 因幡, 京大阪, 播州)

B 5判 横書き 124頁

[目次]

81. 神酒一大社・出雲大社 82. 長年一淀江・石原 83. 不二一御来屋・角谷 84. 泉川一赤崎・酒林 85. 此君一倉吉・高田 86. 元師一倉吉・倉都 87. 香住鶴一香住・福本 88. 交野桜一私部・山野 89. 魚崎一魚崎・大塚 90. 玉旭一八尾・玉旭 91. 朝日西一富田・石井 92. 天王山一伏見・伏見銘醸 93. 巴菊一京都・松岡 94. 雪彦山一前之庄・壺坂 95. 菅公一尾上・小南 96. ひめ錦一妻鹿・民谷 97. 酔三味一書笑・山中 98. 山陽盃一山崎・壺坂 99. 老松一山崎・前野 100. 三笑一山崎・前野

006 酒屋万流 第六冊 No. 101~120 (若桜, 浦富, 守山, 和食, 高知, 宿毛)

B 5判 横書き 122頁

[目次]

101. 弁天娘一若桜 102. 端泉一浦富 103. 栄爵一守山 104. 若松一和食 105. 大漁一牟岐 106. 稲錦一甲浦 107. 国の花一甲浦 108. 菊水一安芸 109. 玉の井一安田 110. 土佐鶴一安田 111. 花の友一高知 112. 玉杯一字佐 113. 玉杯一字佐 114. 玉杯一須崎 115. 玉杯一日下 116. 四季の友一入野 117. 小袖貝一入野 118. 藤娘一中村 119. 金鯛一清水 120. 生之鶴一宿毛

007 酒屋万流 第七冊 No. 121~140 (若松, 伊方, 竹田, 福知山, 津山, 石州, 田布施, 津田)

B 5判 横書き 122頁

[目次]

121. 万楽一若松 122. さくら美人一畑地 123. 力草一字和島 124. 日々の力一伊方
125. 宮の舞一伊方 126. 玉つるぎ一竹田 127. 菊の春一福知山 128. 諸白一津山
129. 吉井川一津山 130. 御前酒一勝山 131. 千鳥一新見 132. 白仙一大田 133. 桜川
一大森 134. 老鶴一浜田 135. 明の松一三隅 136. 社頭の松一三隅 137. 宗味一益田
138. 魁瀧一津和野 139. 熊毛鶴一田布施 140. 琴の露一津田

008 酒屋万流 第八冊 No. 141~160（四国，米子，出雲東部）

B 5判 横書き 122頁

[目次]

141. 玉木一玉浦・志度 142. 金陵一琴平・西野 143. 月星丸亀・曾川 144. 日の
丸一比地大・安藤 145. 金城冠一川之江・合田 146. 山丹正宗一今治・八木 147. し
ら玉一小田町・竹内 148. 玉杯一□原・氏原 149. 司牡丹一佐川・竹村 150. 阿波踊
一池田・真野 151. 富士の雪一脇・脇町酒造 152. 八福神一鴨島・武智 153. 八鶴一
桑野・近清 154. 花の春一鳴門・多智花 155. 旭桜一手間・坂田 156. 御東一安養寺
・深田 157. 真寿鏡一米子・益田 158. トップ水雷一米子・稲田 159. 出雲大衆一掛
合・竹下 160. 簸上正宗一横田

009 酒屋万流 第九冊 No. 161~180（野洲，東九州，甲賀）

B 5判 横書き 126頁

[目次]

161. 代々の君一野洲・川西・中北 162. 穂津菊一野洲・杉江・中西 163. 錦旗一野
洲・小森 164. 初緑一野洲・富波・角 165. 千代司一野洲・守山・岡田 166. 王の春
一野洲・野洲・宇野 167. 暁一野洲・小籾原・鷺田 168. 星の司一野洲・永原・白井
169. 八岐一野洲・永原・福谷 170. 万寿玉一大分・大野・野津・赤嶺 171. 龍梅一
大分・大野・野津・藤居 172. 飛鳥一大分・直入・竹田・吉川 173. 竹泉一大分・直
入・竹田・熊谷 174. 神の杉一熊本・阿蘇・内之牧・大津 175. 霊山一熊本・阿蘇・
高森・山村 176. 神都一宮崎・西臼井・三田井・小手川 177. 橘一宮崎・児湯・高鍋
・黒木 178. 桜泉一宮崎・児湯・妻・児玉 179. 房の露一熊本・球磨・多良木・堤
180. 菊水一甲賀・下田・植西

010 酒屋万流 第十冊 No. 181~200（土山，三輪，堺，和歌山，石見，越前，
知多，伊勢，但馬，壺坂）

B 5判 横書き 126頁

[目次]

181. 正菊一滋賀・土山・藤本鉄治郎 182. 三輪司一奈良・三輪・三福杉・今西酒造
 183. 新泉一泉州・堺・堺酒造 184. 安久一紀州・和歌山・加藤直一 185. 玉の光一紀
 州・和歌山・中六酒造 186. 佐和正宗一石見・粕淵・宮岡酒造 187. 朝光一広島・大
 朝・福光酒造 188. 千万両一石見・市木・氷見 189. 亀の井一越前・大野 190. 一之
 谷一越前・大野・宇野 191. 源平一越前・大野・久保 192. 雲井桜一越前・吉崎・和
 田耕栄 193. 一本義一越前・勝山・久保 194. 橘正宗一越前・棗・為田金作 195. 越
 之磯一越前・柴崎・磯見 196. 勝盃一尾州・西浦・瀧田 197. 子の日松一尾州・小鈴
 谷・盛田 198. 喜代娘一伊勢・若松・清水 199. 梅ヶ枝一但馬・和田・小谷 200. 金
 剛力一大和・高取・臼井

011 酒屋万流 未製本分 No. 201—210 ほかに番号の打たれていないもの3通

B5判 横書き

[目次]

201. 滋賀桜一田中江 202. 朝日一シガ・ヤス・北里 203. 黄金菊一奈良・天理・柳
 本 204. 常磐一岡山・菩田・加茂 205. 月山一能義・広瀬 206. 酔喜元一島根・西伯
 ・八橋 207. 花形一島根・西伯・由良 208. 千年一一兵庫・津名・仮屋 209. 有馬錦
 一兵庫・有馬・有野 210. 里泉一兵庫・氷上・柏原 [番号なし] 陽気正宗一鳥取・
 八頭・河原 [番号なし] 東洋美人一鳥取・八頭・河原 [番号なし] 銀泉一鳥取・八
 頭・船岡

3 その他

飲食を主要なテーマとするもの以外のアンケート調査と学生に提出させたレポート
 を次頁以後に収録した。

[凡例]

1) 配列

内容がおなじ、あるいはタイトルがおなじものを近くに並べた。

2) タイトル

合本の背表紙に記された題名（袋入り資料の場合は袋に書かれた題名）をそのまま
 タイトルとした。

001 民俗住居 湖東

B 6 判 横書き 106頁

昭和28年に滋賀県立女子短期大学の栄養学の講義を受講した学生に課した夏休みのレポートを製本したもの。

[目次] なし

[内容]

学生の居住する地域の概況、寺社の祭礼、年中行事、行事食、間取り図をふくむ家屋についての報告をさせている。滋賀県の彦根市を中心とした湖東地域についてまとめたもの。

002 民俗住居 湖北地方

B 4 判 横書き 190頁

[目次] なし

[内容]

前述と同じレポート。湖北地域についてまとめたもの。

003 民俗住居 湖南 県外

B 4 判 横書き 146頁

[目次] なし

[内容]

前述と同じレポート。大津など湖北地域と滋賀県外の分をまとめたもの。

004 娘のねがい 湖北・湖東・湖南 昭二八

B 5 判 横書き 228頁

滋賀県立女子短期大学の学生を対象におこなったと推定されるアンケート票を合本したもの。昭和28年7月におこなったものと、昭和28年11月におこなったものの2種類がある。

[目次]

1. 滋賀 2. 湖北 3. 湖東 4. 湖南

[内容]

滋賀——7月のアンケート。9項目の質問を付した用紙に学生のコース別、何回生であるかと姓名を記し質問の解答が書かれている。質問は家族構成とその職業観、家族制度等に関するものである。

湖北——11月のアンケート。伊香，東浅井，坂田，長浜の地域のアンケート用紙を綴ってある。アンケートの質問項目は，A.家庭現況，B.結婚について，C.家事について，D.食生活についての各々の家庭における現況と将来あるべき姿についての希望である。

湖東——11月のアンケート。彦根，犬上，愛知，神崎，蒲生の地域を対象としてまとめる。

湖南——11月のアンケート。甲賀，野州，栗太，大津。

005 娘のねがい 京・阪・神・滋・福井・島根・鳥取 昭二八

B5判 横書き 168頁

前述の11月におこなったものとおなじアンケートを他大学の学生におこなったもの。やはり昭和28年の調査である。

[目次]

1. 京都
2. 大阪
3. 兵庫
4. 福井
5. 出雲
6. 石見
7. 伯耆

[内容]

質問項目は滋賀県でおこなった11月のものとおなじで，目次に記された地域ごとにまとめられている。

006 雲伯民俗問状 昭二八・秋

B5判 横書き 178頁

島根県と島根県の小学校に2枚1組の民俗調査の質問状をだし，回答を得たものを収録してある。

[目次]

1. 能義郡
2. 八束郡
3. 簸川郡
4. 仁多郡
5. 西伯郡
6. 日野郡

[内容]

地域の概況，社寺，民間信仰，婚姻，正月料理，鮎，祭礼，その他についてたずねる。

007 民俗 近江（アンケート） 昭三〇

B5判 横書き 96頁

[目次]

伊香・東浅井，坂田・長浜，彦根，犬上・愛知・神崎・蒲生・甲賀・野州・栗太

篠田統資料目録Ⅰ（アンケートとレポート）

[内容]

「006 雲伯民俗問状」とおなじアンケートである。

008 丹波大山六 年中行事アンケート

B 5 判 横書き 182頁

昭和32年の「丹波国多紀郡丹南町旧大山村調査」のさいにおこなった年中行事についてのアンケートを収録したもの。

[目次]

追入・宮，上・天内・荒子新田，高倉・新，一印谷・長安寺・町之田，北野新田・北野，下，東河地

[内容]

とんど，節分，三月三日，五月五日，苗代作り祝，田植祝，盆，猪の子，大みそか，氏神以外のいろいろな神様という欄があり，それぞれについての祝いかたや行事食についてたずねる。

009 年中行事アンケート 丹波・宮田

B 5 判 横書き 146頁

前記の008「丹波大山六 年中行事アンケート」とおなじものを多紀郡西紀村でおこなったものである。調査時不明。

[目次]

丹波・多紀郡，旧北河内，旧南河内

010 [婚礼の食事]

B 5 判 横書き 122頁

結婚，結納のさいにもちいる食物ともちいない食物，産前，産後によい食物とわるい食物を学生にアンケート調査したもの。調査時不明。

011 家系シマネ 1960

B 6 判 横書き 63件 袋入り

昭和35年に島根県立女子短大で教鞭をとっていた頃の調査。孔版印刷で調査票をつくり，住所，父方・母方の祖先の名前・年齢（死亡年齢）・出身地・職業，家の歴史を問うたもの。

012 [家系]

B 6判 横書き 472片 袋入り

年代不明（大阪教育大学で教鞭をとっていた頃のものと思われる）。孔版印刷で調査票をつくり，住所，父方・母方の祖先の名前・年齢（死亡年齢）・出身地・職業，家の歴史を問うたもの。大阪学芸大・島根県立女子短大の学生を対照としている。

013 家系調査記録

B 5判 横書き 250件 B 6判 17片 袋入り

年代不明。父方と母方の祖先（曾祖父，曾祖母のころまで）の姓名と年齢（死亡年齢），出身地域，職業をアンケート形式で答えさせたもの。近畿地区のものがおおいので，大阪学芸大の学生を対照としたと思われる。

014 [ロールシャッハ・テスト]

横書き 389片 袋入り

昭和28年8月ごろの調査のもので，能勢（大阪府）方面の地名がみられる。ロールシャッハ・テストの孔版印刷調査票，および，その集計段階でのメモ多数を集めたもの。

原 稿

〔解説〕

先生は印刷のすんだあとの原稿は保存せずに処分する習慣であったらしく、既刊、未刊をふくめて、発見された原稿は、つぎにあげる5編のみである。このうち、すでに印刷公刊されていることが判明しているものが2編、あとの3編のうち『日本食饌史』は未刊行であることがあきらかだが、「日本におけるプレコロンビアン作物」と「朝鮮食物史資料」はわれわれの作成した著作目録に該当する作品がみあたらないものであるが、あるいは印刷ずみのものである可能性がある。識者の指摘を待ちたい。既発表の原稿については内容にたちいった解題はおこなわず、未刊行、あるいはその可能性のある原稿についてのみ内容を紹介する。そのさい、草稿の小見出しにあたることばを列記して、キーワードによって大体的内容を想像してもらうこととした。なお、〔 〕内のことばや文章は草稿のなかにあらわされた小見出しではなく、編者がおぎなつたものである。

001 日本食饌史

(版形、頁数については各章ごとに記す)

400字詰原稿用紙で総計1571頁の大部の未発表原稿である。ただし、数字とか数行記しただけで、あとは白紙のままの原稿用紙が相当数ふくまれているし、まったくおなじ内容の記されている頁もおおい。

書きはずしの原稿をすてることなく、また、下書きと浄書の両方とも保存し、それぞれの章ごとにナンバリング・マシンで通し頁を打ってあるので、これだけの枚数になるが、実質的な内容でみたときは、その三分の二程度の量の草稿である。

A 4判原稿用紙で書かれたふんと、B 4判原稿用紙に記されたふんの2グループにわかれる。A 4判原稿用紙のふんは旧かなづかいで皇国史観の影響がみられるので、太平洋戦争終了以前に書かれたものであろう。B 4判原稿用紙のふんは新かなづかいで、終戦の考古学の成果をとり入れた時代区分になっており、おそらく昭和30年代に記されたものであろう。

「むかし日本の食物史の本を書いたが出版しなかった」と先生にうかがったことがある。また、『中国食物史の研究』(八坂書房 1984年)の「あとがき」につぎのように記されている。「…何年も前の話だが、日本の食物史をまとめてみたいと志し、まずはささやかなものを、東京の柴田書店から出版準備にとりかかったことがある。ところが友人から、日本文化はあらゆる面からして大なり小なり大陸文化の影響をうけているんだから、日本食物史の基礎ともいべき中国の食文化の変遷を、先にまとめておくのが本来ではないかとの意見をきかされた。まことにもっともな話だし…」ということで、先生は中国食物史の研究に転じ、その成果は『中国食物史』(柴田書店1974年)と『中国食物史の研究』にまとめられた。

中国食物史研究が一段落したのち、朝鮮半島の食物史研究に着手され、資料を集めておられた。85才までに朝鮮半島の食物史をまとめて、それから日本食物史の本を著すのが先生のスケジュールであったが、病のために実現しなかった。さきの引用文にある柴田書店で刊行する予定で書きはじめた「日本の食物史」の原稿がB 4判原稿用紙の草稿ではないかと考えられる。

この原稿は古墳時代の章の途中で終わっている。この時点で日本食物史を考えるための中国食物史の研究に転進されたものと考えられる。

このB 4判原稿用紙のグループには食物関係の記述はきわめてとぼしい。おそらく、古墳時代あたりまでの社会史をまとめたのべたあとに、先史時代、古代の食物について具体的に論考する章をもうける予定ではなかったかと想像される。したがって、先

篠田統資料目録Ⅰ（原稿）

生の歴史観や食物史の背景としての日本の稲作農耕社会にたいする考えかたなどについて知るには興味ぶかい文章ではあるが、食物史そのものについてのべた部分はない。いっぽう敗戦前に記されたと思われるA4判原稿用紙のグループの草稿は徹底した資料の引用から成立している。神話の時代から『延喜式』の時代までの部分は古代文献から食物や食器・食習慣・食料生産などに関する記載部分をぬき書きして、ならべたものである。引用部分以外の論考の文章はすくなく、先生独自の考えかたもあまり表明されていない。

神話にあらわれる資料を使用した部分に原史時代（固有風俗時代）、神功皇后の頃から大化の改新までを韓風模倣時代、遣隋使以降奈良時代までを唐風模倣時代というネーミングで時代区分をしたところに、先生の食物史からみたそれぞれの時代の性格づけに関する考えかたがうかがえるが、まだ、後年の先生の食物史にたいするユニークな発想はない。『延喜式』からあとはとんで、先生のもつられた江戸時代の食物関係年表が残っている。これには先生自身のコメントの文章はほとんどなく、資料集成とでもいうべき原稿である。いわば先生の習作とでもいうべき古い原稿が断片にいたるまでナンバーを打って保存されていたことから考えると、これを将来著す日本食物史の資料として使用される意図があったものようである。

A4判原稿用紙のふん

原史時代（固有風俗時代）

（表紙1，ノンプルのないもの3頁，頁ノシブル402～635）

【この章では神話の時代を中心にとりあつかい，古事記，日本書記，風土記をおもな資料としての論考である】

【日本神話の概説】，【この時代における狩猟，漁業，農耕の関係】，【農業神と作物起源神話】，高天原の農業，粟，稗，麦，黍，豆，【古典に見える植物】，【農具】，【水田耕作技術】，【開墾】，【灌漑】，鍬鋤，犁，万鍬，唐鍬，鎌，臼杵箕，弓，矢，劍，鉾（槍），斧，刀，鋸，鷹，犬，築法，鶉飼，木工具，【米の調理法】，【食器】，【狩猟法】，【食用にされた哺乳類，鳥類，魚介類の種類】，飴，菓子，火，【塩】，生食，煮物，蒸物，焼物，羹物，膾，塩蔵肉類，乾製肉類，酢，飲料水，酒，【土器の用途】，家具厨膳具，筒桶，箱，竹器，貝器，土器，木器，瓠，甌，植物の葉，机，箸，金属器，鉢，銅壺，釜，坏，甌，鼎，鐏斗，角形銅器，刀斗，その他，漆器，硝子器，銅製容器，瑠璃製容器，窯器，須恵器，盤，坏，高坏，盃，埴・壺，甕，甗，瓶，平瓶，提瓶，

横釜, 其の他, 石製模造器具, 異形須恵器, 土師器, [食饌], [食礼]。

韓風模倣時代

(表紙1頁, 頁ノンブル900~944)

[神功皇后の時代から大化の改新までの時期に, 朝鮮半島から渡来した人びとが日本の食事文化におおくの影響をあたえたとして, この章をもうけてある]

[時代概説], [食用鳥類], [食用魚介類], [食用哺乳類], [文献に記された爬虫類], [文献に記された昆虫], [文献に記された植物・海藻], 氷, 酒, 韓風模倣時代補遺, [宮廷社寺の年中行事], 元旦, 七日, 十五日, 十六日, 十七日, 三月, 五月, 歳首, 避暑, 七月, 七夕・相撲, 八月, 中元, 重陽, 新嘗。

唐風模倣時代

(表紙1頁, ノンブルのないもの18頁, 頁ノンブル1097~1421)

[遣隋使の派遣された頃にはじまり, 奈良時代の食生活に中心をおいた章である]

[万葉集の植物], [万葉集の哺乳類], [万葉集の鳥類], [万葉集の魚類], [万葉集のカメ, カエル], [万葉集の昆虫], [万葉集の貝類・甲殻類], [正倉院文書にあらわれた食品], [大宝令の食物関係記事], [風土記にあらわれた食品], [稲作技術], [米の調理法], 海藻類, [食事回数], [植物性食品], 昆虫類, 甲殻類, [狩猟法], 鳥類, 哺乳類, [漁業技術], 魚類, 爬虫類, 蛛形類, 軟体動物, 棘皮動物, 両棲類, 無脊椎動物, 肉製品, 乾製肉類, 腊, 脯, 臠, 楚割, 乾鰯, 堅魚, 塩蔵肉類, 煮塩年魚, 煮堅魚, 醢, 煎汁, 鮓, 其の他, 餅, 菓子, 塩, 堅塩, 調味料, 醬, 末醬, 豉, 酢, 糧, 沙糖, 蜜, 甘葛煎, [蜀椒・楡皮], 漬物, 塩漬, 菹, 醬漬, 飲料水, 氷, 酒, 清酒・濁酒, 黒酒・白酒, 粉酒・辛酒, 古酒, 縣醸酒, 牛乳, 茶, [油], 生食, 煮物, 羹物, 鱠, 煎物, 焼物, 臠, 茹物, 壺物, 醢, 采養食, 酢漬, 厨膳具, 漆器, 陶器, 硝子器, 金属器, 貝器, 玉器, 石器, 骨角器, 木器, 甌, 盃, 葉碗, 葉盤, 盤, 合子, 牒子, 鉢, 甕, 壺・罍, 甕瓶, 缶, 甕坏盃, 高坏, 提子, 鉢子, 樽, 桶, 筥, 中取, 机, 台盤, 盆, 瓠, 櫃, 折櫃, 箸, 匙, 庖丁, 釜, 鼎, 竈, 鍋, 甌, 剪子, 箱, 其の他, 棚子, 油, 木製農具, 鋤, 鍬, 木サリ, 鉄製農具, 支那系農具, 碾饅, 水車, 箕, 篩, 饅, 鍤, 辛鋤, 馬把, 武器, 刀劍, 太刀, 横刀, 杖刀, 小刀, 刀子, 槍, 手鉾, 弓, 梓弓, 楸弓, 矢, 工匠具, [食礼], 詩宴, 餞宴, 歓迎の宴, 通常の宴, 音楽の宴, 肆宴, 歳首, 白馬, 踏歌, 十日, 卯杖, 観射, 積奠, 三月節日, 五月節日, 七月節句, 蓮葉宴, 天

長節，冬至の賀。

[平安時代]

（表紙頁なし，頁ノンブル2000～2441）

〔表紙頁がないので，この章のタイトルは不明である。しかし，2000からはじまる通しノンブルがうたれているので，独立したひとつの章を構成する原稿として書かれたことにまちがいない。平安時代の食生活についての記述であるので，仮に「平安時代」という章題をつけた。この章では資料として『延喜式』を駆使している〕

〔『延喜式』に記載された産物などの食生活関連記事を国別に引用〕，〔『延喜式』の植物性食品〕，哺乳動物，鳥類，〔『延喜式』の魚介類〕，飯，粥，漿，餅，糰，焼米，塩，酢，醬，末醬，甘味料，糖，甘葛煎，汁糖，擣糟，乾製肉類，脯，腊，臠，〔魚介の乾肉〕，火乾，楚割，堅魚，其の他，塩蔵肉類，塩漬，醃，煎汁，鮓，漬物類，菹，須々保利，醬漬，味醬漬，糟漬，豉，壘，搗蒜，榆，木菓子，唐菓子，粉，油，氷，茶，牛乳，蘇，醍醐，酒，縣釀酒，社釀酒，殿釀酒，造酒雜器，白酒・黒酒，頓酒，熟酒，粉酒，壘酒，三種糟，甜酒，醇酒，耐酒，神酒，餅酒，柏酒，菊酒，濁酒，醱醪，醴，酵，去酒，福酒，木，白木，竹，土，土師器，陶器，瓷，漆器，銀，鉄，金銅，白銅，爵，鉢，甌，甕，甕形，瓶，盆，壺，罍，櫃，槽，坏，盤，桶，筥，匏，杓，盆，由加，刀子，篩，匏，箕，鎌，錐，斧，鑿，布，袋，蓋，台盤，葉盤，葉碗，櫛子，椀，箸，揚枝，匕，筥，樽，盞，胡瓶，帳，帷，屝，牀，椅子，食單，食薦，簀，簀子，置簀，毳，帖，褥，畳，筵，砥，緒，繩，綱，鍬，鋤，籠，鍋，釜，竈，炭，薪，柴，付木，火，臼，杵，案，手洗，盥，甌，匡，椀，雨皮，棚，調理，典菓寮，造酒司，主水司，大膳職，大炊寮，主殿寮，羹，菜，壘，汁漬，合盛，饌，膳，肴，容器，撰別器，割載器，被蓋，配膳具，内膳職，主膳監，供御。

[江戸時代]

（表紙頁なし，頁ノンブル0100～0269）

〔表紙頁がないのでこの章のタイトルは不明である。整理のために，仮に「江戸時代」としておく。文章はほとんどなく，諸国物産のリストと江戸時代の食生活関連年表によって占められている。資料部分だけなので，本文はべつに書かれたものがあつたのではないかと推定される。諸国の物産は『日本国花万葉記』からの引用を主とし，『毛吹草』で補足したものである。国別あるいは藩別に，農産物，魚，加工食品，食器など食生活関連の産物を記載したものである。年表は，天正18年から慶応3年まで

のあいだにおける食生活に関連のある出来事を年代順に記載したものである]

諸国の産物, [江戸時代食生活関連年表]

B 4 判原稿用紙のふん

序説

(表紙頁1, ノンブルのないもの15頁, 頁ノンブル1~29)

[戦後になって、あたらしく改稿した日本食饌史の本全体のイントロダクションにあたる部分であると推定される。日本の自然環境, 日本民族形成論, 基層文化の多元性, 外来文化の受容にさいしての民族性, 稲作農耕の伝来と村落社会の成立などについてふれながら, 日本の食生活の歴史を考察するにあたっての視角はいかにあるべきかを論じている]

[日本列島の生物相], [旧石器時代の日本], 一. 民俗と文化, 二. 風土, 農耕の起源, 二. 「むら」の発達。

日本食饌史 (二)(弥生式時代)

(表紙頁1, ノンブルのないもの9頁, 頁ノンブル23~45)

[弥生時代の物質文化や稲作農耕に関する記述がおおくを占め, 食生活についてはあまり記述されていない]

[弥生文化の伝播], 弥生式時代の生活, 弥生式時代の土器, 弥生文化と大陸の関係。

日本食饌史 (三)(古墳時代)

(表紙頁1, ノンブルのないもの10頁, 頁ノンブル45~60)

[古墳時代の概説的な部分がおおく, この時代の食生活史についてはこのあとに続く原稿に記されていたのではなからうか]

古墳時代の生活, 古墳時代の土器, 古墳時代の実年代。

002 日本におけるプレコロンビアン作物

B 5 判200字詰原稿用紙 横書き 58頁

南北朝が統一された明德3(1392)年からコロンブスがアメリカ大陸を発見した1492

年までの100年間における公家、僧侶の日記類にでてくる栽培植物の種類をあげて、それらの日本への伝来ルートについての解説や食物史的考証をおこなっている。コロンブス以前の中国文献にでてくる甘藷と落花生についてはサツマイモ、ピーナツとはことなる植物でたまたま文字がおなじであるという意見であること、カボチャについては新大陸起源とする説と熱帯アジア原産説のある *Cucurbita pepo* が『梁塵秘抄』や室町時代の文献にでてくるアコダウリである可能性を指摘していることに注目される。この原稿には編集のための指定の書きこみはなく、未刊行である可能性がある。もし、既刊ならば下書きということであろうか。「プレコロンビアン日本の食物」と題する口頭発表を1974年4月6日に開催された日本風俗史学会東西両支部合同食物史分科会の席上に於いておこなっている。あるいはこれがその時の発表用原稿であろうか。

[甘藷], [落花生], [食物史資料としての日記について], [14世紀以前の文献にあらわれる作物の種類], 葉菜, 菜, 白菜, 蒿苳, ヒユ, 葱, 蒜, 大根, 蔓, 午旁, 蒟蒻, 里芋, 山芋, 蓮根, 慈姑, 茄子, 大豆, 小豆, 豌豆, 角豆, ふじ豆, ふそう豆, 瓜, 冬瓜, 胡瓜, 西瓜, 瓢, 南瓜, 五色瓜, むすび。

003 朝鮮食物史資料

A 5 判人文科学研究所科学史研究室のネーム入200字詰原稿用紙 縦書き 31頁
朝鮮食物史に関する文献資料紹介の文章である。韓国に行かれたさい李盛雨教授の収集した文献や国内外の各地の図書館などで見た文献を紹介する旨のまえがきにあたる部分と、84種の文献解題から構成されている。文献解題は一書につき2行から3行の簡単な書誌を記したものがおおい。まえがきにあたる部分に「活字1号おとして」という指定があるが先生の字で書かれているが、この原稿が印刷所の手に入ったものかどうかはさだかでない。

[李盛雨教授の業績紹介], [黄慧性教授の業績紹介], 高麗凶経, 農事直説, 救荒辟穀方, 衿要雑録, 故事撮要, 屠門大嚼, 料理知味方, 瓊尾録, 東医宝鑑, 芝峰類説, 農家月令歌, 類苑双宝, 農家集成, 救荒撮要, 礪溪随録, 山林経済, 星湖僊説, 增補山林経済, 李参奉集, 甘藷種植法, 故事新書, 故事一二集, 北学議, 才物語, 熱河日記, 海東農書, 京都雑誌, 閩閩双書, 課農小抄, 晝永編, 海東譯史, 茲山魚譜, 東国歳時記, 林園一六志, 杏蒲志, 楓石集, 種薯方序, 種薯譜, 甘藷新譜, 山林経済撮要, 円藷方, 甘藷耕歳説, 種薯方, 物名考, 五洲衍文長編散稿, 救荒草略, 冽陽歳時記, 進饌儀軌, 鮮満植物字彙, 朝鮮の茶と禅, 朝鮮食物史, 朝鮮常識, 群学会騰, 酒方文,

酒の造り方，酒作法，婦人必知，閑情録治農篇，曆酒菓方，咫聞別集，餐松方，要録，農家一二月俗詩，竹橋便覧農篇，山林經濟撮要，重麦説戒，農圃問答，農家要訣，治生要覧，農政新編，指谷田家八曲，是議方，名物紀略，朝鮮雜詠，郷菜採取月令，雞林類事。

004 鮎

A 4 版400字詰原稿用紙 縦書き 30頁

1975年刊行の『婦人画報』4月号に掲載された文章の原稿である（著作目録410）。

005 琵琶湖のたべ物

1975年刊行の『水と人間』2号に掲載された文章の原稿である（著作目録406）。

スクラップ・ブック

[解説]

骨董などの金目の品物を集めることにはいっさい興味をしめされなかった先生であるが、レッテル類や絵葉書など文字や画像の記されている情報源となる紙片は捨てずに、こまめに整理してスクラップ・ブックやフィールド・ノートに貼りつけて残された。とくに、旅行にでかけたさいには、時刻表、バスの路線図、地図、駅弁の包装紙、毎回の食事のさいの箸袋、飲んだ酒のレッテル、領収証、もらった名刺、旅先で読んだ地方紙の興味ある部分の切り抜き、観光パンフレット、絵葉書など、その旅行期間に得た紙片のすべてを残しておいて、のちにスクラップ・ブックに貼りつけて保存していた。たんなる収集癖というわけではなく、これらが旅の記録の重要な部分を構成することを意図して集められたものと考えられる。あるいは、それが後世の風俗史その他の分野での研究資料となり得ることを先生は意識されていたのかも知れない。

調査旅行のさいの資料を貼りつけたスクラップ・ブックは調査記録であるフィールド・ノートとセットとなるべきものである。ただし、フィールド・ノートそのものが文字を書いただけではなく、関係資料をも貼りつけた記録の体裁をとっている場合がおおい。スクラップ・ブック一冊分に貼りつけて独立した資料集とするだけの分量がある場合に、調査に関するスクラップ・ブックを作成したものと推定される。また、中国に行く以前の若い時代に地方の学会に出席されたときのものなど、調査とは関係のない旅のスクラップ・ブックもある。これらの旅行に関するもので、旅程の書きこまれていたり、推定の可能なものは内容の項に記しておいた。

中国時代にタバコの箱を集めて貼りつけたものや、京菓子の包装紙や説明書を集めたものなど、旅行とは関係のないテーマ別に整理したスクラップ・ブックもある。

市販のA5判のスクラップ・ブックを使用したものがおおいが、フィールド・ノートとおなじ体裁の手製本に貼りつけたものなどもある。また、将来整理する予定で大型の封筒のなかに、ひとまとまりのテーマのスクラップ・ブックの資料を残されたものがある。これらは、判形の項に袋入りと表記しておいた。

[凡例]

それぞれのスクラップ・ブックの解題にあたっては、整理番号、タイトル、判形、頁数、内容の順に記載してある。

1) 整理番号と配列

整理番号は編者がつけた番号で、原本にはない。記録内容の年代の明記されていたり、編者が推定可能なものは年代順に配列してある。110以後は年代の推定が困難なものである。

2) タイトル

原本の背表紙に記されている題名、年代などをそのままタイトルとして採用している。

3) []

原本に記されていない、編者らが推定で作成したタイトルや見出し事項は[]内に表記した。

001 歴史 土ゾク

A 4判 110頁

明治、大正年間の新聞、雑誌から歴史および風俗関係の記事や広告を切り抜いて貼りつける。論説ばかりではなく、日露開戦関係記事や大正天皇崩御の号外など時代を画する出来事の記事も集められている。

002 大正期きりぬき

袋入り 128片

大正期新聞・雑誌の切り抜き

[内容]

航空・自動車・世界情勢・小説等。

003 OLANDA

A 4判 110頁

大正10年11月6日の The Times のオランダ特集記事の切り抜きとオランダの雑誌から切り抜いたと思われるオランダの風景写真を貼りつけてある。

004 農村

A 4判 110頁

昭和3年前後の新聞の農業や農村に関する記事を集めてある。

005 コンドら行—東日本鯉漁場並北海道樺太視察記 30/VI~26/VII 1931

菊判 190頁

同行7人（京大野津教授・京大柏谷君・高工荒木君・上海陶女史・平安小寺女史・女専松本女史）らと北海道帝国大学医学部で開かれた日本生化学会第7回総会（昭和6年7月7日～9日）に参加し、その前後に各所見学した旅行のスナップ写真と時刻表、各所の地図【先生の手書き】 絵葉書の袋、仙台のバス路線図がはってある。

旅程は6月30日夜京都発、7月1日 浜松—焼津—伊東、2日 伊東—銚子—潮来、3日 潮来—鹿島—那珂湊—小名浜—湯本、4日 湯本—仙台—塩釜—渡波—石巻、5日 石巻—平泉—花巻、6日 花巻—盛岡—函館—車中泊、7日 札幌（学会）—真駒内（種畜場）—定山溪（泊）、8日 定山溪—札幌（学会）—月寒（種羊場）—札幌、9日 札幌（学会）—岩見沢—車中泊、10日 稚内—豊原、11日 豊原—小沼—落合、12日 落合—敷香、13日 敷香—小田洲—中利耶、14日 敷香—中利耶—泊居、15日

泊居一北真崗一栄町, 16日 大泊港一稚内一名寄一車中

006 コンドら行一東日本鯉漁場並北海道樺太視察記 付録 30/VI~26/VII 1931

A 4判 110頁

同タイトルのスクラップの2。包み紙, 宿の領収証, タグ, 切符, 地方紙の題字部分, 名刺等が貼り込まれている。

007 ユーゲント

A 4判 72頁

昭和3年から8年頃の漫画, 絵入りのユーモア・エッセイ, 写真を貼りつけてある。

008 ユーゲント 二

A 4判 72頁

昭和初期のものと思われる雑誌から切りぬいた漫画, ユーモア・エッセイを集めてある。貼りつけていない切り抜きが多数はさみ込まれている。

009 ユーゲント 3

A 4判 72頁

昭和3年から9年頃までの雑誌のユーモア・エッセイを切り抜いて貼ったもの。ただし, エッセイ以外の雑誌の論説記事も混じっている。

010 燐票 二ノ一 昭四・九~昭九・八 京

B 5判 96頁

昭和4年から昭和9年に京都周辺で集めたマッチのラベルが貼り込んである。

011 燐票 二ノ二 昭四・九~昭九・八 阪神

B 5判 96頁

昭和4年から昭和9年に神戸・大阪間で集めたマッチのラベルが貼り込んである。

012 吉備談語

A 4判 60頁

内扉に「岡山行 第八回日本生化学会総会出席 自昭和七年十一月五日至昭和七年十一月七日」と書かれている。第8回日本生化学会に参加したおりに各所見学した資

篠田統資料目録Ⅰ（スクラップ・ブック）

料が貼り込まれている。同行は小松教授・野津教授・荒木博士・柏谷助手・日比野辨信・小寺女史・松本女史・増本教授・増本講師の9人である。

013 昭和風災志

A 4判 48頁

昭和9年9月21日に関西をおそった室戸台風に関する記事を各紙から切り抜いて貼りつけたもの。この台風に関する大阪朝日新聞、京都日出新聞、大阪毎日新聞の朝、夕刊と号外が集められている。

014 昭和風災志 二

A 4判 48頁

室戸台風関係のスクラップ・ブックの続き。ただし、こちらは各頁に切り抜きをはさみ込んだ状態で貼りつけてはいない。

015 平安研究報告会 1

A 4判 56頁

昭和10年1月19日におこなわれた平安女学院専攻部家庭科第一回研究業績発表会のプログラム、会計、関係者からの手紙などを貼りつけてある。この研究会の開会の辞を篠田統がおこなっている。

016 平安研究報告会 2

A 4判 64頁

前述の研究行政報告会の報告抄録、出席者名簿を貼りつけてある。また、このとき撮影した大名刺判に焼きつけた写真が21葉はさみこまれている。

017 平安報告 大家・伊藤

A 4判 80頁

サツマイモと玄米の加熱による化学変化を調べた実験データを貼り込む。タイトルの大家・伊藤は実験担当者の氏名であろう。

018 平安報告 発芽 1

A 4判 60頁

「甘藷発芽時ノ呼吸測定（第一回）」というタイトルの福森かずへの論文原稿と先生

の著作である「料理の科学 第4回 貯蔵並に発芽による甘藷炭水化合物の変化」の原稿と、それに関連する実験データが貼り込んである。おなじタイトルの論文があるが、その原稿ではなく口頭発表用の草稿であると思われる。

019 平安報告 発芽 2

A 4判 100頁

発芽中のサツマイモの呼吸測定に関する実験データを貼り込む。

020 平安女学院攻専部家政科実験報告 料理

A 4判 100頁

サツマイモの加熱による化学変化、サツマイモの料理と消化率、サツマイモの内層と外層での成分のちがいについての実験データが貼り込まれている。

021 酵素学 昭和十一年度

A 4判 64頁

主として消化酵素に関する実験データを貼り込む。

022 アミノ酸及基誘導体の利用

A 4判 80頁

タイトルとはことなり、絹糸に関する検査データが貼り込まれている。

023 家蚕

A 4判 80頁

『動物学雑誌』に発表した「家蚕の金属代謝」の原稿がはさみこまれており、この論文関係の実験データを貼りつけたものと考えられる。

024 平安報告 博物

A 4判 40頁

ヒメイエバエ、クロバエ、ヒメクロバエの捕獲数と天候、気温の関係についての表やグラフを貼り込む。

025 郷土風物 西日本の巻

A 4判 96頁

戦前の旅行雑誌のグラビアの切り抜きらしい物が貼り込んである。

篠田統資料目録1 (スクラップ・ブック)

026 郷土風物 東日本の巻

A 4判 96頁

「西日本の巻」と同様、戦前の旅行雑誌のグラビアの切り抜きらしい物が貼り込んである。

027 支那 満蒙

A 4判 110頁

昭和5年から6年の新聞記事から中国、満州関係の切り抜きを集めたもの。満州事件に関する報道がおおい。

028 支那 満蒙

A 4判 120頁

昭和7年の満州関係の新聞を主とし、ほかに中国、朝鮮半島関係の記事も貼り込む。

029 第十回動物学会 京城

A 4判 80頁

昭和9年9月30日から10月3日まで京城帝国大学において開かれた日本動物学会のプログラム、および準備委員会からの郵便物、印刷物等。またこのとき旅行した各所の絵ハガキ、案内図、弁当の包み、旅館の領収証、名刺等が貼るべくはさまれている。

030 越路湯 一

A 4判 96頁

昭和10年4月2日より4月15日まで、第6回日本農学大会(4月6日～7日)に出席、その前後に旅行、見学した場所のパンフレットや、名刺・領収証・弁当の包み紙等が貼り込まれている。

旅程は4月2日夜京都発、3日 横浜—原町田、4日 原町田—目黒、5日 目黒—横浜—川崎—大井—新宿、6日 赤坂—中野—目黒、7日 日本農学会—目黒、8日 目黒—上野—上州富岡—上州—ノ宮—磯部、9日 磯部—前橋—沼田—水上、10日 水上—長岡—小千谷—来迎寺、11日 来迎寺—長岡—寺泊—荒浜—柏崎—高田

031 越路湯 二

A 4判 96頁

「越路湯 一」の続き、4月12日から15日までのもので同様に、パンフレット、名刺

・領収証・弁当の包み紙等が貼り込まれている。

旅程は12日 高田—二本木—高田, 13日 高田—長野—上田—別所, 14日 別所—上田—松代—篠ノ井—明科—穂高—松本, 15日 松本—岐阜—笠松—岐阜—京都

032 [海外旅行関係未整理]

袋入り

海外の旅行社の案内・パンフレット・航空会社のパンフレット・タイムテーブル等をひとまとめにして NANYO SOKO KAISYA の袋にいれてある。昭和3年から昭和12年までのものが含まれている。

033 第一回家政科見学旅行関係記録 紀泉地方 自昭和十年五月二十二日～至昭和十年五月二十八日

A 4判 96頁

平安女学院の第1回見学旅行を企画、実行されたさいの資料。A～D案の計画案を記載。実施案とそれともなう依頼先のリスト、依頼先からの返事及び資料、旅行中の各所の資料(工場等のパンフレット、絵葉書、名刺、領収証、箸袋等)、日々の予算と支出が書き込まれている。

旅程は第1日 京都—仁徳天皇陵—岸和田(泉南郡織物同業組合)—宿, 第2日 岸和田—貝塚—岸和田—和歌山(紀州漆器)—宿, 第3日 和歌山(農事試験場)—白浜—宿, 第4日 白浜(綱不知), 第5日 白浜—田辺—神戸—有馬宿, 第6日 有馬—宝塚—京都

034 満州 1

A 4判 80頁

昭和13年4月頃[この年先生が京都からハルピンに移る]から12月頃までのスクラップ・ブックでホテル、列車等各種の領収証、伝票、案内パンフレット、荷札、通関証、名刺、箸袋、福引券、のし袋、新聞切り抜き、号外その他が貼られている。

035 満州 2

A 4判 80頁

内扉に「Enzymatologie」[仏語で酵素学]の記入がある。昭和13年5月頃から14年2月頃に至るスクラップ・ブックで紙ナプキン、箸袋、切符、領収証、マッチ箱ラベル、献立、ちらしその他が貼られている。

036 満州 3

A 4判 96頁

昭和13年11月頃から昭和14年7月頃のスクラップ・ブックで、電報、茶の包み紙、時刻表、切符、ちらし、新聞の切り抜き、箸袋、マッチ箱ラベル、領収証、その他が貼られている。

037 満州 4

A 4判 96頁

昭和14年3月頃から昭和15年7月頃のスクラップ・ブックで旅行案内、切符、割引証、弁当の包み紙、箸袋、引き札、マッチ箱ラベル、領収証、電報、献立、修学旅行日程 [昭和14年 平安女学校]、現金封筒、休業通知その他が貼られている。

038 エハガキ 4 [戦前]

A 4判 80頁

空の旅記念えはがき (満州航空株式会社)、ハルピンを味ふ、ハルピンの冬景、カメラのハルピン、横目で見た哈爾濱 (ハルピン日信洋行発行)、哈爾濱の娘さん達・キタイスカヤ・哈爾濱の寺院 (哈爾濱鉄道局編輯)、北満蒙古スケッチ、満州写真集 2、遼陽美観、吉林の風光等が貼り込まれている。

039 エハガキ各地 一 [戦前]

A 4判 112頁

黒河市街、麗しき帝都新京二十景、馬疫研究所概観、公主嶺名所、奉天の各種エハガキ、撫順名所、湯崗子温泉絵葉書、千山絵葉書、熊岳城温泉の彩、齊々哈爾、洮南絵葉書、牡丹江風景、大連観光、旅順戦蹟十六景、HARBIN、哈爾濱森勘三郎素描集等が貼り込まれている。

040 エハガキ各地 二

A 4判 80頁

新京十六景、孔廟 (浜江省民生庁)、金剛丸及興安丸 (関釜連絡船)、下関名勝、観光の岡山、佳木斯の印象、双城名勝十二景、呼蘭の印象、ホロンバイルの絵葉書が貼り込まれている。

041 エハガキ全般 1

A 4判 120頁

満州美人絵はがき、満州民衆風俗、国立博物館照片、高句麗時代壁画、風俗と民謡、蒙古風俗、満支観光エハガキ叢書、満州写真画輯、恤兵絵葉書、満州映画スター絵葉書、満州開拓地絵葉書等が貼り込まれている。

042 煙票 一

A 4判 60頁

煙草の箱、シガレットの紙巻き部分が貼り込まれ、インデックスがつけられている。

043 煙票 二

A 4判 70頁

煙草の箱、シガレットの紙巻き部分が貼り込まれている。

044 煙票 三

A 4判 48頁

煙草の箱、シガレットの紙巻き部分が貼り込まれている。

045 燕京風物史 一

A 4判 86頁

新聞の連載記事「新版 北京横丁」の47回から133回までを貼り込む。

046 哈爾濱のみの市

A 4判 40頁

各種の菓子や漬物その他食品類の付票や包み紙、箱、石鹼の包み紙、フィルム箱、かんづめの外紙等がはってある。

047 満州

袋入り 19片

満州についての雑誌の写真頁の切り抜き。

048 Starch Digestion Art

袋入り 1片

中国の山水画、胴器を紹介した雑誌の切り抜き。

049 昭和九年酵素化学原稿

袋入り 2片

中国北部の情景・そこでの日本人の生活を写した雑誌の写真頁。

050 Dermestes

袋入り 2片

中国の風景を写した雑誌の写真頁の切り抜き。

051 往辺東三省李調試訳

袋入り 20片

明治36年頃の北京風景，北京風俗の写真記事，北京の乗りもの記事の切り抜き。中国時代に集めたものと思われる。

052 蒙古

袋入り 9片

蒙古の風俗を紹介した雑誌の写真の切り抜き。

053 屋菜

袋入り 29片

中国の白菜・綿等の栽培農業の様子，陶芸工場等を写した雑誌の切り抜き。

054 ザリガニ・植物

袋入り 17片

満州の風俗から動物・植物と関連するものを雑誌の写真頁から切り抜いたもの。

055 [住]

袋入り 12片

中国の家の造りに関する雑誌の写真頁の切り抜き。

056 [中国風俗]

袋入り 58片

満蒙時代の中国の子供の様子，正月風俗，芸能風俗等を写した雑誌の写真頁の切り抜き。

057 [中国の食]

袋入り 15片

中国の風俗，及び食物に関連するものを雑誌の写真頁から切り抜いたもの。

058 [名所]

袋入り 10片

日本の観光名所を紹介した本からの切り抜き。

059 亜細亜大観

袋入り 9片

『亜細亜大観』から大陸各地の風俗の写真と説明を抜き出したもの。

060 紙票 一

A 4判 48頁

飴，チョコレート，羊羹等菓子類の包み紙が貼り込まれている。

061 紙票 二

A 4判 40頁

飴，チョコレート，羊羹等菓子類の包み紙が貼り込んである。

062 [無題]

A 4判 116頁

外国製チョコレートのラベルが貼り込まれている。

063 煙草箱 1

A 4判 40頁

各種外国煙草の箱及びシガレットの紙巻き部分が貼り込んである。

064 煙草箱 2

A 4判 8頁

キャラメル等の空箱が貼られている。

065 菸

A 4判 18頁

篠田統資料目録 I (スクラップ・ブック)

煙草のラベルとシガレットの巻き紙部分が貼り込んである。それぞれに値段と味の印象が書き込んである。

066 学友 一

A 4判 120頁

昭和14年前後の新聞の切り抜き。記事の座談会の出席者、寄稿者、記者などに学友がいる場合があり、このタイトルをつけたものか。

[内容]

日中戦争関係記事、ノモンハン事件関係記事、空中戦記事、軍用機関係記事、「航空圏」という子供むけ連載記事27回分、「母と子の科学問答」という連載記事28回分、子供むけの頼山陽・浜田弥兵衛・渡辺華山関係の記事、「子供記」という連載記事24回分、「小さな研究」中谷宇吉郎、「日本人発明物語」海野十三、「みみづくの眠と暗夜に見える装置」浅野博士談、防空関係記事、「超ジュラルミン」西村英雄、「正倉院御物展観を拝観して」田沢田軒6回連載分、「君が代六十周年に際して」小田切信夫3回連載分、「新しい女今昔譚」、防災関係記事、「秋は快調」12回連載分、「南亜細亜は招く」4回連載分、ハンガリーの神話、「中国の昔話」2回連載分、「フクチャン記」横山隆一8回連載分、中国関係の漫画、「ススメフクチャン」104回分。

067 その日その日

A 4判 120頁

帝国ホテルにおける高松宮の写真、昭和16年9月19日の子供欄と家族欄の新聞記事を貼りつけただけで、あとは白紙である。

068 [フクチャン]

A 4判 192頁

太平洋戦争時の横山隆一の漫画と紀行文を中心に貼りつけてある。

[内容]

ジャバのフクチャン、ビルマの子供、ボルネオの子供、牛飼ふ少年、フクチャン従軍記、フクチャンかへる、フクチャン、フクチャン何を見た、三都のフクチャン、南を翔ける [橋本関雪の東南アジア紀行連載記事]。

069 科学

A 4判 72頁

昭和25年から昭和30年の身のまわりの細々とした物を、貼り込むべくはさんである。

070 酒

袋入り 42片

昭和28年から昭和32年にかけて、各地の杜氏に関する資料を集めたもの。

071 漫画集 ソノ一

A 4判 192頁

昭和31年前後の週刊誌の連載漫画を貼りつける。

[内容]

「ブロンディ」『週刊朝日』, 「かっぱ天国」『週刊朝日』, 「第一回全日本アマチュア連載漫画コンクール入賞作品」『週刊サンケイ』。

072 越信資料 昭和35

B 5判 120頁

昭和35年4月27日より5月10日まで、越信地方へアンケート依頼に行ったさいのスクラップである。名刺・マッチのラベル・旅館及び荷物宅配の領収証・箸袋・菓子包み紙・酒のラベル・新聞切り抜き・絵ハガキ・封書等が貼られている。

073 昭36 1961

袋入り 88片

昭和36年の雑誌の切り抜き。

[内容]

朝日ジャーナル・サンデー毎日・週刊朝日・漫画讀本等。

074 伊那の春 昭三十八

B 5判 120頁

昭和38年3月25日から3月29日まで、伊那路を旅行したときのスクラップブック。小タイトルをつけて、8部構成になっている。

東京一酒造史懇談会 3月25日坂口謹一郎氏、酒造懇談会（アスカ山）のメモ。

韮崎一附中中談 3月26日清水屋に於いてのメモ。3月27日車中メモ。

諏訪一諏訪杜氏縁起 3月27日秋宮（下諏訪）に於いてのメモ。上諏訪で訪れた先々でのメモ。

篠田純資料目録 I (スクラップ・ブック)

伊那・高遠 3月28日。

道中献立一附費用 3月25日より3月29日まで旅行中の食事献立のメモ。

資料 旅行中の切符・箸袋・名刺・絵ハガキの表紙等が貼り込んである。

酒屋万流 酒のラベル。

新聞記事 旅行期間中の地方紙の記事。

075 新きりぬき

袋入り 70片

昭和38年の新聞の切り抜きと中国の新聞の切り抜き。節分祭のパンフレット。

076 [昭和38年]

袋入り 120片

昭和38年の新聞・雑誌の切り抜き。

[内容]

間接税関係・酒・漫画・京極関係。

077 [昭和38・39年]

袋入り 109片

昭和38年暮から昭和39年の新聞・雑誌の切り抜き

[内容]

酒、衛星、漫画、役者等。

078 [昭和39年]

袋入り 27片

昭和39年の雑誌・新聞からスポーツ・観光・醸造に関するものを切り抜いたもの。

079 1964 Cartoon (主にスポーツ)

袋入り 61片

読売スポーツ他からのスポーツ関係の切り抜き。

080 倉吉

袋入り 50頁

昭和40年6月上旬に鳥取、姫路、奥津へ旅行したさいのスクラップ。観光案内図・領収証・箸袋等が貼り込まれている。

081 秋の出羽路 二

A 4判 60頁

昭和40年10月7日から17日までの出羽地方へ旅行したときの各種のスクラップである。

山寺～若松間の絵葉書を貼り込んである。

旅程は、7日 大山—温泉神社(湯野浜)—湯野浜(亀屋泊), 8日 本荘—観月荘—亀田—同(ぜんまい織り)—金浦—遊佐—小砂川—吹浦—余目—象潟, 9日 酒田, 10日 羽黒山—榎台—田麦俣—仙人沢—大網—湯殿山, 11日 鶴岡—致道博物館, 12日 新庄—尾花沢—大石田—長瀧—楯岡—天童—寒河江, 13日 寒河江, 14日 蔵王—山寺, 15日 上の山—米沢—赤瀧—白布峠—るり沼—みどり沼, 16日 細野—松原湖—秋元—喜多方—大塩—会津若松, 17日 会津若松。

082 秋の出羽路 三

A 4判 60頁

昭和40年10月7日から17日までの出羽地方へ旅行したときの各種のスクラップである。

大山～蔵王間の絵葉書を張り込んである。

083 秋の出羽路 四

A 4判 60頁

昭和40年10月7日から17日までの出羽地方へ旅行したときの各種のスクラップである。

各地での新聞の切り抜きを張り込んである。

084 秋の出羽路 五

A 4判 60頁

昭和40年10月7日から17日までの出羽地方へ旅行したときの各種のスクラップである。

切符や箸袋・パンフレット他旅行中の諸資料を貼り込んである。

085 島々に生きる 毎日新聞社

A 4判 120頁

昭和41年に毎日新聞に連載された瀬戸内海の島の生活のドキュメンタリー「島々に

生きる」50回分を貼りつけてある。

086 雑

A 4判 36頁

[内容]

昭和二十九年七月吉日、津しょ丸、瀬戸景之助と表紙に記された筆書き文書のコピー。内容から判断するとおそらく津しょ丸という題名の音頭の菓子を瀬戸景之助という人物が書いたものと思われる。

赤い米（昭和41年7月18日の毎日中学生新聞）。

こづけ（告別式の風習についての手書きレポートのコピー）。

江戸時代料理書のリスト（カーボン・コピー）。

087 笠沙路 糸はがき 上 昭四二

A 4判 60頁

南九州の絵葉書が貼り込んである。

鹿の子百合の花咲く島一甌島、指宿、開聞、鹿児島、桜島、日南海岸鵜戸神社、日南海岸国定公園一鵜戸神社、日南海岸一サボテンの花、国定公園日南海岸一サボテン公園、日南海岸こどもの国。

088 笠沙路 糸はがき 下 昭四二

A 4判 60頁

日南海岸一青島、観光宮崎、太陽のくにみやざき、霧島屋久国立公園えびの高原、九州の温泉郷一別府等の絵葉書が貼り込まれている。

089 笠沙路 雑 上 昭四二

A 4判 60頁 30枚

昭和42年5月から6月にかけて九州を旅行したときのもの。切符、地方産物の発送書、時刻表、名刺、マッチ箱のラベル、箸袋、菓子包み紙、新聞切り抜き等の資料が貼り込まれている。

090 笠沙路 雑 上 昭四二

A 4判 60頁

同タイトルのスクラップの続きで地方紙の題字部分、記事の切り抜き等が貼り込まれている。

091 [無題]

袋入り

スクラップ用に菓子包、はし袋、リーフレット等を集め、ひとまとめにしたものと思われる。年月日、スクラップの主旨は不明だが、昭和41年、昭和42年の日付のあるものが見え、その当時のものかと推測される。

[内容]

上紙、包装紙、はし袋、栗（菓子・食物）、おてふき、酒のラベル、菓子の名札、おみくじ、ハガキ、リーフレット（帝釈峡、浮見堂略縁起、赤目四十八滝探勝案内図、瀧本屋、石）、抽せん券、京和会『会員名簿』昭和40年12月現在、甘辛のれん会『のれん』No. 171 昭和41年12月1日。

092 筑波嶺 四 昭四三

A 4判 60頁

昭和43年10月21日から11月3日までの間に茨木県、栃木県、千葉県を旅行したさいのスクラップ・ブックである。同タイトルの5冊の内4冊目と5冊目がスクラップになっている。成田山・日本水郷・鹿島香取神宮・犬吠崎美観・清澄山・房総一周・筑波山等の絵葉書が貼り込まれている。

093 筑波嶺 五 昭四三

A 4判 60頁

梅の水戸、大洗、益子焼、日光、高山の花等の絵葉書が貼り込まれている。

094 台湾

A 4判 58頁

台湾旅行の手順き関係の書類、日本航空の時刻表・機内食メニューなどと一緒に先生名義の旅券がはさみ込まれている。糊づけはされていない。

095 しんぶん 台湾 上

A 4判 60頁

台湾の新聞の切り抜きである。

[内容]

政・経の目出しのもとに政治・経済面の記事、食生活の目次には飲食店の広告、衣・住の目次には衣服、靴、マンションの広告、医・薬の目次で医院と薬品の広告の切

り抜きを貼り込んである。

096 しんぶん 台湾 下

A 4判 36頁

台湾の新聞の切り抜きである。

[内容]

史・文の目次の部分に中国の歴史に関する記事と書籍広告、私立学校や塾の広告を貼る。雑件の目次では社交関係の広告、尋ね人の広告、求人広告、新聞漫画をあつかう。映画・TVの目次の部分には映画広告、映画スター関係記事、テレビ番組欄を収録している。

097 台湾スクラップ

A 4判 58頁

台湾の新聞から風俗をあらわす記事、映画館や私立学校の広告などを切り抜いたもの。スクラップ・ブックの各頁に切り抜きがはさみ込まれているが、貼りつけてはいない。

098 台湾スクラップ

A 4判 56頁

台湾の新聞から風俗をあらわす記事、テレビ番組欄、飲食店の広告などを切り抜いたもの。スクラップ・ブックの各頁に切り抜きがはさみ込まれているが、貼りつけてはいない。

099 台湾スクラップ

A 4判 64頁

台湾の新聞の三面記事から風俗や世相に関するものを切り抜いている。スクラップ・ブックの各頁に切り抜きがはさみ込まれた状態で、糊づけはなされていない。

100 台湾スクラップ

A 4判 60頁

台湾の新聞の広告を切り抜いたもの。結婚広告と死亡広告がおおい。スクラップ・ブックにはさみ込まれている状態で、貼りつけてはいない。

101 台北雑件 1972・2月

A 4判 60頁

昭和47年2月2日から2月8日までの間、台湾北へ旅行されたときのスクラップ・ブックである。渡航手続きに必要な書類，図書の貸出証，博物館の入場券，茶のラベル，箸袋等が貼り込まれている。

102 続台湾風物帳

A 4判 64頁

小タイトルをつけて分類してある，「続台湾風物」台東・光風閣魯太，「埔里」埔里，「日月潭・阿里山」台南・高雄台南・台北，「木柵」等の絵葉書が貼り込まれている。

103 台湾風物帳

A 4判 64頁

台湾，台北，龍山寺案内，烏来，阿里山，日月潭等の絵葉書が貼り込まれている。

104 故宮清賞 上

A 4判 64頁

年代は不明であるが，内容から022の台北旅行のさいに集められた物と判断して，これ以降の5冊をこの順番にいった。国立故宮博物院（院景明信片，銅器A，銅器B，銅器C，玉器A，玉器B，古物明信片，清明上河図明信片，清院十二月令図，清郎世寧真蹟明信片，花鳥明信片）等の絵葉書が貼り込まれている。

105 故宮清賞 下

A 4判 64頁

清郎世寧画十駿犬明信片，清郎世寧画十駿馬図明信片，張大千先生摹敦煌壁画明信片，長江万里図明信片全套十九張，黄山前後澗図明信片全套十八張等が貼り込まれている。

106 故宮清賞 続

A 4判 64頁

国立故宮博物院明信片（瓷器A，瓷器B，瓷器C，名画A，名画B，名画C，明人入蹕図古書郵票原図上下，民族郵票原図上下）等が貼り込まれている。

107 バリ 1977

A 4判 60頁

昭和52年にバリへ赴いたさいのスクラップ・ブック，この旅行に関しては「私の感じたバリ」(『季刊人類学 9-1 民衆生活ノート25』所収)にまとめられている。絵葉書と風物写真のコピーが貼り込まれている。

108 BALI MISGERANEA

A 4判 60頁

昭和52年8月23日～8月26日までの日本風俗史学会のバリツアーのさいのスクラップ・ブックである。チケット・保健の案内・名簿・荷札・パンフレット・日程表・ホテルの領収証等が貼り込んでいる。

109 [昭和52年]

袋入り 40片

昭和52年に新聞に掲載された「食べる」・「食生活考」の新聞記事のコピー。

以下年代不明

110 料理屋覚え書

袋入り 2片

料理屋の住所，代表料理を記したもの。

111 [キノコ関係]

袋入り 84片

キノコについて記した新聞，雑誌等の切り抜き。

112 [中国関係]

袋入り 12片

中国の古書から，人事・祭祀・気象・農蚕・植物・動物についての事項を抜き出したもの。

113 O'Hagurot

袋入り 24片

おはぐろに関する資料のコピーをあつめたもの。「先人の英知—お羽黒」(『世界展

眺』45—6)「おはぐる」(『服装大百科事典』)「お羽黒と房揚枝」(出典不明)「川柳にみるおはぐる風俗」(高橋雅夫, 出典不明)「おはぐる」(『アルファ大世界百科』)。

114 鮓・酒

袋入り 50片

鮓・酒に関する新聞, 雑誌の切り抜き。

115 七月考

袋入り 11片

篠田と題されており, 文献から食物, 醸造関係の記載を抜き出したもの。醸造関係, 砂糖, 甘藷, 十二季による農・桑・動植物関係の抜書き, 十二季の気象についての抜書き, 中国(春秋戦国)における動植物の名滋。

116 諸国みやげ

A 4判 48頁

大須ういろの包装紙と大須ういろの由来を書いた揚枝袋がはさみこまれているだけである。

117 朽木村

袋入り

リーフレット—朽木村保健調査, 住居調査の趣意, 朽木村回虫対策に関する条例, 興聖寺史跡概要, 朽木村の現状(気象)。

118 [八幡大神宮(大阪市旭区)]

袋入り

大学院生のゼミナールの発表資料を残しておいたものと思われる。リーフレット—八幡大神宮(不焼宮)由緒, カラー写真(サービス判サイズ)6点, 地図複写2点

119 甜苑 一

A 4判 56頁

日本各地の鮓のラベルが貼り込まれている。

120 甜苑 二

A 4判 56頁

日本各地の鮓のラベルが貼り込まれている。

121 名産録

A 4判 56頁

漬物のラベル，葉が貼り込まれている。

122 べんとう近畿・山陰・山陽・九州・四国・満州

A 4判 115頁

旅先での駅弁の包み紙を貼ったもの。

123 べんとう東海・東北・北海道・台湾・朝鮮

A 4判 120頁

表題の地方で求められた弁当の包み紙が貼り込まれている。

124 美味求真 一

A 4判 56頁

食品（麺類，調味料，珍味，地方特産物）のラベル及び葉が貼り込まれている。

125 美味求真 二

A 4判 56頁

食品（麺類，調味料，珍味，地方特産物）のラベル及び葉が貼り込まれている。

126 南船北馬 一

A 4判 56頁

旅先での駅弁・手ふき・箸袋をスクラップ・ブックに貼ったもの。

127 南船北馬 二

A 4判 56頁

パンの包装紙が貼り込んである。

128 麴塵余香 一

A 4判 52頁

日本酒のレッテルを貼ったもの。

129 麴塵余香 二

A 4判 51頁

日本酒のレッテルを貼ったもの。

130 麴塵余香 三

A 4判 53頁

日本酒のレッテルを貼ったもの。

131 麴塵余香 四

A 4判 34頁

日本酒と洋酒のレッテルを貼ったもの。

132 **Kumo wo tukamu Hanashi S. Fujiwara**

17×18 cm 60頁

新聞に連載された、藤原咲平氏の「雲を掴かむ話」を切り抜いて、手製スクラップ・ブックに貼り込まれたもの。

133 京菓子 一

A 4判 50頁

表題通り京菓子の包み紙が貼り込まれている。

134 [菓子包装他未整理]

袋入り

菓子、弁当のつつみ紙・箸袋等、未整理のものがまとめられている。後に整理し、スクラップとなるものと推測される。なお、年月日は不明であるが、昭和51年4月16日オープンの大阪第一ホテルの案内や、昭和45年の発送承り票、昭和52年10月7日の原稿料支払調書等が含まれており、戦後のものである。振替・発送承り調書等、ラベル70枚、箸袋、菓子箱、棗。

写 真 類

[解説]

先生の写真歴は古く、オランダ留学当時のスナップがアルバムに残されている。他の資料はほとんどない中国時代に関してもアルバムだけは7冊残っている。中国の地方の民俗をスナップしたものや、「支那芝居」というタイトルの京劇など中国の演劇のスナップや俳優のプロマイドを貼ったアルバムなど、現在では貴重な資料価値をもちそうなものがある。先生自身が撮影したものではない写真や、研究資料として複製した写真を貼ったアルバムもある。たとえば「台湾及び朝鮮の酒」というタイトルのアルバムは酒造関係の写真を文献から複製したものを集めたものが主になっている。

アルバムの余白に先生自身が解説を書かれているもののほかは、写真の内容がわかりづらいものがおおく、また親族、知己などを写したプライバシーにかかわりそうな写真も調査記録とおなじアルバムに貼りつけてあったりする。そこで、アルバムの解題は撮影地の地名、行事名などを羅列した最小限の説明にとどめてある。

昭和37～48年のあいだのアルバムは同一規格の市販スクラップ・ブックを使用しているが、その他はさまざまな体裁の写真帳を利用している。さまざまなサイズに引伸した写真の四隅をセロテープでとめたものがおおい。セロテープが老化して脱落しかかっているので、整理にあたって、写真用の接着剤で貼りなおしておいた。

昭和20年代と30年代の初期にはセミ判のカメラを使用していたようで、これで撮影したフィルムは『写真フィルム簿』というタイトルのスクラップ・ブックに整理してある。書簡のはいっていた封筒を再利用して小型の袋をつくり、そのなかにフィルムを一駒ごとに切り離したものを収納し、袋の表面にその駒の密着焼付け（コンタクト、あるいはベタ焼きといわれるもの）を貼り、このような小袋を台紙の1枚に8個貼りつけ、簡単なデータを台紙に書きこんだ整理法である。また、スクラップ・ブックに35mm フィルムのはいったネガ袋を直接貼りつけた整理法を採用したものもある。しかし、おおくのフィルムは写真屋のネガ袋のまま保管され、袋の表紙に撮影地などをサインペンなどで記しただけのものである。また、乾板も76枚残されている。現在の資料整理段階では原板と焼付け写真の照合にまでは手がおよばず、写真原板については数量とタイトルのわかるものを記載するにとどめた。

カラー・スライドのおおくはマウントに簡単な説明を記入し、プラスチック製のスライド・ファイルにいれて、紙箱に収納されている。これらは箱単位に記載してある。

[凡例]

アルバムの一冊づつについて、整理番号、タイトル、版形、頁数、景数、白黒、カラー、カラー・スライドの別、簡単な内容解題の順に記してある。箱入りのカラー・スライドについても、これに準じた記載法をとっている。ネガについては、原板の種類（白黒 35 mm 枚どり、白黒セミ判24枚どり、カラー・スライド 35 mm どりなど）、タイトルなどを1本ごとに記載した。

1) 整理番号と配列

冒頭のナンバーは整理のために編者が付した通し番号で、原本には書かれていない。アルバムは撮影年代順に配列してある。すなわち、001から077までは市販のアルバムやスクラップ・ブックに整理された写真帳（箱入りの分も含む）を推定年代順にならべてある。078から082までは年代不明の写真帳である。

083から134までは写真帳ではなく封筒や写真袋（写真店が焼き付けた写真を入れる袋をさす）に入ったままで未整理の写真であり、その通し番号には特別の意味はない。

135から139はスライドで専用のケースに収められている。

332頁以後の整理番号のふられていないものは、35 mm 以外のネガ・フィルム、乾板類である。ネガ・フィルムをスクラップ・ブックに貼付して、密着写真をそえたものもあるが、ネガ・カバーに入れられた未整理のネガがほとんどで年代もわからないものがおおい。

332～333頁には写真「フィルム簿」あるいは「ネガ・フィルム整理簿」というタイトルのつけられた、スクラップ・ブックにネガ・フィルムを整理してあるものをあげた。

333頁の「菅谷」以後は 35 mm 以外のネガ・フィルムと乾板のリストである。

340頁からは 35 mm のネガ・フィルムを撮影年代のわかるものは、その順に配列したものである。

347頁からは文献を複写したさいのネガ・フィルムをならべたものである。

2) タイトル

アルバムの背表紙に記されている題名をそのまま採用した。撮影年しか書かれていないものについては、それをタイトルとしてある。背表紙にタイトルのないもので、扉頁や第1頁に年代、タイトルにあたる題名のあるものは、それをタイトル名として採用した。

3) 景数

焼きつけて貼られている写真1枚を1景としてかんじょうした。スライドの場合はマウントにいれられた1枚を1景として数えている。

4) []

編者が推定して記入した事項は [] 印のなかに表記した。

001 欧州交通篇

21×29 cm アルバム 48頁

写真 93景

「当世異国商売往来1-8」(『家事と衛生』8(8)-9(7), 1932-33)等の旅行記に対応したアルバムである。各地の鉄道、駅、駅員、キオスク、踏切、バス停、馬車、運河、渡船、道しるべ、看板、落書、ポスト等がある。巻末には、アルプスの山小屋や旅舎が含まれている。

002 欧州商売往来

21×29 cm アルバム 48頁

写真 92景

「当世異国商売往来1-8」(『家事と衛生』8(8)-9(7), 1932-33)に対応したアルバムである。各地の商店・露店・行商人等のスナップが収録されている。

シンガポール、セイロン (Colombo)、エジプト (Cairo)、イタリア (Napoli, Milano, Mantova, Vicenza)、フランス (Reims)、オランダ (Utrecht, Lekkerkerk, Den Helder, Hoorn, s'Hertogenbosch・Amsterdam, Alkmaar, Leiden, Schoon-hoven, Sekmaar)、ルクセンブルグ、ベルギー (Lier, Bruxelles, Namur, Bruges)、ドイツ (Frankfurt a.M., München, Berlin, Bad Tölz)。

003 欧州風物集

21×29 cm アルバム 48頁

写真 92景

「欧州商売往来」「欧州交通篇」と同じく、旅行記に対応したアルバムである。各地の水車、貯水地、農家、街角、教会、群衆、公衆便所等が収録されている。

杭州、セイロン (Colombo)、アラビア (Aden)、イタリア (Perugia, Napoli, Venezia, Assisi, Verona, Ferrara, Ravenna, Mantova)、フランス (Strassburg, Laon, Montpellier)、ドイツ (Burghausen, Aachen, Erding, Würzburg, Bonn, Feilnbach, München, Garmisch-Partenkirchen, Llnenburg, Trier, Mainz)、オランダ (Valkenburg, Delft, Middelburg, Utrecht, Amsterdam, Friesland, Zaandam, Bergen aan Zee, Monnikendam, Lekkerkerk, Gouda, Rolde, Doorn, Biethoren)、ベルギー (Tongre, Bergen)、ルクセンブルグ。

004 ヨーロッパ

木箱

写真 6×3.8 cm 937枚

アルバムになっている「欧州風物集」「欧州交通篇」「欧州商売往来」などと重なるものもあり、同時期のものと思われる。「ヨーロッパ」と記された木箱に雑多に入れられていた。

005 [無題]

18×26.5 cm アルバム 48頁

写真 14景, ベタ焼 87景, 絵ハガキ 2枚

昭和8年1日の消印のある絵ハガキを貼付しているなのでその前後の写真を収録していると思われる。すべて台湾の風物である。

006 大台

写真用紙箱

6×9 cm 写真 109景, 3.8×6 cm 写真 3景 (Duplication 34景)

昭和9年に発行された「高見, 大台」(『京都化学々士会々報』第二十五号掲載)に関連したものと思われる。風景, 風物, 人物等の写真が収録されている。

007 スナップ 戦前1

スクラップ・ブック 27.8 cm×20.2 cm 68頁

写真 143景

比叡山 [京都府, 滋賀県], 嵯峨野 [京都市右京区], 北山 [京都市左京区, 北区], 清水 [京都市東山区], 加茂 [京都市上京区], 東山 [京都市東山区], 北白川 [京都市左京区], 白川吉田 [京都市左京区], 加茂西ノ京 [京都市上京区], 洪水記 [加茂川と高野川にそって洪水の状況を記録。京都市]。

008 スナップ 戦前2

スクラップ・ブック 27.8 cm×20.2 cm 68頁

写真 143景

宇治 [京都府宇治市], 白河 [宇治市白川], 神明 [宇治市神明] (甘露, 神明社), 大久保 [宇治市大久保町] (且棕神社), 寺田 [京都府城陽市寺田] (水度神社, 水主神社末社), 久世 [京都府城陽市久世], (民家, 久世神社), 上狛 [京都府相楽郡山城町上狛] (三十三ヶ所観音及弘法大師, 民家), 木津 [京都府相楽郡木津町] (和泉式部墓), 東畑 [京都府相楽郡精華町] (里子の群, 子守り畑), 祝園 [京都府相楽郡精華町] (民

篠田統資料目録 I (写真類)

家、磨き粉原料)、車内(畸形燈籠)、三山木[京都府綴喜郡田辺町三山木](民家)、田辺[京都府綴喜郡田辺町](一休寺)、河内長尾[大阪府枚方市](溜池、民家)、八幡[京都府八幡市](田社家、国宝八角堂)、奈良[奈良県奈良市](鹿よせ、古梅園、奈良阪通り)、吉美[丹波綾部北部]、高倉、豊野[河内]、童仙房[京都府相楽郡南山城村茂仙房](不動瀧、水葬小屋)・野殿[京都府相楽郡南山城村野殿](氏神の注連縄、旧領主館、火鉢製造)、機長面(米搗き市場 etc.)、慶南、月内、長安面[大韓民国](公共井戸、釜、壺、桑園、賤ヶ伏屋、牛小屋、旅館 etc.)、京城[大韓民国ソウル市](昌徳宮・慶福宮 etc.)、水原[大韓民国京畿道](北大門、華杜門)、南漢山城[大韓民国]。

009 満州風物帖 昭和十三年ノ巻ノ上

25×28 cm アルバム 48頁

写真 228景、鉄道路線図 1枚

ほとんどが3.5×6 cm サイズのベタ焼である。テーマごとにまとめられ、それぞれにキャプションがつけられている。

飲食店、酒家、回教飲食店、回教門牌、飲食店、露店、床屋、靴屋、革屋、呉服、鞆皮、鞆皮柞蠶、馬喰、雑貨、薬屋ソノ他、荒物、質銭荘、宿、宿ソノ他、鉄道、吉凶、凶事、宗教、寺、乗物、村、町。

010 満州風俗

写真箱、その中に袋で分けられて4区分。

写真(コンタクト) 251枚

アルバムの形になったものに「満州風俗帖」というものがあるが、それに貼らなかつた同様のものが集められている。袋にはそれぞれ、「Iニアルモノ又ハダブッテ居ルモノ」、「II」「III」「IV 商売」とあり、Iのものがその「満州風物帖」だろうと思われる。

II、III、IVとわかれているが、だいたい商家の店前、看板、風景が収められている。

011 追憶の草原——ノモンハン従軍日記 昭和十四年六月ヨリ九月

27.5×36 cm アルバム 48頁

写真 96景(他に貼られていない袋入り写真10景)

昭和14年に従軍した当時の、草原風景、破損した戦闘機・家屋、幕営、戦友等の写真が収録されている。

012 浜北線と奉吉線 昭一五年

22.5×32.5 cm アルバム 48頁

写真 151景

小林山, 西集廠, 野馬山, 巴処, 珠宝商, 義舎, 雷廟, 天主堂, 天宝山, 石河鎮, 三合堡, 木蘭, 興隆鎮, 楊家屯, 呼蘭家湿地, 綏化, 慶城, 後津河, 善船口, 東津駅東, 沈家屯, 李家子, 郭家店船口, 双河鎮, 綏稜, 興農鎮, 海倫, 海北, 三道鎮, 四悶保, 拜泉, 双陽鎮, 依安, 明水, 青嵐, 呼蘭, 遠家溝, 昌園台地, 開原, 鉄嶺, 遼陽, 撫順城, 海龍城, 朝陽鎮, 吉林, 老爺嶺, 新砦。

013 支那芝居 北京にて

23×32 cm アルバム 48頁

写真 90景, くまどりスケッチ 1枚

舞台写真, プロマイド等が収録され, 演目, 主な配役, 場所, 年月日が記されている。

演目は, 打魚殺家, 荀灌娘, 霸王別姫, 備趙雲, 打桜桃, 牡丹亭, 金山寺, 天河配, 探母回令, 李陵碑, 王佐断臂, 鳳還巢, 酒兮, 酒州城, 得意縁, 烏龍院, 鉄龍山, 冲雪楼。

プロマイドは, 揚少楼, 馬連良, 赦寿臣, 袁世海, 梅蘭芳, 荀慧生, 程現秋, 尚山堂, 毛世来, 李世芳。

木蘭従軍, 四季歌の楽譜のコピー。

014 画像石 建築 粽 毛蟲 甘藷 花卉 造酒札 複写 1

A 4判スクラップ・ブック 48頁

写真 75景

塩井 [四川省], 丹波国氷上郡小川村 [兵庫県氷上郡], 奥田 [奈良県大和高田市奥田], 平野駅 (南海電車), 河内 (番太の家, 粽, 弥生式時代の住居, 虫)。

015 支那風物

A 4判スクラップ・ブック 54頁

写真 50景

柳林, 北京 [製茶], [製麴], [その他]。

016 朝鮮

写真用紙箱

篠田統資料目録 I (写真類)

6×9 cm 94景, 3.8×6 cm 45景, 3.5×5.5 cm 56景 (Duplication 5景), (他に南
鮮・開城・北鮮と記した封筒の中に10景)。

017 台湾及び朝鮮の酒

A 4判スクラップ・ブック 30頁

写真 21景

台湾 (紅酒: 樹林・宜蘭, 米酒旧法: 台北・宜蘭・台南・台中, 米酒アミロ法: 台
北・台中・宜蘭), 蕃社風景, 朝鮮 (平壤, 義州) (薬酒・濁酒: 慶尚北道・京城釜
山)。

018 人像 2 昭20より

A 4判スクラップ・ブック 48頁

写真 91景

019 浅草のり 海苔品その他, 製紙 ネパール昭37 ブータン昭30

A 4判スクラップ・ブック 36頁

写真 55景

ネパール, ブータン (Daphne 紙), 浅草。

020 火の国 上 広島より内之牧まで 昭30

A 4判スクラップ・ブック 48頁

写真 131景

広島 [広島県広島市], 宮島 [広島県佐伯郡宮島町], 別府 [大分県別府市], 高崎山
[大分県大分市高崎], 佐賀関 [大分県北海部郡佐賀野関町], 佐伯 [大分県佐伯市], 深
田 [大分県臼杵市深田], 臼杵 [大分県臼杵市], 風連 [大分県], 岡城 [大分県竹田市],
竹田 [大分県竹田市], 阿蘇のそとがわ・阿蘇 [熊本県], 坊中 [熊本県阿蘇郡阿蘇町黒
川字坊中], 宮地 [熊本県阿蘇郡阿蘇町宮地] (阿蘇神社), 内之牧 [鹿児島県肝属郡]。

021 火の国 中 立野より椎葉まで 昭30

A 4判スクラップ・ブック 50頁

写真 128景

立野へおる [熊本県阿蘇郡長陽村立野], 阿蘇盆地の家, 阿蘇の南側, 高森 [熊本
県阿蘇郡高森町], 高千穂 [宮崎県西臼杵郡高千穂町], 日ノ影 [宮崎県西臼杵郡日之影

町], 細島 [宮崎県日向市細島] (港口), 耳川筋 [宮崎県日向市], 塚原ダム [宮崎県東臼杵郡南郷村], 椎葉 [宮崎県東臼杵郡椎葉村]。

022 火の国 下 内海より八代まで 昭30

A 4判スクラップ・ブック 32頁

写真 100景

青島 [宮崎県宮崎市], 内海, 高鍋 [宮崎県児湯郡高鍋町] (焼酎 黒木氏工場), 西都原 [宮崎県西都市], 妻 [宮崎県西都市], 米良 [宮崎県児湯郡西米良村], 多良木 [熊本県球磨郡多良木町], 人吉 [熊本県人吉市], 五木 [熊本県球磨郡五木村], 玖磨川ぞい [熊本県]。

023 幡磨国穴粟郡繁盛村 昭31

A 4判スクラップ・ブック 58頁

写真 147景

山崎 [兵庫県穴粟郡山崎町], 伊和 [兵庫県穴粟郡一宮町伊和], 上岸田 [兵庫県穴粟郡一宮町上岸田], 赤金鉾山 倉床 [兵庫県穴粟郡一宮町倉床], 横山 [兵庫県穴粟郡一宮町横山], 百千家満 [兵庫県穴粟郡一宮町百千家満], 千町 [兵庫県穴粟郡一宮町千町], 草木 [兵庫県穴粟郡一宮町草木], 黒原 [兵庫県穴粟郡一宮町黒原], 太谷 [兵庫県穴粟郡一宮町黒原太谷], 井内 [兵庫県穴粟郡一宮町井内], 木地屋 [上岸田 小椋亀太郎]。

024 越前杜氏 知多杜氏 員辨杜氏 昭31

A 4判スクラップ・ブック 60頁

写真 135景

杉津遠望 [福井県], 福井近郊 [福井県福井市], 大野 [福井県大野市], 勝山 [福井県勝山市], 永平寺台所 [福井県吉田郡永平寺町], 丸岡 [福井県坂井郡丸岡町], 吉崎 [福井県坂井郡金津町], 塩屋 [石川県加賀市塩屋町], 芦原 [福井県坂井郡芦原町], 三国 [福井県坂井郡三国町], 藁, 鮎川 [福井県福井市鮎川町], 蒲生 [福井県丹生郡越廼村], 茶崎 [福井県丹生郡越廼村], 大森 [福井県丹生郡清水町], 織田 [福井県丹生郡織田町], 糠 [福井県南条郡河野村]。

025 人像 3 昭32まで

A 4判スクラップ・ブック 48頁

篠田統資料目録Ⅰ（写真類）

写真 101景

026 人像4 昭33年まで

A 4判スクラップ・ブック 50頁

写真 80景

027 山陰旅行 昭33年夏

A 4判スクラップ・ブック 30頁

写真 41景

賀露 [鳥取県鳥取市賀露] (港), 浜坂 [鳥取県鳥取市浜坂], 鳥取 [鳥取県鳥取市] (砂丘海岸), 松江 [島根県松江市] (城), 嫁ヶ島 [島根県松江市乃木町嫁島], 八重垣 [島根県八束郡] (神社), 別所 [島根県八束郡島根町加賀別所], 加賀 [島根県八束郡島根町] (潜戸), 美保関 [島根県八束郡美保関町], 大根島 [島根県八束郡八束町], 大塚山 [島根県八束郡八束町] (学校, 役場), 築地松, 日ノ御碕 [島根県簸川郡大社町], 宇龍港 [島根県簸川郡大社町]。

028 摂津天王探訪記 昭37

A 4判スクラップ・ブック 50頁

写真 125景

船井郡天引 [京都府船井郡園部町天引] (天引神社彫刻), 天王大阪七曲り・天王 [大阪府豊能郡能勢町天王] (大梵天王社, 座談会, 小紋襦袢, 小中学校, 長杉寺, 金閣寺, 吉良邸, 狐ばし, 天王全景, 湯山開拓地, 女郎ヶ淵), 籠坊 [兵庫県多紀郡篠山町] (明治古地図, 水鉄砲, 薬師堂, 福泉寺址, 大徳寺址), 土ヶ畑 [京都府亀岡市畑野町土ヶ畑] (民家, 宝勝寺, 今西一家, 敗残兵の行列)。

029 昭和37年 9～12月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 132景

麩嘉店頭 [京都市], 家族スナップ, 高盛つくり, 木津川尻・千本松渡風影 [大阪市], テレビに写った篠田 統本人写真, 一六会スナップ, 友人スナップ, 阿間ヶ滝風景 [大阪府岸和田市], 塔の原風景 [大阪府岸和田市], 松江県庁・美術館 [島根県松江市]。

030 昭和38年 1月～6月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 130景

家族スナップ，蕎原 [大阪府貝塚市]，G. Hirsch 氏と (1963.4.19) [大阪]，大阪空港，嵯峨臨川寺 [京都市]，嵐山渡船 [京都市右京区]，松江友松庵 [島根県松江市]，農商銀行 [島根県松江市]，雑賀堅町 [島根県松江市]，多湖浦 [島根県八束郡島根町]，沖泊 [島根県八束郡島根町]。

031 佐目 彦根 鳥居本 堂谷 本郷村 昭38

A 4判スクラップ・ブック 34頁

写真 77景

遠久寺，後谷 [滋賀県犬上郡多賀町後谷]，大君ヶ畑 [滋賀県犬上郡多賀町] (炭かま，白山神社)，霜ヶ原 [滋賀県犬上郡多賀町霜ヶ原]，多賀 [滋賀県犬上郡多賀町] (神社)，彦根 [滋賀県彦根市] (いろは松，埋木舎)，鳥居本 [滋賀県彦根市鳥居本町] (有川木宅，有川新家，法界坊)，堂谷。

032 伊奈の春 昭38

A 4判スクラップ・ブック 32頁

写真 44景

エビス [東京都渋谷区恵比寿町]，東京 [東京都]，美出礖，勝 (沼) [山梨県勝沼市]，韭崎 [山梨県韭崎市]，新府 [山梨県韭崎市新府]，鳳凰 [山梨県北巨摩郡]，長坂 [山梨県北巨摩郡長坂町]，仙丈 [長野県上伊奈郡]，ふじみ [長野県諏訪郡富士見町]，八ヶ岳 [長野県，山梨県]，木曾 [長野県]，水窪ダム [山形県米沢市]。

033 昭和38年6月～12月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 113景

家族スナップ，大君ヶ畑 [京都]，吹田施設見学 [大阪府吹田市]，水口 [滋賀県甲賀郡]，龜山 [三重県龜山市]，今宮 [京都市北区]，高盛，神戸タクより [兵庫県神戸市]，東寺 [京都市南区]，高槻寒天 [大阪府高槻市]。

034 昭和39年1月～7月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 123景

家族スナップ，友人，教え子スナップ，久安寺，市原 [京都市左京区]。

035 筑紫潟 2-1 福岡—平戸 昭39 9/10月

A 4判スクラップ・ブック 60頁

写真 112景

福岡 [福岡県福岡市] (金龍寺, 宗像神社), 神湊 (岬, 放生会, 柿の葉ずし), 太宰府 [福岡県筑紫郡太宰府町], 秋月 [福岡県甘木市] (とくさ, めがね橋, 城門, 黒門), 城島 (街, 鎮守), 柳川 [福岡県柳川市], 佐賀 [佐賀県佐賀市], 唐津 [佐賀県唐津市], 中里 [加賀県伊万里市二里町中里], 伊万里 [佐賀県伊万里市伊万里町], 有田 [佐賀県西松浦郡有田町], 嬉野 [佐賀県藤津郡嬉野町], 調の川 [長崎県松浦市], 平戸 [長崎県平戸市]。

036 筑紫潟 2-2 平戸—門司 昭39

A 4判スクラップ・ブック 60頁

写真 102景

平戸 [長崎県平戸市], 鳶の巣 [長崎県佐世保市の辺り] (川内浦, 九十九島, 古江, 薄香, 千光寺, オランダ坂), 吉井 [長崎県北松浦郡吉井町], 長崎 [長崎県長崎市] (グラバア邸, 異人館, シイボルト址 めがね堀, 崇福寺, 興福寺), 八幡 [長崎県長崎市八幡町] (山伏, 剣舞), 諏訪 [長崎県長崎市諏訪町], 千々岩湾 [長崎県南高来郡千々石町], 雲仙 [長崎県南高来郡小浜町], 島原 [長崎県島原市], 原城 [長崎県南高来郡南有馬町], 口之津 [長崎県南高来郡口之津町], 多羅山, 背振山 [福岡県・佐賀県], 日田 [大分県日田市], 門司 [福岡県北九州市]。

037 昭和39年8月～12月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 130景

家族スナップ, 草津菌神社 [滋賀県草津市], 能勢田原千光寺山茸狩 [大阪府豊能郡], 丸山より [京都市北区], 市公会堂 [京都市左京区], 京都会館 [京都市左京区], 伊賀音羽 [三重県上野市] (コノシロ馴鮓, 上野城), 市原 [京都市左京区]。

038 昭和40年1月～4月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 122景

家族スナップ, 將軍山 [京都市左京区], 伊賀上野 [三重県上野市] (みそ玉, 白井邸), 篠田教授退官記念 [大阪市東区], 蹉陀神社 [大阪府枚方市], 大阪城 [大阪市東

区]。

039 秋の出羽路五一1 昭40 秋10月

A 4判スクラップ・ブック 60頁

写真 134景

大山 [山形県鶴岡市大山], 湯野浜 [山形県鶴岡市湯野浜町], 本荘 [秋田県本荘市], 矢島 [秋田県由利郡矢島町], 亀田 [秋田県由利郡岩城町亀田], 金浦 [秋田県由利郡金浦町], 鳥海山 [秋田県・山形県], 象潟 [秋田県由利郡象潟町], 酒田 [山形県酒田市], 羽黒山 [山形県東田川郡羽黒町], 榎台, 田麦俣 [山形県東田川郡朝日村田麦俣], 仙人沢 [山形県西村山郡付近], 大網 [山形県東田川郡朝日村大網], 湯殿 [山形県西村山郡], 鶴岡 [山形県鶴岡市], 新庄 [山形県新庄市], 尾花沢 [山形県尾花沢市], 大石田 [山形県北村山郡大石田町], 長瀬 [山形県東根市長瀬], 天童 [山形県天童市], 寒河江 [山形県寒河江市], 蔵王 [山形県], 山寺 [山形県飽海郡松山町山寺], 米沢 [山形県米沢市], 赤瀧 [新潟県岩船郡朝日村あたり], 白布峠 [山形県米沢市大字関白布], みどり沼 [山形県白布峠付近], 桧原湖 [福島県耶麻郡北塩原村], 磐梯山 [福島県耶麻郡磐梯町], 細野 [福島県耶麻郡], 秋元 [福島県耶麻郡北塩原村], 大塩 [福島県耶麻郡北塩原村大塩], 喜多方 [福島県喜多方市], 会津若松 [福島県会津若松市]。

040 篠田 統教授 停年退官講演会 S. 40. 2. 5

28×24 cm アルバム 13頁

写真 13景

大阪学芸大学のアルバムに、停年退官講演会のスナップを貼付したものを贈られたようである。

041 全国芸術寿司研究会垂水主税晩年作品集昭和四拾壹年九月廿三日当日

32×27 cm アルバム 6頁のみ使用

写真 7枚, リーフレット 2枚

庖集会より贈られたアルバムで、垂水主税の作品(寿司)、垂水主税像等が収録されている。

042 昭和40年5月～12月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 114景

篠田統資料目録Ⅰ（写真類）

家族スナップ，奥津 [岡山県苫田郡]，姫路 [兵庫県姫路市]，堅田浮御堂 [滋賀県大津市堅田]，叡山 [滋賀県，京都府](將軍塚)。

043 宮島詣 昭41年6月

A 4判スクラップ・ブック 56頁

写真 133景

宮島 [広島県佐伯郡宮島町]，岩国 [山口県岩国市]，久賀 [山口県大島郡久賀町]，中島 [愛媛県温泉郡中島町]，大浦 [愛媛県温泉郡中島町大浦]，神の浦 [愛媛県温泉郡中島町神ノ浦]，津和地 [愛媛県温泉郡中島町津和地島]，怒和 [愛媛県温泉郡中島町怒和島]，二神島 [愛媛県温泉郡中島町二神]，音戸 [広島県安芸郡音戸町]，呉 [広島県呉市]，仁練 [広島県呉市仁方]，今治 [愛媛県今治市]，木浦 [愛媛県越智郡伯方町木浦]，岩城 [愛媛県越智郡岩城村]，因島 [広島県因島市]，瀬戸田 [広島県豊田郡瀬戸田町]，三原 [広島県三原市]。

044 ねや川筋 第2冊

A 4判スクラップ・ブック 14頁

写真 29景

今福 [大阪市城東区]，雁屋 [大阪府四條畷市]，木屋 [大阪府寝屋川市木屋町]，枚方 [大阪府枚方市]。

045 昭和41年1月～6月

A 4判スクラップ・ブック

写真 114景

家族スナップ，今宮あぶり餅 [京都市北区]，嵯峨 [京都市右京区] (大覚寺・天竜寺他)，今宮神社 [京都市北区] (やすらい祭他)，神戸港 [兵庫県神戸市]，四條畷飯盛山 [大阪府四條畷市]，大阪港遊覧 [大阪市]，菌採集会醍醐 [京都市伏見区]，粽 [福井県勝山市]，粽 [山口県大島郡 (周坊大島)]。

046 昭和41年7月～12月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 94景

家族スナップ，巢林庵 [京都市西京区]，四ッ谷本村町旧住処一円 [東京都新宿区] (旧士官学校)，風俗史学会 (昭和女子大) [東京都世田谷区]，小島祐馬先生。

047 昭41~43 4月

A 4判スクラップ・ブック 60頁

写真 138景

八軒家, 片町 [大阪市都島区片町], 徳庵 [大阪市鶴見区徳庵町], 茨田浜 [大阪市鶴見区茨田], 鴻池新田 [大阪府東大阪市], 諸福 [大阪府大東市諸福], 赤井 [大阪府大東市赤井], 住道 [大阪府大東市住道], 御供田 [大阪府大東市御供田], 氷野 [大阪府大東市氷野], 野崎 [大阪府大東市野崎], 河北 [大阪府寝屋川市河北], 雁屋 [大阪府四条畷市], 堀溝 [大阪府寝屋川市堀溝], 住道 (角谷『平和運送』氏蔵), 西諸福 (東山辰蔵塚守氏蔵), 萱島 [門真市富野町], 木田 [大阪府寝屋川市木田町], 大利 [大阪府寝屋川市大利町], 大和田 [大阪府門真市]。

048 笠沙路 3の1 大牟田—山川 昭42

A 4判スクラップ・ブック 58頁

写真 137景

大牟田 [福岡県] (明光学園), 玉名 [熊本県玉名郡] (五月幟), 出水 [鹿児島県出水市] (島津義久仮屋門, 麓三景, 石垣, 旧屋敷, 蔵, 西照寺, 招魂社, 農民宅, 出水高校, 西出水駅 etc.), 川内 [鹿児島県川内市] (食堂兼宿や, 竹の皮, 食料品店, 川内高校, 東洋パルプ), 串木野 [鹿児島県串木野市] (港, 漁協, 串冷埠頭, 遠洋漁船, 酒ずし), 甕島 [鹿児島県薩摩郡甕島列島] (里, 里港, 江石, 平良), 中甕 [鹿児島県薩摩郡] (蛭子, 峠, 漁家, 水揚, 新墓, 村営苗圃, 河鼠池, 瀬上 etc.), 里 [鹿児島県大口市里] (榕, 旧武家の納屋), 阿久根 [鹿児島県阿久根市], 田布施, 笠沙 [鹿児島県川辺郡笠沙町] (大浦干拓地), 加世田 [鹿児島県加世田市], 坊 [鹿児島県川辺郡坊津町坊], 兒ヶ水 [鹿児島県揖宿郡山川町], 鰻 [鹿児島県揖宿郡山川町], 山川 [鹿児島県揖宿郡山川町]。

049 笠沙路 3の2 指宿—鹿屋

A 4判スクラップ・ブック 36頁

写真 87景

指宿 [鹿児島県指宿市], 鹿大農園・鹿児島 [鹿児島県鹿児島市], 櫻島 [鹿児島県鹿児島市], 苗代川 [鹿児島県東市来町], 加治木 [鹿児島県姶良郡加治木町], 垂水 [鹿児島県垂水市], 鹿屋 [鹿児島県鹿屋市]。

050 笠沙路 3の3 高山—大阪 昭42

A 4判スクラップ・ブック 60頁

写真 146景

高山 [鹿児島県高山町]，古江線展望 [宮崎県]，志布志 [鹿児島県曾於郡志布志町]，志布志線展望・飴肥 [宮崎県日南市]，鶴戸 [宮崎県日南市]，さぼてん公園 [宮崎県日南市]，宮崎 [宮崎県宮崎市]，川口，えびの [宮崎県えびの市]，小林 [宮崎県小林市]，都城 [宮崎県都城市]，日向 [宮崎県日向市]，津久見 [大分県津久見市]，別府 [大分県別府市]，神戸 [兵庫県神戸市]，大阪 [大阪府大阪市]。

051 昭和42年

A 4判スクラップ・ブック 80頁

写真 192景

家族スナップ，飯盛山 [大阪府四条畷市]，おくどさんと荒神松，鷹峰 [京都市北区]，祇園祭 [京都市中京区]，小浜 [福井県小浜市]（酒ばやし），瓢亭朝かゆ [京都市左京区]，地藏盆，大文字山 [京都市]，麻田剛立墓。

052 昭和43年1月～4月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 111景

家族スナップ，風俗史学会，似而非恋塚寺 [三重県]，北野 [京都市上京区]（一本うどん他），寝屋 [大阪府寝屋川市]，横河 [滋賀県大津市]。

053 昭和43年5月～10月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 124景

家族スナップ，曼珠院 [京都市左京区]，祇園中村楼試食会 [京都市東山区]，灘万にて [大阪市東区]，NHK 出演時，芦生 [京都府北桑田郡]，梅谷 [京都府相楽郡木津町]，長池大蓮寺 [京都府城陽市]，水度神社 [京都府城陽市]。

054 筑波嶺 2 昭43.10.21～11.3

A 4判スクラップ・ブック 36頁

写真 62景

佐倉 [千葉県佐倉市]（甚大寺，堀田正睦，宗円寺），木下 [千葉県印旛郡印西町]

(印幡校), 布川 [神奈川県愛甲郡], 布佐 [千葉県我孫子市], 間門 [神奈川県横浜市中区間門町], かしま [茨城県鹿島郡鹿島町], 東金 [千葉県東金市], 勝浦 [千葉県勝浦市], 清澄 [千葉県安房郡天津小湊町], 鴨川 [千葉県鴨川市], 千倉 [千葉県安房郡千倉町], 竜ヶ崎 [茨城県竜ヶ崎市], 土浦 [茨城県土浦市], 筑波 [茨城県筑波郡筑波町], 女体山 [筑波山]。

055 筑波嶺3 昭43

A 4判スクラップ・ブック 50頁

写真 88景

真壁 [茨城県真壁郡] (造酒や, 宮さん), 笠間 [茨城県笠間市] (七狐, 仲見世), みと [茨城県水戸市] (吐き泉, 好之亭, 長倉宿), 益子 [栃木県芳賀郡益子町] (医者, 物うり, 八百や), 真岡 [栃木県真岡市], 結城 [茨城県結城市] (石塀), 高椅 [茨城県稲敷郡茎崎村高椅], 板衛, 日光 [栃木県日光市] (家康廟, 三仏院), とちき [栃木県栃木市] (大平山, 山本有三文学碑), 古河 [茨城県古河市], 塚崎 (馬頭観音) [千葉県東葛飾郡塚崎], 境 [東京都武蔵野市], 駒形 [東京都台東区], 雷門 [東京都台東区], 世田谷代官屋敷 [東京都世田谷区], 牛堀 [茨城県行方郡牛堀町]。

056 昭和43年10月～昭和44年3月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 122景

家族スナップ, 嵯峨釈迦堂 [京都市右京区] (夕霧忌他), 上賀茂 [京都市北区], 鳥羽離宮址 [京都市南区], 二月堂 [奈良市東大寺境内町], 依水園 [奈良市], 東寺 [京都市南区] (蹴鞠, 二条城), [京都市中京区]。

057 昭和44年3月～9月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 118景

家族スナップ, 林立寺 [京都市左京区修学院], 嵯峨鹿王院 [京都市右京区], 叡山 [滋賀県, 京都府], 上賀茂神社 [京都市北区] (烏相撲)。

058 昭和44年9月～昭和45年

A 4判スクラップ・ブック 56頁

写真 108景

篠田統資料目録Ⅰ（写真類）

家族スナップ，風俗史学会 [京都市東山区]（標本他），白川祭り [京都市左京区]（稚児），嵯峨 [京都市右京区]（野々宮他），横浜 [神奈川県横浜市]（Tjiluwah 号，一番館他），丹後木子の大根卸，横河 [滋賀県大津市]，出灰 [大阪府高槻市]（尼ヶ瀧他），御室の桜 [京都市右京区]，堂之庭，万国博 [大阪府吹田市]，寺町頭天寧寺 [京都市上京区]。

059 昭和45年7月～11月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 151景

家族スナップ，大台ヶ原 [奈良県吉野郡]，今出川烏丸冷泉邸 [京都市上京区]，上野鳥取池田藩邸 [東京都台東区]，聖堂 [東京都文京区]，御蔭神社 [京都市左京区赤山]，北条千体仏 [兵庫県加西市]，南禅寺・真如堂・開山堂 [京都市左京区]，京一中創立100周年記念祝典 [京都市左京区]，妙心寺 [京都市右京区]。

060 昭和45年11月～昭和46年5月

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 112景

家族スナップ，五条諏訪町万寿寺下 [京都市下京区]，五条諏訪町東 [京都市下京区]，龍谷大学 [京都市下京区]，旧大正生命（東本願寺診療所） [京都市下京区]，長講堂 [京都市下京区]，松尾神社 [京都市西京区]，平安博物館における郷土芸能 [京都市中京区]（閻魔堂大念仏狂言），大藪尾根より大文字山 [京都市]，加島町加具波志神社 [大阪市西淀川区]，向日町走田神社 [京都府向日市]，大溝 [滋賀県高島郡安曇川町]，白糸鼻より大文字山 [京都市]。

061 昭和46年6月～昭和47年3月

A 4判スクラップ・ブック 40頁

写真 82景

家族スナップ，湯島聖堂 [東京都文京区]，高野山 [和歌山県伊都郡高野町]，八坂庚申堂本尊 [京都市東山区]，栗田庚申堂 [京都市東山区]，栗田神社 [京都市東山区]，鍛冶神社 [京都市東山区]，吉兵ヱ神社 [京都市]，黒谷阿呆陀羅經 [京都市左京区]，祇園庚申堂 [京都市東山区]，満州年号の [娘々]像。

062 昭和47年4月

A 4判スクラップ・ブック 8頁

写真 7枚

家族スナップ。

063 1972

30×30 cm アルバム 22頁

写真 44景

家族スナップ，市原小学校郷土展 [京都市左京区]，須藤賢作品集 [喜連川町]，千本
釈迦堂 [京都市上京区]，田上菌採集会。

064 1973

30×30 cm アルバム 14頁

写真 34景

家族スナップ，植物園，姫路三ッ山祭 [兵庫県姫路市]，山崎関之明神 [京都市]。

065 タイヤル 上 タウザ

30×30 cm アルバム 22頁

写真 62景

昭和48年に台湾に旅行したさいのアルバムと思われる。

台湾中部山岳地帯，南投県埔里のタウザ村の人々，景色，建物，風俗，畑等。

066 タイヤル 下 タウザ・霧社

30×30 cm アルバム 29頁

写真 78景

昭和48年に台湾を旅行したさいのアルバムと思われる。

食物，料理用具，機おり，植物，釣橋，風景。

067 ブヌン他

30×30 cm アルバム 40頁

写真 112景

昭和48年に台湾に旅行したさいのアルバムと思われる。地域としては，ブヌン，パ
イワン，ピュマ，ルカイ，アミ [南投県埔里] のものが含まれている。

杵臼，建造物，村民，商店店前，風景，植物。

068 台北東部

30×30 cm アルバム 30頁

写真 84景

台北 (愛玉子) (民族学研究所) (国立中央研究所) (孔子廟) (保安宮) (竜山寺) (円寰) (円仔湯) (大竜市場) (歴史博物館) (西門市場), 花蓮・天祥・梨山, 台東・大武。

069 台北以南

30×30 cm アルバム 30頁

写真 68景

台中, 埔里, 日月潭, 水里, 台南, 安平, 高雄・楓港。

070 古い台北 喰べる・見る

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 111景

喰べる (南門市場) (師大横) (大竜市場) (万華市場) (成都路) (中央市場) (竜山市場) (延平北路) (万華街道) (重慶北路) (泰順街) (円寰), 見る (覚清宮) (重慶北路) (万華) (大稻程) (泰順街) (竜山市場) (延平北路) (北門) (孔子廟) (館前路) (大竜市場) (円寰) (中央市場) (保安宮) (城隍廟)。

071 新しい台北 見る・話す

A 4判スクラップ・ブック 64頁

写真 84景

はな (台湾大学他), 市中 (駅前) (西華路) (延平北路) (中山堂) (泰順街) (羅斯福路) (中央市場) (旅宿にて), 台湾大学農事試験場, 草山文化学院, 南湾国立中央研究院, 建物 (教員召待所) (泰順街アパート群) (万華) (西寧路) (基隆路) (介寿館) (中央図書館), 話す (南港・草山) (橋光堂・于宅) (三女クラス会・泰順旅社)。

072 1975

30×30 cm アルバム 40頁

写真 131景

家族スナップ, 仏師 須藤賢, 堅田 中島七郎兵ヱ 鮎ずし, 北村祐庵旧邸, 堅田居初邸, 堅田漁港, 浮御堂 [滋賀県堅田], 白幽子 [京都市上京区], 掛川 [静岡県掛

川市], 袋井 秋葉可睦斎 [静岡県袋井市], 江馬全集出版記念 [京都市左京区], 野洲
定光寺山 [滋賀県野洲郡野洲町], 富士見台 [静岡県富士市]。

073 [恵那道中]

30×30 cm アルバム 24頁

写真 84景

データのつけられていないアルバムである。「民衆生活ノート(20)」(『季刊人類学』6(4)1975), 「民衆生活ノート(21)」(『季刊人類学』7(1)1976)の複写がはさんであり, その目次と, テーマが対応しているので, 便宜上, 上記タイトルとした。昭和50年に旅行したときの記録。

付知, 坂下, 中津川, 恵那, 岩村, 明智, 小渡, 足助。

074 [棒粘土, 三法嗜寿香]

30×30 cm アルバム 30頁

写真 75景, 絵ハガキ 25枚

昭和50年にアメリカ合衆国を旅行した時のアルバム。

パークレーとサンフランシスコの風景, カリフォルニア大学, 街角, シナ美術展絵ハガキ(1974)。

075 [焰縷々, 花 狩堀猫, 花 HAY]

30×30 cm アルバム 34頁

写真 72景, 絵ハガキ 26枚

昭和50年12月にアメリカ合衆国を旅行したときの写真を収録したもの。タイトルは, つけられていないが, 焰縷々, 花 狩堀猫, 花 HAY というテーマ別に貼付されている。

機窓より映した風景, 空港, 風景, 建造物, ホノルル埠頭, 樹木, 花, 鳥。

076 [バリ I]

30×30 cm アルバム 24頁

写真 53景

昭和52年8月にバリ島に旅行した時の写真を収録したものと思われる。

風景, 建造物, 密陀絵, 伝統民族芸能, 樹, 花, 供物, 記念写真。

篠田統資料目録 I (写真類)

077 [バリ II]

30×30 cm アルバム 39頁

昭和52年8月にバリ島を旅行した時の写真を収録したものと思われる。
機窓より映した風景、伝統芸能資料、風景、市場、建造物、供物。

以下、年代不明アルバム

078 風水害

写真用紙箱

6×9 cm 写真 23景 (Duplication 11景)

年代不明。風水害による被害をまとめて収録したものである。

079 [甘藷]

27×32 cm アルバム 12頁

写真 22景 (他に袋入り 16景)

このアルバムは、甘藷についての写真を集めたものである。論文等に使用された写真がもとにもどされずに袋に入れられたままになったと思われる。

080 料理の化学

18×26.5 cm アルバム 40頁

写真 40枚

実験室風景と人物写真が収録されている。「料理の化学」(『京化学士会報』No. 20, 1930 から『日本医事新報』No. 623, 1934) という論文シリーズ作業時のアルバムと思われる。

081 タビ カラ タビ

27.9×20.2 cm スクラップ・ブック 106頁

写真 170景

播丹 名塩 [兵庫県西宮市塩瀬町] (紙), 船坂 [兵庫県西宮市山口町] (高野豆腐, 寒天), 亀岡 [京都府亀岡市], 園部 [京都府船井郡園部町], 丹波 [京都府船井郡丹波町] (高原分水嶺), 綾部 [京都府綾部市], 福知山 [京都府福知山市], 丹波 [京都府船井郡丹波町] (河守, 篠山), 三田 [兵庫県三田市] (明治風建物), 和泉より紀伊 (瀬戸臨海研究所), 竜神より高野山 [和歌山県], 道場 [兵庫県神戸市北区] (川原, 鮮魚市),

志染(寢屋), 播州三木 [兵庫県三木市], 志摩巡り, 氷上の奥 [兵庫県氷上郡] (佐治, 成松), 質志(鐘乳洞), 山城木津 [京都府八幡市], 丹波柏原 [兵庫県氷上郡柏原市], 手書きの地図入り。

082 うら日本 藤布 日御崎 土族邸 大山

A4判スクラップ・ブック 48頁

写真 109景

宇籠 [島根県簸川郡大社町宇籠], 日の御碕 [島根県簸川郡大社町], 大山 [鳥取県西伯郡大山町], 大根島 [島根県八束郡八束町], 大塚山 [島根県八束郡八束町], 大謀調, 三本松, 地蔵碕 [島根県八束郡美保関町], 境水道 [島根県八束郡美保関町と鳥取県境港の境目], 帝国精, 美保 [島根県八束郡美保関町], 藤材料 八重垣 [島根県八束郡] (玉ノ椿, 狛犬, 神魂), 田船, 熊野 [広島県比婆郡西城町], 千酌 [島根県八束郡美保関町千酌] (わりごそば, 清原邸 三成邸, 外中原 偽吐礼次郎生家, 瀧本邸, 宇都宮, ちまき, 五月の店, ささ, 五月の松江, 宵節句のおほか, 鯉轍し), 月照寺 [島根県松江市月照寺町] (電電の日, 乃木の家, クロガネモチ, 千鳥城, 亀田橋), 愛宕山, 赤松 [鳥取県西伯郡大山町] (伊沢邸, 大蛇のあと), 倉吉 [鳥取県倉吉市] (正軽長屋, モダン倉吉, 河島雅了翁, 波田野規子, 山村奉行所, 山林奉行役宅(河島邸)), 船岡 [鳥取県八頭郡船岡町] (橋本邸, みたや, 妙な家, 曳田笠, 船岡銀座), 鳥取 [鳥取県鳥取市] (温泉ボーリング), 佐摩(新墓), 八橋(津田邸址), 賀露 [鳥取県鳥取市賀露] (みなと, まち), 因幡 [鳥取県] (ski lift, 大山橋, Golden Gate, 地蔵盆)。

未整理写真

083 喜連川住宅

封筒

写真 8景

喜連川 [栃木県塩谷郡か] の家老渋江家住宅, 山梨県北多摩郡の田かき風景, 山梨県東八代郡の道祖神。

084 瓢箪 おちよろ舟

封筒

写真 3景, フィルム 35 mm モノクロネガ 2景

意図不明。

篠田統資料目録 I (写真類)

085 技術／花／科学

封筒

写真 16景, 絵ハガキ 1枚

顕微鏡で見た細胞の写真と思われるが、データーが記されていない。他にスノープレークとクローバーの花の写真が収められている。

086 学大山陰旅行

封筒

写真 25景, フィルム 40×65 mm モノクロネガ 28枚

山陰を旅行したときの写真を名刺判に焼き付けたものを収めてある。ほとんどが、家並、田畑など風景を写している。

087 ブータンその他 NGM

封筒

写真 37景, 40×65 mm モノクロネガ 1枚

ほとんどが、NGM (「ナショナル・ジオグラフィック・マガジン」のことと思われる。)等の書籍の風俗グラビアを複写したものと思われる。写真の裏に出典、キャプション等を書き写したものがおおい。

088 池田 葛の

袋入り

写真 名刺判 15景, 6×6判コンタクト 1景

年代不詳, 1月28日と2月23日のエンピツ書きが裏に記されている。池田市内の家並・酒蔵(桐正宗)と葛野(カドノ)の南天畑・六地藏などが収録されている。

089 山陰旅行

袋入り

写真 名刺判 32景, 6×6判コンタクト 13景

年月日不詳, 学生と山陰方面を研修に出かけたときのスナップ。裏に「篠田先生」と記してあるので, 学生から贈られたものと思われる。

090 布部

袋入り

写真 名刺判 13景

年代不詳，村落風景。

091 出石・舞鶴・アヤベ・山家

袋入り

写真 名刺判 33景

年代不詳，上記地方の村落風景。裏にエンピツ走り書きのデーターあり。

092 吉野・杉原・能勢

袋入り

写真 名刺判 17景

年代不詳。村落風景。データーなし。

093 田辺

袋入り

写真 17景

和歌山県田辺市の盆風俗を中心に収められている。他に本町通の風景，人物スナップも含まれている。

094 人物

袋入り

写真 25景，リーフレット 1枚

昭和35年の「西原照子作品展」のリーフレットが同封されていることからその前後に交友関係のあった人のスナップが収められていると思われる。

095 卒業

袋入り

写真 名刺判 5景

年代不明，卒業式後の茶話会風景と思われる。

096 ワッパめし

封筒入り

写真 4景

裏に解説が記入してある。

篠田統資料目録 I (写真類)

097 繁盛村 昭三一

封筒

写真 7 景

農村風景，文書複写等が収められている。

098 山之神

封筒

写真 14景

年代，場所等不明だが，山之神の写真を集めたものと思われる。

099 羽衣

封筒

写真 2 景

端切れを写したものと思われる。

100 庚申

封筒

写真 1 景

アルバム「昭和46年6月～47年3月」の中に含まれる「満州年号の娘々像」と同一写真で，祇園庚申堂で写したものと思われる。

101 須藤 [新潟]

封筒

写真 17景

裏に地名，解説等の記入されているものもある。

初島，クエ，角田浜ノ大根干シ，あしや（自在かぎにつるしてあるもの），北京俄語学院門前。

102 [壬生寺]

写真袋入り

写真 19景

「1972年4月22日，壬生寺」というデータが裏に記入されたものが多い。壬生寺に保存されている野はかま，けさ等の衣服写真が収められているものと思われる。

103 [絵図面]

紙袋

写真 8景 6.0×8.5 cm, 8.5×12 cm 8景

絵図面を写している。屋敷の配置を画く絵図面であるが、このままでは全体を示すようにつなぐことはできない。

104 [彫刻・レリーフ]

封筒

写真 22景

犬, 会合風景, 彫刻, レリーフ, 挽き臼。

105 [河濯尊大権現堂之由来]

封筒

写真 4景

氷山, 拓本, 河濯尊大権現堂之由来。

106 繁盛 31年

写真袋

写真 23景

台紙に貼られ、キャプションをつけられたものが10枚含まれている。これは、生活文化⑩、生活文化⑪という記載がある。

107 みのる

写真袋

写真 90景

家族写真。

108 友ノ島

写真袋

写真 7景

サルがいる風景。

109 山陰 '57 重複 不良

写真袋

篠田統資料目録 I (写真類)

写真 31景

建造物, 他。

110 しのだ

写真袋

写真 89景

家族写真。

111 北白川

写真袋

写真 5景

112 奈良 淀 '58

写真袋

写真 9景

民家。

113 志摩

写真袋

写真 36景

漁村風景。

114 タキハタ

写真袋

写真 4景

民家。

115 風連 竹田

写真袋

写真 25景

農村風景。

116 坊中

写真袋

写真 215景

35 mm モノクロ・コンタクトをひとコマづつ切ったものが入っている。それぞれ裏に地名が記されている。

宮島，別府，高崎山，佐賀関，佐伯，深田，臼木，岡城，竹田，阿蘇，坊中，宮地，内之牧，立野，高森，高千穂，細島，塚原，米塚，九重，笛，波野，烏帽子岳，大観峯，オタケサン，クスノキ，青島，内海，高鍋，西都原，米良，人吉，五木，椎葉。

117 丹波大山 '57

写真袋

写真 25景

農村風景。

118 倉吉 '57

写真袋

写真 4景

家屋。

119 篠山 '57

写真袋

写真 6景

民家。

120 人

写真袋

写真 9景

人物。

121 河内長野 道明寺 '57

写真袋

写真 6景

人物，農業試験場，道明寺糰看板。

122 戦前

写真袋

篠田統資料目録 I (写真類)

写真 7景

人物。

123 丹波 '58

写真袋

写真 21景

民家，農村風景，城跡。

124 狐狸

写真袋

写真 12景

家族写真。

125 純 '61 IX

写真袋

写真 19景

家族写真。

126 下津具

封筒

写真 8景

祭。

127 菅谷炉

写真袋

写真 8景

農村風景。

128 竜野 '57

写真袋

写真 23景

旧家。

129 但馬 '56

写真袋

写真 16景

祭，人家，寺社，漁港。

130 作州 智頭

写真袋

写真 30景

農村風景。

131 余剰

写真袋

写真 41景

小学校，祠。

132 神戸

写真袋

写真 8景

港。

133 大和 麻田

写真袋

写真 80景

農村風景。

134 松江

写真袋

写真 75景

端午節句，旧家，漁村全景。

スライド

135 越後 一九六〇

スライド・ケース 35 mm サイズ 184枚

篠田統資料目録 I (写真類)

高田 [新潟県上越市], 潟町 [新潟県中頸城郡大潟町], 柏崎 [新潟県柏崎市], 出雲崎 [新潟県三島郡出雲崎町], 内野 [新潟市], 五十嵐 [新潟県五泉市], 新潟 [新潟県新潟市], 味方 [新潟県味方村], 白根 [新潟県白根市], 燕 [新潟県燕市], 三条 [新潟県三条市], 新津 [新潟県新津市], 葛塚 [新潟県豊栄市], 新発田 [新潟県新発田市], 津川 [新潟県東蒲原郡津川町], 五十島 [新潟県東蒲原郡三川村], 五泉 [新潟県五泉市], 村松 [新潟県中蒲原郡村松町], 下関, 鷹の巣, 片貝 [新潟県小千谷市], 沼, 岩船, 村上, 浦瀬, 小千谷 [新潟県小千谷市], 塩沢 [新潟県塩沢町], 十日町 [新潟県十日町市], 田沢 [新潟県中魚沼郡中里村], 水沢 [新潟県十日町市], 鹿渡 [新潟県中魚沼郡津南町], 大割野 [新潟市], 小割野 [新潟市], 外丸 [新潟県中魚沼郡津南町], 宮野原～飯山 [新潟県中魚沼郡津南町～長野県飯山市], 飯山 [長野県飯山市], 松代 [新潟県東頸城郡松代町], 戸隠 [長野県戸隠村], 柏原 [長野県上水内郡信濃町]。

136 近畿

スライド・ケース 35 mm サイズ 63枚

'59～61 犬甘野, 加舎, 倉垣・妙法寺, 河内 吉村邸 [大阪府羽曳野市], 河内 瓦城, 豊中民俗館 [大阪府豊中市], 洲本 [兵庫県洲本市], 由良 [兵庫県洲本市], 鳴門 [徳島県鳴門市], 岩屋 [兵庫県淡路町], 大和田原本 [奈良県田原本町], 神楽岡古窯址, 清住, 内尾社, 新郷, 由利, 朝坂他。

137 山陰 山陽

スライド・ケース 35 mm サイズ 114枚

松江 [島根県松江市] (土族やしき, 博物館, 日赤, 県庁, 宵節句, チマキ, 松江城), 大根島 [島根県八束郡八束町], 直江, 日御碕 [島根県簸川郡大社町], 宇龍 [島根県簸川郡大社町], 鳥取砂丘 [鳥取県], 月ノ輪古墳, 柵原鉦山 [岡山県久米郡柵町], 美甘 [岡山県真庭郡美甘村], 美作新庄 [岡山県真庭郡新庄村], 溝口 [鳥取県日野郡], 伯州二部谷 [鳥取県日野郡], 母里, 大東, 大山 [鳥取県西伯郡], 勝山 [岡山県真庭郡], 吉田, 松永 備中唐松, 七類, 布部, 布部家島文書。

138 花 '59～'62

スライド・ケース 35 mm サイズ 176枚

霊鑑寺の椿各種, マランタ, エビネ, アカバナ, アカツメグサ, ヤブカンゾー, ネム, ケシ, ジャガイモ, ニシキギ, ハボタン, アネモネ, メタセコイヤ, ミヤコワスレ, アスパラ, アカンサス, シャコシャボ, ペオニア, ツルバラ, 調理菊, アナナス,

夾竹桃，梧桐，百日紅，キソケイ，クロトン，ベゴニア，カクタス，ベニオモト，サ
 ングアナナス，チューリップ，プリムラ，君子蘭，将軍家拝領 久世大和守様の植木
 鉢，ホケ，ヒナキク，Xmas rose，クジャクシャボテン，ユキヤナギ，ツユクサ，ガー
 デニア，ガクアジサイ，赤花アジサイ，アジサイ，アサガオ，ヒマワリ，赤花ツユク
 サ，ワシントンニア，モウセンゴケ，ナンテン，オキザリス，アカパンサス，カラコ
 エ，沈丁花，クレマチス，アザレア，エニシダ，ヒツジクサ，サルビア，クロクワイ，
 河内 成務陵，アオイ他。

139 台湾

スライド箱

35 mm サイズ・カラースライド 171枚

1973年の台湾調査時のものと思われる。台北，台中，台南，民族学研究所，利嘉村，
 埔里，水里，花蓮，楓港，愛蘭，タウザ，水社，霧社，梨山，和社など。アルバムに
 になっている「タイヤル上 タウザ」「タイヤル下 霧社」「ブヌン他」の写真の元と思
 われる。

スクラップ・ブックに整理されたモノクロ・ネガ・フィルム

写真フィルム簿 終戦次降

A 4判スクラップ・ブック 40頁

写真 277景分

使用済のタテ封筒を3つに切り，各々に底封をして，袋にしたものの中にネガを入
 れ，表にコンタクトを貼りつけ，それをまたスクラップ・ブックに貼り付けてある。
 ネガが入っていないものも含まれている。以下，フィルム簿は同形式である。

[目次] 塩尾山，西能勢，朽木，鳥居本一武奈，古橋一丹生，御坊一田辺，花まつ
 り，三ヶ牧，赤穂，東天川，人物，飛驒一能登，玉緒，名塩。

それぞれ地名を各ネガごとに付してある。

写真フィルム簿 二 昭和廿八年度

A 4判スクラップ・ブック 38頁

写真 301景分

[目次] やすらい祭，丹生（茶碗）祭，乃木より横田・福山，海津・知内（川すそ
 祭），志摩，国友・長浜，瀬戸内の島々，秋鹿。

篠田統資料目録Ⅰ（写真類）

写真フィルム簿 三 昭和廿九年度

A 4判スクラップ・ブック 46頁

写真 324景分

[目次] 立杭・福住, 平田・玉島, 守山, 瀧畑, 阿波・土佐・伊予・讃岐, 鮎切祭, 宗門帳, 前之庄, 石見路, 人像。

写真フィルム簿 昭三〇

A 4判スクラップ・ブック 7頁

写真 51景分

[目次] 津田・屋島・鳴門, 醒ヶ井, タタラ日記, 手間・佐太・江角。

写真フィルム簿 A

A 4判スクラップ・ブック 15頁

モノクロ・ネガ・フィルム 40本

撮影年月日不明。福井県 勝山市 地方の調査の折の写真フィルムと思われる。(特に人物)

写真フィルム簿 B

A 4判スクラップ・ブック 21頁

モノクロ・ネガ・フィルム 60本

撮影年月日不明, 中国地方から九州東半分の調査時のもの。

広島 [広島県広島市], 別府 [大分県別府市], 阿蘇 [熊本県], 高千穂 [宮崎県], 椎葉 [宮崎県], 米良 [宮崎県], 五木 [熊本県]。

写真フィルム簿 C

A 4判スクラップ・ブック 2頁

モノクロ・ネガ・フィルム 5本

撮影年月日不明。個人的な家族写真と思われる。

35 mm 以外のモノクロ・ネガ・フィルムと乾板

菅谷

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (4.5×6.8 cm) 8景

山内小屋，山行きのキモノ，ネコグルマ。

轆轤

ネガカバー

モノクロ・ネガ・フィルム（6×6）12景

ろくろによる徳利の口つけの工程，土こね場，土こしば。

盃台

ネガカバー

モノクロ・ネガ・フィルム（6×6）4景

蒔絵と思われる三つ盃とその盃台を写す。所有者名が「マスダ」の記事あり，1976年IX月。

京城

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.5 cm）18枚

戦前のもと思われる。風景，建造物。

朝鮮

写真箱

ガラス乾板（8×10.8 cm）8枚

満州国時代のもと思われる。風景。

風俗・祭礼

写真箱

乾板 9枚

雛祭り風俗他。

叡山 風水害

写真箱

乾板 6枚

風水害の被害状況。

昭七 岡山

写真箱

篠田統資料目録 I (写真類)

乾板 11枚

昭和7年当事の岡山の風景と思われる。

大台 第二・三回

写真箱

乾板 7枚

繭糸店看板, 農村風景。

大台 第一回

写真箱

乾板 11枚

林業, 風俗および民家等。

志摩

写真箱

乾板 12枚

漁村風景, 風物。

[鳥]

封筒

乾板 2枚

鳥の風景, 給餌, 木の幹。

[欧州]

反古紙につつんだ 3.8×6 cm モノクロ・ネガ・フィルム 185枚

バアデン, ヴィチェンツァ, ベルギー, パドワ, フランス, フリスランド・グロニンゲン, ゼーワ, プロイセン, ラヴェンア, ペルーシャ, バイエレン, トリヤサール, リュクセムブルグ, アッシジ, ローマ, ハンノバ・フランケン, ヴェネーチア, 北オランダ, ノルダアランド, オーデルアイセル, ドレンテ, ヴェローナ, マントヴァ, ナポリ, オーストリア。

北海道 樺太の旅

写真箱

モノクロ・ネガ・フィルム 10×8 cm 175枚

岡山

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (8×10 cm) 20枚

民家, 田園風景, および車窓より映したと思われる風景。

大台 二・三

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (8×10 cm) 27枚

民家, 田園風景, 紙すき等。

大台第一回

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (8×10 cm) 25枚

民家, 山林風景等。

風水害

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (8×10 cm) 29枚

風水害の被害で倒れた樹木, へい, 家屋, 流された橋等。

風俗祭礼

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (8×10 cm) 10枚

春日大社 [奈良市] 若宮御祭風景と思われる。

志摩

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (8×10 cm) 6枚

漁村風景。

朝鮮

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (8×10 cm) 67枚

農漁村風景, 民間信仰風俗。

篠田統資料目録Ⅰ（写真類）

満州

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 15枚

大正10年前後のものと推察される。

北京 大正10年

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 32枚

封筒タイトルに大正10年と記されている。風景，建造物。

天津

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 5枚

大正10年前後のものと推察される。河岸風景，建造物。

京城

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 13枚

大正10年前後のものと思われる。民間信仰習俗，建造物，風景。

慶州

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 19枚

大正10年前後のものと推察される。建造物のレリーフ，建造物，風景。

朝鮮

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 17枚

大正10年前後のものと推察される。建造物，雪景色，風景，人物。

平壤

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 5枚

大正10年前後のものと推察される。建造物。

台北

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (4×6.4 cm) 2枚

大正10年前後のものと推察される。人物，船。

京城

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (4×6.4 cm) 9枚

大正10年前後のものと推察される。建造物，人物。

水原 扶余

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (4×6.4 cm) 8枚

大正10年前後のものと推察される。建造物，人物，風景。

水社

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (4×6.4 cm) 8枚

大正10年前後のものと推察される。風景。

網化

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (4×6.4 cm) 10枚

大正10年前後のものと推察される。風景。

江州

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム (4×6.4 cm) 1枚

大正10年前後のものと推察される。船上風景。

加茂

封筒モノクロ・ネガ・フィルム (4×6.4 cm) 8枚

大正10年前後のものと推察される。上加茂神社の祭事。

墓

封筒モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 3枚

大正10年前後のものと推察される。

番地

封筒

モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 5枚

大正10年前後のものと推察される。風景。

大学友人

封筒モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 13枚

大正10年前後、京都帝国大学理学部在学時のものと思われる。人物。

一中友人

封筒モノクロ・ネガ・フィルム（4×6.4 cm） 14枚

大正10年前後のものと思われる。京都府立第1中等学校在席時の友人像。

35 mm サイズ ネガ・フィルム

<モノクロ>

昭和26年

小部 尾道 5本
菘 6本

昭和28年

ミナトタワー 京名所 6本

昭和29年

森脇 柚木 福山 6本
松江 高野山 6本
のり文献 4本
海苔文書2 4本
のり文書3 4本
横須賀 舞坂 純 4本
造幣局 きょうさ 針 6本
瀬戸 3本
原 6本
原 6本
都祁 6本
市原 中峯山 6本
チビ 宗像 6本
音羽 市原 6本

昭和30年

奥津 姫路 4本
井上進 枚方 大阪城 三瀬 6本
子供 金沢 6本
卒業 6本

昭和37年

子供たち 6本

昭和38年

東京 富士見 5本
塔ノ原 自宅 3本
佐目文書 2本
佐目外科書 4本
阿間賀瀧 4本
諏訪 高遠 5本

昭和39年

久安寺 5本
バサン 遠州 6本
有田 嬉野 平戸 5本
秋月 城島 柳河 5本
平戸 4本
日田 門司 5本
松茸狩 5本
宗像 太宰府 稲吉 6本
島原 背賑山 5本
唐津 柳河 佐賀 5本
神宮茂刀自88才祝 6本
曾根 花 6本
伊賀 音羽 5本
純 卒業生 3本
長崎の1 5本
長崎 雲仙 5本

昭和40年

正月修学院 池田 純 6本
卒業 6本

篠田統資料目録Ⅰ（写真類）

金沢 鶴来	5本		10本
酒田 仙人沢	5本	吉田山 住道 鴻池 地藏盆	10本
北白川 湯之浜	6本	村上たち ぎをん会 瓢亭	7本
池田 卒業式	6本	厂屋 大文字	7本
新庄 大石田	5本	文化祭 野崎	10本
米沢	5本	大牟田 玉名 出水	6本
仙人沢 鶴岡	5本	桜 ぼけ ゆきやなぎ 今宮やすら	
太田 西 花 トットリ道中	6本	い祭	5本
倉吉	6本	どんげ院	6本
花	5本	茨田 浜町	4本
芦生	6本	植物園 子供たち 河本 福森	6本
亀田	5本	宮島 大島	5本
磐梯 若松	5本	瀬戸田 大阪港めぐり	6本
昭和41年		宮島	6本
純一年生 匡史 伸一家	6本	因島 瀬戸田	6本
東京（風俗史） その他	6本	今治 伯方	6本
芦生	5本	中島	6本
横川 鹿ヶ谷	6本		
昭和42年		昭和43年	
別府 神戸 大阪	9本	乙女橋 岩倉 大和田願得寺	6本
苗代川 鹿兒島 桜島 垂水 霧島	10本	上賀茂 餅行脚 謝恩会	10本
えびの 宮崎 日向	10本	卒業式 ねや 赤井	2本
指宿 加治木 鹿兒島 苗代川	10本	貴船 三栖	5本
甕里	10本	神奈 備山 カキラン カラー	6本
出水 川内 串木野 甕	10本	光 犬	6本
里 阿多 笠沙 坊 鰻 山川	10本	鹿ヶ谷 平安神宮 祇園	6本
山川 指宿	6本	植物園 ヒメシャガ クマガエソ-	
高山 志布志 大堂津	9本	コンフリー	5本
野崎 木田～萱島～馬伏 大利 花		芦生 夕 ケヤキ坂	6本
		出灰～外畑 くちの花（エビネ草）	
			6本

岡崎（黒谷大得寺） きぬかき茸 3本
 外の畑 神奈備山（とき草苳り）
 芦生 三国峠～松尾 6本
 芦生 灰野 クラブ 京大にて
 ナゴラン ヒナチドリ 6本
 花 光 満 望 婆 大西 5本
 瀬戸 無動寺 木津 5本
 千倉 竜ヶ崎 土浦 筑波 6本
 真壁 笠間 6本
 笠間 水戸 茂木 益子 真岡
 結城 高崎 6本
 古堤 梅原 七尺坊 広藤 秋篠
 光助 組子 つるにんじん 6本
 ミカエリソー トリカブト シュー
 メイギク 6本
 芦生 三国峠 6本
 大和田～稗島 飯盛山 西賀茂
 かたくり Xmas Rose 光助 6本
 巢林庵 稗島 3本
 夕霧忌 ぎんなん 6本
 神戸 花 6本
 下賀茂 城南宮 八代田 平岡
 尾崎 6本

昭和44年

修二会 依水（表） 東京（けまり）
 6本
 東京 二條城 国際会館 6本
 大閼円 木屋 6本
 卒業式 杭立存 純（自転車）
 花2鉢 6本
 今福 岡三雄 撲川 6本

枚方 かぎや ポン子 大徳寺
 バサン 卒業式 4本
 トケンランカラマツ 大内山
 ゆづり葉 6本
 花（桃季 エビネ 花ニラ） 山火
 事 立木 岡崎 6本
 花 6本
 原田 岡崎 花 6本
 植物園 市原 岩倉 はな 6本
 花（サイハイラン スイトピー）
 東大寺 花ショーブ（うちの） 6本
 上賀茂（山上 雅 スモー） 6本
 鳥相撲 孫達（5人 3人） 好川
 3人 くらま山 笨公 6本
 貴船 大森文庫 植物園 白川祭の
 稚児 6本
 トロリーバス 風俗史学会 わらぢ
 屋 6本
 夕霧忌 讚良川 6本
 花一花・葉・実 野苳とり 清 6本

昭和45年

横浜 6本
 光 万博 植物 尾崎 6本
 山の神 裏山 白川 3本
 甘藷先生墓 3本
 無動寺 中書島 横川 植物園 6本
 サンキライ ヒヨドリジョーゴ
 クソカツラ 竹の犬 6本
 花（出灰 植物 うち 堂の庭
 御室） 6本
 大台ヶ原山 6本

篠田統資料目録Ⅰ（写真類）

清 万博 木馬 夏はぜ 6本
 大台ヶ原山 6本
 大台 花 一六会 6本
 キノコ ばさん撮影姿 花 4本
 山科新居 冷泉邸 4本
 上野 風俗史学会 湯島 光・純 4本
 尾崎・村上・船越 キョーサ 清 夏はぜ 岡崎 山のキノコ 4本
 石水院 嵐峡館 4本
 法金剛院 妙心寺 4本
 龍大 わらじや 東福寺 ババ 3本
 赤山 石山 スッポンタケ チゴユリ 4本
 川上 ババ オレ 巢林庵 4本
 武田 一中百年祭 4本

昭和46年

バサマ 岡崎 望 猿のむれ 3本
 清 植物 4本
 ミチル マドカ ハマダ バサン 桜 4本
 村上 純たち 浜田 香具波志神社 走田神社 4本
 直入 一六会 大溝 登美岡 4本
 聖堂 ねこ達 3本
 無動寺 3本

昭和47年

三人娘（植物園） 釈迦堂（薫風会） 3本
 相撲原 孫達 4本

椿展 ポン達 3本
 壬生寺 横川 4本

昭和48年

孫達 藤田 旭川 2本
 花 植物園 4本
 三山祭 花 6本
 高嶋オサキ 松崎 好川 土井 市原 実相院 4本
 岩倉 下賀茂神饌 4本
 嵯峨一久ヨル 一六会ヒル 2本

昭和49年

五條堀川 尾崎 慈光院 2本
 蘇州園 2本
 蘇州園 植物園 3本

昭和50年

掛川 ふじ見 羽田 3本

昭和51年

一六会 陽明文庫 北の 高橋神社 6本
 ヒルシュ 嵐峡館 6本
 卒業 西山 6本
 佐目 大君ヶ畑 6本
 佐目 ちび 望誕生 水口 6本
 越前, 糠 6本
 淀 オアサ ババ オフミ 3本
 西陣見学 ケツネアメリカ 麻田地 7本
 ズ

龍野	6本	旅券用	1本
予選会 子供たち	7本	本人	1本
純 公園 ひろし達	6本	本人	1本
純 オレタチ 大阪港 TV	5本	倉吉	5本
純熙 米搗(朝鮮) 芦山	1本	千本松渡し 高盛り 十二月の松江	
池田岸本蔵	1本		3本
卒業 ちび	3本	大山 曲り屋(豊中) 上村 純	
大原	6本	担い堂	5本
アメリカンライフ 瓢箪	1本	出雲 のっぺ 平子	6本
メモなし	4本	チンチン電車あばよ	7本
ねや川 水口干瓢	2本	投入堂 倉吉 花 純と池中	5本
純 あぶりもち TV 赤ン坊(望)		投入堂 ばさん 花 ひろし一家	
	5本		3本
鴻池 森川 巢林庵 家庭プール		庚申 バサン 12/X	2本
	4本	粟田 八坂 庚申堂	2本
都邪	4本	まごたち 明枝	4本
多賀 水口 チビ	4本	松江	2本
五月の松江 ちび バサン	8本	松江	7本
下市 白浜 子供	6本	知多	6本
修学院 お亀	6本	越前 菜崎	6本
さぎ草 純 光(初生)	1本	大和 麻田 土族やしき	6本
赤穂御崎 市原	6本	和田	6本
犬 まご 蘭学会(津)	4本	友ヶ島	6本
朝鮮酒造史	4本	友ヶ島	6本
江州 酒文書	7本	美保関 中海	5本
江州 江頭	3本	松江	6本
電気館 徳庵	6本	篠山 小泉	6本
石神古親類会	1本	丹波大山	6本
花 叡山 地藏盆	6本	丹波大山	6本
TV	6本	丹波大山	6本
日下 ミノル	6本	大山(高倉 宮 追入)	7本
米粒 唱太鼓 月光 団茶	6本	鳥取	6本

篠田統資料目録 I (写真類)

庭の花	1本	タウザ・川向う	4本
守口大根	1本	台北	4本
焼酎くら	2本	台北 埔里	4本
チマキ	1本	泰順街 台北駅	4本
純 キシャ 造船所	2本	台北 南港	4本
繁盛 ワラヂ etc.	1本	台中	2本
水口	1本	台南 台東	4本
酒蔵	4本	大龍市場	4本
画像石	3本	楓港 台東	2本
不明	7本	台東 新園	3本
		光復 富田	2本
<ネガ・カラーフィルム>		光復	3本
		台中 安平	3本
		安平 台南	3本
昭和48年 台湾		台北	2本
日本 台北	4本	利嘉	3本
とるこ	2本	湖南料理 鶏舌 湾大	3本
台北 保安官 城隆番 etc.	4本	正月 (オレタチ フヂタ 六尺)	
万華 麻口 豆ふや	4本	師大一円	3本
草山	4本	金泰	3本
梨山 水里 和社	4本	台東 光復	5本
中央市場	4本	万華 北投	5本
和社 台中	4本		
青山宮 龍山市場	4本	昭和50年 アメリカ	
埔里 過坑	4本	アメリカ	5本
天祥	4本	Berkeley	3本
埔里 タウザ	4本	Berkeley Suther Gate	4本
タウザ	4本	Berkeley San Fransisco	4本
タウザ	4本	San Fransisco~Honolulu	10本
タウザ 22日	4本	Honolulu	9本
タウザ 23日	4本		
タウザ 機	4本		
タウザ・川向う	4本		

昭和51年 香港

香港 Dorian 他	5本
広州 井筒 香港初夜	4本
難民アパート 前湾マーケット	5本
華筵二次午 (1976年11月18日)	3本
華筵 (1976年11月)、九竜 (1976年 11月)	5本
潮州 Hilton	5本

昭和52年 バリ島

機上ホテル	5本
美術館 市場 Mus'e March' (1977年8月24日)	5本
市場 博物館	4本
Kiiji の村	4本
象の窟	4本
Besaki (1977年8月25日)	4本
Klocnkloeng (1977年8月25日)	4本

人物その他

人像	3本
人像	3本
人像	3本
池田予銭会 人像	3本
池田同窓会 人像	3本
池田同窓会	3本
草津大橋 どぜうずし	2本
油津 飴肥 鷓戸 サボテン 川口 えびの	10本
佐倉 木下 布川 布佐 関門湖東 八日市場 東金	6本
東金 勝浦 清山 鴨川 千倉	6本

高崎 栃木 結城 古河 (鮭延寺)	
日光 塚崎 板衛 岡宿	6本
東京 浅草 光 片町 花 (ムラサ キシキブ)	6本
地藏盆 千里丘 チビ	4本
植物園	5本
長谷川 徳之 松江のぼら	6本
花 チビ (動物園) チビ (匡史)	3本
子供たち 望アカンボ	3本
大津 子供たち ローレンジャ	
	3本
禿山	6本
予銭会 子供	4本
正月の一族	6本
植物園 バイユー タペストリー	
	4本
子供 大徳寺	6本
花 望 宮島	5本
天童～山寺	5本
文化祭 勝軍山	5本
花 バサン 大西 純 (甲冑)	6本
市原 植物園 六尺婚礼	4本
叡山 ウラ山の植物	3本
山之神	3本
山之神 岩倉のバサン 2/X	4本
ばさん トロフィー 花	4本
ばさん白川女	1本
金沢 大文字山	5本
了徳寺 清満 志賀里	4本
付知一明知一足助	4本
足助 庭のはな	4本

篠田統資料目録 I (写真類)

花	4本	Nation Geograph. T.	7本
掛川 茸狩 平八	4本	出雲 熊野 火きり エジプト複写	
赤山	4本		6本
植物園 婆 中津川 岩村	4本	画像石	3本
岩村 付知	4本	嘉峪関 彩画	2本
大友楼 能楽堂 奎堂	5本	食物史 安来織 (大阪川口のカフェ	
弁当箱 大友楼	4本	びわ葉揚 唐菓子 卓袱膳)	4本
バサン (植物園) 恋塚寺 増田蔵		シナ食物史複写	6本
	3本	易牙遺意	11本
明知 足助	3本	83頁 瓢鮎他	2本
中津 岩村	5本	観光北支	5本
岩村 小渡	11本	天工開物以下食経類	3本
ねや川	4本	嗚鴨 黛玉 随園	2本
菌展 醍醐 聖護院	4本	草木状	1本
実相院 元興寺 有馬婆	4本	草木状 (甘藷) 呉川県志	2本
ニコライ堂 聖堂 オノブオバア		河内 山口の粽	2本
三ッ山祭	4本	木簡鮎	6本
風俗史学会 (叡山)	2本	宅田	4本
野崎 河北 堀溝 住道 子供たち		[メモなし]	3本
	5本	阿井 桜井 お見合留 I-1	4本
花 立木	6本	阿井 桜井 お見合留 I-2	5本
日野 醍醐 花	6本	街の噂	8本
花 徳庵堤	4本	甘藷複写	2本
大浦～蒲刈	6本	芋地藏 車前	2本
高野山	4本	銅鐸 群書類従 (Esso 用)	2本
釈迦堂	2本	馬王堆	1本
不明	15本	西大谷 傳儀	1本
		法然画伝 絵師草子	1本
<複写 フィルム>		ギオンニ軒茶屋	1本
		ドイツ書生の引越し	1本
タイヤル 植物	2本	食道楽 鮎 音羽のこのしろ	7本
台湾押花	4本	山陰商工	6本

[メモなし]	4本	宜州家乗3	6本
露合譜 かゆ譜 食品佳味	6本	宜州家乗4	5本
京大 工学部	6本	山家清供 清波雑誌	6本
食貨志	6本	山家清供 清波雑誌	6本
安南蚕 芋経蘭	5本	建築史研究	7本
清華季報	6本	本草綱目拾遺上1	6本
閒情偶寄	6本	本草綱目拾遺上2	6本
夢梁録	6本	通雅1	6本
群書類従築	7本	通雅2	4本
異域竹枝詞	2本	醒睡録1	6本
饗禮	3本	醒睡録2	2本
呉草譜 北山酒経①	6本	膳夫経	5本
北山酒経②	6本	膳夫経 明治百人一首	2本
北山酒経③	2本	すずか1	6本
説郛統	5本	すずか2	5本
説郛統	6本	異魚図贊1	6本
山林経済1	6本	異魚図贊2	6本
山林経済2	6本	異魚図贊3	5本
山林経済3	6本	トルコ料理1	6本
成形図説1	6本	トルコ料理2	6本
成形図説2	5本	トルコ料理3	5本
枚方市史1	6本	茶2-1	4本
枚方市史2	3本	茶2-1	4本
宜州家乗1	6本	茶2-2	7本
宜州家乗2	6本		

文 献 カ ー ド

[解説]

先生は本を読みながら、将来資料として必要となりそうな箇所にあたると、文献カードに抜書きをしていた。そのカードが約3万枚のこされている。ある人が、カードへの記入作業を手伝うことを申しでたところ、「カードへ書くことによって覚えるのだから、自分でしなくてはならない。手伝い無用」とことわられたと聞いている。ほとんどのカードは先生がみずから記入したものであるが、たまたま読んでいた本から抜書きをするのではなく、「看聞日記」のように大部の資料を相手に、意図的に文献カードを作成するさいには他人の手も借りたようで、ところどころ先生以外の筆跡もみうけられる。

「題名」、「書名」、「著者」欄の印刷された、市販のA6判の文献カードを利用している。「題名」欄には検索用の主題が記入されている。「書名」欄には引用文献の書名、引用頁、叢書名、場合によっては出版社名、出版年、古い日記類の場合はその記事の年代や月日などが記入されている。よく引用する書名や叢書名、出版社名などにはゴム印を作成しておしてある。「著者」欄には著者名のほか、著者の時代を記入したりもしている。

ほとんどがA6判横書きのカードを使用しているが、一部、「技術史班」という印刷のあるA6判縦書きのカードもまざっている。先生が所属していた京都大学人文科学研究所東方部の中国科学技術史の研究班が資料整理に利用したカードである。また、ほんの少数ではあるが図書館で使用する目録カードに記入したものもある。

ほとんどは文献資料からの抜書きであるが、なかには聞きとり資料をカードに書いて、その内容が該当する分類項目のなかに挿入したものもある。

これらのカードは素人大工の手になる木箱のカードボックス40個に収納され、書斎に積み重ねられていた。箱の前面には、その箱のカード全体の内容をしめす大分類項目名が墨書、あるいは黒色のフェルトペンで記されていた。箱のなかに小分類を記した木板が見出しとして、カードの分類の境界に挿入されていた。

本館の所蔵に帰してから、散逸をふせぐために、すべてのカードの右肩に通しナンバーを打ち、スチール・キャビネットに収納して生活科学実験室に保管してある。また、インクの変色、紙の変色が進行しはじめているものもあるので、すべてのカードをマイクロフィッシュに複写し、それをマイクロフィッシュ・リーダーにかけて、分類項目

にしたがって自動検索可能なようにしてあるので、本館でこのカードを利用するさいには、マイクロフィッシュにしたぶんを活用していただきたい。

以下の分類目録にみるように、先生のカードの分類整理法は、ひとつの基準に準拠して整然と体系的な分類をしたものではない。「多聞院日記」、「御湯殿上の日記」、「元曲」などのように、ひとまとまりの資料を単位に大分類をしたものもあれば、「献立」、「酒」、「果実」といったふうにトピック別の大分類もあるし、「古代シナ」、「中近東」のように時代や地域の大分類もある。他人に公開するためのカードづくりではなく、あくまでも先生が自分の仕事に便利のように整理したものである。そこで、この分類目録をながめると、先生のカバーした仕事の幅のひろがりや、興味のありかたが浮かびあがってくる。食物史だけではなく、家政学一般、動・植物、衛生・医薬、民俗、中国文学、笑話、さてはミステリーにいたるまでの文献を読みこなし、そのなかからさまざまな情報を集めていたのである。

この博学の源泉となったカードを再分類するのは困難であるし、またそのようなことをしたら、この学問の巨人の人間像が失われてしまう。そこで、先生の木箱全面の大分類と、箱のなかに挿入した木板の小分類をそのまま生かして、カードを利用することとした。マイクロフィッシュもこの分類にしたがって自動検索が可能ないように作成されている。

この文献カード目録作成にあたっての書誌的事項を以下記しておく。

1) カードの合計枚数は29,410枚である。そのうち、3,241枚はカードの表面だけではたりずに、抜書きが裏面にまでおよんでいる。マイクロフィッシュには表のカードのつぎのコマに裏面を撮影してある。

2) 木箱の前面に大分類を記したラベルの張られていないものが1個ある。そのなかには、「東本願寺御膳所日記」、「中国名菜譜」、「御湯殿上の日記」、「菌こよみ」からの抜書きのカードを輪ゴムでそれぞれまとめたものと、まったくの未分類のカードが、合計707枚残されていた。輪ゴムでとめたものは使用したのち、もとの箱にもどさなかったものであり、内容的にまとまりをしめさない未分類カードは将来分類して該当する分類の場所に収納するためのものである。これらは「未分類」という大項目をつくり、そこにいれ、推定による分類作業はあえておこなわなかった。この、「未分類」というカテゴリーを作成したことをのぞく他の分類名称はすべて先生自身のつけたものを、そのまま使用している。

3) ごく少数ではあるが、小分類名だけあって、カードの実物がないものがある。カードが利用途中で、もとにもどらなかったものであると推定される。

篠田統資料目録 I (文献カード)

4) この目録には、整理のための4桁の分類番号をつけることにした。分類番号の上2桁は大分類(すなわち木箱前面に張られた分類名称)をしめし、下2桁は小分類(すなわち挿入した木板に書かれた分類名称)をあらわしている。

01 多聞院日記		0121 沐浴, 湯治, 温泉場	13枚
0101 夢	59枚	0122 病氣	31枚
0102 塩断, 特殊心理及祭儀	21枚	0123 医薬	37枚
0103 献立, 料理	13枚	0124 年令	19枚
0104 すし	5枚	0125 被服, 染色	57枚
0105 米, もち, 雑煮	21枚	0126 紙	22枚
0106 飯, 湯漬, まぜめし	8枚	0127 墨, 油煙	8枚
0107 麦, 雑穀, 豆	2枚	0128 年中行事	31枚
0108 小麦製品	7枚	0129 雑事	87枚
0109 大豆製品, みそ, 正油, 納豆	18枚		
		02 献立	
0110 野菜	29枚	0201 小分類なし	15枚
0111 果実, カキ, その製品, 柑橘	30枚	0202 古文献	10枚
		0203 室町, 安土	28枚
0112 果実, 桃, 葡萄, 枇杷, 楊梅,		0204 江戸	12枚
杏	10枚	0205 嘉元記	18枚
0113 果実, クリ, クルミ, カヤ	3枚	0206 津田宗及	60枚
		0207 近世文書	17枚
0114 果実, ウリ	12枚	0208 現代文献	27枚
0115 魚介類	12枚	0209 旅行聞取	22枚
0116 菓子, 甘味品	35枚	0210 料亭	36枚
0117 香辛料, 油, 塩	3枚	0211 駅弁	4枚
0118 茶	14枚	0212 郷土料理	18枚
0119 酒	55枚	0213 外国	7枚
0120 弥三	100枚	0214 台湾	79枚

0215	祭礼	13枚	0401	果実	41枚
0216	東本願寺御膳所日記	83枚	0402	栗, 榧, 椎, どんぐり	51枚
0217	外国古文献	11枚	0403	榛, 枯桃, ぎんなん, 松の実	27枚
0218	シナ古文献	48枚	0404	柿	77枚
0219	韋臣源食譜	86枚	0405	梅	70枚
0220	張巡御筵食單	49枚	0406	梨, 桃	46枚
0221	蔬菜野草	123枚	0407	葡萄, りんご, 楊梅	28枚
03	酒		0408	いちご, 岩梨, ぼけ	20枚
0301	麴	1枚	0409	桜桃, なつめ, 李杏	31枚
0302	もやし	4枚	0410	石榴, 枇杷, 無花果	15枚
0303	醱酵, 醸造	53枚	0411	柑橘	84枚
0304	酒精発酵	30枚	0412	荔枝, 椰子, 檳榔, オリーブ, 南果	41枚
0305	濁酒, 甘酒	47枚	0413	菓子	76枚
0306	焼酒, 蒸留酒	23枚	0414	洋菓子	16枚
0307	日本酒	49枚	0415	粽, 柏餅	72枚
0308	清酒史	19枚	0416	もち菓子	72枚
0309	清酒醸造	49枚	0417	善哉, 汁粉, 餡もち, あめ	12枚
0310	麴糟	23枚	0418	団子, しんこ, 粉熟, 煎餅	57枚
0311	酒器	39枚	0419	かん, 羊かん, 水とん	46枚
0312	日本酒銘柄, 名産酒	76枚	0420	饅頭	21枚
0313	名酒, 名酒屋, 諸白	0枚	05	科学産業	
0314	料理酒	11枚	0501	科学一般	14枚
0315	調合酒, みりん	12枚	0502	天文	16枚
0316	日本酒, 飲方, 禁酒	35枚	0503	地質	29枚
0317	外国酒	32枚	0504	気象	32枚
0318	酒 琉球	7枚	0505	大雨, ひでり	21枚
0319	酒 台湾	18枚	0506	地震	13枚
0320	酒 朝鮮	16枚			
0321	水, 清涼飲料	12枚			
04	果実, 菓子				

篠田統資料目録 I (文献カード)

0507	飢饉	6枚	0606	東洋風料理—現代	19枚
0508	天変地異	19枚	0607	酒—現代	16枚
0509	光り物, 怪火, 人魂	24枚	0608	カクテル—現代	9枚
0510	職業	44枚	0609	酒酔, 解酔—現代	5枚
0511	産物	44枚	0610	調味料, 香辛料—現代	11枚
0512	化学	7枚	0611	衣生活—現代	42枚
0513	工業	13枚	0612	風俗雑考—現代	30枚
0514	金属	0枚	0613	ことわざ, 口合—現代	2枚
0515	冶金	62枚	0614	その他—現代	10枚
0516	武具	17枚			
0517	舟車	9枚	07	動物性食品, 加工品, 農産	
0518	燃料	37枚	0701	鳥	39枚
0519	灯具	25枚	0702	鳥一般	45枚
0520	灯火	44枚	0703	雁(菱食), かも	0枚
0521	紙	70枚	0704	鶴, 白鳥(鶺鴒)	6枚
0522	紙—檀紙	16枚	0705	雉, うづら, 鴨	18枚
0523	紙—杉原	14枚	0706	燕, えんす	25枚
0524	紙—引合	1枚	0707	鶏, たまご	35枚
0525	農業	84枚	0708	獣	3枚
0526	蚕業	7枚	0709	獣肉	63枚
0527	漁業	2枚	0710	牛	32枚
0528	扇	6枚	0711	羊, 豚	20枚
0529	すみ, 筆, 硯	10枚	0712	鹿, 猪, 兎	20枚
0530	文房具	43枚	0713	くぢら, いるか	22枚
			0714	加工品	0枚
06	ミステリー		0715	畜産加工品	7枚
0601	料理—現代	129枚	0716	乳製品	81枚
0602	朝食献立—現代	73枚	0717	農産加工品	36枚
0603	中食献立—現代	35枚	0718	食品, 麩, こんにゃく	35枚
0604	夜食献立—現代	56枚	0719	納豆	69枚
0605	ハンバーガー, ビフテキ— 現代	45枚	0720	支那の納豆	52枚
			0721	ゆば	2枚

08 雍州府志，目次記事

0801	黒川道祐	5枚
0802	すし	27枚
0803	酒	18枚
0804	米，めし，粥	25枚
0805	動物性食品	103枚
0806	植物性食品	43枚
0807	主食	22枚
0808	果実	60枚
0809	菓子	54枚
0810	茶	12枚
0811	衣料，染料	12枚
0812	[分類名なし]	127枚
0813	[分類名なし]	120枚

09 鮓，分布

0901	スシ一般	53枚
0902	大阪	45枚
0903	兵庫	11枚
0904	京の鯖ずし	18枚
0905	近江	26枚
0906	大和	7枚
0907	紀伊	58枚
0908	三重	4枚
0909	柿の葉ずし，笹の葉ずし	8枚
0910	山陽	55枚
0911	山陰	10枚
0912	四国	14枚
0913	九州	25枚
0914	北陸	22枚
0915	富山	19枚
0916	岐阜	9枚

0917	長野	4枚
0918	東海	1枚
0919	関東	33枚
0920	福島	9枚
0921	秋田	18枚
0922	東北	24枚
0923	北海道	17枚
0924	朝鮮	2枚
0925	台湾，シナ，東南アジア	2枚
0926	料理鮓	29枚
0927	明治以後	0枚
0928	民俗社会	40枚

10 唐詩，動物・植物

1001	牡丹，芍薬	12枚
1002	菊	9枚
1003	苔	22枚
1004	蓬蒿，黄蒿	25枚
1005	荆棘	5枚
1006	水草	6枚
1007	タデ	3枚
1008	芭蕉，美人蕉	4枚
1009	薬草，毒草，香草	14枚
1010	その他の草	9枚
1011	槿	6枚
1012	榆	7枚
1013	槐	9枚
1014	金柳，黄柳	43枚
1015	緑楊，柳絮	52枚
1016	薔薇	5枚
1017	海榴，ツバキ，石榴，榴	23枚

篠田統資料目録 I (文献カード)

1018	山榴, 躑躅, 石楠, 杜鵑花	22枚	1110	料理故実 大草流	115枚
1019	楓	22枚	1111	料理故実 伊勢流	91枚
1020	木蘭, 辛夷	6枚	1112	料理故実 シナ	11枚
1021	藤	6枚	1113	料理作法	16枚
1022	桐, 梧桐, 刺桐	13枚	1114	日本料理, 郷土料理	23枚
1023	その他の樹木	24枚	1115	日本料理, 一般	107枚
1024	魚	1枚	1116	ベントー	9枚
1025	食用魚	13枚	1117	外国料理	7枚
1026	魴	4枚	1118	西洋料理	28枚
1027	鯉	4枚	1119	支那料理 現代	4枚
1028	スズキ	5枚	1120	支那料理 辺境	27枚
1029	鳥	47枚	1121	支那料理 むかし	97枚
1030	獣	19枚	12	古代シナ	
1031	昆虫	6枚	1201	郭璞	64枚
1032	蟬	23枚	1202	説苑	44枚
1033	蜂, 蝶	5枚	1203	左氏伝	31枚
1034	キリギリス, コホロギ	4枚	1204	公羊伝	77枚
1035	蝦, 蟹, 貝, 介	6枚	1205	穀梁伝	85枚
1036	爬虫, 両棲	8枚	1206	礼記	257枚
11	料理		1207	周礼	40枚
1101	料理一般	53枚	1208	山海経, 方言	33枚
1102	料理用具	6枚	1209	爾雅	11枚
1103	食物容器	53枚	1210	説文	523枚
1104	スリバチ, スリコギ, ミソコ		1211	広雅	49枚
	シ	7枚	1212	詩経	102枚
1105	庖丁, マナイタ	13枚	1213	呂氏春秋	19枚
1106	ナベ, 釜, コシキ	14枚	1214	淮南子	186枚
1107	ハン, 杓子	13枚	1215	[分類名なし]	178枚
1108	料理故実	62枚	13	動物, 植物	
1109	料理故実 四条流	54枚	1301	生理	38枚

1302	生態	18枚	1414	碁, 将碁	7枚
1303	食品学	61枚	1415	ことわざ, 口合	234枚
1304	ビタミン, ホルモン	48枚	1416	詩	57枚
1305	營養	107枚	1417	句	2枚
1306	脊椎動物	3枚	1418	[分類名なし]	16枚
1307	獸	131枚	1419	南澳タイヤル	25枚
1308	鳥	116枚	1420	森丑之助	27枚
1309	無脊椎動物	14枚	1421	駄安アミ	41枚
1310	昆虫	58枚			
1311	衛生昆虫	85枚	15	米	
1312	ねずみ	30枚	1501	稻	159枚
1313	殺虫剤, 殺菌剤	29枚	1502	主食, 米	13枚
1314	狩猟, 飼育	9枚	1503	雑煮, かん藪	66枚
1315	植物	154枚	1504	粥	60枚
1316	園芸, 艸(草)	61枚	1505	混ぜ粥	42枚
1317	園芸, 木	66枚	1506	七種粥, 小豆粥	39枚
1318	花こよみ	40枚	1507	飯	90枚
			1508	湯漬, 小漬, 水飯	50枚
14	家庭, 民俗, 歴史他		1509	干飯, 焼米	26枚
1401	民俗	25枚	1510	堦飯, 屯食	45枚
1402	經濟	30枚	1511	強飯, 小豆飯	24枚
1403	歴史	111枚	1512	芳飯, まぜめし	55枚
1404	伝説	47枚	1513	鏡餅, 齒固	53枚
1405	火事	21枚	1514	餅, まぜ餅	59枚
1406	地理	260枚	1515	点心	122枚
1407	紀行	7枚			
1408	市場	20枚	16	酒, シナ	
1409	宗教	37枚	1601	シナ酒	341枚
1410	美術	8枚	1602	酒味, 酒色	4枚
1411	插花	41枚	1603	シナ酒, 酒銘	128枚
1412	音楽	10枚	1604	薬酒	41枚
1413	風俗, あそび	48枚	1605	シナ酒原料	59枚

篠田統資料目録Ⅰ（文献カード）

1606	葡萄酒	23枚	1718	本草綱目	3枚
1607	シナ酒器	7枚	1719	清, 民国	8枚
1608	猿酒	7枚	1720	黔語, 黔書, 黔記, 黔軼紀行, 廣東新語	10枚
1609	酒, 四時纂要	30枚	1721	養小録	9枚
1610	シナ酒の醸造	69枚			
1611	老酒, 女兒酒	11枚			
1612	酒の時期, 卵酒	3枚			
1613	支那酒, 煮酒, 温酒, 竿兒酒	11枚	18 鮓, 日本		
1614	酒東南アジア	13枚	1801	奈良, 平安	15枚
1615	シナ酒産地	73枚	1802	令集解, 令義解, 延喜式	10枚
1616	酒雲貴	23枚	1803	新撰字鏡, 和名抄, 類從名義 抄, 伊呂波字類抄	21枚
1617	酒両広	36枚	1804	医心方, 延寿類要, 養生要集	9枚
17 鮓, 沿革			1805	カマクラ, 南北朝	4枚
1701	漢, 三国	22枚	1806	室町	57枚
1702	爾雅, 説文, 釈名, 広雅	8枚	1807	鈴鹿家記, 蜷川親元日記	11枚
1703	晉	8枚	1808	山科家, 礼記	15枚
1704	南北朝	38枚	1809	津田宗及	20枚
1705	齋民要術	11枚	1810	天和～元禄	17枚
1706	隋, 唐	37枚	1811	狂歌, 俳諧	32枚
1707	北宋	20枚	1812	本朝食鑑	17枚
1708	王食批, 中饋録	15枚	1813	料理書	58枚
1709	南宋	15枚	1814	宝永～寛延	49枚
1710	嶺外代答, 桂海虞衡志	10枚	1815	大倭本草	7枚
1711	元	4枚	1816	三才図絵 正徳3	7枚
1712	武林旧事	4枚	1817	田沼時代	38枚
1713	夢梁録	34枚	1818	江戸末期	61枚
1714	事林広記	9枚	1819	料理書 幕末	11枚
1715	居家必用	11枚	1820	西尾卜蔵, 家島文書	6枚
1716	明	35枚	1821	守貞漫稿 嘉永2, 喜遊笑覧	17枚
1717	金瓶梅詞話	0枚	1822	東本願寺御膳所日記	27枚

1823	狂詩, 川柳	10枚	2002	痘瘡	12枚
1824	明治以後	39枚	2003	瘡瘻	14枚
19	植物性食品		2004	痢病	70枚
1901	食用植物	89枚	2005	風気	33枚
1902	葉菜	88枚	2006	脚気	51枚
1903	わらび, ぜんまい, つくし, せり, しゅんさい	32枚	2007	がん	4枚
1904	花菜	19枚	2008	はしか	13枚
1905	うど, 蒨, みょうが	26枚	2009	性病, 妊娠	14枚
1906	葱, 韭, 蒜の類	46枚	2010	ひふ病	16枚
1907	竹の子	45枚	2011	寿命	11枚
1908	きのこ, 日本	67枚	2012	医薬	170枚
1909	マツタケ	56枚	2013	針灸	4枚
1910	椎茸	10枚	2014	獣疫	2枚
1911	きのこ シナ	97枚	21	動物性食品	
1912	きのこ 外国	1枚	2101	動物一般	3枚
1913	菌中毒	17枚	2102	魚介, 水産物	18枚
1914	海藻	97枚	2103	魚一般(魚市, 魚売, 塩干魚 等)	50枚
1915	昆布	14枚	2104	川魚	35枚
1916	根菜	15枚	2105	あゆ	17枚
1917	大根	34枚	2106	こい	22枚
1918	カブラ	11枚	2107	ふな	24枚
1919	牛房	16枚	2108	うなぎ	14枚
1920	山芋, 野老	17枚	2109	さか, ます, あめのうを	33枚
1921	里芋	7枚	2110	海魚	39枚
1922	れんこん	18枚	2111	たい, あまだい	35枚
1923	こんにゃく	15枚	2112	いわし, かつを	28枚
1924	くわい	7枚	2113	すずき, いな, ぼら	20枚
20	衛生, 医薬		2114	さば, あじ, ふり	18枚
2001	疾病	72枚	2115	ふぐ, はも, めそ, あんこう	
					24枚

篠田統資料目録Ⅰ（文献カード）

2116	たら, にしん	21枚	2219	果実	58枚
2117	えい, ふか(さめ)	13枚	2220	酒	5枚
2118	海老	16枚	2221	菓子	7枚
2119	かに	18枚	2222	点心	9枚
2120	昆蟲	14枚	2223	粥	2枚
2121	貝類	47枚	2224	飯, 餅	3枚
2122	いか, たこ	31枚	2225	動物	2枚
2123	鮑	28枚	2226	雑	70枚
2124	蛤, かき	24枚	2227	果菜	0枚
2125	くらげ, なまこ	26枚			
2126	かめ, すっぽん, 蛇	5枚	23	看聞日記	
2127	蛙, 山椒魚	7枚	2301	貝介	22枚
			2302	海老, かに, 海月	7枚
22	実隆日記		2303	鳥	22枚
2201	実隆公記	177枚	2304	鴈, ヒシクイ	34枚
2202	言継卿記	102枚	2305	白鳥, ウグイ	12枚
2203	隔莫記 植物索引	2枚	2306	獣	16枚
2204	園芸	38枚	2307	動物	64枚
2205	木	63枚	2308	植物	88枚
2206	竹の子, 竹	6枚	2309	入浴, 風呂, 湯治	34枚
2207	茶	5枚	2310	病氣	37枚
2208	香辛料	11枚	2311	中風, 風氣	25枚
2209	菌	24枚	2312	脚氣	14枚
2210	藻	21枚	2313	オコリ, マラリア	8枚
2211	羊歯, 苔	8枚	2314	ホーソー	7枚
2212	穀物	10枚	2315	灸	12枚
2213	果菜	14枚	2316	産育	20枚
2214	根菜	25枚	2317	衣料	15枚
2215	葉菜	2枚	2318	細美, カタビラ	16枚
2216	漬物	3枚	2319	シュス, 段子	12枚
2217	豆加工品	11枚	2320	衣服	3枚
2218	麩, こんにゃく, 寒天	8枚	2321	帽子, タヒ	3枚

2322	フトン, 蚊帳	4枚	2503	マルコポーロ	49枚
2323	住宅	62枚	2504	イブンバトゥータ	126枚
2324	灯火, 灯具	31枚	2505	燈火, 燃料	10枚
			2506	雑	25枚
24	被服, 住居		2507	楽器	15枚
2401	家事	26枚	2508	宝石, 石材, 金属	44枚
2402	育児	34枚	2509	医薬	10枚
2403	被服	101枚	2510	化粧, 理髪, 入浴	9枚
2404	服装	79枚	2511	果実	40枚
2405	車中所見	66枚	2512	植物性食品	37枚
2406	履物, かぶり物	21枚	2513	菓子, 甘味料	37枚
2407	繊維	29枚	2514	動物性食品	24枚
2408	毛, 皮革	43枚	2515	酒	12枚
2409	麻, 木綿	74枚	2516	香料	41枚
2410	絹	84枚	2517	植物	28枚
2411	染色, 漂白	61枚	2518	動物	31枚
2412	住宅	66枚	2519	被服, 衣料	24枚
2413	家具	4枚	2520	一千一夜譚	58枚
2414	すだれ, 屏風, つい立	11枚			
2415	家具	80枚	26	石山本願寺日記他	
2416	むしろ, たたみ	46枚	2601	石山本願寺日記	0枚
2417	入浴	52枚	2602	点心, 麵製品	21枚
2418	風呂屋	5枚	2603	飯, 粥, 餅	34枚
2419	湯治	24枚	2604	食品—植物性	28枚
2420	行水	2枚	2605	食品—動物性	37枚
2421	薬湯, 水風呂	9枚	2606	雑	99枚
2422	化粧	77枚	2607	河内日下庄屋日記	43枚
2423	カミソリ	1枚	2608	衛生	154枚
25	中近東		27	看聞日記	
2501	バビロンの日常生活	20枚	2701	食生活	5枚
2502	エリトウラ海案内日記	9枚	2702	粥, 水飯, 湯漬	30枚

篠田統資料目録 I (文献カード)

2703	強飯, 干飯, 蓮供御	38枚	2803	持	6枚
2704	餅, 雑煮	6枚	2804	かゆ	2枚
2705	破子, 駄飼, 送り膳	21枚	2805	湯漬, 小漬	1枚
2706	茶	89枚	2806	混ぜめし	1枚
2707	茶子, 点心	30枚	2807	強飯	2枚
2708	饅頭, 小麦粉品 (製もち)	5枚	2808	雑煮, かん, はんびら	1枚
2709	素麺, 小麦粉製品 (めん類)	3枚	2809	鮓, すもじ	28枚
2710	菓子	17枚	2810	鮓, 飯鮓, 月夜	10枚
2711	加工食品	3枚	2811	鮓, あゆすし	17枚
2712	鮓	7枚	2812	鮓, 鮓, 鯛, 鮭, 鮠, 鰻のすし	18枚
2713	動物性食品 (加工品)	14枚	2813	鮓, 野菜のすし	18枚
2714	酒	20枚	2814	果実	6枚
2715	果実, クリ	8枚	2815	菓子類	3枚
2716	柑橘	19枚	2816	獣	0枚
2717	果実, カキ, ナシ	8枚	2817	魚	13枚
2718	果実	4枚	2818	食鳥	4枚
2719	蔬菜	20枚	2819	野菜	3枚
2720	タケノコ, ワラビ	19枚	2820	瓜	1枚
2721	苳	32枚	2821	調味料	3枚
2722	きのこ	22枚	2822	豆製品	0枚
2723	魚	19枚	2823	茶	0枚
2724	鯉	32枚	2824	酒	39枚
2725	鮓, 鮠	12枚	2825	年中行事	4枚
2726	すずき	9枚	2826	衣服, 衣料	1枚
2727	鮭, 鱒	14枚	2827	紙	3枚
2728	鯛	9枚	2828	薬	7枚
2729	鱈, さいら	5枚	2829	燈火	1枚
28	御湯殿の上の日記		2830	光物	1枚
2801	穀物	2枚	2831	博多津要録	27枚
2802	主食	1枚	2832	摂陽群談	8枚

29 醒睡笑, 柳樽

2901	食物料理	17枚
2902	めし, 粥, 雑炊	17枚
2903	汁	8枚
2904	動物性食品	35枚
2905	すし	11枚
2906	植物性食品	34枚
2907	香のもの	8枚
2908	果実	12枚
2909	納豆, 豆ふ, 田楽	9枚
2910	茶	5枚
2911	菓子	28枚
2912	酒	11枚
2913	調味料, 香辛料, みそ	11枚
2914	衛生, 入浴, 医薬	39枚
2915	民俗	17枚
2916	ことわざ, 伝承, 口合	48枚
2917	職業, 工業, 同製品	18枚
2918	衣, 住, 紙, 火	35枚
2919	柳樽	35枚

30 看聞日記

3001	家庭	21枚
3002	経済, 家計	33枚
3003	紙	78枚
3004	民俗, 起請, 坂迎, 精進	29枚
3005	光物, はげ物, 天狗	28枚
3006	猿楽, 田楽, 風流	50枚
3007	芝居, 師子, 放下, 輪鼓, 雑芸	38枚
3008	狛, 念佛躍, 相撲	28枚
3009	平家	18枚

3010	遊戯	22枚
3011	くすり	5枚
3012	雑	89枚
3013	正月行事	57枚
3014	端午行事	35枚
3015	極月行事	13枚
3016	亥子, その他の行事	36枚

31 調味料, 香辛料

3101	調味料	22枚
3102	塩	65枚
3103	酢	49枚
3104	油脂, バター	31枚
3105	味噌, 醤油	163枚
3106	サトウ	82枚
3107	甘蔗	60枚
3108	アメ, 甘味料	35枚
3109	蜂蜜と蜜蜂	25枚
3110	あまづら	15枚
3111	香辛料	49枚
3112	蓼, 生姜, 山葵	44枚
3113	山椒, 胡椒, 蕃椒	31枚
3114	茶	46枚
3115	茶 シナ	114枚
3116	茶屋, 銘柄	20枚
3117	香煎	1枚
3118	茶 夕方の	1枚
3119	茶 種類と分布	0枚
3120	薬茶, まぜ茶	23枚
3121	茶筥	1枚
3122	キンマ, ビンロージ	17枚
3123	コーヒー, ココア	2枚

篠田統資料目録 I (文献カード)

3124	タバコ	26枚	3314	葵	11枚
			3315	蔬菜	19枚
32	碧山日録他		3316	芹	5枚
3201	飯粥	3枚	3317	瓜, 豆, 芋	10枚
3202	点心, 麵製品	24枚	3318	ショーガ, コエンドロ, 茴薈	7枚
3203	酒, 茶	27枚	3319	竹, タケノコ	28枚
3204	蔬菜, 果実	23枚	3320	菰, 菱, 菱, 蒲	0枚
3205	植物	48枚	3321	蓮, レンコン	16枚
3206	動物	26枚	3322	桃榔, 檳榔, 橄欖	11枚
3207	医薬	30枚	3323	杏	9枚
3208	芸能	10枚	3324	栗, 橡, 胡桃	7枚
3209	天変, 地異, 火事	32枚	3325	柑橘	32枚
3210	雑	51枚	3326	梅	12枚
3211	大乘院寺社雑事記	90枚	3327	梨	20枚
3212	蔭涼軒日録	197枚	3328	桜桃, 朱桜, 含桃	46枚
3213	鹿苑日録	5枚	3329	葡萄, 林檎, 荔枝	12枚
			3330	枇杷, なつめ, 柿	14枚
33	唐詩		3331	桃李	13枚
3301	料理	19枚	3332	椒, 芙蓉, 桂, 訶梨, 豆蔻	10枚
3302	動物の料理, 獣, 鳥, 魚, 蛙, 蟹, 介	19枚			
3303	乳製品	8枚	34	加工食品	
3304	調味料, 甘味品	18枚	3401	豆腐	66枚
3305	主食, 麵類	37枚	3402	油揚	7枚
3306	葛, ソバ, 米の粉, 蕨粉	7枚	3403	豆腐料理	46枚
3307	主食, 雑穀	12枚	3404	田楽	46枚
3308	主食, 米	35枚	3405	水産加工品	20枚
3309	香稻, 紅茶	15枚	3406	かまぼこ, はんぺん, 厚焼	25枚
3310	飯	18枚	3407	からすみ, 鯉節	11枚
3311	かゆ	19枚	3408	うるか, 酒盗, くるくる, 背	
3312	葱, 蒜, 薤, 韭	12枚			
3313	大根, 蕪, 青菜	9枚			

膳	11枚	3519 平家びわ	1枚
3409 心太, をご	5枚	3520 遊女, 巫女	13枚
3410 大根	0枚	3521 賤民	9枚
3411 料理書	168枚	3522 年中行事 1～6月	49枚
3412 作者	17枚	3523 年中行事 7～12月	64枚
3413 野菜料理	115枚	3524 正月	87枚
3414 キノコ, 海藻料理	43枚	3525 節供 3月	17枚
3415 獣肉料理	26枚	3526 節供 5月	17枚
3416 鳥料理 (含卵料理)	66枚	3527 七夕 盆	16枚
3417 河魚料理	84枚	3528 亥の子	26枚
3418 海魚料理	94枚		
3419 貝, 海老, なまこ料理	83枚	36 唐詩	
35 民俗		3601 衣服	30枚
3501 風俗	100枚	3602 衣料, 染料	14枚
3502 自殺, 心中	6枚	3603 桑柘	5枚
3503 頭上運搬	7枚	3604 蠶	7枚
3504 相続	12枚	3605 枕, 帽子と靴	8枚
3505 民俗 (出産)	26枚	3606 燈火, 燃料, 炉	21枚
3506 民俗 成年	6枚	3607 医薬	18枚
3507 民俗 婚姻	80枚	3608 衛生動物	13枚
3508 民俗 葬送	35枚	3609 気象, 季候	24枚
3509 民俗 地方	5枚	3610 民俗	34枚
3510 民俗 社会	18枚	3611 葬送, 紙銭	4枚
3511 信仰, 迷信	61枚	3612 童戯, あそび	5枚
3512 祭礼 (神道)	29枚	3613 宝玉, 珠, 璧, 楽器	11枚
3513 祭礼 (佛教)	9枚	3614 雑件	24枚
3514 地方芸能	6枚	3615 酒一般	34枚
3515 歌謡, 万才	28枚	3616 家醸	17枚
3516 見世物, 曲芸	22枚	3617 酒, 菜酒, 雑酒	37枚
3517 能, 芝居	33枚	3618 酒, 酒の味	6枚
3518 田楽, 風流	25枚	3619 酒, 酒の色, 黄, 紅	8枚
		3620 縁酒	32枚

篠田統資料目録 I (文献カード)

3621	酒, 酒造, 仕込麴	20枚	3802	主食 (むぎ)	56枚
3622	酒, 冷酒, 暖酒	9枚	3803	梁, 黍, 稗	57枚
3623	新酒	9枚	3804	玉蜀黍, 高粱	26枚
3624	酒造期	10枚	3805	主食, まめ	32枚
3625	春酒	25枚	3806	大豆	58枚
3626	薬酒, 重陽酒	23枚	3807	小豆, 角豆	16枚
3627	臘酒, 歳酒, 藍尾酒	14枚	3808	主食, いも	60枚
3628	浮蟻	19枚	3809	麵, 麵製品	84枚
3629	酒, 清酒, 濁酒	60枚	3810	そば	102枚
3630	酒, 産地	43枚	3811	葛, 蕨粉	12枚
3631	酒, 酒銘	45枚	3812	小麦粉とその製品	22枚
3632	酒, 酒器	30枚	3813	うどん, そうめん	66枚
			3814	湯麵類	56枚
			3815	和名抄, 点心, 麦粉, 麵類	28枚
37	和食		3816	甘藷, 里芋	16枚
3701	和え物	145枚	3817	果菜	27枚
3702	汁	39枚	3818	茄子	18枚
3703	羹, 臈	19枚	3819	瓜	77枚
3704	汁, 野菜, 茸, 藻	37枚	3820	江瓜, 丹瓜, 和瓜	27枚
3705	納豆汁, とろろ	8枚	3821	五色, あこだ	35枚
3706	汁, 鳥, 獣	22枚	3822	果菜, 南瓜, 西瓜	26枚
3707	汁, 魚, 貝	45枚			
3708	うしを	20枚	39	未分類	
3709	煮物	89枚	3901	東本願寺御膳所日記	273枚
3710	焼物	182枚	3902	中国名菜谱	151枚
3711	せんば	131枚	3903	御湯殿の上の日記	31枚
3712	揚物	18枚	3904	菌こよみ	33枚
3713	刺身, 洗い, 叩き	37枚	3905	未分類	217枚
3714	膾	59枚			
3715	つけ物, 香の物	62枚	40	蘇東坡, 元曲他	
38	主食		4001	蘇東坡集	256枚
3801	雑穀	80枚			

4002	元曲	83枚	4009	飯粥	6枚
4003	金瓶梅	3枚	4010	麵	10枚
4004	食品	18枚	4011	料理	10枚
4005	鮓	12枚	4012	祝いの料理	15枚
4006	酒	39枚	4013	おみやげ, 祝い品	5枚
4007	食事	6枚	4014	未分類	24枚
4008	点心	12枚	4015	居家必用	117枚

植 物 標 本

【解説】

オランダ留学時代と台湾の民俗調査のさいに集めた薬用，食用植物を主とする腊葉標本が189種類ある。いずれもB4判（変形判をふくむ）の台紙に貼られている。

【内容】

オランダで採集のもの81種類。昭和2年5～7月に採集。

台湾で採集のもの108種類。昭和48年5月に採集。フィールド・ノートの「122 台湾山地聞書3」と対応している。